Canon

PUB. DIJ-0479-000C

XF705

4Kビデオカメラ

Firmware ver. 1.0.3.1

使用説明書

本機の特長

XF705は、1.0型の単板CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約829万画素（3840×2160）。4K映像の記録／出力に対応する4Kビデオカメラです。

高画質4K記録システム

829万画素1.0型CMOSセンサーと映像エンジン「Dual DIGIC DV 6」を搭載

有効画素数約829万画素（3840 x 2160）の1.0型単板式CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「Dual DIGIC DV 6」を搭載。高感度／低ノイズ技術により、低照度下でもノイズの少ない撮影が可能です。

用途に応じて3種類の動画形式を選択可能

動画の記録形式は、用途に応じてXF-HEVC（H.265 / HEVC）、XF-AVC（MPEG-4 AVC / H.264）およびMP4（MPEG-4 AVC / H.264）の3種類から選択でき、XF-HEVC形式とXF-AVC形式は業界標準であるMXF（Material eXchange Format）ファイルフォーマットで記録します。また、XF-HEVC形式はYCC 4:2:2 10bitで3840x2160／59.94Pまで記録でき、XF-AVC形式はYCC 4:2:0 8bitで、3840x2160／29.97Pまで記録できます。MP4形式ではYCC 4:2:0 8bitで1920x1080／59.94Pまで記録できます。音声は、XF-HEVC / XF-AVC形式ではリニアPCM（24bit、48kHz、4ch）で、MP4形式ではリニアPCM（16bit、48kHz、4ch）またはAAC（16bit、48kHz、2ch）で記録可能です。

優れた操作性と汎用性

プロの操作性を追求した撮影操作系

フォーカス、ズーム、アイリスの3本のレンズリングを独立して操作可能。本体にアサインボタンを14個搭載。良く使う機能を割り当てて、操作性をカスタマイズできます。レンズフードはバリア付きでレンズの汚れ防止に役立ちます。

4.0型の高精細約123万ドット液晶モニターと広視野角チルト式ファインダー

フォーカスに有利な静電容量方式タッチパネルの液晶モニター（視野率100%）を搭載。左右両方向に開くので、制限された撮影現場にも柔軟に対応でき、操作性を向上させました。ファインダーは100%の視野率。付属の大型アイカップを取り付ければ、顔の幅や鼻の高さなどをカバーして確実にフィットします。

汎用性の高いSDカードを採用

記録メディアには汎用性の高いSDカードを採用することで、コストパフォーマンスの高い運用が可能です。2つのカードスロットを搭載し、それぞれのスロットにカードを装着することにより、2枚のカードに連続して記録したり、同じ映像を同時に記録したりすることができます。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録機能（🕮130）

XF-HEVC / XF-AVC形式では、119.88Pまでのスローモーション（オーバークランク）撮影が可能です。また、プレ記録は、撮影開始時点の約3秒前から記録することで、取り逃がしを防ぎます。

高度に画質を調整するカスタムピクチャー（🕮140）

ガンマ、色空間、カラーマトリクスをプリセットから選ぶか任意に設定した後、詳細な画質調整ができます。BT.2020の広色域に対応するほか、Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを広くとるCanon Log3ガンマを搭載。用途に応じて選択できます。また、HLG（Hybrid Log-Gamma）とPQ（Perceptual Quantization）の2つのHDR方式を搭載*。HDR映像の記録が可能です。

* 記録形式が「XF-HEVC」のとき。

業務用途に対応する柔軟性と拡張性

Wi-Fi ／イーサネットによるネットワーク機能（📖 176）
Wi-Fiまたはイーサネットでネットワークに接続*すれば、ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、ビデオカメラの映像をIPストリーミングして、ライブ中継や速報映像の送信に利用できます。また、SDカードに記録した映像をFTPで転送することもできます。
* 使用するネットワーク機能によって接続設定が異なる。

汎用ワークフローに対応するソフトウェア
SDカードに記録したXF-HEVC動画／ XF-AVC動画は、XF Utilityを使って確認・管理できます。また専用プラグインを使用すれば、ノンリニア編集システムへの取り込みも簡単です（📖 173）。リレー記録などにより分割して記録されたMP4動画は、ソフトウェアMP4 Join Toolを使って結合することができます。

充実した映像出力端子と外部同期用端子を搭載
12G-SDI端子を搭載。4K 59.94P/50.00P映像を出力可能。また、内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにSDカードに記録されるほか、SDI端子／ HDMI OUT端子／ TIME CODE端子に出力できます。また、出力信号にユーザービットを重畳することもできます。TIME CODE端子やG-LOCK/SYNC端子を使用すれば、外部機器と本機を同期させることができます。

赤外撮影（Infrared）で低照度でも明るく撮影
ワンタッチで赤外撮影モードに切り換えると、近赤外線への感度が向上し、暗い場所でも明るく撮影可能。赤外ライトを使えば、より明るく撮影できます。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能（📖 88）
コンティニュアスAFに対応したほか、手動で大まかに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。顔検出AFや顔以外の被写体への追尾も可能です。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載（📖 89）
デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 画面を見ながらカメラ設定が可能な、カメラダイレクト設定（📖 60）。

充実したアシスト表示機能
- ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、白黒、波形モニターを表示・出力したり、映像にLUTを適用したりすることが可能。出力先は、SDI端子やHDMI OUT端子、液晶モニター、ファインダーから選択可能*。
  * 出力先によって、選択できるアシスト表示機能が異なります。
- 画面表示の表示項目を選択するカスタムディスプレイ。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SDカードに保存／読み出しでき、複数のXF705と設定を共有可能（📖 148）。
- 残量の目安や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- ファンタム電源共有（+48V）に対応した音声入力用INPUT端子（📖 111）。
- 撮影データを管理しやすいクリップファイル名。
- NLEやサーバーでの簡易検索を実現するさまざまなメタデータ記録（📖 125）。GPSレシーバーGP-E2（別売）を接続すれば、GPS情報も記録できます（📖 127）。
- カラーバー、テストトーンの出力／記録。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）に対応。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する 10
各部の名称 11
　本体の名称 11
　リモコン WL-D6000の名称 18

準　備

電源を準備する 20
　バッテリーを使う 20
　コンセントにつないで使う 23
　電源を入れる／切る 24
日時を設定する 25
　日付と時刻を設定する 25
メニューで設定を変える 26
　メニュー操作の基本 26
　マイメニューを使う 28
ビデオカメラを準備する 31
　マイクホルダーを取り付ける 31
　レンズフードを取り付ける 31
　ファインダーを使う 32
　液晶モニターを使う 33
　液晶モニター／ファインダーの画面を調整する 34
　グリップを使う 35
　ショルダーストラップを取り付ける 35
　端子カバーを取り外す／取り付ける 36
　ショルダーパッドを取り外す 37
　本体を三脚に取り付ける 37
カードを準備する 38
　使用可能なSDカード 38
　カードを入れる／出す 39
　初期化する 40
　記録／再生に使用するカードスロットを切り換える ... 41
　2つのカードに記録する方式を選ぶ 41
　カードの記録可能時間を確認する 42
　クリップを修復する 42
リモート撮影の準備をする 44
　リモコン（付属）を使う 44
　リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う 45

撮　影

動画を撮影する 48
　準備する 48
　撮影する 48
　撮影時の画面表示 51
　XF-HEVC動画／ XF-AVC動画の
　クリップファイル名を設定する 54
　MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ 56
　冷却ファンの動作方法を選ぶ 57
映像の信号形式を選ぶ 58
カメラダイレクト設定を使う 60
　カメラダイレクト設定の基本操作 60
シャッタースピードを調整する 61
　シャッタースピードのモードを切り換える 61
　設定可能なシャッタースピード 62
　シャッタースピードの値を調整する 63
　フリッカーを抑える 64
ゲインを調整する 65
　設定可能な値 65
　オートで調整する 65
　マニュアルで調整する 66
NDフィルターを切り換える 68
アイリスを調整する 69
　設定可能な値 69
　オートで調整する 70
　一時的にオートで調整する
　（プッシュオートアイリス） 70
　マニュアルで調整する 71
　アイリスに絞り制限をつける
　（アイリスリミット） 72

露出を調整する（AEシフト） 72
測光方式を設定する 73
基本的なガンマ／カラーを設定する 74
カスタムピクチャーファイルを選ぶ 75
ガンマ、色空間、カラーマトリクスを選ぶ 75
ホワイトバランスを調整する 76
オートホワイトバランス（AWB）で調整する 77
プリセット設定／色温度設定で調整する 78
ホワイトバランスの設定を微調整する 79
ホワイトバランスセットで調整する 80
ズームを操作する 81
ズームのモードを選ぶ 81
操作方法を選ぶ 82
ズームリングで操作する 82
ズームロッカーまたはリモコンで操作する 83
別売のコンバージョンレンズを使う 87
フォーカスを調整する 88
マニュアルで調整する 89
PUSH AF（プッシュ AF）で調整する 92
AFブーストMFで調整する 92
コンティニュアスAFで調整する 93
AF枠のサイズ／位置を変更する 95
顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF） ... 96
選んだ被写体を追尾する 98
フォーカスリミットとマクロ撮影 99
手ブレ補正を使う 100
マーカー／ゼブラパターンを表示する 101
マーカーを表示する 101
ゼブラパターンを表示する 103
タイムコードを設定する 104
カウントアップ方式を選ぶ 104
ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える 105
タイムコードを保持する（タイムコードホールド） 105
ユーザービットを設定する 106
任意の16進数を設定する 106
時刻、または日付を設定する 106
外部機器と同期をとる 107
接続のしかた 107
外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK） 107
外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力） 108
リファレンスビデオ信号を出力する 109
タイムコードを出力する 110
音声を記録する 111
記録音声と必要な設定 112
外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する 113
MP4動画の音声記録形式を選ぶ 114
INPUT端子の音声を設定する 114
録音する入力音声を選ぶ 115
録音レベルを調整する 115
ヘッドホンでモニターする 119
カラーバー／テストトーンを記録する 120
カラーバーを記録する 120
テストトーンを記録する 120
WFM機能を表示する 121
モニター表示を有効にする 121
波形モニター（Waveform Monitor）のタイプを選ぶ 121
ショットマークを付加する 123
撮影中にショットマークを付加する 123
OKマーク／チェックマークを付加する 124
撮影中にOKマーク／チェックマークを付加する 124
メタデータを操作する 125
XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する 125
撮影情報（シーン、テイク）を設定する 126
GPS情報を記録する 127
GPSレシーバーを接続する 127
レックレビューで確認する 129
特殊記録を行う 130
スローモーション記録を行う 130
プレ記録を行う 131
赤外撮影（INFRARED）を行う 133

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 136
機能を変更する 139
アサインボタンに割り当てた機能を使う 139
カスタムピクチャーを使用する 140
画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する 140
カスタムピクチャーファイルをコピーする 142
カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する 143
カスタムピクチャーの設定項目 143
設定データの保存と読み出し 148
設定データを保存する 148
設定データを読み込む 148

再　生

クリップを再生する 150
インデックス画面 150
再生する 152
クリップを操作する 155
クリップメニュー一覧 155
クリップメニューで操作する 155
クリップの詳細情報を表示する 157
OKマーク／チェックマークを付加する 158
OKマーク／チェックマークを消去する 159
クリップをコピーする 159
クリップを消去する 160
クリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去する 161
ショットマークを付加／消去する 162

接　続

出力信号形式 164
外部モニターを接続する 166
接続のしかた 166
SDI端子を使用する 167
HDMI OUT端子を使用する 167
出力映像に画面表示を重畳する 168
出力映像にLUTを適用する 169
HLGの色味を設定する 171
HDRに対するSDRのゲインの差を調整する 171
出力レンジを選択する 171
音声出力を選択する 172
音声出力チャンネルを選ぶ 172
クリップをパソコンに保存する 173
XF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップをパソコンに保存する 173
MP4クリップをパソコンに保存する 174

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 176
Wi-Fiで接続する 177
イーサネットで接続する 184
ネットワーク接続設定を選ぶ 185
ネットワーク接続設定を変更する 185
ネットワーク機器でリモート撮影する 187
設定する 187
ブラウザーリモートを起動する 189
リモート撮影する 192
映像をストリーミング送信する（IPストリーミング） 201
ストリーミング送信の準備をする 201
ストリーミング送信を行う 203
クリップをFTPで転送する 204
FTP転送の準備をする 204
クリップをFTPで転送する 205

静止画

静止画を記録する 208
カメラモードで静止画を記録する 208
静止画を再生する 209
静止画インデックス画面を表示する 209
静止画を再生する 209
静止画を操作する 211
静止画を消去する 211

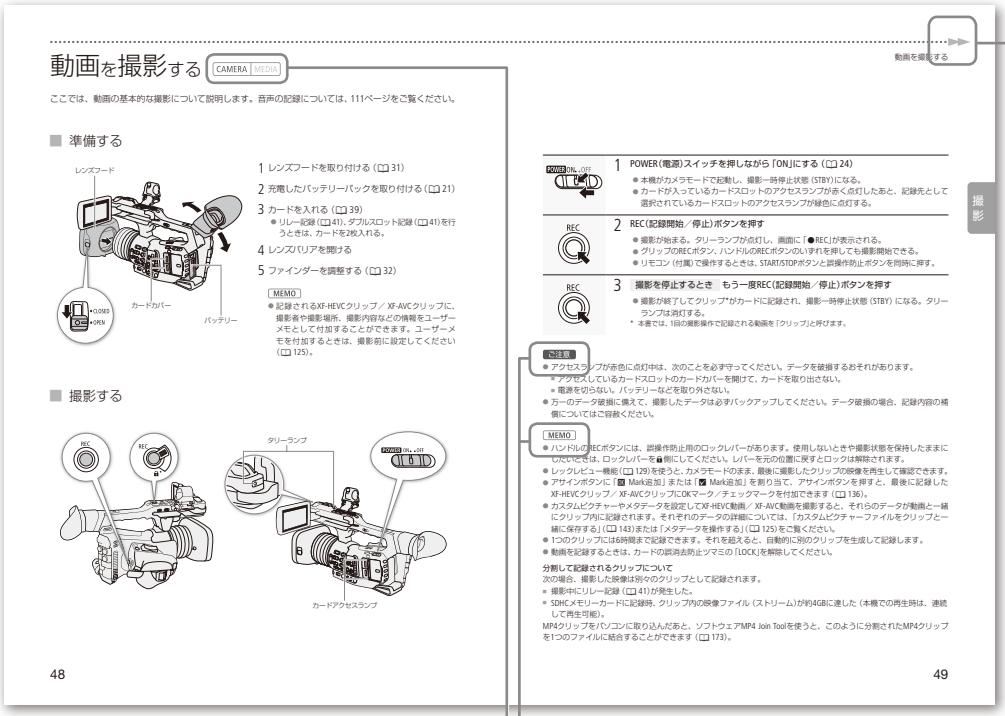
メニュー

メニュー一覧 214
メニューの階層 214
メニューの設定項目 218
カメラ設定メニュー 218
Custom Pictureメニュー 221
記録/メディア設定メニュー 222
オーディオ設定メニュー 225
モニタリング設定メニュー 226
アシスト設定メニュー 230
ネットワーク設定メニュー 232
アサインボタンメニュー 234
システム設定メニュー 235
★マイメニュー 238

その他

ステータス画面を表示する 240
操作のしかた 240
ガンマ／色空間／カラーマトリクス
ステータス画面 241
SDR ゲイン／ Rangeステータス画面 241
カスタムピクチャーステータス画面 242
カメラステータス画面 243
アサインボタンステータス画面 244
オーディオステータス画面 245
メディアステータス画面 246
端子出力ステータス画面 246
記録ステータス画面 247
メタデータステータス画面 247
バッテリー／アワーメーターステータス画面 248
ネットワーク設定ステータス画面 248
GPS情報表示ステータス画面 250
トラブルシューティング 251
電源 251
撮影中 251
再生中 252
表示やランプ 253
画面や音 254
アクセサリー 255
他機 256
ネットワーク接続 257
エラーメッセージ 259
ネットワーク機能使用時 261
安全上のご注意 264
取り扱い上のご注意／日常のお手入れ 266
ビデオカメラ本体 266
バッテリー 267
カード 268
充電式内蔵電池 268
その他のご注意 268
ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ） 269
コイン型リチウム電池（CR2025） 269
アクセサリー紹介 270
主な仕様 271
XF 705本体 271
付属品 274
動画の記録可能時間の目安 275
バッテリーの充電時間の目安 275
使用時間の目安 276
索引 278

本書の読みかた



CAMERA(カメラ)モードまたはMEDIA(メディア)モード

CAMERA MEDIA CAMERAにする
CAMERA MEDIA MEDIAにする
CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

コラムのマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーまたは液晶モニターの画面のこと
カード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと

アクセスランプ　SDカードアクセスランプのこと。

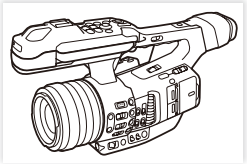
- 本書で使用している作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

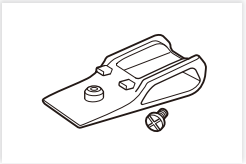
1 はじめに

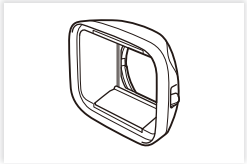
商品を確認する 10
各部の名称 11

商品を確認する

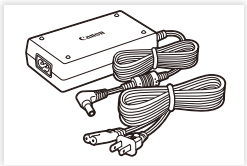
XF705には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

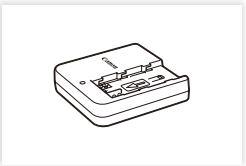

ビデオカメラ本体

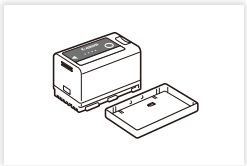

ショルダーパッド
（本体装着）


バリア付きレンズフード

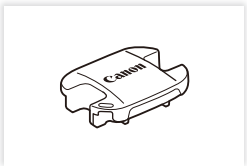
マイクホルダー

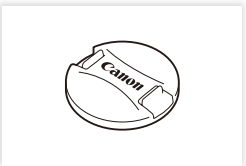

コンパクトパワーアダプター
CA-CP200 L

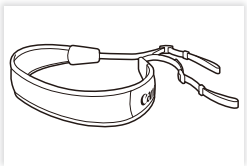

バッテリーチャージャー
CG-A20


バッテリーパック
BP-A30

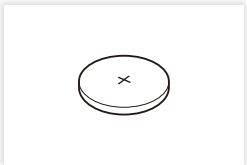
アイカップ


ファインダーキャップ


レンズキャップ


ショルダーストラップ
SS-1200

リモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000


コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（🕮 251）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

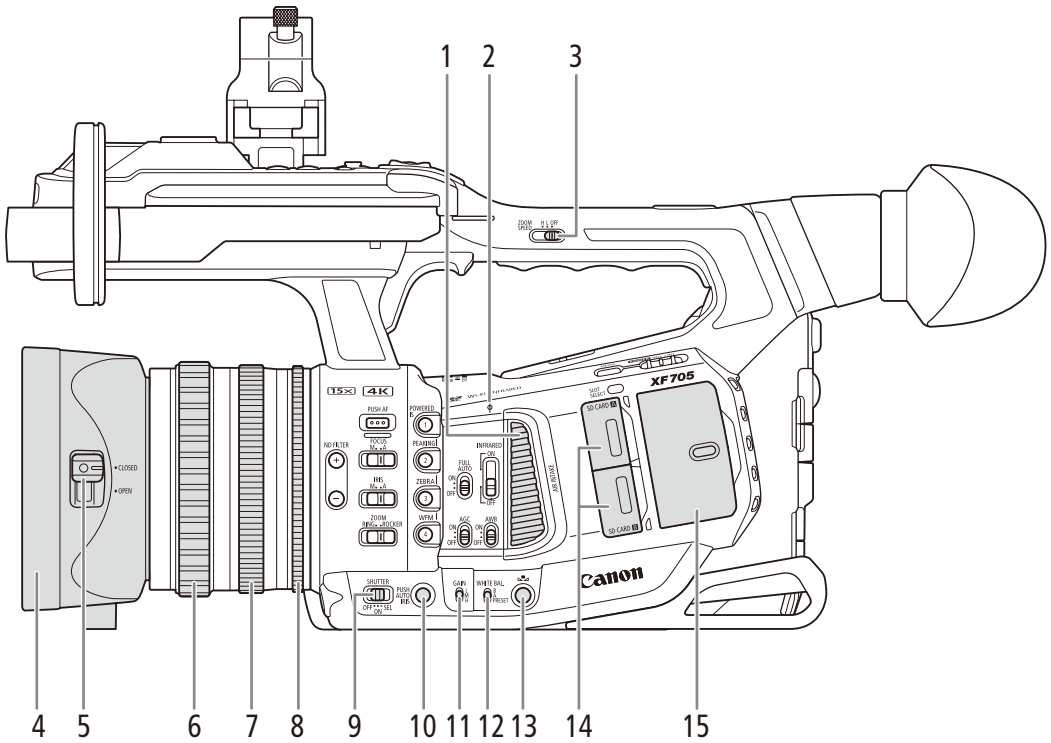
液晶モニターやファインダーの画面について

画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や常時点灯する画素が発生することがあります。

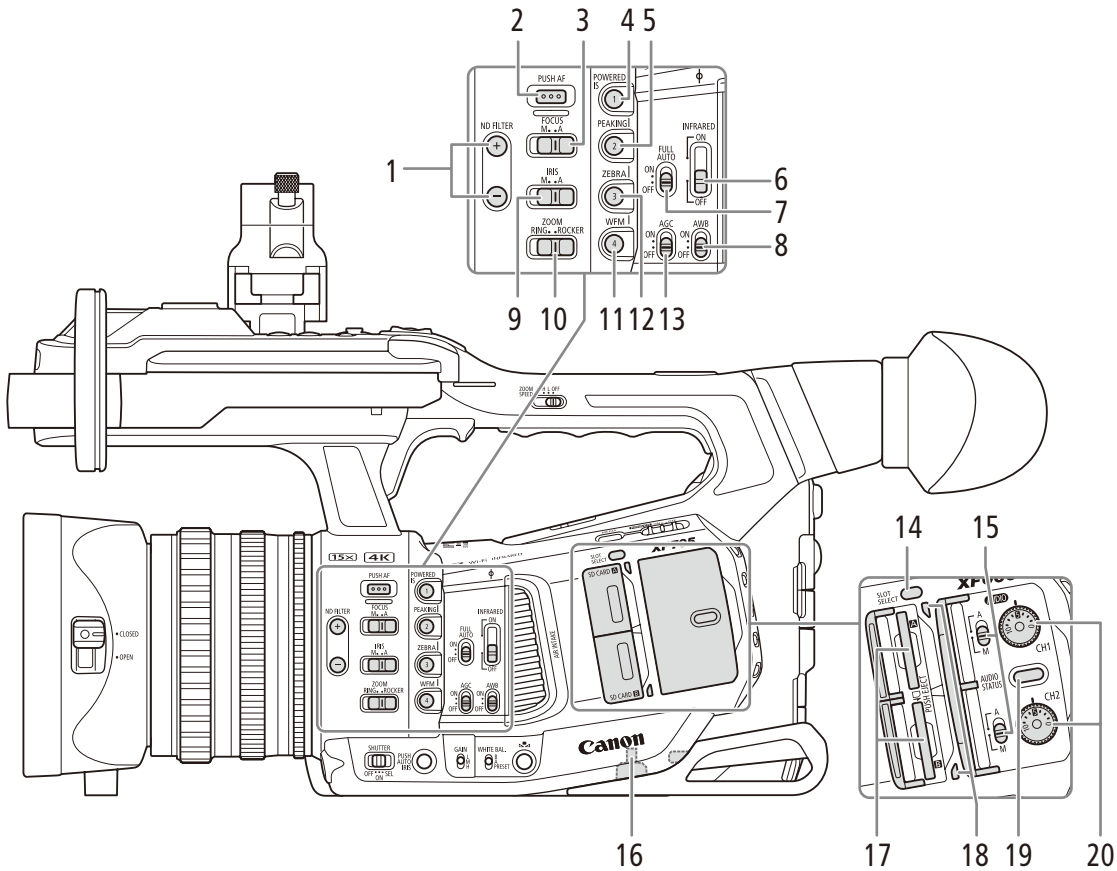
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶🕮に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



1 **AIR INTAKE**(吸気口) ▶▶ 🕮 57
2 撮像面マーク
3 **ZOOM SPEED**(ハンドルズームスピード)切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 83
4 レンズフード ▶▶ 🕮 31
5 レンズバリア開閉レバー ▶▶ 🕮 48
6 フォーカスリング ▶▶ 🕮 88
7 ズームリング ▶▶ 🕮 82
8 アイリスリング ▶▶ 🕮 71
9 **SHUTTER**(シャッター)スイッチ ▶▶ 🕮 61
10 **PUSH AUTO IRIS**(プッシュオートアイリス)ボタン ▶▶ 🕮 69
11 **GAIN**(ゲイン)スイッチ ▶▶ 🕮 66
12 **WHITE BAL.**(ホワイトバランス)スイッチ ▶▶ 🕮 76
13 (ホワイトバランスセット)ボタン ▶▶ 🕮 76
14 カードカバー ▶▶ 🕮 39
15 **AUDIO**(録音レベル)カバー ▶▶ 🕮 116



1 **ND FILTER**(ND フィルター)切り換え+/−ボタン ▶▶ 📖 68

2 **PUSH AF**(プッシュ **AF**)ボタン ▶▶ 📖 88

3 **FOCUS**(フォーカス)スイッチ ▶▶ 📖 88

4 **POWERED IS**(パワードIS) ／アサイン**1**ボタン ▶▶ 📖 100, 136

5 **PEAKING**(ピーキング)／アサイン**2**ボタン ▶▶ 📖 89, 136

6 **INFRARED**(赤外撮影)切り換えスイッチ ▶▶ 📖 133

7 **FULL AUTO**(フルオート)スイッチ ▶▶ 📖 50

8 **AWB**(オートホワイトバランス)スイッチ ▶▶ 📖 76

9 **IRIS**(アイリス)スイッチ ▶▶ 📖 70

10 **ZOOM**(ズーム)スイッチ ▶▶ 📖 81

11 **WFM**(波形モニター) ／アサイン**4**ボタン ▶▶ 📖 121, 136

12 **ZEBRA**(ゼブラ)／アサイン**3**ボタン ▶▶ 📖 103, 136

13 **AGC**(オートゲインコントロール)スイッチ ▶▶ 📖 65

14 **SLOT SELECT**(スロット選択)ボタン ▶▶ 📖 41

15 **AUDIO** (録音レベル)切り換えスイッチ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 111

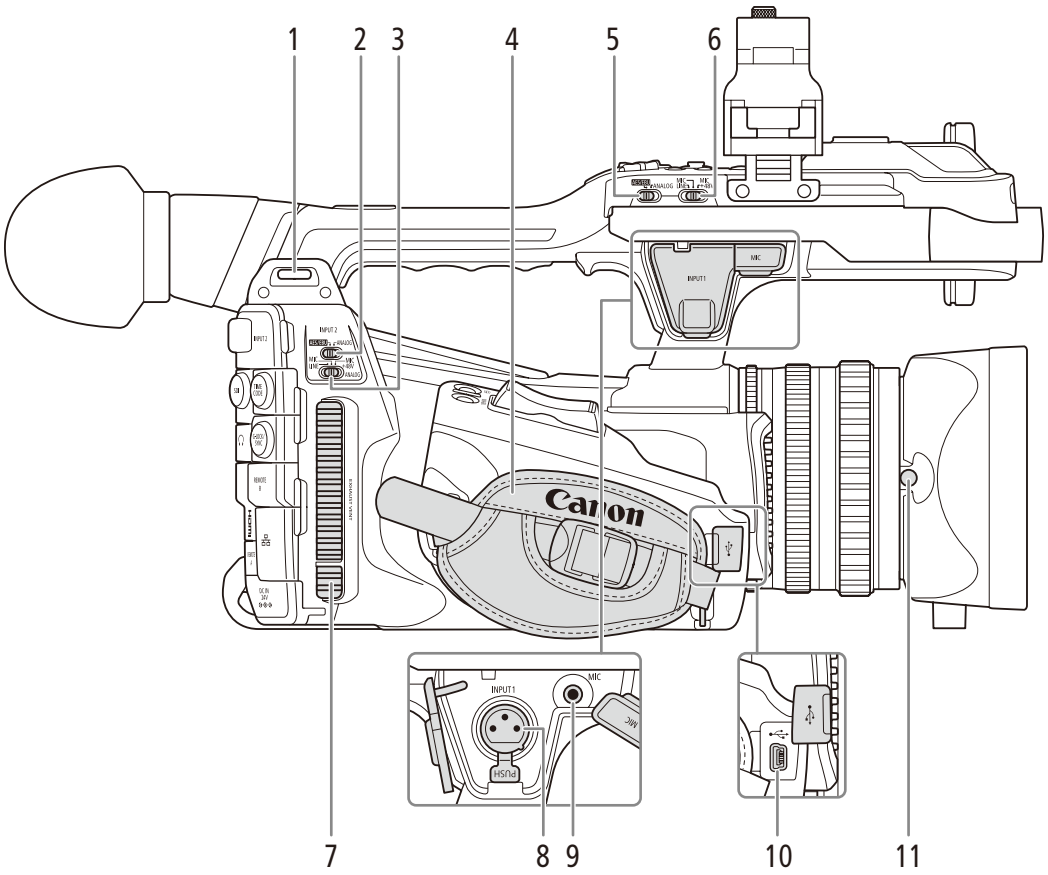
16 ショルダーパット取り付けネジ ▶▶ 📖 15、37

17 カードスロット (SD CARD **A** ／ SD CARD **B**) ▶▶ 📖 41

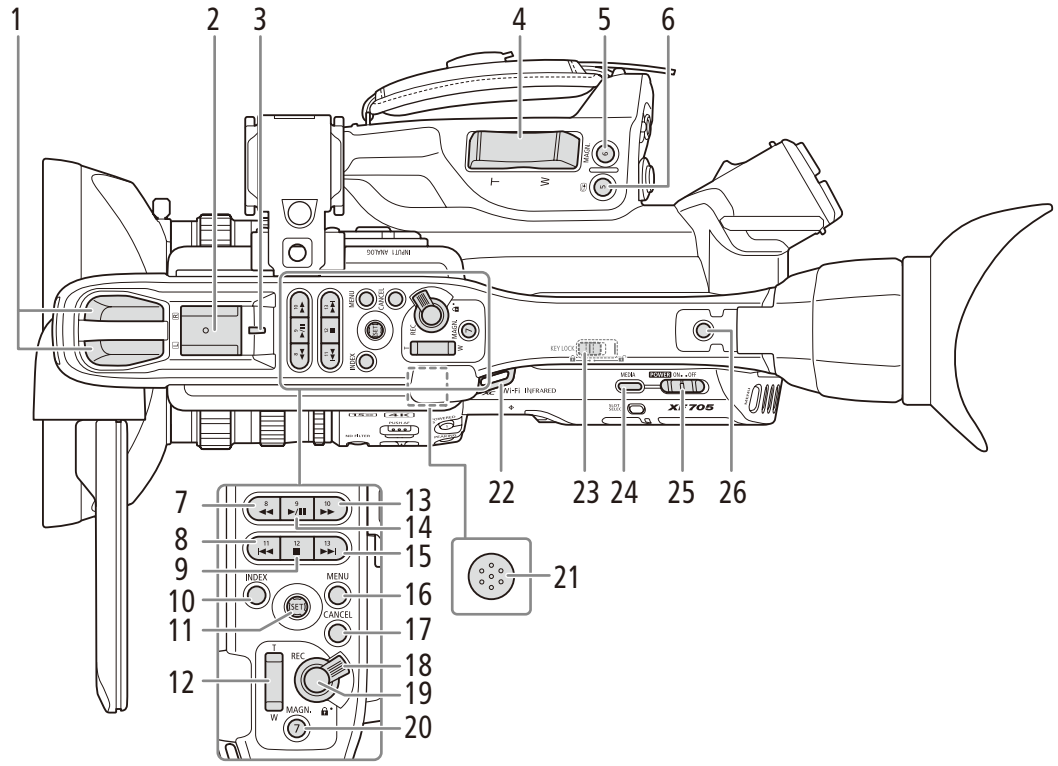
18 カードアクセスランプ (SD CARD **A** ／ SD CARD **B**) ▶▶ 📖 39

19 **AUDIO STATUS**(オーディオステータス)ボタン ▶▶ 📖 245

20 **AUDIO** (録音レベル)調整つまみ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 111



1 ストラップ取り付け部 ▶▶ 🕮 35
2 **INPUT 2**端子切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 111
3 **INPUT2**端子**ANALOG**(アナログ)入力切り換えスイッチ
4 グリップベルト ▶▶ 🕮 35
5 **INPUT 1**端子切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 111
6 **INPUT1**端子**ANALOG**(アナログ)入力切り換えスイッチ
7 **EXHAUST VENT**(排気口) ▶▶ 🕮 57
8 **INPUT 1**端子 (XLR) ▶▶ 🕮 111
9 **MIC**(マイク)端子 ▶▶ 🕮 111
10 USB端子 ▶▶ 🕮 127
11 レンズフード固定ネジ ▶▶ 🕮 31



1 内蔵マイク ▶▶ 111

2 アクセサリーシュー

3 後部タリーランプ ▶▶ 48

4 グリップズームロッカー ▶▶ 83

5 **MAGN.**(拡大)／アサイン**6**ボタン ▶▶ 91, 136

6 (レックレビュー)／アサイン**5** ボタン ▶▶ 129, 136

7 ◀◀(早戻し)／アサイン**8**ボタン ▶▶ 154, 136

8 ⏮(前スキップ)／アサイン**11**ボタン ▶▶ 154, 136

9 ■(停止)／アサイン**12**ボタン ▶▶ 152, 136

10 **INDEX**(インデックス)ボタン ▶▶ 151

11 ジョイスティック ▶▶ 26

12 ハンドルズームロッカー ▶▶ 83

13 ▶▶(早送り)／アサイン**10**ボタン ▶▶ 154, 136

14 ▶/❚❚(再生／一時停止)／アサイン**9**ボタン ▶▶ 152, 136

15 ▶▶⏭(次スキップ)／アサイン**13**ボタン ▶▶ 154, 136

16 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 26

17 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 26

18 ロックレバー ▶▶ 49

19 **REC**(記録開始／停止)ボタン ▶▶ 48

20 **MAGN.**(拡大)／アサイン**7**ボタン ▶▶ 91, 136

21 内蔵スピーカー
- 液晶モニター収納部の天井に配置。

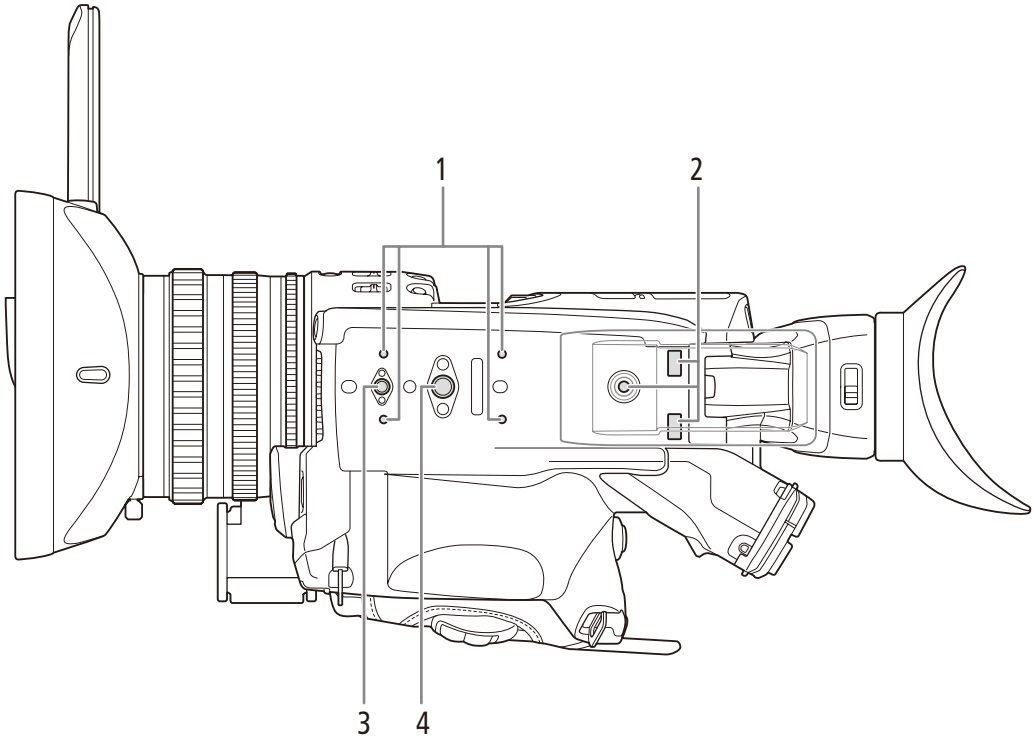
22 ストラップ取り付け部 ▶▶ 35

23 **KEY LOCK**(キーロック)スイッチ ▶▶ 50

24 **MEDIA**(メディア)ボタン ▶▶ 24

25 **POWER**(電源)スイッチ ▶▶ 24

26 1/4インチハンドルネジ
- 市販のアクセサリーを取り付け可能

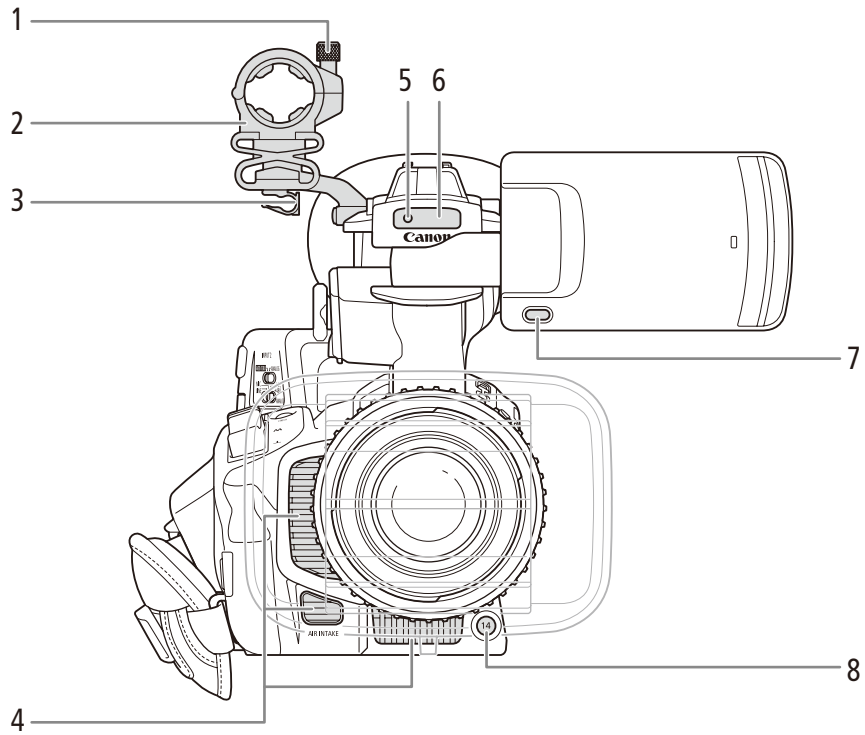


1 別売の三脚アダプター **TA-100**取り付け部

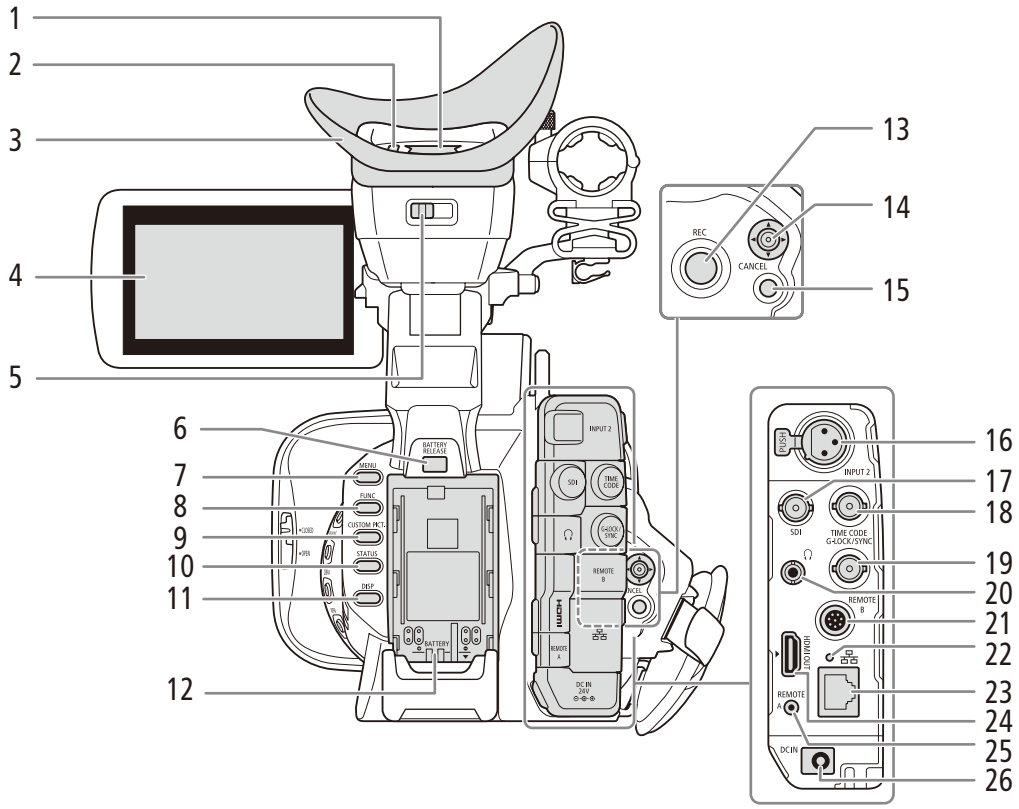
2 ショルダーパット取り付け部 ▶▶ 🕮 37

3 1/4 インチネジ穴（1/4-20 ／深さ8.8mm）

4 3/8 インチネジ穴（3/8-16 ／深さ10mm）



1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 🕮 113
2 外部マイクホルダー ▶▶ 🕮 113
3 ケーブルクランプ ▶▶ 🕮 113
4 **AIR INTAKE**（吸気口） ▶▶ 🕮 57
5 前部タリーランプ ▶▶ 🕮 48
6 リモコン受光部／赤外ライト ▶▶ 🕮 44, 133
7 **MIRROR**（鏡像）切り換えボタン ▶▶ 🕮 34
8 アサイン**14**ボタン ▶▶ 🕮 136

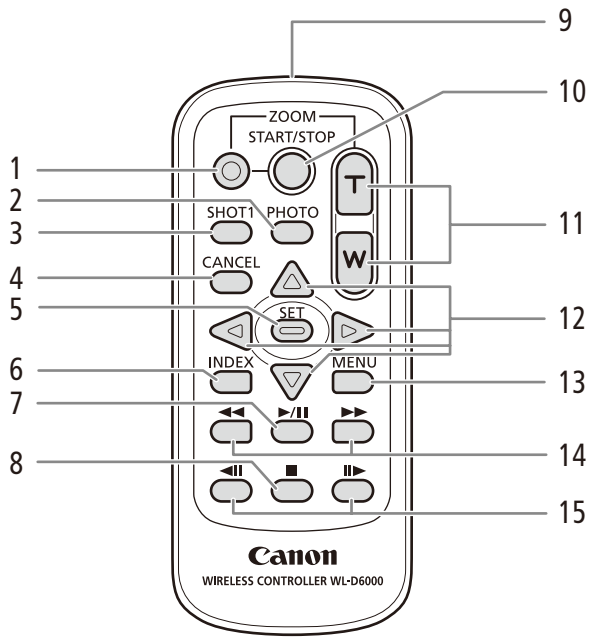


1 ファインダー ▶▶ 🕮 32
2 アイセンサー ▶▶ 🕮 32
3 アイカップ ▶▶ 🕮 32
4 液晶モニター ▶▶ 🕮 33
5 視度調整レバー ▶▶ 🕮 32
6 **BATTERY RELEASE**(バッテリー取り外し)ボタン ▶▶ 🕮 22
7 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 🕮 26
8 **FUNC**(ファンクション)ボタン ▶▶ 🕮 26
9 **CUSTOM PICT.**(カスタムピクチャー)ボタン
10 **STATUS**(ステータス表示)ボタン ▶▶ 🕮 240
11 **DISP**(ディスプレイ)ボタン ▶▶ 🕮 51
12 バッテリー装着部 ▶▶ 🕮 20
13 **REC**(記録開始／停止)ボタン ▶▶ 🕮 48
14 ジョイスティック ▶▶ 🕮 26
15 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 🕮 26
16 **INPUT 2**端子 (XLR) ▶▶ 🕮 111
17 **SDI**端子 ▶▶ 🕮 167
18 **TIME CODE**端子 ▶▶ 🕮 107
19 **G-LOCK/SYNC**端子 ▶▶ 🕮 107
20 🎧(ヘッドホン)端子 ▶▶ 🕮 119
21 **REMOTE B**(リモート)端子 ▶▶ 🕮 45
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) または市販のリモコンを接続する。

22 イーサネットアクセスランプ ▶▶ 🕮 184
23 品 (イーサネット)端子 ▶▶ 🕮 184
24 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 🕮 167
25 **REMOTE A**(リモート)端子 ▶▶ 🕮 45
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) または市販のリモコンを接続する。

26 **DC IN**端子 ▶▶ 🕮 23

リモコン WL-D6000の名称



1 誤操作防止ボタン ▶▶ 48
2 **PHOTO**(フォト)ボタン ▶▶ 208
3 **SHOT1**(ショットマーク1)ボタン ▶▶ 123
4 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 26
5 **SET**(設定)ボタン ▶▶ 26
6 **INDEX**(インデックス)ボタン ▶▶ 151
7 **►/II**(再生／一時停止)ボタン ▶▶ 152
8 ■(停止)ボタン ▶▶ 152
9 送信部 ▶▶ 44
10 **START/STOP**(スタート／ストップ)ボタン ▶▶ 48
11 **ZOOM**(ズーム) T/Wボタン ▶▶ 86
12 △/▽/◁/▷ボタン ▶▶ 26
13 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 26
14 **◀◀/▶▶**(早戻し／早送り)ボタン ▶▶ 154
15 **◀II/II▶**(コマ戻し／コマ送り)ボタン ▶▶ 154

2

準　備

電源を準備する 20
日時を設定する 25
メニューで設定を変える 26
ビデオカメラを準備する 31
カードを準備する 38
リモート撮影の準備をする 44

電源を準備する

電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。

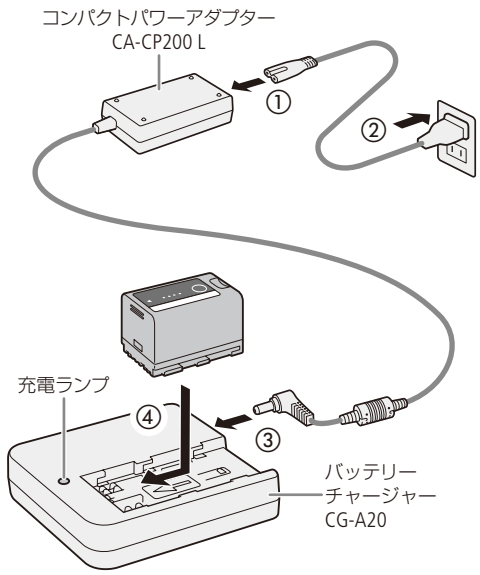
バッテリーを使う

本機は、バッテリーパック BP-A30（付属）またはBP-A60（別売）を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位（目安）の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電する

バッテリーチャージャー CG-A20（付属）またはCG-A10（別売）を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。（📖267）

例：CG-A20を使って充電するとき



2秒間に1回点滅 → 0 ～ 49%
2秒間に2回点滅 → 50 ～ 74%
2秒間に3回点滅 → 75 ～ 99%

1 付属のコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）に電源コードを差し込む（①）

2 電源プラグをコンセントに差し込む（②）

3 バッテリーチャージャーにコンパクトパワーアダプターのDCプラグを差し込む（③）

4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる（④）
- 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
- 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量（目安）を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。

5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す

6 電源プラグをコンセントから抜く

7 バッテリーチャージャーからコンパクトパワーアダプターのDCプラグを抜き、コンパクトパワーアダプターから電源コードを抜く

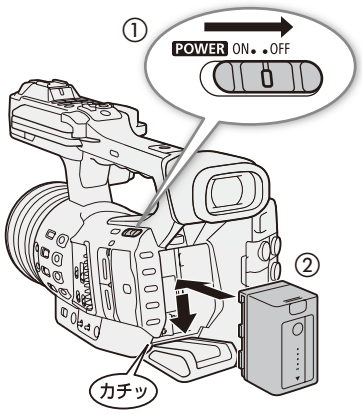
ご注意

- バッテリーチャージャーに指定された製品以外を接続しないでください。
- 故障の原因となりますので、バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターを固定して使用しないでください。
- 10 ℃ ～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

MEMO

- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、267ページをご覧ください。
- バッテリーの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、275ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。バッテリーパックを本機に取り付けると、バッテリー/アワーメーターステータス画面（🕮 248）でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

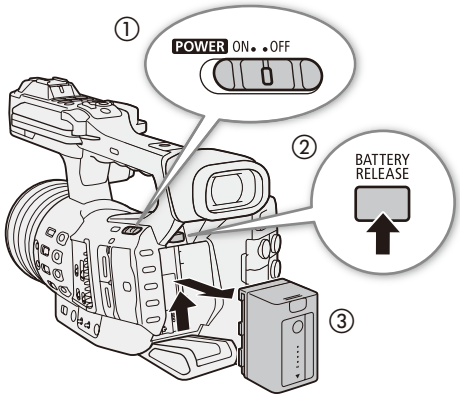
本体に取り付ける



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 バッテリーパックを図のように奥に押しつけながら下にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる（②）

本体から取り外す

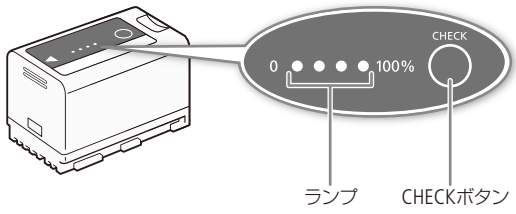


1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 BATTERY RELEASE（バッテリー取り外し）ボタンを押しながら（②）、バッテリーパックを上にスライドさせて、バッテリーパックを取り出す（③）

残量を確認する

BP-A30（付属）またはBP-A60（別売）は、本機に装着しなくても、バッテリー上のボタンを押して残量（目安）を確認できます。また、本機に取り付けて電源を入れたあとは、カメラモード／メディアモードの各画面（🕮 51、153）や、バッテリー／アワーメーターステータス画面（🕮 248）で、分単位の残量（目安）を確認することもできます。

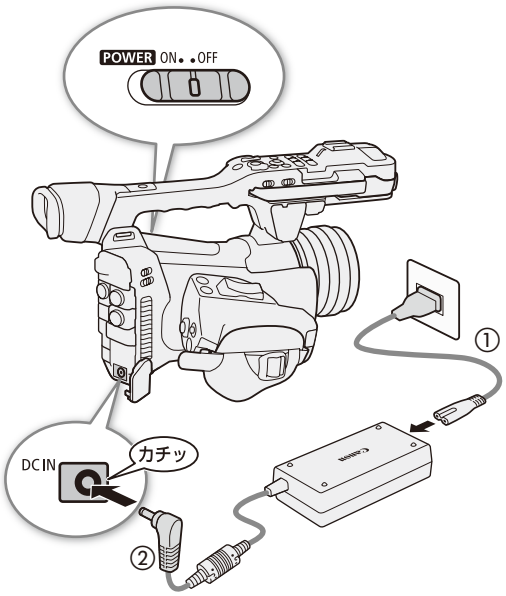


1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す
- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量（目安）を確認できる。

☀ ○ ○ ○	0 ～ 25%
☀ ☀ ○ ○	26 ～ 50%
☀ ☀ ☀ ○	51 ～ 75%
☀ ☀ ☀ ☀	76 ～ 100%

コンセントにつないで使う

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 L（付属）を使って、本機をコンセントにつないで使用できます。コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することもできます。



1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む（①）

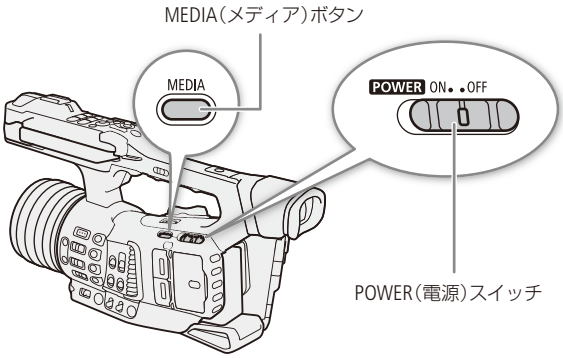
2 DC IN端子にDCプラグを接続する（②）

ご注意

- コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- 故障の原因となりますので、コンパクトパワーアダプターを固定して使用しないでください。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードがあります。



カメラモードで起動するとき

- POWER（電源）スイッチを押しながら「ON」側にスライドさせる。
- カメラモードでMEDIA（メディア）ボタンを押すと、メディアモードになる。

メディアモードで起動するとき

- MEDIA（メディア）ボタンとPOWER（電源）スイッチを同時に押しながら、POWER（電源）スイッチを「ON」側にスライドさせる。
- メディアモードでMEDIA（メディア）ボタンを押すと、カメラモードになる。

電源を切るとき

- POWER（電源）スイッチを押しながら、「OFF」にスライドさせる。

日時を設定する CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

■ 日付と時刻を設定する

① ジョイスティックを上下に押してタイムゾーンを選び、ジョイスティックを垂直に押す。
- カーソルが「年」に移動する。
- ジョイスティックを押すたびに、タイムゾーン→年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
- ジョイスティックを左右に押しても、カーソルを移動できる。

② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。

③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを押す。
- 日時設定が完了する。

MEMO

撮影画面に日時を表示するには

➔ 5 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display2」➤「日付/時刻」(📖 229)

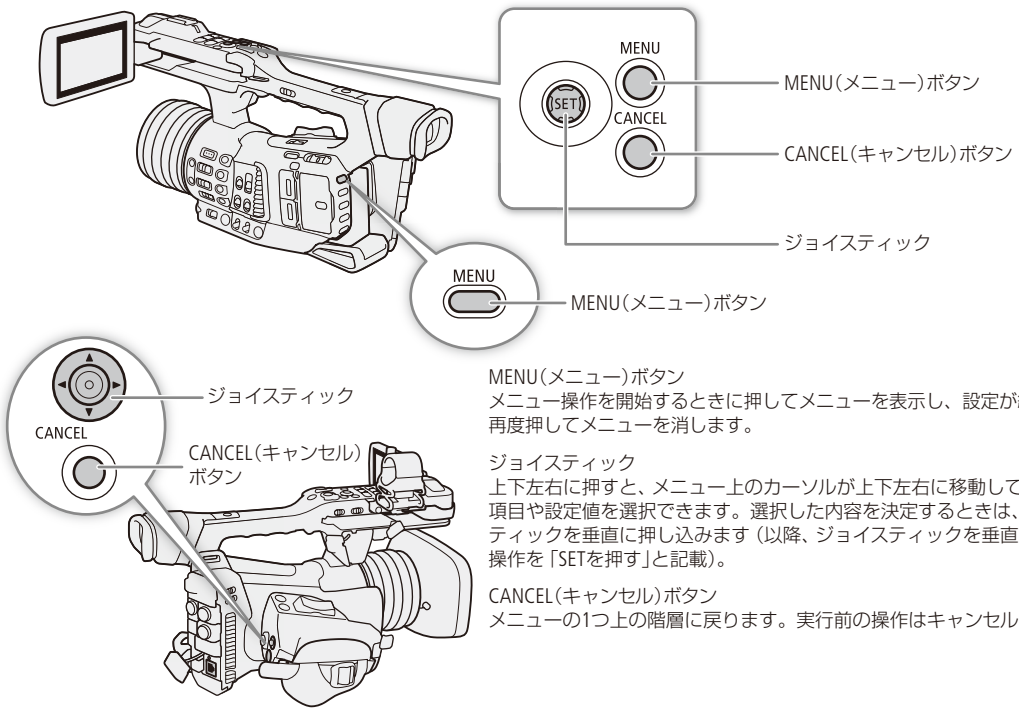
タイムゾーン、日時設定を変更するには

➔ 1 システム設定メニュー ➤「タイムゾーン」または「日付/時刻」(📖 235)

- 本機を3 ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付/時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください (📖 268)。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます (📖 127)。

メニューで設定を変える CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(214)をご覧ください。



MENU(メニュー)ボタン
メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

ジョイスティック
上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます(以降、ジョイスティックを垂直に押し込む操作を「SETを押す」と記載)。

CANCEL(キャンセル)ボタン
メニューの1つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

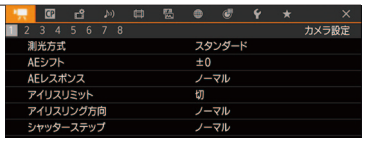
■ メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例:ピーキングに「ピーキング2」を選択する場合

1 メニューを表示させる

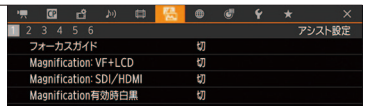
① MENUボタンを押す。
- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF/ONすると初期状態に戻る)。



2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを左右に押して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのメニュー項目が表示される。

② SETを押す。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを下に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- メニューとメニュー項目の間に表示される数字は、メニューのページ番号である。メニューが複数ページある場合、カーソルがメニュー項目に移動しているときにジョイスティックを左右に押すと、ページが切り換わる。

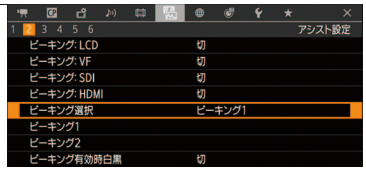


3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- 「CANCELボタンを押す」*、「↩を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

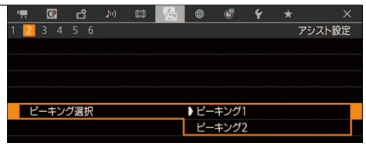
* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。



4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。

② SETを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



5 メニューを消す

① MENUボタンを押す。
- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

操作説明におけるメニュー階層の表記のしかた

メニューアイコン　メニューのページ番号　メニュー名 ➤「階層1」➤「階層2」➤「階層3」

MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面に SET、CANCEL、MENU が表示されることがあります。このときはガイドに応じて、それぞれ、SET（ジョイスティック）、CANCELボタン、MENUボタンを押してください。
- リモコン（付属）で操作する場合、リモコンの△/▽/◁/▷/SET（設定）ボタンがジョイスティックと同等に機能します。リモートコントローラー RC-V100（別売）の使用時も同様に、RC-V100の上/下/左/右/SET（設定）ボタンで操作できます。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます（🕮 240）。

マイメニューを使う CAMERA MEDIA

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。マイメニューにはメニュー項目を6個まで登録できます。また、マイメニューは5セット保存できるので、必要に応じて切り換えて使用できます。アサインボタン（🕮 136）にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。

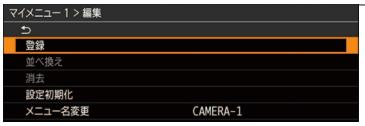
マイメニューを選択する

① ★マイメニューを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、「1」から「5」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

マイメニューを登録する

現在選択しているマイメニューに、メニュー項目を登録することができます。

例：マイメニュー 1に7 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を追加する場合



1 マイメニューの「登録」を選ぶ

① ★マイメニュー ➤「編集」➤「登録」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき

CANCELを押す。

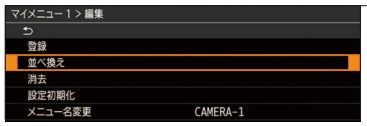
2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

① 7 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを2回押す。
- 「カラーバータイプ」が現在選択しているマイメニューに登録される。

登録したメニュー項目を並べ換える

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。

例：マイメニュー 1の場合



1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「並べ換え」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在選択しているマイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。

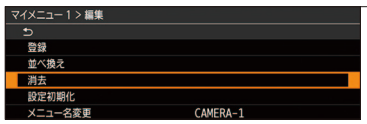
2 メニュー項目を選んで並べ換える

① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだメニュー項目の左に⬍が表示される。

② ジョイスティックを上下に押して、移動先を選ぶ ➤ SETを押す。
- メニュー項目が移動する。

登録したメニュー項目を消去する

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を1項目ずつ、またはすべて消去することができます。



1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「消去」または「設定初期化」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 消去する

「消去」を選んだとき

消去するメニュー項目を選ぶ ➤ SETを押す。

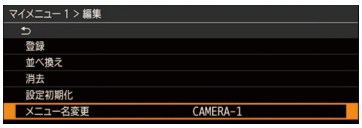
① 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。

② SETを押す。

マイメニューの名前を変更する

5セットのマイメニューそれぞれに名前を設定できます。

例：マイメニュー 1の場合



① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「メニュー名変更」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 8桁の任意の英数字記号を入力し、「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」

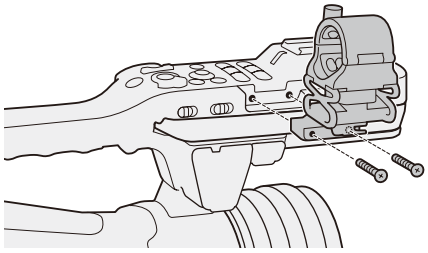
文字入力のしかた

No.	意味
①	入力フィールド* * 入力できる文字数は、メニューによって異なる。
②	文字入力キー
③	カーソルの移動
④	1文字消去
⑤	現在の文字数／入力可能文字数
⑥	入力を決定 キーボードを終了
⑦	入力を中止

ビデオカメラを準備する

ここではマイクホルダーやレンズフードの取り付け、ファインダーや液晶モニター、グリップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

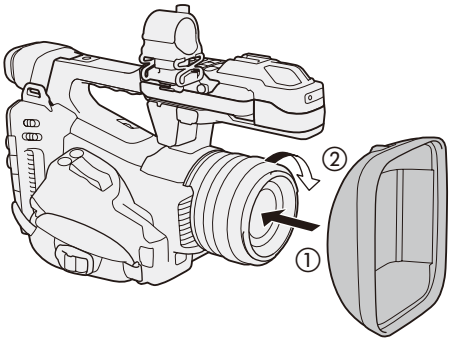
■ マイクホルダーを取り付ける

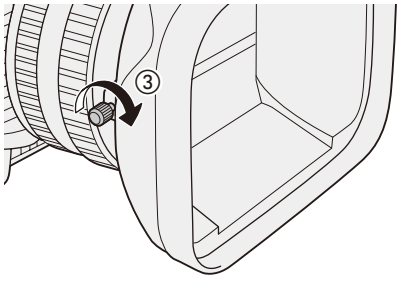


1 付属のネジでマイクホルダーをハンドル部に取り付ける

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのレンズバリアを閉じれば、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。
ビデオカメラの持ち運びや保管時は、レンズフードを取り外してレンズキャップをご使用ください。





1 レンズキャップを取り外す
- レンズキャップとレンズフードは、同時に使用できません。

2 レンズ先端部に、固定ネジを下にしてフードをはめ込み（①）、時計方向に回す（②）
- フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなる。
- レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付ける。

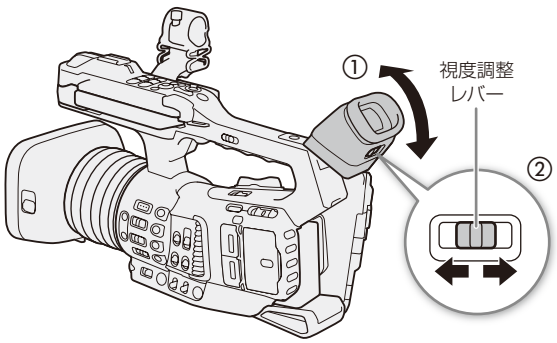
3 固定ネジでフードを固定する（③）

ファインダーを使う

本機のファインダーは有機ELパネルを採用しており、ファインダーをのぞくと自動的に点灯し、のぞくのをやめると自動的に消灯します。

ファインダーの角度と視度を調整する

ファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



1 ファインダーを見やすい角度に調整する（①）

2 本機の電源を入れる（📖 24）

3 視度調整レバーを左右に動かして調整する（②）

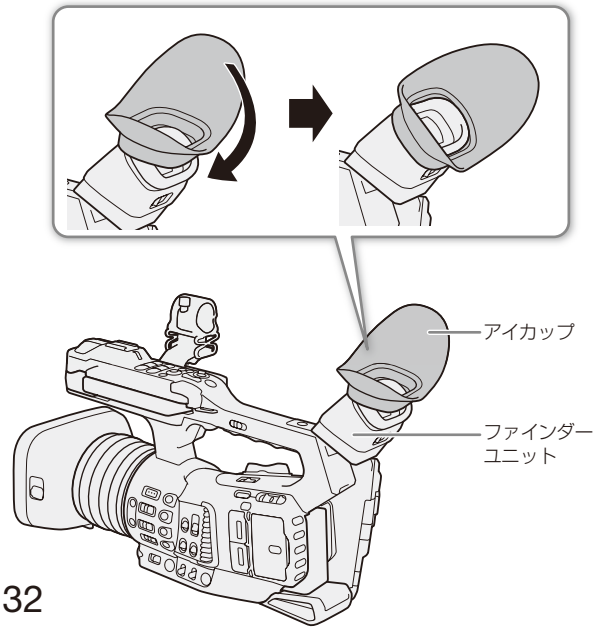
MEMO

ファインダーを常に点灯させるには

➡ 2 モニタリング設定メニュー ➤「VFアイセンサー」（📖 227）。

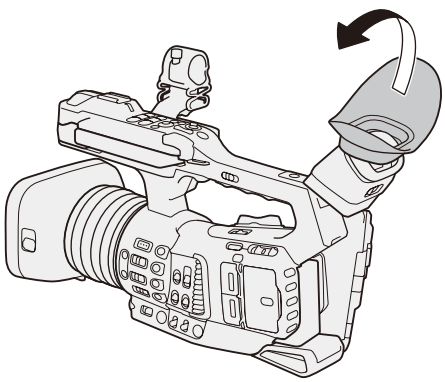
アイカップを取り付ける

ファインダーユニットのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。なお、左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。



アイカップを取り外す

アイカップの側面を引っ張るようにして外します。



ご注意

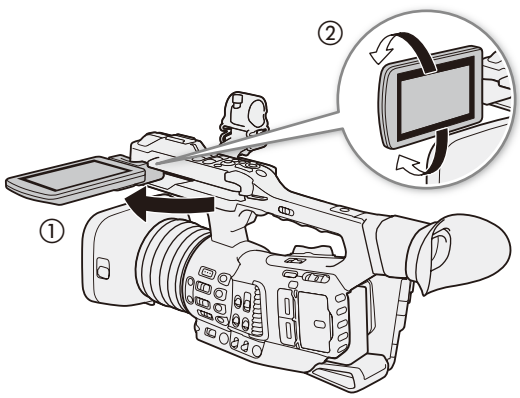
ファインダーキャップを取り付けてファインダー内部を保護する

太陽光によってファインダー内部が破損するのを防ぐため、ファインダーを使用しないときはファインダーキャップを取り付けてください。ファインダー内のキズ／ゴミの防止にも有効です。取り付けるときは、ファインダーユニットのゴム部分の内側にはめ込んでください。

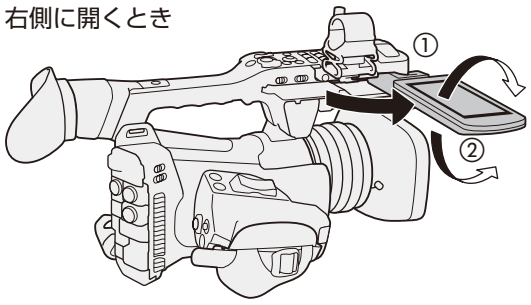
■ 液晶モニターを使う

本機の液晶画面は、ハンドルの左右いずれにも開くことができます。壁際の撮影など制約のある撮影ポジションにも柔軟に対応できます。

液晶モニターを開く



右側に開くとき



1 収納されている液晶モニターを左または右から押し、出てきた液晶モニターをハンドルから90度の位置まで回転させる（①）

- 液晶モニターをハンドルの右側に開くときは、収納状態で左から押し出し、右側に回転させます。

2 液晶モニターを縦方向に回転させて、見やすい角度に調整する（②）

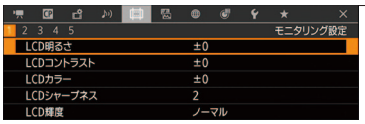
MEMO

- 撮影スタイルに合わせて、画面の反転のしかたを切り換えることができます。液晶モニターのMIRROR（反転表示）切り換えボタンを押すたびに、カメラモード時は上下反転 → 反転なしの順に、メディアモード時は上下左右反転 → 反転なしの順に切り換わります。なお、カメラモードの場合、上下反転のときは画面表示が消去されます。

■ 液晶モニター／ファインダーの画面を調整する CAMERA MEDIA

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、輝度の各項目を、液晶モニターとファインダーそれぞれ個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



1 調整する

① 1 モニタリング設定メニュー（LCD）または2 モニタリング設定メニュー（VF）を選ぶ。
② 調整する項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 接頭語が「LCD」または「VF」の「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度」のいずれかを選ぶ。
- ファインダーが消灯していると、2 モニタリング設定メニュー（VF）の調整する項目は灰色で表示される。

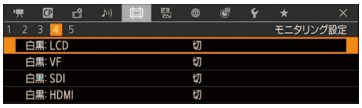
③ ジョイスティックを上下に押して調整する ➤ SETを押す。
④ 調整する項目について、②③を繰り返す。

MEMO

- 「LCD設定」または「VF設定」を割り当てたアサインボタンを押して、対応するメニューを表示することができます。

液晶モニターとファインダーを白黒にする

画面を白黒表示にします。白黒表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。

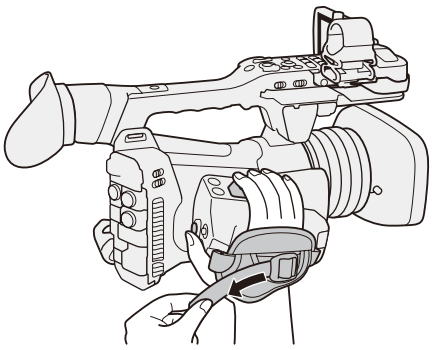


① 4 モニタリング設定メニュー ➤「白黒：LCD」または「白黒：VF」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

グリップを使う

グリップベルトを調節する

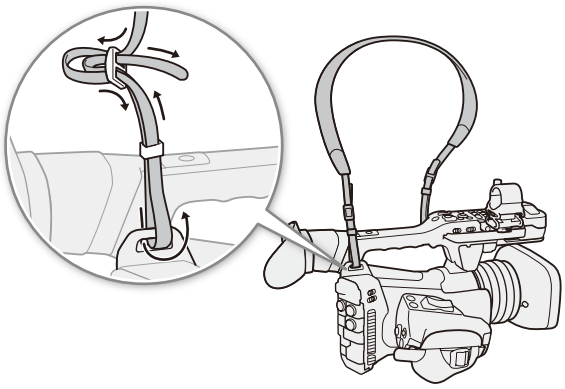
親指をREC(記録開始／停止)ボタンに、人さし指と中指をズームロッカーに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



ご注意

- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

ショルダーストラップを取り付ける



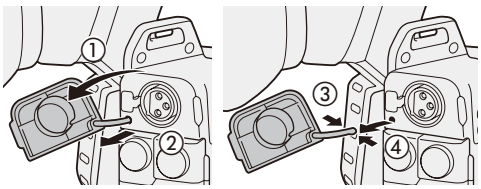
ご注意

- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

■ 端子カバーを取り外す／取り付ける

本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

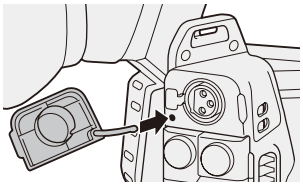
取りはずす



1 端子カバーを開けて、引き出す（①、②）

2 端子カバーの取り付け部を左右からつかみ（③）、引き出す（④）

取り付ける



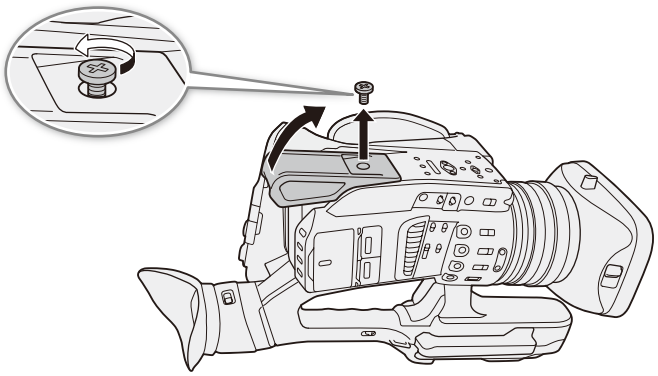
端子カバーの取り付け部を取り付け口に差し込む

MEMO

- 取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

■ ショルダーパッドを取り外す

本機のショルダーパッドは取り外すことができます。

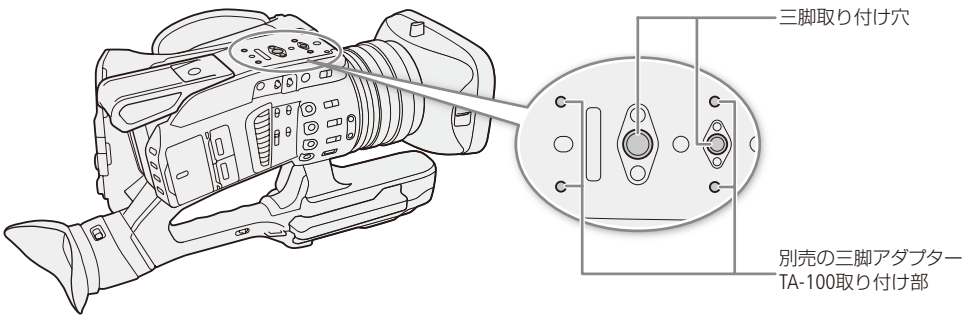


＋のドライバーを使用して、ネジを外してショルダーパッドを取り外す。

本体から取り外したショルダーパッドやネジは紛失しないようご注意ください

■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの径が1/4インチまたは3/8インチの三脚を取り付けることができます。



ご注意

- ネジの長さがネジ穴の深さを超える三脚を使用すると、本体を破損することがあります（🕮 15）。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード*1 に記録します（下表）。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*2 に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。
SDカードを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（📖 40）。

*1 SDカードは、カスタムピクチャーファイルや設定データの保存にも使用します。
*2 以降、カードスロットAに入れるSDカードを「カードA」、カードスロットBに入れるSDカードを「カードB」と記載します。

■ 使用可能なSDカード

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS 10
UHSスピードクラス*1 *2	U1、U3
メーカー *3	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。
*2 以下のときは、UHSスピードクラス3のSDカードをおすすめします。
- 解像度が3840x2160のとき。
- 「スローモーション記録」を設定しているとき。

*3 これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2018年3月現在）。

ご注意

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

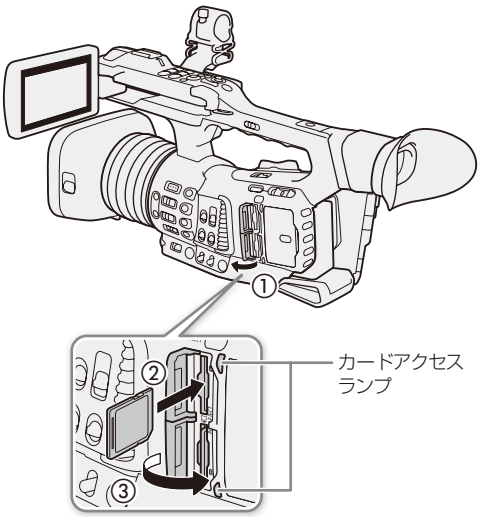
SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

MEMO

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ カードを入れる／出す



1 カードカバーを開ける（①）

2 カードのラベル面をファインダー側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる（②）

カードを出すとき

❶ カードアクセスランプが消灯していることを確認する。

❷ カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カードカバーを閉じる（③）

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

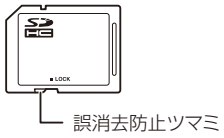
ご注意

- カードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



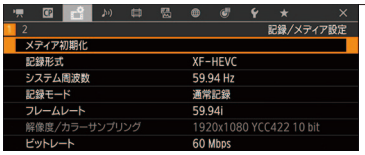
カードアクセスランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑色）	動画や静止画*が記録／再生可能かつ、スロットが記録／再生先として選択されている。 * カードBのみ
消灯	● カードが入っていない、またはカードにアクセスしていない。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている。 ● 別のスロットが選択されている。

カードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（237）。

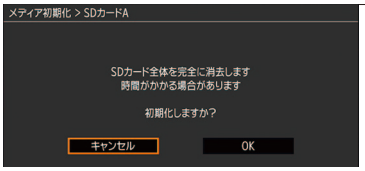
初期化する CAMERA MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときは、カードを初期化します。



1 初期化するカードを選ぶ

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「メディア初期化」を順に選ぶ。
② 「SDカードA」または「SDカードB」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



2 初期化を実行する

① 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。
② SETを押す。

ご注意

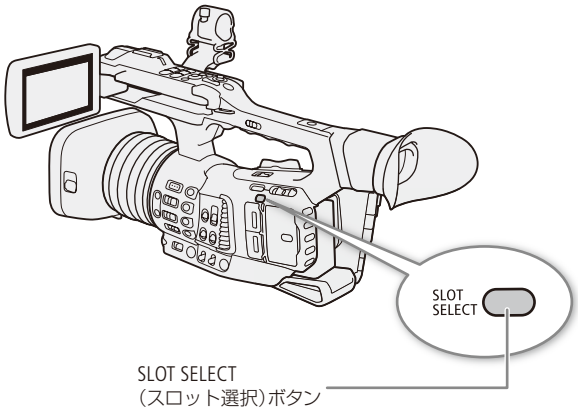
- 初期化すると、OKマークを付けた動画、静止画、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルなど、カード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- カードの初期化は、カードによっては数分かかることがあります。

MEMO

- 動画記録中に、もう一方のカードを初期化することができます。
- 「メディア初期化」を割り当てたアサインボタンを押して、「メディア初期化」サブメニューを表示することができます（136）。

■ 記録／再生に使用するカードスロットを切り換える CAMERA MEDIA

本機は、2つのカードスロットを備えています（SD CARD🅐 / SD CARD🅑）。両方のスロットにカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



1 SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押す

- 選択されたスロットのカードアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 両方のスロットにカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモートの「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

■ 2つのカードに記録する方式を選ぶ CAMERA MEDIA

2つのカードに、連続して映像を記録するリレー記録と、同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録： 撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく連続して記録することができます。SD CARD🅐⇔SD CARD🅑両方向で連続記録が可能です。

2 記録／メディア設定メニュー ➤「リレー記録」で「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

ダブルスロット記録： 同じ映像をA/B両方のカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。

2 記録／メディア設定メニュー ➤「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- スローモーション撮影時はリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のカードに書き込みエラーが発生しても、他方のカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録またはスローモーション記録との併用はできません。
- リレー記録で分割されたMP4クリップのファイルは、パソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Too(🕮 174)を使用すれば、1つのファイルに結合できます。

カードの記録可能時間を確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのときは、各スロットに入っているカードの記録可能時間(分単位)*1と、選択されているスロットを画面で確認できます(🕮 51)。メディアステータス画面(🕮 246)を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間*1、静止画記録可能枚数*2、スピードクラスを確認できます。

*1 記録可能時間は、現在設定しているビットレート(🕮 58)を元に算出します。

*2 静止画はカードBのみ。

クリップを修復する CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、カードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。

1 動画のインデックス画面を表示する

- エラーメッセージが表示されたカードのインデックス画面を表示する。

2 クリップを修復する

① ? が表示されているサムネイルを選ぶ ➤ SETを押す。
② 「クリップ修復」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだクリップが修復される。
- 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。

④ SETを押す。

MEMO

修復したクリップについて

- MP4動画の場合、インデックス画面では▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

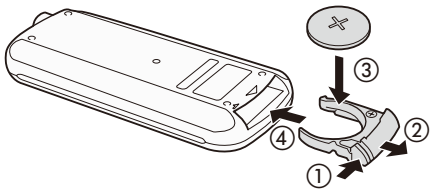
リモート撮影の準備をする CAMERA MEDIA

本機は、付属のリモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000やリモートコントローラー RC-V100（別売）などからリモートで撮影できます。Wi-Fiを使って本機をネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影することもできます（ブラウザーリモート）。ブラウザーリモートについては「ネットワーク」の章（175）をご覧ください。

リモコン（付属）を使う

付属のリモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000を使うと、撮影／再生時に本機をワイヤレスで操作できます。

電池を入れる



1 ツマミを押して（①）引き抜く（②）

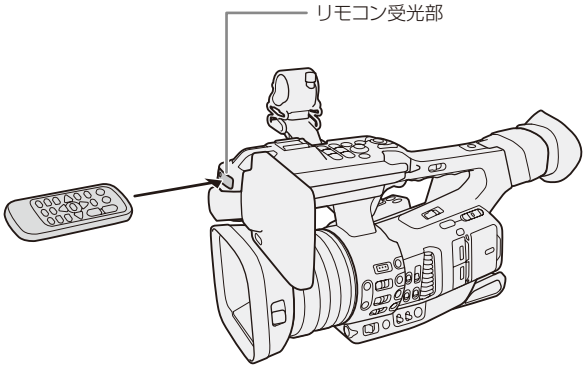
2 ＋側を上にして付属の電池を入れる（③）

3 リモコンに取り付ける（④）

リモコン（付属）を有効にする

① 4 システム設定メニュー ➤「WL-D6000」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

リモコン（付属）を使って操作する



1 リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

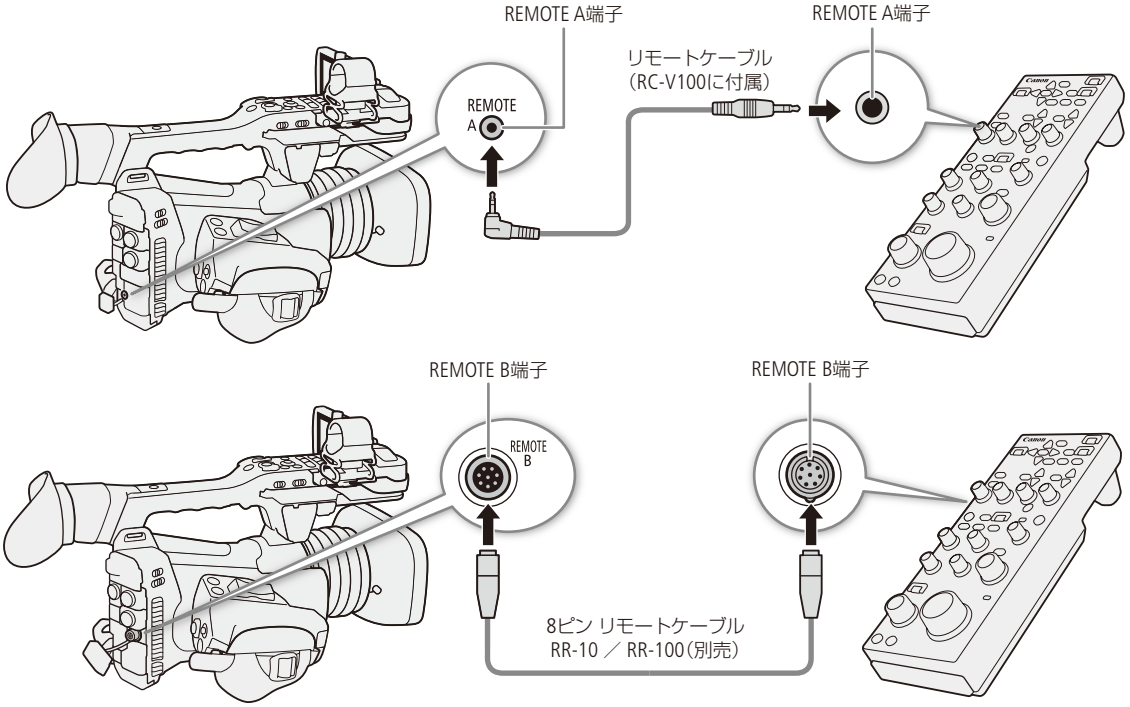
- リモコン操作中は、タリーランプが点灯する。

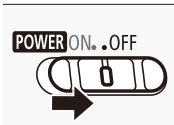
MEMO

- リモコンのSTART/STOP（スタート／ストップ）ボタンまたはZOOM（ズーム）ボタンを操作するときは、誤操作防止ボタンと同時に押してください。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

本機のREMOTE A端子またはREMOTE B端子(🕮 17)にリモートコントローラーRC-V100(別売)を接続すると、リモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッター、ズームなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。また、REMOTE B端子で接続すると、RC-V100の自照式ボタンがすべて点灯可能となるほか、RC-V100からの複数の操作を同時に受け付けることができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。





1 POWER(電源)スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ

- あらかじめ、RC-V100の端子切り換えスイッチを、使用する端子に切り換える。

2 POWER(電源)スイッチをONにする

3 RC-V100を有効にする

① 4 システム設定メニュー ➤「REMOTE端子」を順に選ぶ。

② REMOTE B端子に接続しているときは「RC-V100(REMOTE B)」を、REMOTE A端子に接続しているときは「RC-V100(REMOTE A)」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 本機がフルオートモード（📖 50）のときは、RC-V100から、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス（WHITE BALANCE R / Bダイヤルを除く*）を設定できません。
  * 赤外撮影のときは、WHITE BALANCE R/Bダイヤルも含め、設定できません。
- RC-V100の画質調整（📖 147）は、CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Activate Other Settings」が「On」のときのみ使用できます（📖 140）。
- REMOTE A端子とREMOTE B端子を同時に使うことはできません。
- リモートコントローラー RC-V100を8ピン リモートケーブル（別売）で接続する場合は、RC-V100のシリアル番号を確認してください。シリアル番号が01 XXXXのときは、RC-V100のファームウェアの更新が必要です。ファームウェアの更新をご希望のお客様は、お客様相談センターにご相談ください。

撮　影

動画を撮影する..... 48

映像の信号形式を選ぶ..... 58

カメラダイレクト設定を使う..... 60

シャッタースピードを調整する... 61

ゲインを調整する 65

NDフィルターを切り換える 68

アイリスを調整する..... 69

基本的なガンマ／カラーを
設定する..... 74

ホワイトバランスを調整する..... 76

ズームを操作する 81

フォーカスを調整する..... 88

手ブレ補正を使う 100

マーカー／ゼブラパターンを
表示する..... 101

タイムコードを設定する..... 104

ユーザービットを設定する 106

外部機器と同期をとる..... 107

音声を記録する..... 111

カラーバー／テストトーンを
記録する..... 120

WFM機能を表示する..... 121

ショットマークを付加する 123

OKマーク／チェックマークを
付加する..... 124

メタデータを操作する 125

GPS情報を記録する..... 127

レックレビューで確認する..... 129

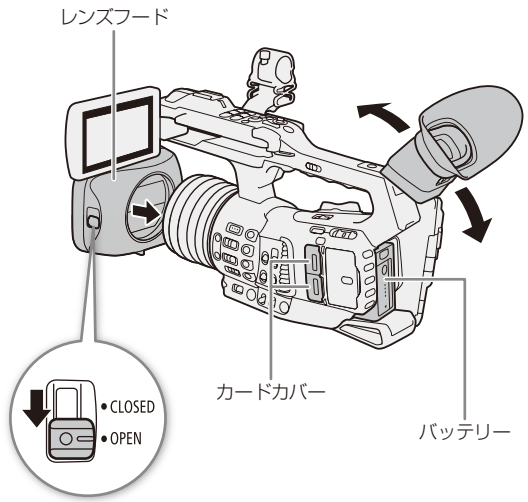
特殊記録を行う..... 130

赤外撮影（INFRARED）を行う ... 133

動画を撮影する CAMERA MEDIA

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、111ページをご覧ください。

■ 準備する



1 レンズフードを取り付ける（🕮 31）

2 充電したバッテリーパックを取り付ける（🕮 21）

3 カードを入れる（🕮 39）

- リレー記録（🕮 41）、ダブルスロット記録（🕮 41）を行うときは、カードを2枚入れる。

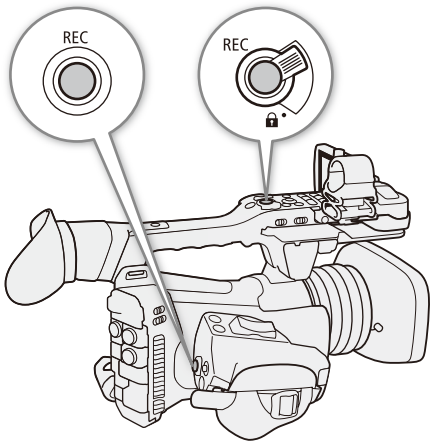
4 レンズバリアを開ける

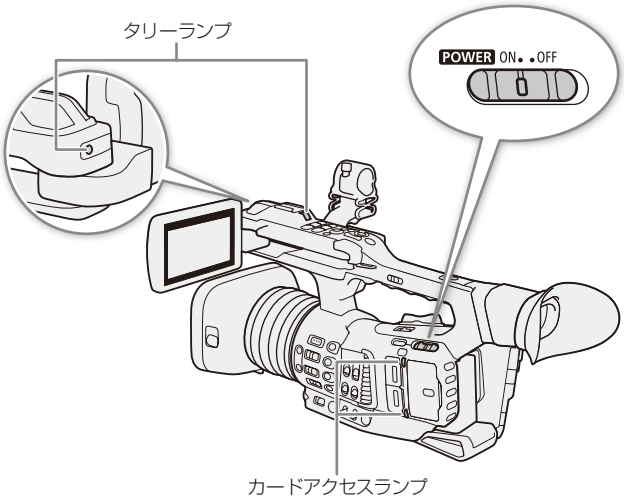
5 ファインダーを調整する（🕮 32）

MEMO

- 記録されるXF-HEVCクリップ／XF-AVCクリップに、撮影者や撮影場所、撮影内容などの情報をユーザーメモとして付加することができます。ユーザーメモを付加するときは、撮影前に設定してください（🕮 125）。

■ 撮影する





1 POWER(電源)スイッチを押しながら「ON」にする (📖 24)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY)になる。
- カードが入っているカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているカードスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。

2 REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面に「●REC」が表示される。
- グリップのRECボタン、ハンドルのRECボタンのいずれを押しても撮影開始できる。
- リモコン (付属)で操作するときは、START/STOPボタンと誤操作防止ボタンを同時に押す。

3 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY) になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- ハンドルのRECボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したままにしたいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- レックレビュー機能 (📖 129)を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- アサインボタンに「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当て、アサインボタンを押すと、最後に記録したXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップにOKマーク／チェックマークを付加できます (📖 136)。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定してXF-HEVC動画／ XF-AVC動画を撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する」(📖 143)または「メタデータを操作する」(📖 125)をご覧ください。
- 1つのクリップには6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- 動画を記録するときは、カードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

分割して記録されるクリップについて

次の場合、撮影した映像は別々のクリップとして記録されます。

- 撮影中にリレー記録 (📖 41)が発生した。
- SDHCメモリーカードに記録時、クリップ内の映像ファイル (ストリーム)が約4GBに達した (本機での再生時は、連続して再生可能)。

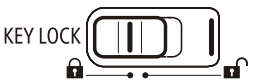
MP4クリップをパソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Toolを使うと、このように分割されたMP4クリップを1つのファイルに結合することができます (📖 173)。

● 液晶モニターやファインダーの映像が適切な映像になるように、クリップに応じてビデオカメラ内部で制御を行っています。
  ■ カスタムピクチャーの「Gamma」の設定が「Normal 1 ～ Normal 4」、「Wide DR」、「PQ」、「HLG」のときは、適切な設定のモニターで表示した場合とほぼ同等の表示になるように制御しています。
  ■ カスタムピクチャーの「Gamma」の設定が「Canon Log 3」のときは、記録時の色域設定によらず、BT.709色域を設定したときとほぼ同等の色味で表示されるように制御しています。

誤操作を防止する（キーロック）

KEY LOCK（キーロック）スイッチを🔒（キーロック）にすると、カメラモード、メディアモードのまま、RECボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。KEY LOCKスイッチを🔓にするとキーロックは解除されます。

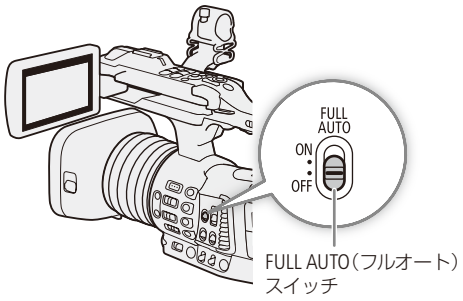
* RECボタンを無効にすることもできます（📖 236）。付属のリモコンWL-D6000やリモートコントローラー RC-V100（別売）、ブラウザーリモートからは操作できます。



フルオートモードで撮影する

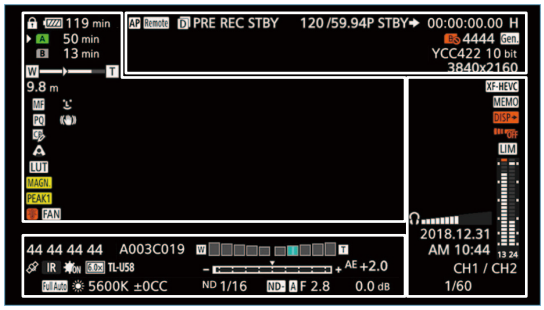
FULL AUTO（フルオート）スイッチをONにすると本機がフルオートモードになります。このときはアイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスがすべてオートに設定され、明るさとホワイトバランスが常に自動で調整されます*。ただし、フルオートモードにしてもフォーカスはオートになりません。

* 測光方式（📖 73）は「Standard」に、AEシフト（📖 72）は「±0」に、AGCリミット（📖 66）は「切/33 dB」に、それぞれ設定されます。

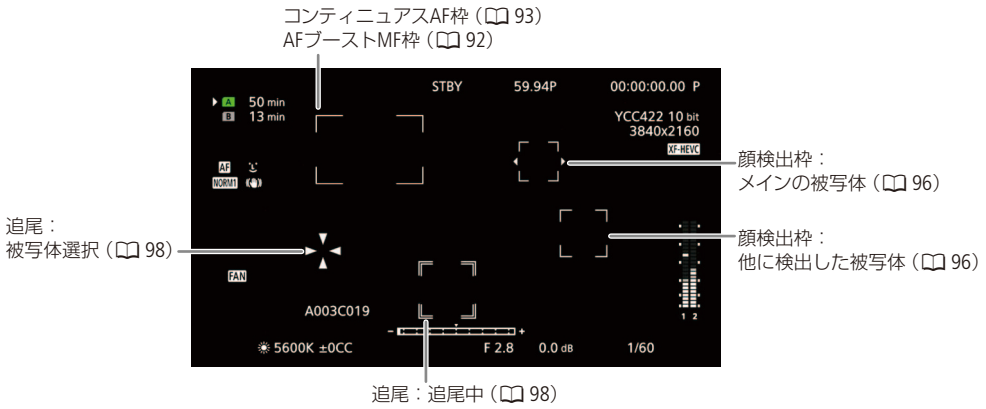


撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。各項目の表示の入／切はカスタムディスプレイ（「Custom Display 1」／「Custom Display 2」。🕮 228）で指定できます。以下の表内では「CD1」、「CD2」と省略表記します。



AF枠



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
🔒	**キーロック**（🕮 50） CD1→キーロック
（赤色） 000 min	**バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。**は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。 CD2→バッテリー残量

アイコン／表示	説明
記録メディア状態／記録可能時間（分） CD2→記録可能時間	
A / B 00 min	**カードの状態** 緑色：記録可能／黄色：空き容量が少ない／白色：認識中。選択中のカードに▶が付く。
A B（赤色） END	**カードの空き容量なし**
A B（赤色）	**カードなし／記録不可能**
W T Z 00/00	**ズーム**（🕮 81） CD1→ズーム表示 CD1→ズーム位置

アイコン／表示	説明
00m、00ft	**被写体距離**（🕮 228）マニュアルフォーカスのみ。 CD1→被写体距離
MF AF	**フォーカスモード**（🕮 88） CD1→フォーカスモード
PQ、HLG、C.LOG3、Wide DR、NORM1、NORM2、NORM3、NORM4	**カスタムピクチャー**（🕮 140） CD1→Custom Picture
CP	**カスタムピクチャー**（🕮 140）：Activate Other SettingsがOn
、、	**手ブレ補正**（🕮 100） CD1→手ブレ補正
、A	**測光方式**（🕮 73） CD1→測光方式
LUT	**LUT**（🕮 169） CD1→LUT
MAGN.（黄色）	**拡大表示**（🕮 91） SETを押すと、2倍と4倍が切り換わる。 CD1→Magnification
PEAK1、PEAK2	**ピーキング**（🕮 91） CD1→ピーキング
FAN	**冷却ファン**（🕮 57） CD2→温度／ファン
（黄色／赤色）	**高温警告**（🕮 57） 内部温度が上昇すると（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると（赤色）が表示される。 CD2→温度／ファン
、	**顔検出AF**（🕮 96）

画面の上側

アイコン／表示	説明
AP 品 Remote	**ネットワーク接続状態**（🕮 186）／ネットワーク機能（🕮 187、201） 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中 赤色：エラー状態 CD2→ネットワーク機能
D	ダブルスロット記録（🕮 41）

アイコン／表示	説明
撮影状態（記録モード） CD2→記録モード	
STBY、●REC	動画の撮影一時停止中／撮影中
SLOW STBY、● SLOW REC	スローモーション記録：撮影一時停止中／撮影中
PRE REC STBY、● PRE REC	プレ記録：撮影一時停止中／撮影中
00.00P、00.00i、00/00.00P	**撮影フレームレート***（🕮 130）／フレームレート（🕮 58） * スローモーション記録時のみ。 CD2→フレームレート
REC➔、STBY➔	**記録コマンド状態**（🕮 167） CD2→記録コマンド
00:00:00.00 00:00:00:00 R / P / F / E / H	**タイムコード**（🕮 104） CD2→Time Code
静止画の記録可能枚数 CD2→静止画記録可能枚数	
B 0000	**静止画記録可能**
B（赤色）	**カードなし／静止画記録不可能**
Gen.	**ゲンロック**（🕮 107） CD2→Genlock

画面の右側

アイコン／表示	説明
XF-HEVC、XF-AVC、MP4	**記録形式**（🕮 58） CD2→記録形式
60(24)fps、60(30)fps	**映像出力**（🕮 136） CD2→映像出力
MEMO	**ユーザーメモ**（🕮 125） CD2→User Memo
YCC422 10 bit, YCC420 8 bit	**カラーサンプリング**（🕮 58） CD2→解像度／カラーサンプリング
0000x0000	**解像度**（🕮 58） CD2→解像度／カラーサンプリング
DISP➔	**画面表示出力**（🕮 168） CD2→オンスクリーン表示
OFF	**ワイヤレスコントローラー**（🕮 44） CD2→WL-D6000
LIM	**オーディオリミッター**（🕮 117） CD2→オーディオレベル

アイコン／表示	説明
	オーディオレベルメーター（📖 116） CD2→オーディオレベル
	ヘッドホン音量（📖 154）
yyyy.mm.dd HH:MM	**日時表示** CD2→日付／時刻
CH0/CH0	**音声出力チャンネル**（📖 172） CD2→モニターチャンネル
A 1/0000、 1/0000、000.00˚、 000.00Hz	**シャッタースピード**（📖 61） CD1→シャッター

画面の下側

アイコン／表示	説明
00 00 00 00	**ユーザービット**（📖 106） CD2→User Bit
A000C000	**カメラインデックス、リール番号、クリップ番号**（📖 54） CD2→リール番号／クリップ番号
	GPS信号の受信状態*（📖 127） 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。 CD2→GPS
IR ON、OFF	**赤外撮影モード、赤外ライト状態**（📖 133） CD1→赤外撮影

アイコン／表示	説明
1.5×、3.0×、6.0×	**デジタルテレコン**（📖 81） CD1→デジタルテレコン
TL-U58、WA-U58	**コンバージョンレンズ**（📖 87） CD1→コンバージョンレンズ
Full Auto	**フルオートモード**（📖 50） CD1→フルオート
A/B 0000K ±0CC、 0000K ±0CC、 AWB 0000K ±0CC	**ホワイトバランス**（📖 76） CD1→ホワイトバランス
W T	**ズーム操作量**（📖 84） 「グリップズームスピード」で「ユーザー設定」を選択して、グリップズームを使用したとき表示される。 CD1→グリップズームスピード：ユーザー
- +	**露出バー**（📖 71） CD1→露出バー
AE ±0.00	**AEシフト**（📖 72） CD1→AEシフト
ND 1/00、 ND+、ND-	**NDフィルター／ND警告**（📖 68） CD1→ND Filter
A F 0.0 / closed	**アイリス／F値**（📖 69） CD1→アイリス
A 00.0dB	**ゲイン**（📖 65） CD1→ゲイン

MEMO

- DISP（ディスプレイ）ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。
  全表示 → マーカーのみ表示*1 → 全消去*2
  *1 マーカー表示（📖 101）を有効にしているときのみ。
  *2 撮影状態を除くほとんどの画面表示が消去される。

■ XF-HEVC動画／XF-AVC動画のクリップファイル名を設定する CAMERA MEDIA

本機内のカードに記録されるXF-HEVC動画／ XF-AVC動画のファイル名を設定します。ビデオカメラやカードごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

XF-HEVC動画／ XF-AVC動画のクリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 H y y m m d d X X _ C A N O N _ 0 1

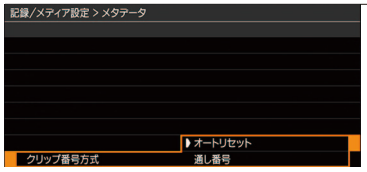
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。ビデオカメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号が自動的に振られ、初期値を指定できる。新しいカード*に交換すると、初回の記録時に番号が1つ繰り上がる。 * 購入または初期化直後のカード
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。 クリップ番号の付けかたは、記録メディアを交換しても連番を振る「通し番号」と、記録メディアの交換後、初回の記録時に「001」にリセットする「オートリセット」の2方式がある。
④	–	XF-HEVCクリップのときは「H」が付加される。 XF-AVCクリップのときは「_」
⑤	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑥	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑦	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。
⑧	ストリーム番号	記録先がSD / SDHCメモリーカードのクリップのときに、「_01~99」の数字が自動的に付加される。クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が分割されると1つ繰り上がる。

設定する

1 カメラインデックスを設定する

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「カメラインデックス」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、A ～ Zのいずれかの文字を選ぶ ➤ SETを押す。
③「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 クリップ番号方式を選ぶ

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「クリップ番号方式」を順に選ぶ。
②「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 「通し番号」を選んだときは操作3でクリップ番号を設定する。

3 リール番号／クリップ番号を設定する

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「リール番号」または「クリップ番号」を順に選ぶ。
● 「リセット」を選びSETを押すと、番号が「001」にリセットされる。
②「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
③ ジョイスティックを上下に押して、数字を選ぶ ➤ SETを押す。
● 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

4 ユーザー定義を設定する

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「ユーザー定義」を順に選ぶ。
● 「リセット」を選びSETを押すと、「CANON」にリセットされる。
②「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
③ 操作3の③と同じ要領で、5文字の英数字を入力する ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

■ MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ

本機で記録するMP4クリップ／静止画には、連続した番号（MP4クリップ／静止画番号）が自動的に付けられます。MP4クリップ／静止画番号の付けかたはメニューで設定できます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100 ～ 999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

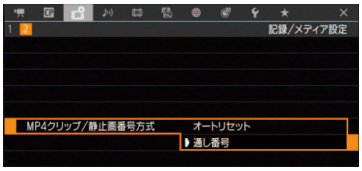
ファイル名

ファイル名の上4文字は、MP4クリップのときは「MVI_」、静止画のときは「IMG_」の固定文字列、下4桁は固有の番号（0001 ～ 9999）です。

MP4クリップ／静止画番号

- MP4クリップ／静止画番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100 ～ 999）、下4桁はMP4クリップ／静止画固有の番号（0001 ～ 9999）に対応します。
- MP4クリップ／静止画番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。10月1日に記録したMP4クリップ／静止画番号が「100-0007」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ￥100_1001」というフォルダーの中に「MVI_0007.MP4」／「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。

設定値	内容
オートリセット	初期化されたカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。カード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、カード内に記録されているMP4クリップ／静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。



① 2 記録／メディア設定メニュー ➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を順に選ぶ。
② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

冷却ファンの動作方法を選ぶ CAMERA MEDIA

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。

オート： 撮影一時停止中は回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇（温（赤色）が出る）すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面にFANが出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

常時： 常に回転する（初期設定）。

1 ファンのモードを選ぶ

① 5 システム設定メニュー ➤「ファン」を順に選ぶ。
②「オート」または「常時」を選ぶ ➤ SETを押す。

ご注意

- 冷却ファンの回転中は、EXHAUST VENT（排気口）から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口（13、16）をテープなどで塞がないでください。

MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「オート」にしてもファンが停止しないことがあります。
- メディアモード時、冷却ファンは常に回転します。

映像の信号形式を選ぶ CAMERA MEDIA

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度とカラーサンプリング、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。フレームレートは、システム周波数によって選択できる値が異なります。メディアモードでは、システム周波数のみ設定できます。

XF-HEVC形式

解像度	カラーサンプリング	ビットレート*	システム周波数／フレームレート						
			59.94 Hz				50.00 Hz		
			59.94i	59.94P	29.97P	23.98P	50.00i	50.00P	25.00P
3840x2160	YCC422 10bit	110Mbps / 160Mbps LongGOP	–	●	●	●	–	●	●
1920x1080		45Mbps / 60Mbps LongGOP	●	●	●	●	●	●	●

XF-AVC形式

解像度	カラーサンプリング	ビットレート*	システム周波数／フレームレート						
			59.94 Hz				50.00 Hz		
			59.94i	59.94P	29.97P	23.98P	50.00i	50.00P	25.00P
3840x2160	YCC420 8bit	160Mbps LongGOP	–	–	●	●	–	–	●
1920x1080		45Mbps LongGOP	●	●	●	●	●	●	●

MP4形式

解像度	カラーサンプリング	ビットレート*	システム周波数／フレームレート						
			59.94 Hz				50.00 Hz		
			59.94i	59.94P	29.97P	23.98P	50.00i	50.00P	25.00P
1920x1080	YCC420 8bit	35Mbps LongGOP	–	●	●	●	–	●	●
1280x720		8Mbps LongGOP	–	●	–	–	–	–	–

* ビットレートの方式はVBR(可変)。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。

1 動画の記録形式を選ぶ

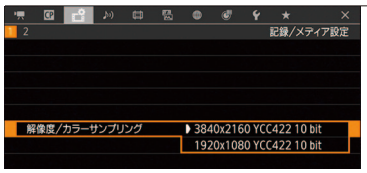
① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録形式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 条件によって「以下の設定が更新されました」が表示されるので「OK」を選んでSETを押す。

2 システム周波数を選ぶ

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「システム周波数」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。

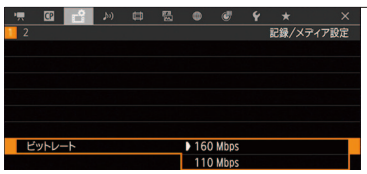
3 フレームレートを選ぶ

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「フレームレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームレートが画面に表示される。
- 条件によって「以下の設定が更新されました」が表示されるので「OK」を選んでSETを押す。



4 解像度とカラーサンプリングを選ぶ

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「解像度/カラーサンプリング」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 条件によって「以下の設定が更新されました」が表示されるので「OK」を選んでSETを押す。



5 ビットレートを選ぶ

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「ビットレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

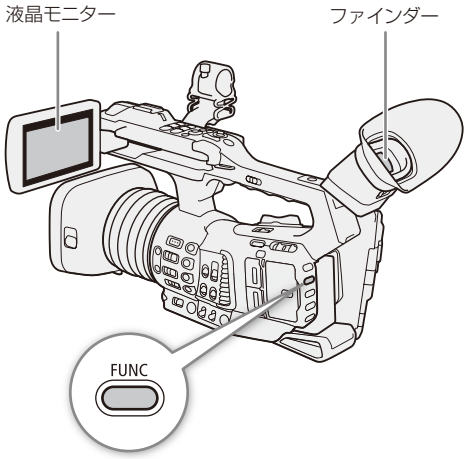
- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(📖 164)をご覧ください。

カメラダイレクト設定を使う CAMERA MEDIA

画面やファインダーを見ながら、以下の項目を設定できます（カメラダイレクト設定）。ここでは基本的な操作を説明します。各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

設定できる項目

- ホワイトバランス
- ホワイトバランスのプリセット調整／色温度（K）と色補正値（CC）
- ゲイン
- シャッタースピード

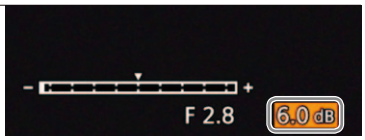


■ カメラダイレクト設定の基本操作

1 カメラダイレクト設定に入る

① FUNCボタンを押す。
- いずれかの背景がオレンジ色になる。

② FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
- 操作するたびに設定対象が順に切り換わる。



2 値を調整する

① ジョイスティックを上下に押して調整方法や数値を選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面のオレンジ色の表示は解除される。

MEMO

カメラダイレクト設定が終了する場合

- 約6秒間操作しなかったとき。
- メニューやステータス画面を開いたとき。

シャッタースピードを調整する CAMERA MEDIA

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードには、次の6種類のモードがあります。ブラウザーリモート（📖 187）を使って調整することもできます。

OFF： シャッタースピードを調整しないで、各フレームレートの基準シャッタースピードを使用するときは、SHUTTER（シャッター）スイッチをOFFにする。

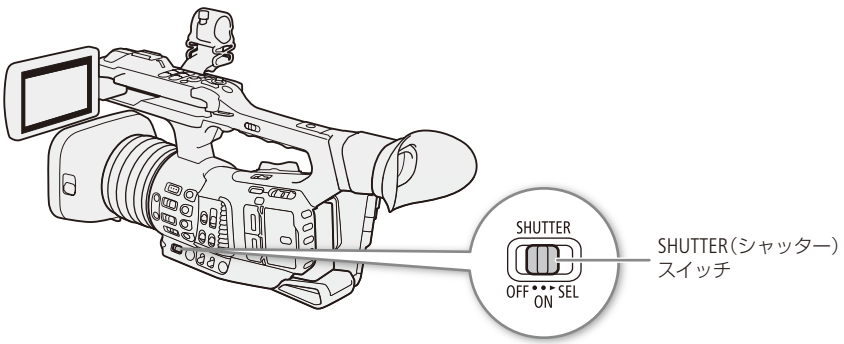
オート： 映像の明るさに応じて、シャッタースピードを無段階で自動調整する。

スピード： 秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、ノーマルとファインを選択できる。

アングル： 開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン： 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。

スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スローモーション記録のときは選択できない。



■ シャッタースピードのモードを切り換える

SHUTTER（シャッター）スイッチをONにして、「SEL」方向に押すたびに、シャッタースピードの設定方式がオート → スピード → アングル → クリアスキャン → スロー → オートの順に切り換わります。

■ 設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

		フレームレート				
		59.94i / 59.94P	29.97P	23.98P	50.00i / 50.00P	25.00P
シャッタースピードの設定方式	OFF	1/60秒	1/30秒	1/24秒	1/50秒	1/25秒
	オート	1/60 ～ 1/2000秒	1/30 ～ 1/2000秒	1/24 ～ 1/2000秒	1/50 ～ 1/2000秒	1/25 ～ 1/2000秒
	スピード*1	1/60 ～ 1/2000秒*2	1/30 ～ 1/2000秒	1/24 ～ 1/2000秒	1/50 ～ 1/2000秒*2	1/25 ～ 1/2000秒
	アングル*1*3	360.00°、240.00°、180.00°、120.00°、90.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°、15.00°、11.25°				
	クリアスキャン*1	59.94 Hz ～ 250.38 Hz	29.97 Hz ～ 250.38 Hz	23.98 Hz ～ 250.38 Hz	50.00 Hz ～ 250.40 Hz	25.00 Hz ～ 250.40 Hz
	スロー *4	1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒	1/3、1/6、1/12、1/25秒	1/3、1/6、1/12秒

*1 スローモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。

*2 刻み幅は設定によって異なる。1 カメラ設定メニュー ➤「シャッターステップ」が「ノーマル」のときは1/4段刻み、「ファイン」のときは1/256段刻みで調整可能。

*3 1/120秒、1/100秒、1/60秒、1/50秒、1/40秒、3/100秒、1/30秒、1/25秒相当のアングルも設定可能。設定可能なアングルはフレームレートによって異なる。

*4 スローモーション記録のときは使用できない。

スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスではピントが合いにくいことがあります。

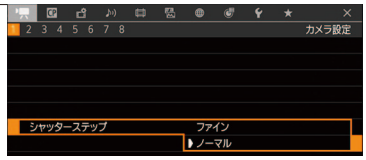
MEMO

- シャッターを自動で調整するときの応答性を1 カメラ設定メニュー ➤「AEレスポンス」で設定できます（218）。

■ シャッタースピードの値を調整する

シャッタースピードのモードがOFFまたはオート以外のときは、シャッタースピードを手動で調整します。
カメラダイレクト設定の詳細については、60ページをご覧ください。

1 「スピード」を使用するとき　設定時の刻み幅を選ぶ



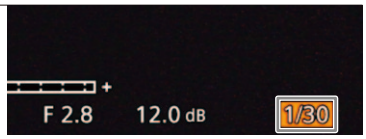
① 1 カメラ設定メニュー ➤「シャッタースピード」を順に選ぶ。
② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「ファイン」にすると、最大1/256段刻みで調整可能。

③ MENUボタンを押す。

2 シャッタースピードのモードを選ぶ（📖 61）

① SHUTTER（シャッター）スイッチをSEL方向に押して、いずれかのモードを選ぶ。
- カメラダイレクト設定に入り、オート以外のときは画面上の調整用入力エリアがオレンジ色に表示される。

3 値を調整する



① ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- クリアスキャンのときは、画面上に黒い帯が出ないように周波数を選ぶ。

② SETを押す。
- 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。

MEMO

小絞りによるボケを防ぐには

晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。

- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます（🕮 71）。
- 本機をフルオートモード（🕮 50）やInfraredモード（🕮 133）にすると、シャッタースピードはオートになります。また、Infraredモードとスローモーション記録を同時に有効にすると、シャッタースピードは1/120（システム周波数が59.94 Hz時）、1/120または1/100の間でオート（同50.00 Hz時）になります。
- 本機のSHUTTER切り換えスイッチの位置に関わらず、リモートコントローラー RC-V100（別売）のSHUTTER SELECTボタン、SHUTTER上／下ボタンで、シャッタースピードのモード／設定値をそれぞれ切り換えることもできます。
- アサインボタンに「シャッター」を割り当てると、アサインボタンを押してダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換えることができます。（🕮 136）。

フリッカーを抑える

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。

① 7カメラ設定メニュー ➤「フリッカー低減」を順に選ぶ。
② 「オート」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120秒を選んでください。

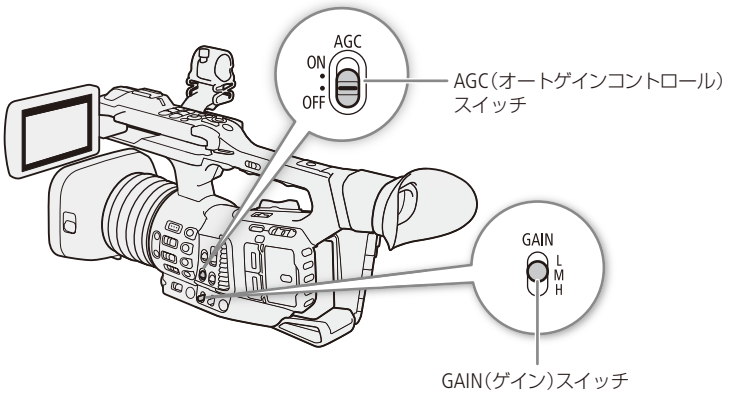
* フレームレートによっては選択できません。

ゲインを調整する CAMERA MEDIA

映像アンプの増幅量をゲインで設定できます。設定には次の2種類があり、GAIN（ゲイン）スイッチの各ポジション（L、M、H）にそれぞれ設定して、スイッチで切り換えて使用します。ブラウザーリモート（187）を使って調整することもできます。ゲインをオートに設定したときは、ゲインの最大値を設定することもできます（AGCリミット）。

オート（AGC*）：　被写体の明るさに応じてゲインを自動調整する。* Auto Gain Control

マニュアル：　ゲインを手動で設定する。



設定可能な値

刻み幅	設定可能な値
ノーマル（3 dB）	-6.0 dB ～ 33.0 dB*
ファイン（0.5 dB）	

* カスタムピクチャーのGammaによっては設定可能な値が変わる。
Wide DRまたはCanon Log 3のとき　2.5 dB ～ 33 dB
PQのとき　-2.0 dB ～ 33 dB
HLGのとき　-2.5 dB ～ 33 dB

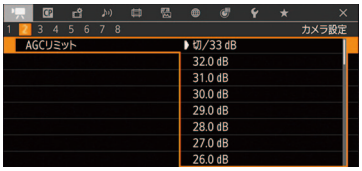
オートで調整する

1 AGC（オートゲインコントロールスイッチ）をONにする

- 画面のゲインの値の左にAが表示され、調整にともなって画面のゲインの値が更新される。

ゲインの最大値を設定する（AGCリミット）

ゲインをオートで調整するとき、AGCリミットを設定してゲインの最大値を制限することができます。本機をフルオートモード（🕮 50）またはInfraredモード（🕮 133）にすると、「切/33 dB」になります。



① 2 カメラ設定メニュー ➤「AGCリミット」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

ゲインを自動で調整するときの応答性を1 カメラ設定メニュー ➤「AEレスポンス」で設定できます（🕮 218）。

■ マニュアルで調整する

GAIN（ゲイン）スイッチを、L、M、Hのいずれかに切り換えます。それぞれのポジションに良く使う設定をあらかじめ登録しておけば、素早くゲイン値を変更できます。

1 AGC（オートゲインコントロールスイッチ）をOFFにする

2 GAIN（ゲイン）スイッチをL、M、Hのいずれかにする

- ポジションに設定されたゲインの値が表示される。

ゲインの値を調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、60ページをご覧ください。

1 GAIN(ゲイン)スイッチを切り換える (65)

2 値を調整する

① FUNCボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入る。FUNCボタンを押して、設定対象をゲインにする。

② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。

③ SETを押す。
- GAINスイッチの現在のポジションに、調整した値が設定され、カメラダイレクト設定を終了する。

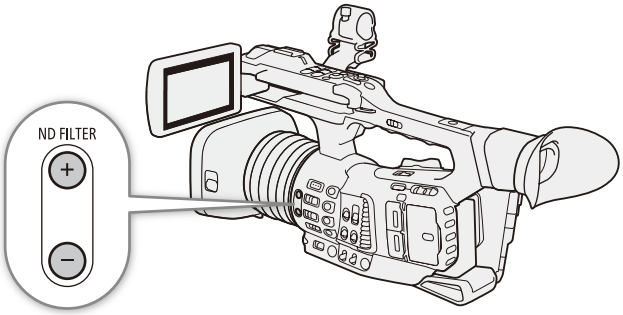
MEMO

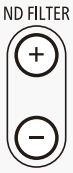
- 2 カメラ設定メニュー ➤「ゲインL」、「ゲインM」、「ゲインH」のいずれか ➤「モード」でゲインモードを切り換えることができます。また、「ファイン」または「ノーマル」それぞれにゲインの値を設定することもできます。このとき、「ファイン」を選ぶと、−6.0 dB ～ 33.0 dBのゲインを0.5 dB刻みで調整できます。メニューで「ファイン」を選んだGAINスイッチのポジションは、カメラダイレクト設定でも0.5 dB刻みで調整できます。
- 「ゲイン」を割り当てたアサインボタンで、ダイレクト設定のゲイン設定に切り換えることができます (136)。
- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます (71)。
- ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。また画面に色むら、白い点、縦線などが現れることがあります。
- 本機をInfraredモード (133)にすると、ゲインはオートになります。
- GAIN(ゲイン)スイッチでゲインを切り換えたときの値が変化する速さを、2 カメラ設定メニュー ➤「ショックレスゲイン」で設定できます (219)。
- GAINスイッチのポジション (L / M / H) の値は、リモートコントローラー RC-V100 (別売) のISO/GAIN (ISO感度/ゲイン) 上／下ボタンを押して調整することもできます。

NDフィルターを切り換える CAMERA MEDIA

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは3段階から選択できます。切り換えは、本機のほかブラウザーリモート（🕮 187）を使って操作することもできます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。

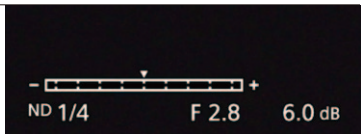




1 NDフィルターを切り換える

① ND FILTER（NDフィルター）切り換え+ボタンを押す。
- +ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（−ボタンは逆順）。
  OFF → 1/4 → 1/16 → 1/64 → OFF

② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。
- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



MEMO

NDフィルターの警告表示について

次のときは、NDフィルターの設定が適切ではないため、画面のND表示*（ND+またはND-）が点滅します。
- ゲインが上昇している。
- アイリスが絞り込み過ぎている。
- シャッタースピードが高速になりすぎている。

ND+が点滅したときはND FILTER切り換え＋ボタンを、ND-が点滅したときはND FILTER切り換え−ボタンを数回押して点滅しない状態にすると、上の状況を緩和できます。

* リモートコントローラー RC-V100（別売）の装着時は、RC-V100のNDフィルターランプが点滅します。

- 「ND+」または「ND−」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできます。
- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（🕮 76）。

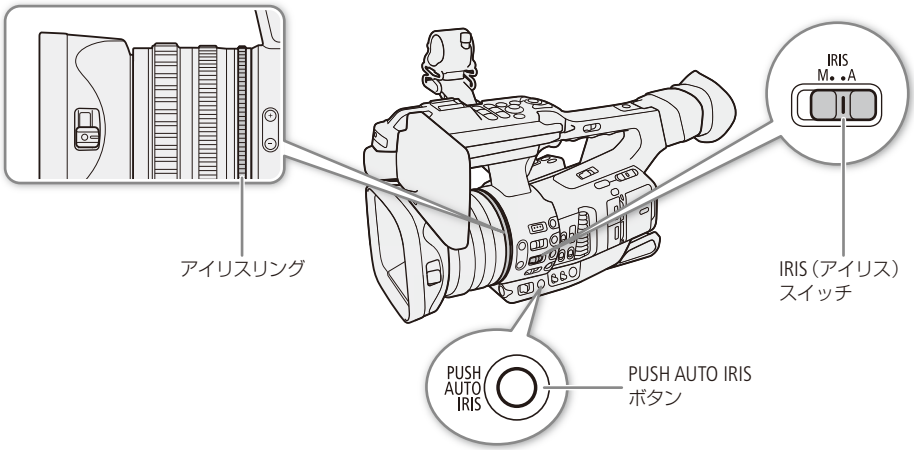
リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え＋ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、1/4、1/16、1/64選択時はランプの1、2、3がそれぞれ点灯し、切のときはOFFが点灯します。

アイリスを調整する CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。設定のしかたには、次の3種類があります。

オート：　被写体の明るさに応じてアイリスを自動調整する。
プッシュオートアイリス：　PUSH AUTO IRISボタン（🕮 70）やブラウザーリモート（🕮 187）で一時的に自動調整する。
マニュアル：　アイリスリングを回すか、ブラウザーリモート（🕮 187）でアイリスを手動で調整する。



設定可能な値

	絞り*1	
		アイリスリミットが「切」のときのみ*2
オート	F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.5、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11	F12、F14、F15、F16、F17、F19、F21、F22、F25、F27、CLOSE*3
マニュアル		

*1 設定可能な値はズーム位置によって異なる（ワイド端：F2.8 ～ F11、テレ端：F4.5 ～ F11）また、画面上は目安の絞り値が表示される。

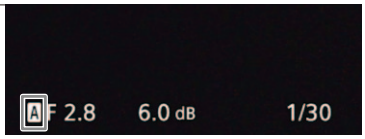
*2 1 カメラ設定メニュー ➤「アイリスリミット」（🕮 72）

*3 マニュアル時のみ

■ オートで調整する

1 IRIS(アイリス)スイッチをAにする

- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- 画面のF値の左にAが表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。



MEMO

- アイリスを自動で調整するときの応答性を、1 カメラ設定メニュー ➤「AEレスポンス」で設定できます (📖 218)。
- 本機をフルオートモードにすると アイリスはオート、赤外撮影に設定するとアイリスは開放固定になります。

■ 一時的にオートで調整する (プッシュオートアイリス)

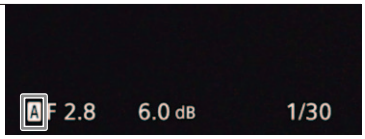
PUSH AUTO IRIS(プッシュオートアイリス)ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

1 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける

- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- 画面のF値の左にAが表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。

2 PUSH AUTO IRISボタンを離す

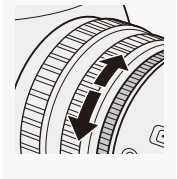
- 絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左のAは消える。



■ マニュアルで調整する

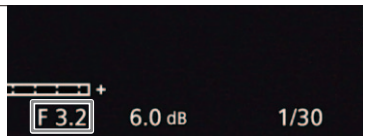
1 IRIS(アイリス)スイッチをMにする

- 絞りの手動調整が可能になる。

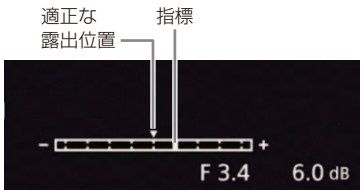


2 アイリスリングを回してF値を調整する

- 画面に1/4段刻みでF値が表示される。



露出バー



ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バー *が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

* 1/2段の刻み幅で−2段〜 +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

MEMO

- アイリスをオート（フルオートモードを除く）に切り換えるとき、手動で設定したF値は記憶されません。オートからマニュアルに切り換えたときは、オートのF値が引き継がれます。
- NDフィルターが挿入されているときに、アイリスを絞り込むと画面が暗くなることがあります。このときは、ND−ボタンを押して、アイリスを再調整してください。
- アイリスリングの操作方向は、1カメラ設定メニュー ➤「アイリスリング方向」で設定できます（📖 218）。
- KEY LOCK（📖 50）を🔒（キーロック）にしても、アイリスリングはロックされません。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS（アイリス）ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります（初期状態）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のAUTO IRISボタンで、アイリスのオートとマニュアルを切り換えることもできます。

アイリスに絞り制限をつける（アイリスリミット）

1 カメラ設定メニューの「アイリスリミット」（📖 218）で、絞り（設定可能F値）の最大値を制限することができます。

入：　小絞り回折F値（F11）まで絞れる。

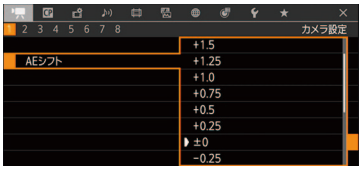
切：　CLOSEまで絞れる。F値が小絞り回折F値を超えると、画面のF値が灰色になる。

MEMO

- 小絞り回折F値を超えると、小絞りによるボケが発生するなど記録する映像に影響を与えることがあります。小絞り回折F値以下でのご使用をおすすめします。

露出を調整する（AEシフト）

シャッタースピード、ゲイン、アイリスがオートのときや、プッシュオートアイリスで絞りを自動調整する場合、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影することができます。補正量は−2段〜+2段まで17段階で設定できます。本機がフルオートモードのときや赤外撮影を設定しているときは使用できません。



① 1 カメラ設定メニュー ➤「AEシフト」を順に選ぶ。

② いずれかの値を選ぶ ➤ SETを押す。

−2.0、−1.75、−1.5、−1.25、−1.0、−0.75、−0.5、−0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

MEMO

- 「AEシフト+」と「AEシフト−」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（📖 136）。

測光方式を設定する

シャッタースピード、ゲイン、アイリスがオートのときや、プッシュオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影することができます。

① 1 カメラ設定メニュー ➤「測光方式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

バックライト： 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。
スタンダード： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
スポットライト： スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

- 「バックライト」を選ぶと画面に が、「スポットライト」を選ぶと画面に が表示される。

MEMO

- 「バックライト」または「スポットライト」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（📖 136）。

基本的なガンマ／カラーを設定する

ガンマ、色空間、カラーマトリクスを組み合わせたプリセットが、あらかじめカスタムピクチャーに用意されています。プリセットを使って簡単に設定を行うか、ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個々に設定することができます。カスタムピクチャーの詳細については「カスタムピクチャーを使用する」(🕮 140)をご覧ください。

ガンマ、カラーマトリクスのプリセットについて

あらかじめ次の組み合わせのプリセットが用意されています。プリセットを使わないときは、CP1 Custom Pictureメニューでガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選択できます。プリセット、またはガンマ、色空間、カラーマトリクスを選んだ後、「Activate Other Settings」を「On」にすると「Other Settings」で詳細な設定を調整することができます。

プリセット (Preset)	ガンマ (Gamma)	色空間 (Color Space)	カラーマトリクス (Color Matrix)	特徴
Normal 1 : BT.709	Normal 1 (Standard)	BT.709	Video	TVモニターで見るときに適した設定。
Normal 1 : BT.2020	Normal 1 (Standard)	BT.2020	Video	
Wide DR : BT.709	Wide DR	BT.709	Video	TVモニターで見るときに適した設定。広いダイナミックレンジを実現。
Wide DR : BT.2020	Wide DR	BT.2020	Video	
PQ : BT.2020	PQ	BT.2020	Video	ITU-R BT.2100-PQ規格に準拠したガンマを使用。
HLG : BT:2020	HLG	BT.2020	Video	ITU-R BT.2100-HLG規格に準拠したガンマを使用。
Canon Log 3 : BT.2020	Canon Log 3	BT.2020	Neutral	ポストプロダクション処理を前提とした Canon Log 3ガンマを使用。
Canon Log 3 : BT.709	Canon Log 3	BT.709	Neutral	

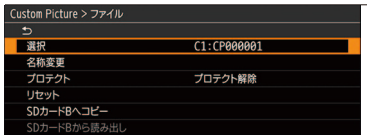
MEMO

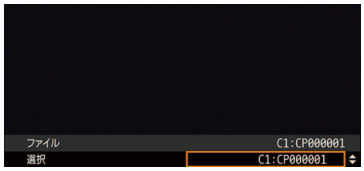
Canon Log3 を使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現できます。
- 撮影中、ファインダー、SDI端子やHDMI OUT端子の出力にLUTを適用し、モニタリングに適したガンマに変換できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT(ルックアップテーブル)*を適用できます。
  * 最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



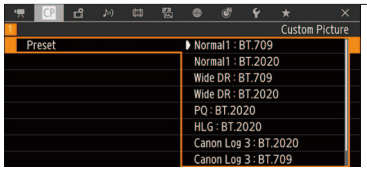


1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

① CP1 Custom Pictureメニュー ➤「ファイル」➤「選択」を順に選ぶ。
- カスタムピクチャーの選択画面が表示される。
- 本機に保存されているカスタムピクチャーファイル（C1 ～ C20）が選択可能になる。
- カードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機にコピーする（🕮 142）。

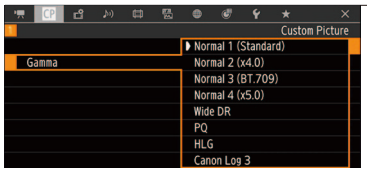
② ジョイスティックを上下に押して、いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。
- 選択しているガンマと、「Other Settings」で調整（「Activate Other Settings」が「On」）時は🏷が画面に表示される。

■ ガンマ、色空間、カラーマトリクスを選ぶ



1 プリセットを選ぶ

① CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Preset」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- プリセットを使用しないときは「Off」を選ぶ。
- プリセットを選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Off」を選んだとき　ガンマ、色空間、カラーマトリクスを選ぶ

① CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Gamma」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
参考 ➤➤ CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Gamma」（🕮 140）
③ 同様にCP1 Custom Pictureメニュー ➤「Color Space」、「Color Matrix」を順に選んで、色空間、カラーマトリクスを選択する。
参考 ➤➤ CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Color Space」、「Color Matrix」（🕮 140）

ホワイトバランスを調整する CAMERA MEDIA

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があり、WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチの各ポジション(B、A、PRESET)にそれぞれ設定して、スイッチで切り換えて使用できます*。ブラウザーリモート(🕮 187)を使って調整することもできます。

* WHITE BAL.スイッチのポジションによって、設定できる調整方法が異なります(下表)。

オートホワイトバランス(AWB):　常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

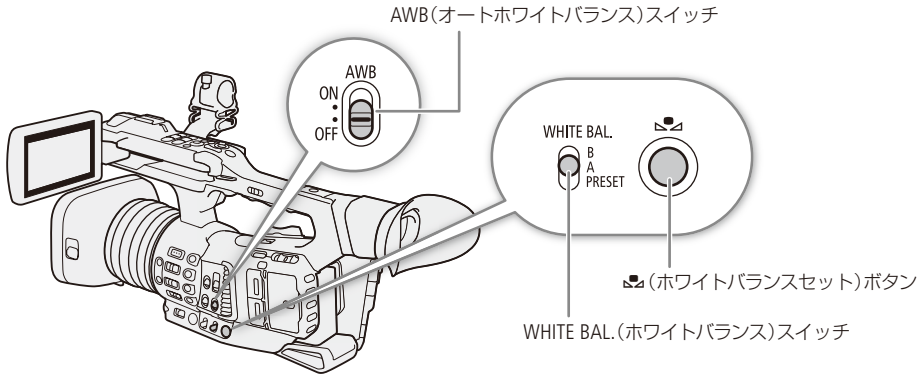
プリセット設定:　「☀(太陽光)」または「💡(電球)」のいずれかを選ぶ。色温度(K)と色補正値(CC)*の微調整が可能。

色温度設定:　2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。色温度(K)と色補正値(CC)*の微調整が可能。

ホワイトバランスセット:　グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録できる。

* マゼンタ／グリーン方向の補正。Color Compensation。

蛍光灯下で撮影するときは、オートホワイトバランスを使うか、ホワイトバランスセットで調整してください。



WHITE BAL.スイッチのポジションと使用できる調整方法

調整方法	WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチのポジション		
	B	A	PRESET
プリセット設定	–	–	●
色温度設定	–	–	●
ホワイトバランスセット	●	●	–

MEMO

- 本機をフルオートモードにすると、ホワイトバランスはオート、赤外撮影時は、ホワイトバランスを設定することはできません。
- CP 1 Custom Picture ➤「Other Settings」の「White Balance」または「Color Matrix Tuning」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- 2 カメラ設定メニュー ➤「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します（219）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のAWBボタン、A ／ Bボタン、PRESETボタン、ボタンを使って、調整することもできます。
- 本機で表示、または設定する色温度は目安です。

オートホワイトバランス（AWB）で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

1 AWB（オートホワイトバランススイッチ）をONにする

- AWBが表示され、調整にともなって色温度と色補正値が更新される。

MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは（ホワイトバランスセット）で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／ LED照明下での撮影。

- オートホワイトバランスの応答性を、2 カメラ設定メニュー ➤「AWBレスポンス」で設定できます（219）。
- 「AWBホールド」を割り当てたアサインボタンを押して、オートホワイトバランスの動作を一時停止させることができます。もう一度押すか、他の調整方法に切り換えると解除されます。

■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶか、色温度を指定してホワイトバランスを調整します。色温度は、2000K ～ 15000Kの範囲で設定できます。

1 AWB（オートホワイトバランススイッチ）をOFFにする

2 WHITE BAL.（ホワイトバランス）スイッチをPRESETにする

3 調整方法を選ぶ

① FUNCボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入る。FUNCボタンを押して、設定対象をホワイトバランスにする。

② ジョイスティックを上下に押して、「☀（太陽光）」、「☀（電球）」、「K（色温度）」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 2 カメラ設定メニュー ➤「ホワイトバランス:PRESET」でも設定できる。

4 必要に応じて微調整する（📖 79）

ホワイトバランスの設定を微調整する

☀（太陽光）、☀（電球）または K（色温度）で行ったホワイトバランス設定は、色温度（K）と色補正値（CC）*の2つの方法で微調整することができます。

* マゼンダ／グリーン方向の補正。Color Compensation。

調整可能な範囲

ホワイトバランスの調整方法	調整可能範囲	
	色温度（K）	色補正値（CC）
☀太陽光	4300K ～ 8000K	−5 CC ～ +5 CC
☀電球	2700K ～ 3700K	
K（色温度）	2000K ～ 15000K	−20 CC ～ +20 CC

1 微調整するホワイトバランスの調整方法を選ぶ（78）

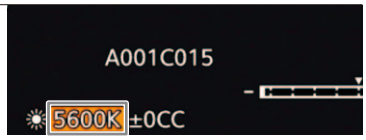
2 微調整する

① （ホワイトバランスセット）ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、色温度がオレンジ色で表示される。
- FUNCボタンを押して切り換えることもできる。

② 必要に応じてジョイスティックを右に押して、設定対象を切り換える。

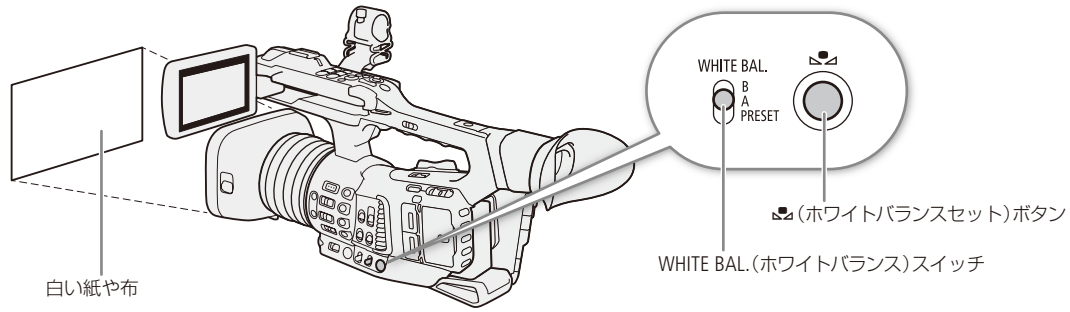
③ ジョイスティックを上下に押して調整する。

④ SETを押す。
- 微調整値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面のオレンジ色の表示は解除される。

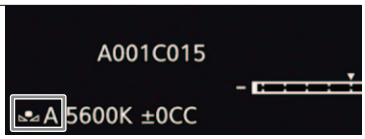


■ ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「A」と「B」の2種類の設定を登録できます。



1 AWB(オートホワイトバランススイッチ)をOFF、WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチをA、Bのいずれかにする



- 画面にAまたはBが表示される。

登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

SETを押す。以降の操作は不要。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す

3 基準白色を取り込んで、登録する

① (ホワイトバランスセット)ボタンを押す。

- 「A」または「B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

MEMO

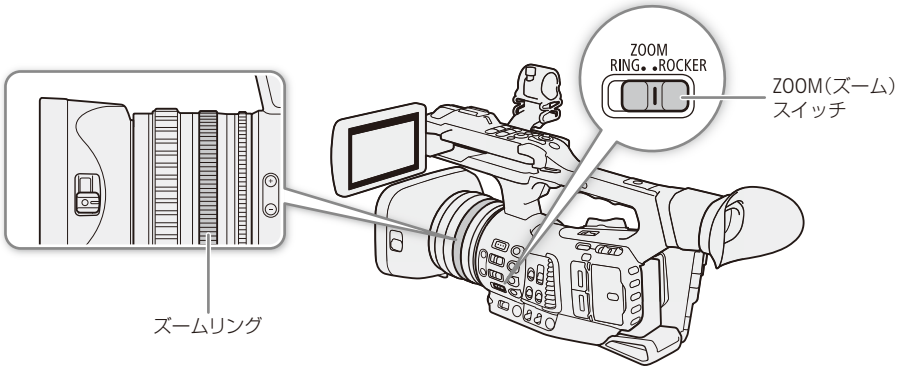
ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれにが速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。
- 調整後に色温度値と色補正値が灰色で表示されることがあります。これは、表示可能な範囲を超えたためで、調整自体は適切に行われています。

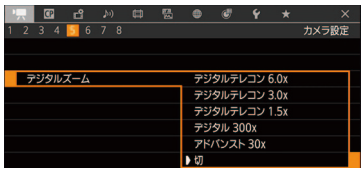
ズームを操作する CAMERA MEDIA

ズームリングまたはズームロッカー（グリップ部／ハンドル部／リモコン）を操作して、光学で15倍までズームできます。デジタルズーム*1を使用すると300倍までズームできます。また、メニューでデジタルテレコン（焦点距離の倍率：約1.5倍、3倍、6倍）*2を選ぶこともできます。

*1 15倍～ 300倍の範囲は映像をデジタル処理するため、映像が粗くなります。
*2 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。



■ ズームのモードを選ぶ



① 5 カメラ設定メニュー ➤「デジタルズーム」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

デジタルテレコン 6.0x： デジタルテレコン 3.0x デジタルテレコン 1.5x	焦点距離をテレ側に約6倍、約3.0倍、または1.5倍移動する。
デジタル 300x：	光学で15倍まで、デジタルで15 ～ 300倍のズームが可能。
アドバンスト 30x：	光学込みで30倍までズーム可能。
切：	光学で15倍までズーム可能。

ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバー *1が画面に表示されます。バーの色が白色の領域は光学ズーム、水色の領域はデジタルズーム*2を表わします。

*1 5 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display 1」の「ズーム表示」で数値表示に変更することもできます（📖 228）。
*2 デジタルズームのときのみ。

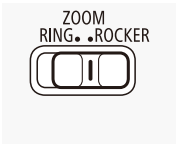
MEMO

- テレコンバーター TL-U58を装着すると約1.5倍の望遠撮影が、ワイドアタッチメントWA-U58を装着すると約0.8倍の広角撮影ができます（📖 87）。TL-U58とデジタルテレコンを併用することもできます。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を装着時にデジタルテレコンを使用すると、RC-V100のEXTENDER（エクステンダー装着）ランプが点灯します。
- カメラ設定メニュー ➤「コンバージョンレンズ」が「WA-U58」のときは、「デジタルテレコン6.0x / 3.0x / 1.5x」と「デジタル 300x」を選択できません。

「アドバンスト 30x」が設定できないとき

- 1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録モード」が「スローモーション記録」のとき。
- 1 記録／メディア設定メニュー ➤「解像度/カラーサンプリング」が「3840x2160 YCC422 10bit」のとき。

■ 操作方法を選ぶ

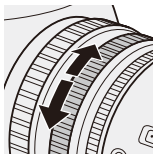


操作方法はZOOM(ズーム)スイッチで選択します。

RING(リング)： ズームリングによるズーム操作が有効になる。

ROCKER(ロッカー)： グリップズーム、ハンドルズーム、リモコン (付属)、REMOTE(リモート)端子に接続したリモコン (別売／市販)によるズーム操作が有効になる。

■ ズームリングで操作する



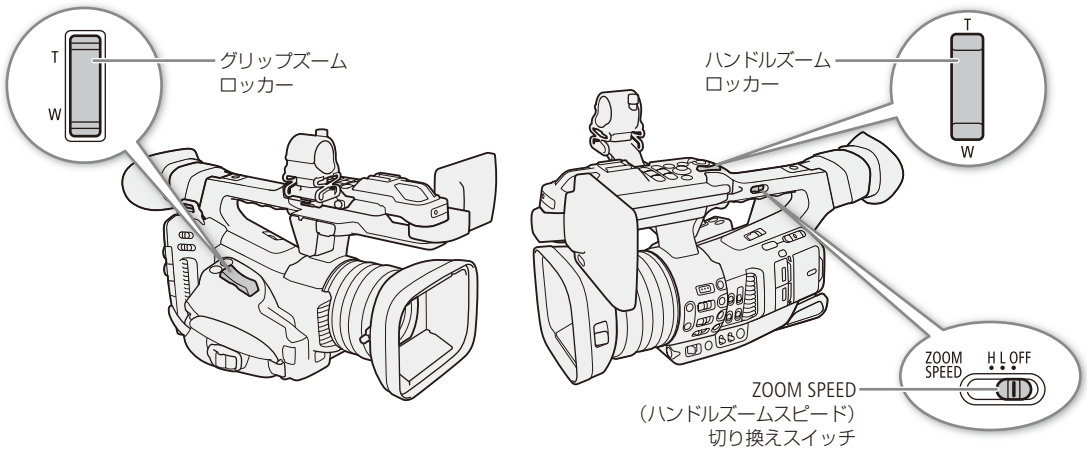
ZOOM (ズーム) スイッチをRINGに切り換えたあと、ズームリングを回してズームを調整します。ズームリングの位置によってズーム倍率が変わります。

MEMO

- ROCKERからRINGに切り換えた場合、ズームリングに記載されている焦点距離位置にズームレンズが自動的に移動します。
- KEY LOCK(50)を🔒(キーロック)にしても、ズームリングはロックされません。

■ ズームロッカーまたはリモコンで操作する

ZOOM(ズーム)スイッチをROCKERに切り換えたあと、グリップ／ハンドルのズームロッカーや付属のリモコン、REMOTE(リモート)端子に接続したリモートコントローラー RC-V100(別売) ／市販のリモコンでズームを操作します。



グリップズームロッカーで操作する

グリップズームロッカーのズームスピードをメニューで設定できます。「ユーザー設定」では、グリップズームロッカーの押し方かたによるズームスピードを任意に設定できます。

1 ZOOM(ズーム)スイッチをROCKERに切り換える

2 広角にするときはW(ワイド)側を押し、望遠にするときはT(テレ)側を押す

グリップズームロッカー操作のズームスピード

「グリップズームスピード」		「ズームスピードレベル」の設定とワイド端→テレ端の時間		
	「固定スピード」の設定（16段階）	ロー	ノーマル	ハイ
固定（固定速）	1（最低速）	約4分38秒	約2分	約1分
	16（最高速）	約4.2秒	約2.6秒	約0.9秒*
可変速	ズームの押しかたによって可変	約4.2秒～約4分38秒	約2.6秒～約2分	約1秒* ～約1分

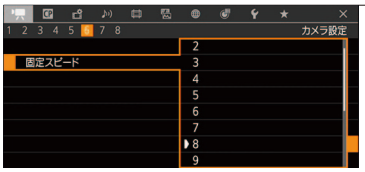
* ズーム中にピントが合いにくくなることがある。

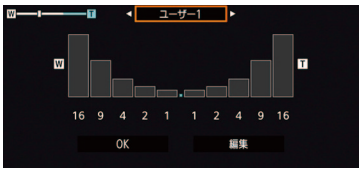
1 スピードレベルを設定する

① 5 カメラ設定メニュー ➤「ズームスピードレベル」を順に選ぶ。
②「ハイ」、「ノーマル」、「ロー」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 「固定」、「可変速」または「ユーザー設定」を選ぶ

① 6 カメラ設定メニュー ➤「グリップズームスピード」を順に選ぶ。
②「固定」、「可変速」または「ユーザー設定」を選ぶ ➤ SETを押す。
固定： 一定の速度でズームする。
可変速： グリップズームロッカーの押しかた（操作量）に応じてズームの速度が変わる。
ユーザー設定： グリップズームロッカーを押しこむ角度（5分割）ごとにズームの速度を任意で設定できる。3つのズーム速度のパターンを設定、登録してカスタマイズできる。





3 ズーム速度を選ぶ

「固定」の場合

① 6 カメラ設定メニュー ➤「固定スピード」を順に選ぶ。
②「1」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

「ユーザー設定」の場合

① 6 カメラ設定メニュー ➤「ユーザー設定」を選ぶ。
② ジョイスティックを左右に押して、「ユーザー 1」から「ユーザー 3」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを下に押し「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 任意のズームスピードを設定するときは、以降の操作を行う。
③ ジョイスティックを下、右に押し「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ジョイスティックを上下に押して数字を選ぶ ➤ SETを押す。
⑤ ④の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 「リセット」を選びSETを押すと、初期値にリセットされる。

MEMO

● 「ズームスピードレベル」を「ハイ」にすると、レンズの動作音が記録されることがあります。
● グリップズームスピードが可変速の場合、「ハイスピードズーム」（220）を「入」にすると、撮影一時停止中のスピードレベルを一時的に「ハイ」にできます。撮影中はメニューで選んだスピードレベルで動作します。

ハンドルズームロッカーで操作する

ハンドルズームロッカーのズームスピードは、ZOOM SPEED(ハンドルズームスピード)切り換えスイッチとメニューの設定の組み合わせで決まります。ズームのしかたは固定速です。

1 ZOOM(ズーム)スイッチをROCKERに切り換える

2 広角にするときはW(ワイド)側を押し、望遠にするときはT(テレ)側を押す

ハンドルズーム操作のズームスピード

	「ハンドルズームスピード H」または「ハンドルズームスピード L」の設定(16段階)	「ズームスピードレベル」の設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ノーマル	ハイ
固定(固定速)	1(最低速)	約4分38秒	約2分	約1分
	16(最高速)	約4.2秒	約2.6秒	約0.9秒*

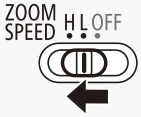
* ズーム中にピントが合いにくくなることがある。

1 スピードレベルを設定する(84)

2 ZOOM SPEED切り換えスイッチの「H」または「L」のズーム速度を設定する

① 5 カメラ設定メニュー ➤「ハンドルズームスピード H」または「ハンドルズームスピード L」を順に選ぶ。

② 「1」から「16」(16段階)のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



3 ZOOM SPEED切り換えスイッチをHまたはLに切り換える

- ZOOM SPEED切り換えスイッチをOFFに切り換えると、ハンドルズームロッカーを無効にすることができる。

リモコン（付属）やリモートコントローラー RC-V100（別売）などで操作する

付属のリモコンやREMOTE（リモート）端子（🕮 45）に接続したリモートコントローラー RC-V100（別売）／市販のリモコンを使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。付属のリモコンで操作するときは、TボタンまたはWボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。

使用するリモコン	ズームスピードの動作
付属のリモコン	固定速となる。速度は下表に記載。
リモートコントローラー RC-V100（別売）	RC-V100のZOOMダイヤル操作にて、中央からの回転角度が大きいほど高速になる。
市販のリモコンなど	可変速ズーム機能がないときは固定速。可変速ズーム機能があるときはリモコンの設定に従う。
ブラウザーリモート	固定速となる。速度は下表の最高速（16）

リモコン（付属）のズームスピード

「WL-D6000ズームスピード」の設定	「ズームスピードレベル」の設定とワイド端→テレ端の時間		
	ロー	ノーマル	ハイ
1（最低速）	約4分38秒	約2分	約1分
16（最高速）	約4.2秒	約2.6秒	約0.9秒*

* ズーム中にピントが合いにくくなることがある。

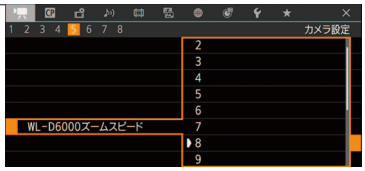
付属のリモコンでズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

1 スピードレベルを設定する（🕮 84）

2 ズーム速度を選ぶ

① 5 カメラ設定メニュー ➤「WL-D6000ズームスピード」を順に選ぶ。

② 「1」から「16」（16段階）のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき、RC-V100のZOOM（ズーム）ダイヤルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームします（初期状態）。

別売のコンバージョンレンズを使う CAMERA MEDIA

次のコンバージョンレンズ（別売）を本機に取り付けることができます。

	倍率	最短撮影距離
テレコンバーター TL-U58	約1.5倍の望遠撮影	約130 cm（ズーム全域）
ワイドアタッチメントWA-U58	約0.8倍の広角撮影	約60 cm（ズーム全域）

これらのアクセサリーを使用するときは、以下の設定を行う必要があります。本体への取り付け方などの詳細については、各アクセサリーの説明書も合わせてご覧ください。

1 使用するコンバージョンレンズを選ぶ

① 7 カメラ設定メニュー ➤「コンバージョンレンズ」を順に選ぶ。
② 「TL-U58」または「WA-U58」を選ぶ ➤ SETを押す。
- コンバージョンレンズに応じて、手ブレ補正のしかたや最短撮影距離、画面に表示する距離情報が変更される。
- コンバージョンレンズを装着しないときは「切」にする。

MEMO

- テレコンバーター TL-U58使用時は、広角側でケラレが生じます。

フォーカスを調整する CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の6種類があり、AFの方式にはデュアルピクセルCMOS AFを使用します。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。ブラウザーリモート（🕮 187）を使って調整することもできます。

マニュアルフォーカス：　レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押して手動でフォーカスを調整する。

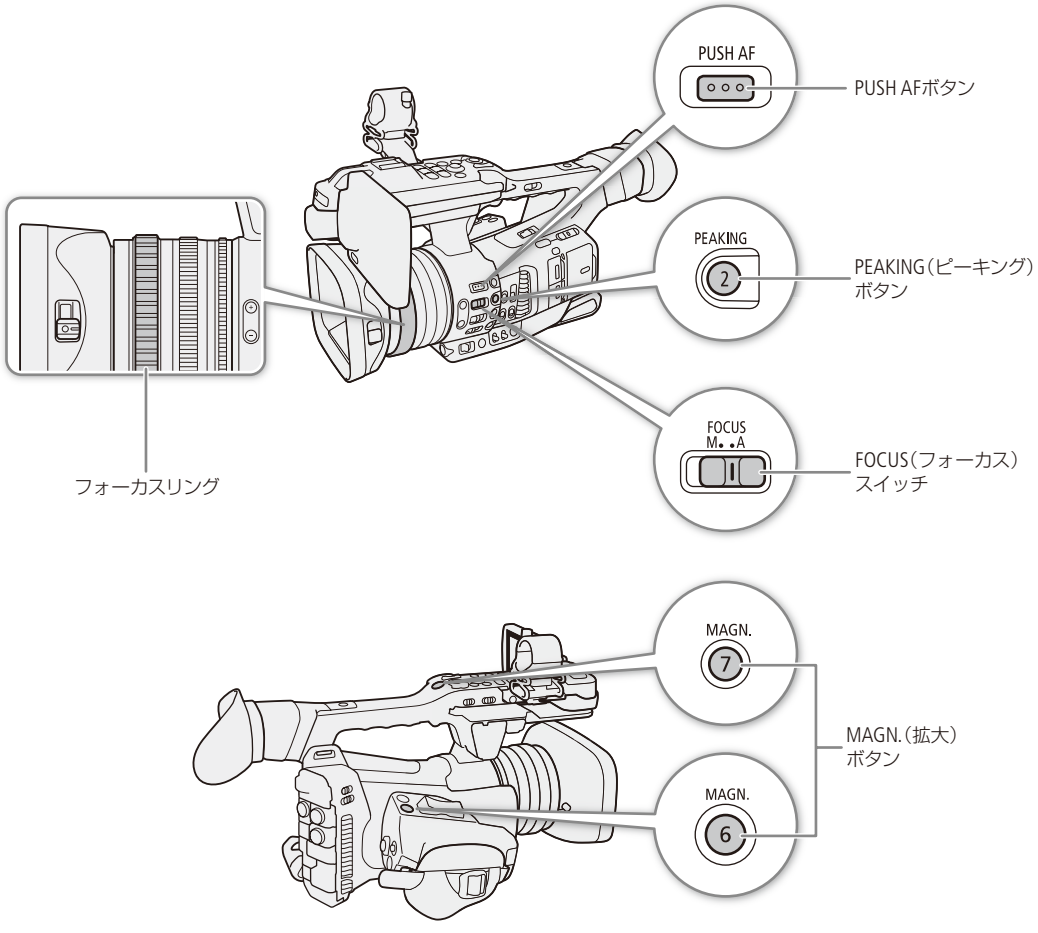
PUSH AF（プッシュ AF）：　マニュアルフォーカスまたはオートフォーカス時、PUSH AFボタンを押している間だけ、AFスピードおよびAFレスポンスが「ハイ」の設定でフォーカスを自動調整する。

AFブーストMF：　大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。

コンティニュアスAF：　フォーカスを常に自動調整する。

顔検出AF：　人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。

追尾：　選んだ被写体を認識し、被写体が動いても追尾する。

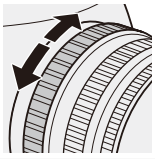


■ マニュアルで調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。

1 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。



2 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

MEMO

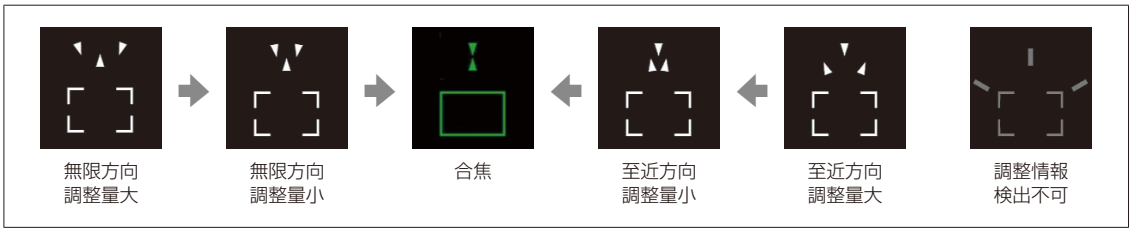
- AF時でも、リングによるフォーカス調整を行うことができます。フォーカス調整後にオートフォーカスに戻ります。
- フォーカスリングの操作方向と敏感度を4 カメラ設定メニューの「フォーカスリング方向」(📖 220)と「フォーカスリング敏感度」(📖 220)でそれぞれ設定できます。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとビデオカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を使うとき、初期設定では、RC-V100のFOCUS(フォーカス)ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます。
- KEY LOCK(📖 50)を🔒(キーロック)にしても、フォーカスリングはロックされません。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング(輪郭強調)表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

デュアルピクセルフォーカスガイド

1 アシスト設定メニュー ➤「フォーカスガイド」を「入」にすると、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味(調整方向、調整量)は次のとおりです。「顔検出&追尾」と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。



フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠（🕮 89）を移動します。

1 フォーカスガイド枠を移動する

① ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチする。
- ガイド枠が移動する。CANCELを押すと、中央に戻る。

MEMO

- 緑のフォーカスガイド枠は、合焦範囲を示しています。
- アイリスがオートのときは、ズーム操作後フォーカスガイド枠の応答が安定するまでに、時間がかかることがあります。
- オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定（🕮 94）では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき

- AFブーストMF、またはコンティニュアスAFの調整中。
- F値をF11より絞ったとき。
- 7 カメラ設定メニューの「コンバージョンレンズ」で「TL-U58」または「WA-U58」に設定しているとき。
- 5 カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタル 300x」を設定していて、ズーム位置がデジタルズーム領域のとき。
- 5 カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタルテレコン 6.0x」または「デジタルテレコン 3.0x」に設定しているとき。
- 7 カメラ設定メニューの「カラーバー」を「入」に設定しているとき。
- カスタムピクチャーのガンマの設定が「PQ」または「HLG」のとき。
- 赤外撮影を設定しているとき。

- デュアルピクセルフォーカスガイドを「顔検出&追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目の位置からずれることがあります。
- 「フォーカスガイド」を割り当てたアサインボタンを押して、フォーカスガイドの表示を入／切することができます（🕮 136）。

ピーキング

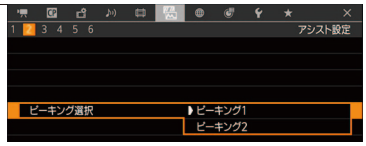
ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す

- 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング：LCD」、「ピーキング：VF」、「ピーキング：SDI」、「ピーキング：HDMI」で出力先ごとにピーキング表示を入／切することもできる。

2 ピーキング1、またはピーキング2を選ぶ

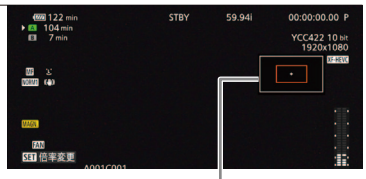
① 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング選択」を順に選ぶ。
② 「ピーキング1」または「ピーキング2」を選ぶ ➤ SETを押す。



拡大表示

1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部*を中心に2倍または4倍に拡大される。
  * 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。
- SETを押すたびに2倍と4倍が切り換わる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。



2 必要に応じて拡大位置を移動させる

① ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をドラッグして拡大位置を移動させる。
- 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

MEMO

ピーキング／拡大表示を使うとき

- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング1」または「ピーキング2」でそれぞれ設定できます。
- ピーキングは液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（📖 230）。拡大表示は液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力できます（📖 230）。
- 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング有効時白黒」または 1 アシスト設定メニュー ➤「Magnification有効時白黒」（📖 230）を「入」にすると、画面の映像を自動的に白黒表示にできます。
- 記録される動画／静止画には影響しません。

PUSH AF(プッシュ AF)で調整する

マニュアルフォーカスまたはオートフォーカス時、PUSH AFボタンを押している間だけ、AFスピードおよびAFレスポンスが「ハイ」の設定でフォーカスの自動調整ができます。

MEMO

- 4 カメラ設定メニュー ➤「顔検出AF」が「顔限定」で顔を検出していないときや、3 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」が「AFブーストMF」で自動調整領域以外のときは、フォーカスは固定されます。
- 「AFスピード」や「AFレスポンス」が設定できないときは (93)、「ハイ」での自動調整はできません。

AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。4K撮影でピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

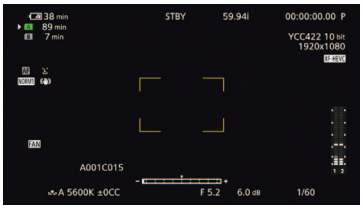
1 フォーカスモードスイッチをAFにする

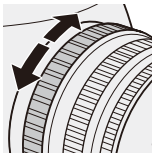
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「AFブーストMF」に設定する

① 「AF枠」を「大」または「小」にする (95)
② 3 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。
③ 「AFブーストMF」を選ぶ ➤ SETを押す。
- フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠 (AFブーストMF枠)が表示される。

④ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する (90)。





3 フォーカスリングを回して、調整する

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

コンティニュアスAFで調整する

AF枠（🕮 95）がオートのときは、画面中央部にある被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。オート以外に設定しているときは、表示されているAF枠内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。

1 フォーカスモードスイッチをAFにする

- 画面にAFが表示される。
- 「AF枠」が「オート」のときは以降の操作は不要。

2 AF枠が「大」または「小」のとき AFモードを「連続」に設定する

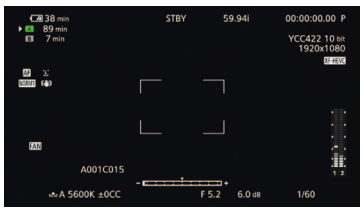
① 3 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。

② 「連続」を選ぶ ➤ SETを押す。

- 画面に白い枠（コンティニュアスAF枠）が表示され、継続したピント合わせを行う。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（🕮 95）。

- 顔検出AF（🕮 96）使用中は、主な被写体と判断した顔に白い枠が表示される。



MEMO

- オートフォーカスで調整するときにピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- F値をF11より絞ったときは、「連続」で調整します。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレートが29.97P、25.00P、23.98Pのいずれかのとき。

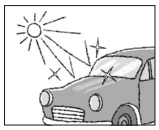
オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

- 3 カメラ設定メニュー ➤「AFスピード」で、AFスピード*を選択できます（🕮 219）。
  * ピントが合うまでの速度。
- 3 カメラ設定メニュー ➤「AFレスポンス」で、AFの応答性を選択できます（🕮 219）。
- AFモードが設定できないとき（🕮 93）は「AFスピード」や「AFレスポンス」も設定できません。

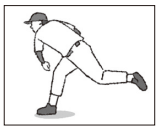
AFモードが設定できないとき

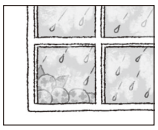
- 7カメラ設定メニューの「コンバージョンレンズ」で「TL-U58」または「WA-U58」に設定しているとき。
- 5カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタルテレコン 6.0x」または「デジタルテレコン 3.0x」に設定しているとき。
- カスタムピクチャーのガンマの設定が「PQ」または「HLG」のとき。
- 赤外撮影を設定しているとき。

オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件

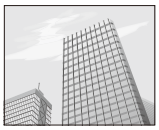

強い光が反射

明暗差がない


動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

夜景


繰り返し模様

- カスタムピクチャーのガンマ（143）をCanon Log 3、またはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞りに設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

AF枠のサイズ／位置を変更する

オートフォーカスで調整するときに、画面に表示されるAF枠のサイズ・位置を変更することができます。AF枠のサイズを「大」または「小」に設定しているときはAF枠の位置を選べます。なお、顔検出中や被写体の追尾中は、顔や被写体に合わせてAF枠のサイズや位置は自動的に変更されます。

1 AF枠のサイズを変更する

① 3 カメラ設定メニュー ➤「AF枠」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
オート： 画面中央部にある被写体にピントが合うように自動的にAF枠を設定する。画面に枠は表示されない。
大、小： 画面の80%の範囲内で任意の位置にAF枠を設定できる。被写体の大きさによって、大または小を設定する。

2 「大」または「小」を選んだとき AF枠の位置を変更する

① 3 カメラ設定メニュー ➤「AF枠位置」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
可動： AF枠の位置を変更可能。
中央固定： AF枠は中央に固定。
③ 「可動」を選んだとき ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチしてAF枠の位置を変更する。CANCELを押すと中央に戻る。

MEMO

AF枠サイズや位置を変更できない場合

- 5 カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタルテレコン 6.0x」または「デジタルテレコン 3.0x」に設定しているとき。
- 7 カメラ設定メニューの「コンバージョンレンズ」で「TL-U58」または「WA-U58」に設定しているとき。
- カスタムピクチャーのガンマの設定が「PQ」または「HLG」のとき。
- カラーバーを表示しているとき。
- 赤外撮影を設定しているとき。

■ 顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

人物の顔を検出して、検出した複数の人物の中からメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体が動いても自動的に追尾します。オートフォーカス機能を併用すれば、メインの被写体に自動的にピントを合わせることができます（顔検出AF）。また、デュアルピクセルフォーカスガイドを使用すれば、メインの被写体に手動でフォーカス調整することもできます。さらに、メインの被写体を変更することもできます。

1 顔検出を有効にする

① 4 カメラ設定メニュー ➤「顔検出＆追尾」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「切」を選ぶと顔の検出を行わない。

③ 4 カメラ設定メニュー ➤「顔検出AF」を順に選ぶ。
④ 顔が検出されないときの動作を選ぶ ➤ SETを押す。
顔優先：AFモードの設定に応じた調整方法になる。
顔限定：ピントが固定される。
- 画面に(顔優先)または(顔限定)が表示される。

2 ビデオカメラを人物に向ける

検出したすべての顔に枠が表示される。複数の顔が検出されたときは主な被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。また、主な被写体の枠は、オートフォーカスのときは白色で、マニュアルフォーカスのときは灰色で表示される。

- コンティニュアスAFのときは、メインの被写体と判断した顔に継続してピントを合わせる。
- 追尾（98）と併用すると、メインの被写体を確実に追尾することができる。

フォーカス対象の人物を選ぶとき

ジョイスティックを左右に押すと、メインの被写体が切り換わる。フォーカス対象の人物をタッチすると、タッチした被写体に2重枠が表示され追尾が開始される。タッチして被写体を選択したときは、顔が検出しにくい状況でも追尾を続ける。

AFモード／フォーカス操作と顔検出AFの動作

AFモード	フォーカス操作	顔検出AF			
		顔優先		顔限定	
		顔の検出あり	顔の検出なし	顔の検出あり	顔の検出なし
コンティニュアスAF	自動調整	検出した顔に合焦	AF枠内の被写体に合焦	検出した顔に合焦	マニュアルフォーカス
AFブーストMF	自動調整中				
	自動調整していないとき（黄色の枠が表示中）	マニュアルフォーカス			

MEMO

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い、または明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。顔が上下逆さまのとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードが1/30秒未満（システム周波数が59.94 Hz時）*、1/25秒未満（同50.00 Hz時）のとき。
  * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒未満。
- スローモーション記録モードのとき。
- 5 カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタル 300x」を設定していて60倍を超えて拡大しているとき。
- 5 カメラ設定メニューの「デジタルズーム」で「デジタルテレコン 6.0x」を設定しているとき。
- 赤外撮影を設定しているとき。

● 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出&追尾」を「切」にしてください。
● 「顔検出&追尾」や「顔検出AF」を割り当てたアサインボタンを押して、それぞれの操作をすることもできます（136）。

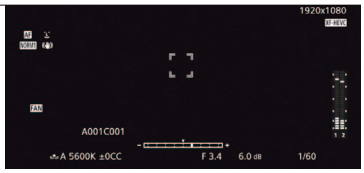
■ 選んだ被写体を追尾する

ねらった被写体を追尾し、AFモードやAF枠サイズの設定に応じて、追尾対象の被写体にピントを合わせることができます。

AF枠が「オート」のとき

1 追尾する被写体を選ぶ

① 追尾する被写体をタッチする。
- タッチした被写体に2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。
- CANCELを押すと追尾を終了する。



AF枠が「大」または「小」のとき

アサインボタンに「追尾」を割り当てて操作します。

例：ビデオカメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる場合

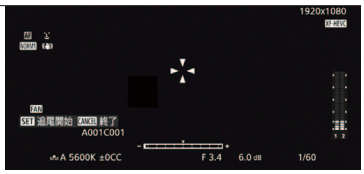
1 ビデオカメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる（139）

2 ビデオカメラアサイン8ボタンを押す

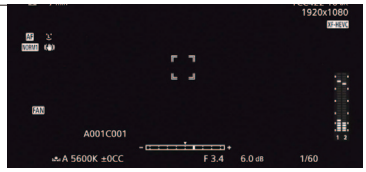
- 「顔検出」が「顔優先」のときは追尾待機モードになり、画面に⛶が表示される。操作3に進む。
- 「顔検出AF」が「顔限定」のときは主な被写体に2重枠が表示され、追尾が開始される。
- ビデオカメラアサイン8ボタンまたはCANCELを押すと追尾待機モードを終了する。

3 追尾する被写体を選ぶ

① ジョイスティックを上下左右に押して、⛶の中央を被写体に合わせる ➤ SETを押す。
- 画面内の被写体をタッチしても、追尾を開始できる。
- 追尾に失敗（⛶が約1秒間赤色になる）したときは、もう一度被写体を選ぶ。



4 が追尾枠に変わり、選んだ被写体の追尾が開始される



- コンティニュアスAFのときは、被写体にピントを合わせ続ける。
- SETまたはビデオカメラアサイン8ボタンを押すと、追尾を終了して追尾待機モードに戻る。
- CANCELを押すと追尾を終了し、AF枠サイズに応じたAF枠が表示される。

MEMO

- 特徴が似た別の被写体を誤って追尾することがあります。そのときは、被写体を選択しなおしてください。

追尾が使用できない場合

- 「顔検出AFが使用できない場合」(📖 97)と同じです。

フォーカスリミットとマクロ撮影

フォーカスリミットを入にすると60cm ～∞ (テレ～ワイド全域) の範囲でフォーカス操作ができます。マクロ撮影を行うときは、フォーカスリミットを切にします。切にすると1cm(ワイド側) ～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができます。

① 4 カメラ設定メニュー ➤「フォーカスリミット」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 「フォーカスリミット」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます (📖 136)。

手ブレ補正を使う CAMERA MEDIA

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の3種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

- ダイナミックIS： 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果が大きい。
- スタンダードIS： 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
- パワードIS ： 静止して望遠撮影するときの手ブレを補正。ズームを望遠側にするほど補正効果が大きい。パンやチルトなどビデオカメラを動かす撮影には向かない。

1 補正方式を選ぶ

① 7 カメラ設定メニュー ➤「手ブレ補正モード」を順に選ぶ。
「ダイナミック」または「スタンダード」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に または が表示される。

2 手ブレ補正を有効にする

① 7 カメラ設定メニュー ➤「手ブレ補正」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 三脚を使って撮影するときなど、手ブレ補正を使用しないときは「切」を選ぶ。

3 望遠側の手ブレをさらに補正したいとき パワードISを使う

① POWERED IS（パワードIS）ボタンを押す。
- パワードISを「入」にすると、画面に が表示される。
- もう一度POWERED ISボタンを押すと、操作1、2で設定した補正方式に戻る。
- 7 カメラ設定メニュー ➤「パワードIS」でも入／切を設定できる。

MEMO

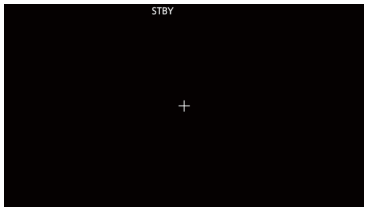
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ダイナミックIS使用時、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひずみ、暗くなるなど）することがあります。
- 「ダイナミック」と「スタンダード」を切り換えるときに、画面が黒くなります。
- 動画撮影中に「ダイナミック」と「スタンダード」を変更することはできません。
- 「ダイナミック」設定時は画角が狭くなります。
- 「手ブレ補正」を割り当てたアサインボタンを押して、手ブレ補正の入／切を操作することもできます（136）

マーカー／ゼブラパターンを表示する CAMERA MEDIA

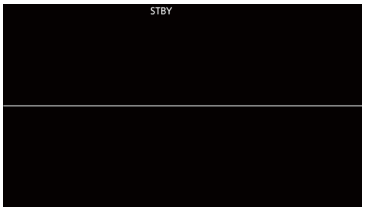
撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力できます（231）。記録される映像には影響しません。

マーカーを表示する

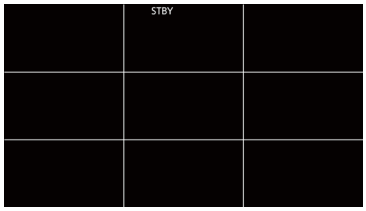
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



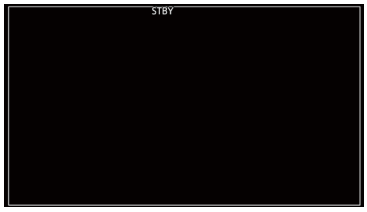
センターマーカー



水平マーカー



グリッド



セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域は基準となる領域と、それに対する面積で設定できます。

*2 アスペクト 比 は「4:3」、「13:9」、「14:9」、「16:9」、「1.375:1」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「1.90:1」、「2.35:1」、「2.39:1」の11個、または任意のカスタム比から選択できます。

マーカー表示を有効にする

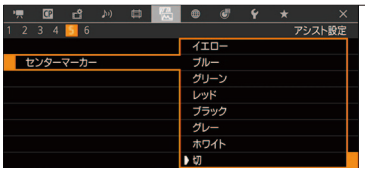
マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

① 5 アシスト設定メニュー ➤「マーカー」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- マーカーが表示可能になる。
- マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

表示したいマーカーを選ぶ

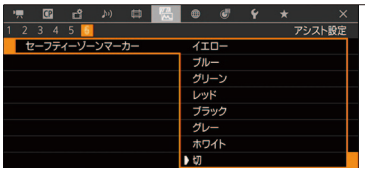
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



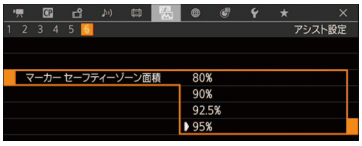
1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

① 5 アシスト設定メニュー ➤「センターマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
- センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① 6 アシスト設定メニュー ➤「セーフティーゾーンマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
- セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーン基準、セーフティーゾーン面積）を行う

① 5 アシスト設定メニュー ➤「アスペクトマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- アスペクトマーカーの表示が有効になる。

③ 6 アシスト設定メニュー ➤「マーカー セーフティーゾーン基準」を選ぶ ➤ SETを押す。
④「映像全体」または「アスペクトマーカー領域」を選ぶ ➤ SETを押す。
⑤ 6 アシスト設定メニュー ➤「マーカー セーフティーゾーン面積」を選ぶ ➤ SETを押す。
⑥「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した基準と面積を元にセーフティーゾーンの領域が変更される。

MEMO

アスペクトマーカーのアスペクト比をカスタマイズするには

① 5 アシスト設定メニュー ➤「マーカー アスペクト比」で「カスタム」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 5 アシスト設定メニュー ➤「マーカー カスタムアスペクト比」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③を繰り返して任意のアスペクト比を入力し、「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（📖 53）。
- 「マーカー」を割り当てたアサインボタンを押して、マーカー表示を入／切することもできます（📖 136）。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1

設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは5±5% ～ 95±5%の範囲（5%刻み）で設定可能。

ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは0% ～ 100%の範囲（5%刻み）で設定可能。

ゼブラ1+ゼブラ2

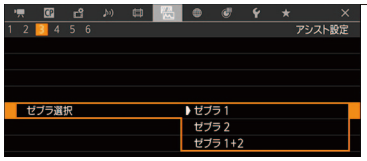
ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。

ゼブラパターン表示を入／切する

ZEBRA（ゼブラ）ボタンを押す。3 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ：LCD」、「ゼブラ：VF」、「ゼブラ：SDI」、「ゼブラ：HDMI」で入／切することもできます。

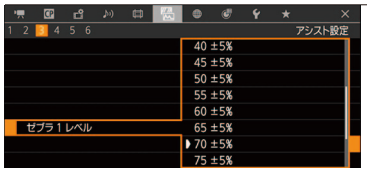
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

① 3 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ選択」を順に選ぶ。
② 「ゼブラ1」、「ゼブラ2」、「ゼブラ1+2」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① 3 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ1レベル」または「ゼブラ2レベル」を順に選ぶ。
② 輝度レベルを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- ゼブラパターンは液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（231）。

タイムコードを設定する

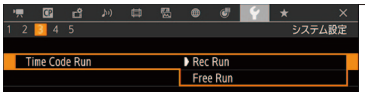
撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、SDI端子、HDMI OUT端子またはTIME CODE端子に出力できます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードをSDI端子に出力できます。また、「システム周波数」が「59.94 Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

カウントアップ方式を選ぶ CAMERA MEDIA

歩進モード	歩進方法	内容
Preset（プリセット）	Rec Run（レックラン）	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run（フリーラン）	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen.（リジェネ）	–	タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

1 歩進モードを選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Codeモード」を順に選ぶ。
② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code Run」を順に選ぶ。
② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code設定」を順に選ぶ。
- 「リセット」を選びSETを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」（NDF時は「00:00:00:00」）にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。

② 「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える CAMERA MEDIA

ドロップフレーム（DF）、またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。なお、フレームレートが29.97P、59.94P、59.94i以外のときはNDFに固定されます。

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code DF/NDF」を順に選ぶ。
② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ SETを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00．00
  NDFのとき　00：00：00：00

タイムコードを保持する（タイムコードホールド） CAMERA MEDIA

「Time Codeホールド」を割り当てたアサインボタン（📖 136）を押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* SDI端子、HDMI OUT端子、TIME CODE端子に重畳されるタイムコードはホールドされません。SDI端子、HDMI OUT端子の出力映像に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について

R：　Regen.（リジェネ）設定時
P：　Rec Run（レックラン）設定時
F：　Free Run（フリーラン）設定時
E：　タイムコード外部入力時
H：　タイムコードホールド時
表示なし：再生時

MEMO

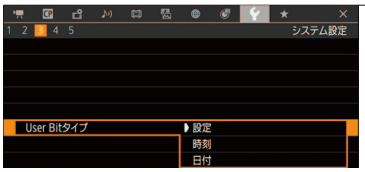
- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98Pのときは0 ～ 23、25.00P / 50.00P / 50.00iのときは0 ～ 24、それ以外は0 ～ 29となります。
- 「SDI/HDMIスキャンモード」が「PsF」で、フレームレートが23.98Pのときは、SDI端子およびHDMI OUT端子へ出力するタイムコードのフレームカウントを0 ～ 23から0 ～ 29に変換して出力します。
- スローモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- スローモーション記録のときは、SDI端子、HDMI OUT端子、TIME CODE端子にタイムコードを出力できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵のリチウム電池の残量があれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。
- 「Time Code」を割り当てたアサインボタンを押して、3 システム設定メニューを表示することができます（📖 136）。

ユーザービットを設定する CAMERA MEDIA

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録*できるほか、TIME CODE端子、SDI端子またはHDMI OUT端子に出力できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付（年月日）をユーザービットとして出力することもできます。

* 記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ。

任意の16進数を設定する



1 「設定」を選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「User Bit タイプ」➤「設定」を順に選ぶ。
- 「リセット」を選びSETを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。

② 「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

2 8桁の任意の16進数を入力する

① ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ➤ SETを押す。
② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

時刻、または日付を設定する

① 3 システム設定メニュー ➤「User Bit タイプ」を順に選ぶ。
② 「時刻」または「日付」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部機器と同期をとる

ゲンロック（GENLOCK）によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。外部の同期信号の本機への入力や、本機の同期信号の出力には、G-LOCK/SYNC端子を使います。また、本機のタイムコードを外部入力のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のビデオカメラに入力すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のビデオカメラに出力してマルチカメラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影／再生時にSDI端子の出力を編集機などに入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。

接続のしかた

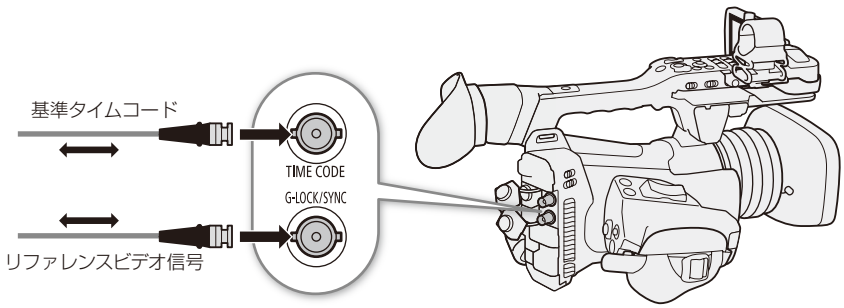
映像信号を同期させるとき

G-LOCK/SYNC端子に下図のように接続して、リファレンスビデオ信号*を入力します。G-LOCK/SYNC端子はメニュー（後述）で端子の機能を「GENLOCK」に切り換えて使用します。

* リファレンスビデオ信号としてHD三値信号の他にアナログ・ブラックバースト信号も入力可能です。

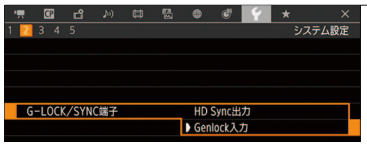
タイムコードを同期させるとき

TIME CODE端子に下図のように接続して、タイムコード信号を入力します。TIME CODE端子の入力／出力はメニュー（後述）で切り換えます。



外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK） CAMERA MEDIA

同期信号（アナログブラックバースト信号または三値信号）をG-LOCK/SYNC端子に入力すると、自動的に内部のV同期／ H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲でH位相を調整することもできます。



1 G-LOCK/SYNC端子の機能を「Genlock」に設定する

① 2 システム設定メニュー ➤「G-LOCK/SYNC端子」を順に選ぶ。
② 「Genlock入力」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 H位相を調整する

① 2 システム設定メニュー ➤「Genlock調整」を順に選ぶ。
② 「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。
- Genlockの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

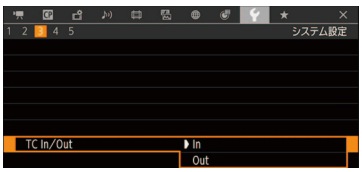
③ ジョイスティックを上下に押して数字を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「リセット」を選びSETを押すと、初期値にリセットされる。

MEMO

- 同期可能なGENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- 入力されたGENLOCK信号を検知すると、画面に Gen が点滅して表示され、入力信号に本機がロックすると点灯に変わります。
- 不正なGENLOCK信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。

外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力） CAMERA MEDIA

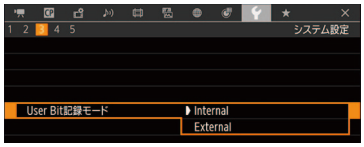
TIME CODE端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。同時に入力されるユーザービットも記録できます。なお、TIME CODE端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードのカウントアップ方式（📖 104）が「Free Run（フリーラン）」のときのみ、タイムコードを入力できます。



① 3 システム設定メニュー ➤「TC In/Out」を順に選ぶ。
② 「In」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットをクリップに記録することができます。



① 3 システム設定メニュー ➤「User Bit記録モード」を順に選ぶ。
② 「External」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- フレームレートが「23.98P」のときは24フレーム信号のタイムコード、「25.00P」、「50.00i」、「50.00P」のときは25フレーム信号のタイムコード、その他のフレームレートのときは30フレーム信号のタイムコードを入力できます。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。
- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、3 システム設定メニュー ➤「Time Code モード」と「Time Code Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。

タイムコードの同期が乱れる場合

ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入／切、メディアモードへの切り換え
- 記録信号形式の変更

リファレンスビデオ信号を出力する CAMERA MEDIA

G-LOCK/SYNC端子の機能を「HD Sync出力」に設定すると、本機のG-LOCK/SYNC端子から同期信号としてリファレンスビデオ信号（HD三値信号）を出力できます。出力される信号は、SDI端子の出力信号形式とメニューの設定（後述）によって決まります。

① 2 システム設定メニュー ➤「G-LOCK/SYNC端子」を順に選ぶ。
② 「HD Sync出力」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 必要に応じて、2 システム設定メニュー ➤「SYNCスキャンモード」で、「P」と「PsF」を切り換える。

SDI端子	SYNC端子
2160/59.94P	1080/59.94i
2160/29.97P	1080/29.97 (P/PsF)*
2160/23.98P	1080/23.98 (P/PsF)*
2160/25.00p	1080/25.00 (P/PsF) *
1080/59.94P	1080/59.94i
1080/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97P	1080/29.97 (P/PsF) *
1080/23.98P	1080/23.98 (P/PsF) *
1080/50.00P	1080/50.00i
1080/50.00i	1080/50.00i
1080/25.00P	1080/25.00 (P/PsF) *
720/59.94P	1080/59.94i

* メニューで「P」と「PsF」を切り換え可能（📖 236）。

■ タイムコードを出力する CAMERA MEDIA

本機のタイムコードを、LTC規格の信号でTIME CODE端子から出力します。なお、TIME CODE端子は、メニューで出力モードに切り換えます（📖 108）。
また、SDI端子の出力にはエンベデッドタイムコードが重畳されます。
さらに、 2 記録／メディア設定メニュー ➤「HDMI Time Code」を「入」にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳することもできます（📖 224）。

ユーザービットの出力について

撮影時は設定されているユーザービットが出力され、再生時は映像と一緒に記録されているユーザービットが出力されます（XF-HEVCまたはXF-AVCのクリップのみ）。

MEMO

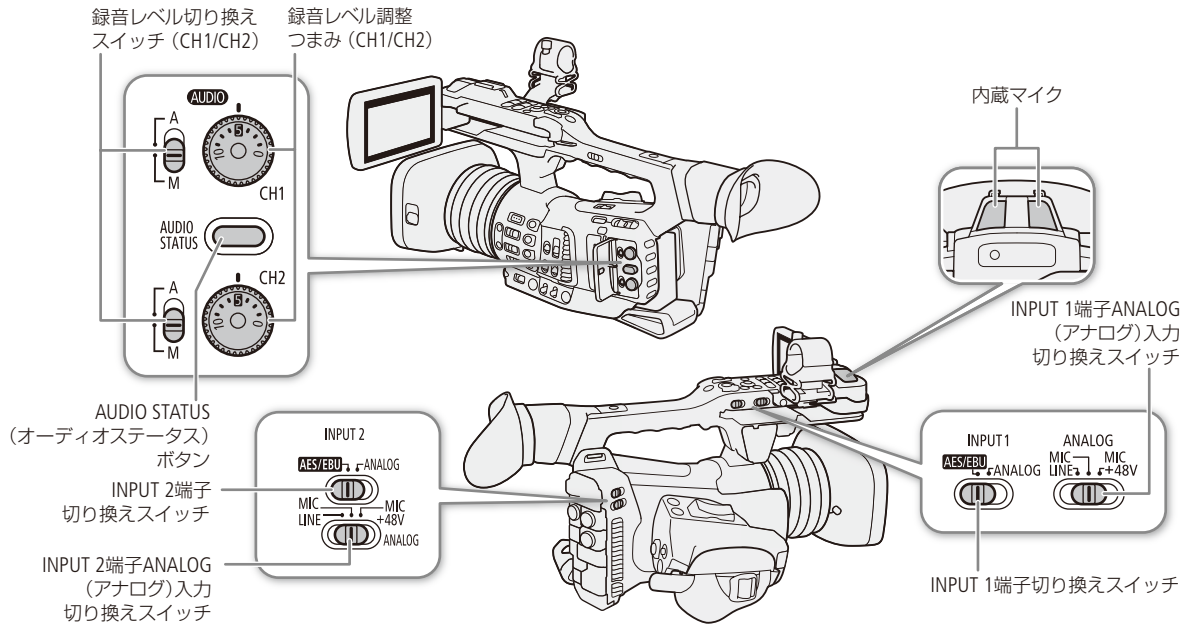
- スローモーション記録時はタイムコードとユーザービットを出力しません。
- 再生時は、SDI端子からのみタイムコードとユーザービットを出力します。

音声を記録する CAMERA MEDIA

本機では、下表に示す形式で音声を記録できます。収録する音声は、INPUT端子（外部マイク、外部ライン、デジタル（AES/EBU））、MIC（マイク）端子、内蔵マイクから選びます。また、SDI端子、またはHDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。

音声記録形式

動画の記録形式	音声の記録方式	チャンネル数	量子化ビット数	サンプリング周波数
XF-HEVC、XF-AVC	リニアPCM	4ch	24 bit	48 kHz
MP4	AAC	2ch	16 bit	48 kHz
	リニアPCM	4ch		



■ 記録音声と必要な設定

CH1 ～ CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチとメニュー設定から決まります。

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3	CH4	CH1 / CH2 Input選択*1	CH3 / CH4 Input選択*1	INPUT 1 ／ INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」*2
						INPUT 1	INPUT 2	
INPUT1端子（AES/EBU）		MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	AES/EBU	–	–
INPUT1端子（AES/EBU）		INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	AES/EBU	–
INPUT1端子（AES/EBU）		–	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	ANALOG	–
INPUT1端子（AES/EBU）		内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	INPUT端子	内蔵マイク	AES/EBU	–	–
INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	–	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	–	INPUT1
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT1
INPUT1端子	–	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT2
INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT1
INPUT1端子	INPUT2端子	内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	INPUT端子	内蔵マイク	ANALOG	–	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	INPUT端子	内蔵マイク	ANALOG	–	INPUT1
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子	INPUT端子	–	ANALOG	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT2端子（AES/EBU）		MIC端子	INPUT端子	–	AES/EBU	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子	MIC端子	–	–	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	MIC端子	内蔵マイク	–	–	–
内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	INPUT1端子	INPUT2端子	内蔵マイク	INPUT端子	–	ANALOG	–
内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	INPUT2端子（AES/EBU）		内蔵マイク	INPUT端子	–	AES/EBU	–
内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	MIC端子（L）	MIC端子（R）	内蔵マイク	MIC端子	–	–	–
内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	内蔵マイク	内蔵マイク	–	–	–

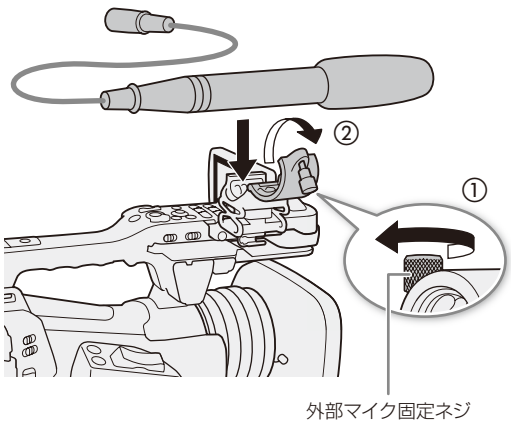
*1 ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1 / CH2 Input選択」または「CH3 / CH4 Input選択」の設定（🕮 115）。
*2 ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH2 Input」の設定（🕮 115）。

MEMO

- 各記録チャンネルの設定状態は、「AUDIO STATUS」ボタンやステータス画面で確認できます（🕮 245）。
- 「AUDIO STATUS」ボタンでオーディオステータス画面を表示したときは、SETを押して♪))1 オーディオ設定メニューを表示することができます（🕮 111）。

■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

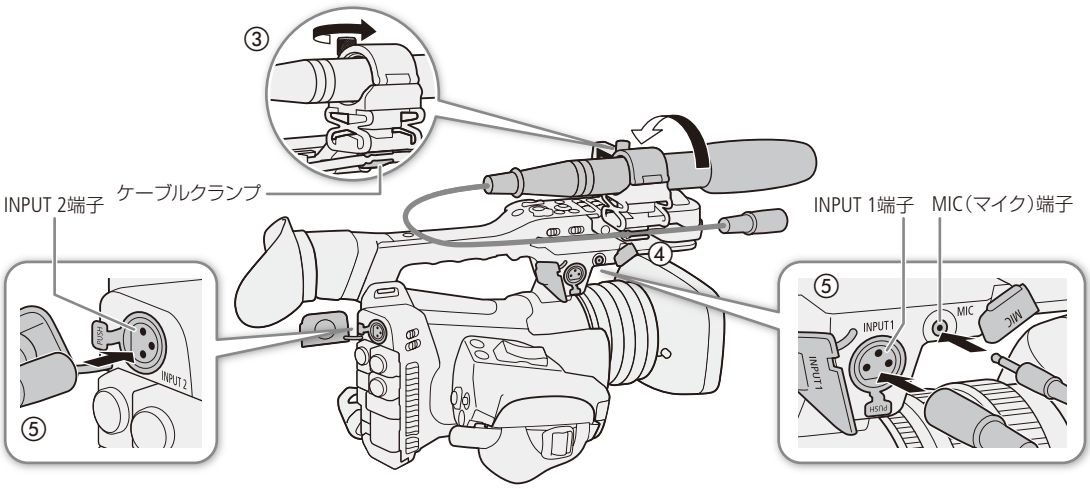
INPUT端子にはXLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器（アナログ）、または外部デジタルオーディオ機器（AES/EBU）を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。なお、マイクホルダーには、Φ19 ～ 20 mmのマイクを固定できます。



1 マイクのとき　外部マイク固定ネジをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

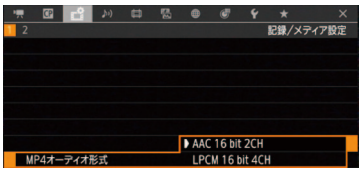
2 マイクのとき　外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをケーブルクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）



MP4動画の音声記録形式を選ぶ

音声の記録形式を、リニアPCM記録方式（4ch、16ビット）とAAC記録方式（2ch、16ビット）から選択できます。解像度（🕮 58）が1280x720のときは、AAC記録方式のみのため、音声記録形式は選択できません。



① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「MP4オーディオ形式」を選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 汎用性を優先するときはAAC記録方式を、音質を優先するときはリニアPCM記録方式を使用してください。
- AAC記録方式（2ch）のときは、CH1とCH2の音声が記録されます。

INPUT端子の音声を設定する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力は、それぞれ個別に設定できます。

1 INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチをAES/EBUまたはANALOGにする

2 ANALOGを選んだとき　INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチをLINE（ライン）、またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- INPUT端子を1チャンネルのみ使用するときは、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

- アナログ入力の場合、＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

録音する入力音声を選ぶ

録音する音声はCH1/CH2とCH3/CH4の2チャンネルごとに選択します。「記録音声と必要な設定」(🕮 112)を参考にして設定してください。

1 録音する音声を選択する

① ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」を順に選ぶ。
② 「INPUT端子」、「MIC端子」または「内蔵マイク」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

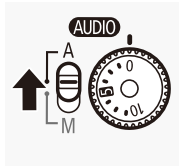
CH1/CH2の入力がINPUT端子(アナログ入力)のときは、CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。

① ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH2 Input」を順に選ぶ。
② 「INPUT2」または「INPUT1」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
INPUT 2 : INPUT 1 ／ INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
INPUT 1 : INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子の音声は録音されない。

録音レベルを調整する

INPUT端子(アナログ)、MIC端子、内蔵マイクの録音レベルを調整します。INPUT端子(アナログ)の録音レベルとMIC端子の録音レベルは、CH1 ～ CH4のチャンネルごと、またはCH1 / CH2のセット*、CH3 / CH4のセット*でオート／マニュアルを設定できます。オートにすると自動調整され、マニュアルにすると−∞～ +18dBの範囲で手動調整できます。INPUT端子(AES/EBU)のときは、録音レベルを調整しません。また、内蔵マイクの録音レベルはCH1 / CH2のセット、CH3 / CH4のセットでのみ調整可能です。
なお、♪))5 オーディオ設定メニューの「CH2スイッチ&ダイヤル アサイン」(🕮 226)を「CH3」にすると、録音レベル切り換えスイッチCH2と録音レベル調整つまみCH2でCH3を調整できます。
* 「CH1/CH2(CH3/CH4) ALCリンク」を「連動」にする必要があります(🕮 225)。

CH1、CH2、またはCH1 / CH2をオートで調整する



録音レベル切り換えスイッチをA(オート)にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

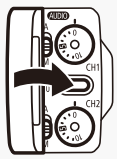
CH1、CH2、またはCH1 / CH2をマニュアルで調整する

録音レベルをCH1、CH2のチャンネルごと、またはCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて手動調整できます。調整は－∞～+18 dBの範囲で行うことができます。調整後、オーディオ（録音レベル）カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。

1 録音レベル切り換えスイッチをM(マニュアル)にする

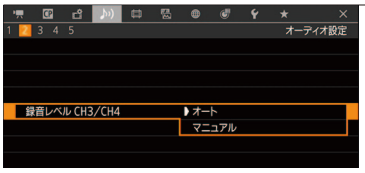
2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみの0(－∞) ～ 5(0 dB) ～ 10(+18 dB)の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの－18 dB (－20 dBのひとつ右隣り) より右が時々点灯するように調整する。



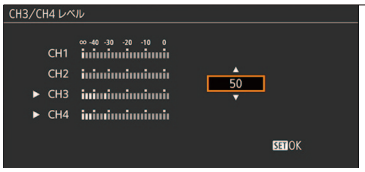
3 録音レベルカバーを閉じる

CH3、CH4、またはCH3 / CH4を調整する



1 調整方法を選ぶ

① ♪))2 オーディオ設定メニュー ➤「録音レベルCH3」、「録音レベルCH4」または「録音レベルCH3 / CH4」を順に選ぶ。
②「オート」または「マニュアル」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 「マニュアル」を選んだとき 録音レベルを調整する

①「CH3レベル」、「CH4レベル」または「CH3 / CH4レベル」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、0(－∞)～ 50(0dB)～ 100(+18dB)の範囲で録音レベルを調節する。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの－18dB (－20dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調節する。

③ SETを押す。

INPUT端子（アナログ）、またはMIC（マイク）端子のCH1とCH2、CH3とCH4の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 ／ INPUT 2端子、またはMIC（マイク）端子が同じ音声入力（外部ライン、または外部マイク）に設定されている場合、CH1とCH2、またはCH3とCH4のレベル調整を連動させることができます。設定は、♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1/CH2 ALCリンク」または「CH3/CH4 ALCリンク」（🕮 225）で設定します。「CH1/CH2 ALCリンク」を「連動」に設定すると、CH1の録音レベル切り換えスイッチと録音レベル調整つまみでCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて調整できます。
「CH3/CH4 ALCリンク」を「連動」に設定すると、「録音レベルCH3 / CH4」と「CH3/CH4 レベル」でCH3 / CH4の2チャンネルをまとめて調整できます。

INPUT端子（アナログ）の音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力信号が歪みはじめるレベルになると自動的に信号レベルを制限して歪みを低減します。INPUT 1端子／ INPUT 2端子のいずれかがアナログでかつマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、♪))4 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1/2 リミッター」（🕮 225）で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- 「オーディオレベル」を割り当てたアサインボタンを押して、オーディオレベルメーターの表示を入／切することができます。（🕮 136）

内蔵マイクのローカットを使う

録音する入力音声（🕮 115）に「内蔵マイク」を選んだときは収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。

① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「内蔵マイクローカット」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

切：	一般的な音を録音するとき。
LC1：	人の声を中心に録音するとき。
LC2：	海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。

内蔵マイクの感度を選ぶ

録音する入力音声（🕮 115）に「内蔵マイク」を選んだときは収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。

① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「内蔵マイク感度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
ノーマル：　通常のレベルの音を録音するとき。
ハイ：　より大きな音量（+6 dB）で録音するとき。

内蔵マイクアッテネーターを使う

録音する入力音声（🕮 115）に「内蔵マイク」を選んだときは必要に応じてアッテネーターを使用できます。

① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「内蔵マイクアッテネーター」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
● マイク信号にアッテネーター（12dB）がかかる。

外部マイク（INPUT端子）の入力感度を調整する

INPUT 1 ／ INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します。

① ♪))4 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2 マイクトリミング」を順に選ぶ。
② 下記のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、－6 dB、－12 dB

外部マイク（INPUT端子）のアッテネーターを使う

INPUT 1 ／ INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します。

① ♪))4 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2 マイクアッテネーター」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

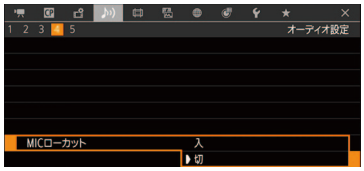
外部マイク（MIC端子）のアッテネーターを使う

録音する入力音声（📖 115）に「MIC端子」を選んだときは、必要に応じてアッテネーターを使用できます。

① ♪))4 オーディオ設定メニュー ➤「MICアッテネーター」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

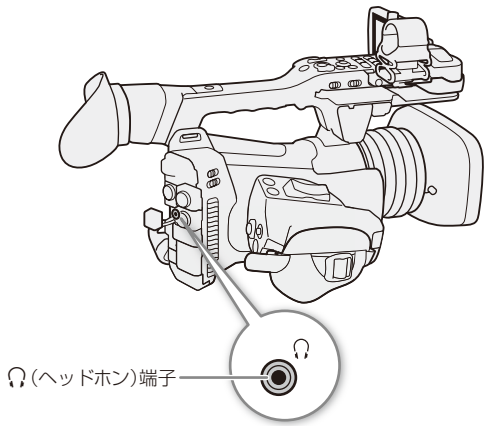
外部マイク（MIC端子）のローカットを使う

録音する入力音声（📖 115）に「MIC端子」を選んだときは、収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



① ♪))4 オーディオ設定メニュー ➤「MICローカット」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
入：海辺やビルの近くなど風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
切：一般的な音を録音するとき。

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5 mmステレオミニプラグのヘッドホンを🎧（ヘッドホン）端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

MEMO

音量を調整するには

- ♪))5 オーディオ設定メニュー * ➤「ヘッドホン音量」で調整する。
  * メディアモードのときは、♪))1 オーディオ設定メニュー。
- 「ヘッドホン+」または「ヘッドホン−」を割り当てたアサインボタンで操作する（📖 136）。

カラーバー／テストトーンを記録する

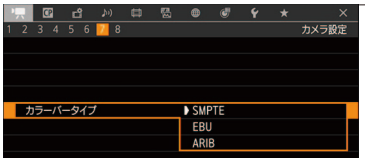
CAMERA | MEDIA

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	SDI端子	HDMI OUT端子	∩(ヘッドホン)端子
カラーバー	●	●	—
テストトーン	●	●	●

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーのタイプを選ぶ

① 7 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を順に選ぶ。
②「SMPTE」、「EBU」、「ARIB」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 カラーバーを表示する

① 7 カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面にカラーバーが表示される。
- RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
- 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「切」になる。

MEMO

- カラーバータイプは、プレ記録中や記録中に切り換えられません。
- カラーバーは、記録中に「入」、「切」を切り換えることはできません。
- 「カラーバー」を割り当てたアサインボタンを押して、入／切することもできます（136）。

■ テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。

① 5 オーディオ設定メニュー ➤「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
②「－12 dB」、「－18 dB」、「－20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- カラーバーが「入」のとき、選択したレベルのテストトーンが出力される。
- RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

WFM機能を表示する CAMERA MEDIA

画面に波形モニター（Waveform Monitor）を表示することができます。液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力できます。

モニター表示を有効にする

1 WFMボタンを押す

- WFMボタンを押すたびにモニター表示が入／切される。
- 4 アシスト設定メニュー * ➤「WFM LCD」、「WFM VF」、「WFM SDI」、「WFM HDMI」で出力先ごとに入／切することもできる。
  * メディアモードのときは、1 アシスト設定メニュー。
- 4 アシスト設定メニュー ➤「波形モニター設定」➤「位置」で、波形モニターの表示位置（右／左）を選択できる。

波形モニター（Waveform Monitor）のタイプを選ぶ

波形モニターは6種類のタイプから選ぶことができます。また、波形の倍率を1倍と2倍から選択できます。

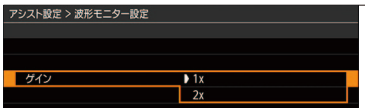
1 波形モニターのタイプを選ぶ

① 4 アシスト設定メニュー ➤「波形モニター設定」➤「タイプ」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ライン：	ライン表示する。
ライン+スポット：	ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
ラインセレクト：	赤い横線における波形を表示する。
フィールド：	フィールド表示する。
RGB：	R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：	Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。

2 ラインセレクトを選んだとき 波形を表示するラインのY座標を設定する

① 4 アシスト設定メニュー ➤「波形モニター設定」➤「ラインセレクト」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、ラインのY座標値を選ぶ。
③「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 垂直解像度が1080のときは0 ～ 1079の範囲（1ライン刻み）で、垂直解像度が2160のときは0から2158の範囲（2ライン刻み）で設定する。



3 波形の倍率を選ぶ

① 4アシスト設定メニュー ➤「波形モニター設定」➤「ゲイン」を順に選ぶ。
② 「1x」(1倍)または「2x」(2倍)を選ぶ ➤ SETを押す。

「2x」を選んだとき

① 4アシスト設定メニュー ➤「波形モニター設定」➤「Yポジション」を順に選ぶ。
- 波形モニターの縦軸(輝度)の表示範囲が50%になり、表示開始輝度(%)を選択できる。

② 「0%」、「15%」、「30%」、「45%」、「50%」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- LCDやファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子の映像にLUTを適用していても、波形モニターの波形には影響しません。
- カラーバーや拡大表示を使用中、波形モニターは表示されません。
- カスタムピクチャーの「Knee」(ニー)を設定しているとき、ニーポイントに相当する輝度値に横線を表示します。

ショットマークを付加する CAMERA MEDIA

XF-HEVC動画／ XF-AVC動画を撮影中、重要なフレームにショットマークを付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加／消去することもできます（🕮 162）。

■ 撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマークを割り当てる必要があります。

例：アサイン5ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン5ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（🕮 136）。

2 撮影中 ショットマークを付加する

① ショットマークを付加したいときに、アサイン5ボタンを押す。
- 画面に「Shot Mark」が表示され、ショットマークが付加される。

MEMO

- ショットマークは、リモコン（付属）のSHOT1ボタンを押して付加することもできます。
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大1秒程度ずれることがあります。
- ショットマークを付加すると、メディアモードのインデックス画面で、クリップサムネイルの横にSが表示されます。

ショットマークを付加できないとき

- プレ記録モードでREC（記録開始／停止）ボタンを押す前。

OKマーク／チェックマークを付加する CAMERA MEDIA

カメラモードで最後に撮影したXF-HEVC動画／ XF-AVC動画のクリップに、OKマークまたはチェックマークを付加することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。OKマーク／チェックマークは、メディアモードで再生中またはインデックス画面で付加することもできます（📖 158）。

■ 撮影中にOKマーク／チェックマークを付加する

例：アサイン5ボタンに「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当てて、マークを付加する場合

1 アサイン5ボタンに「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（📖 136）

2 撮影が終了したあと OKマークまたはチェックマークを付加する

① アサイン5ボタンを押す。
- 画面に「OK Mark」が表示され、直前に撮影したクリップにOKマークが付加される。
- チェックマークのときは、画面に「☑ Mark」が表示される。

MEMO

- OKマークとチェックマークは、同じクリップに同時に付加することはできません。
- OKマークやチェックマークを付加すると、メディアモードのインデックス画面で、クリップサムネイルの横にOKまたは☑が表示されます。

メタデータを操作する CAMERA MEDIA

本機で記録したXF-HEVC動画／ XF-AVC動画のクリップにはメタデータが付加されます。付加されたメタデータは、ソフトウェアCanon XF Utility(以下、XF Utility)で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。
設定されるメタデータは、以下のとおりです。設定のしかたは項目によって異なります。

		メタデータ			
		ユーザーメモ	GPS情報	撮影情報	UMID所有権情報
		クリップタイトル、撮影場所、撮影内容		シャッター、ゲインなどの撮影時設定	国コード、組織コード、ユーザーコード
設定	ビデオカメラ	–	●*1	–*2	●
	XF Utility	●	●*3	–	–
	ブラウザーリモート	●	●	–	–
参照	XF Utility	●	●	●	–

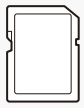
*1 GPSレシーバー GP-E2(別売)接続時のみ、撮影時に自動的に記録される (🕮 127)。
*2 撮影時に自動的に記録される。
*3 記録されたクリップに対してのみ設定可能。

XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityについては「クリップをパソコンに保存する」(🕮 173)をご覧ください。

1 XF Utilityでユーザーメモを設定し、カードに保存する

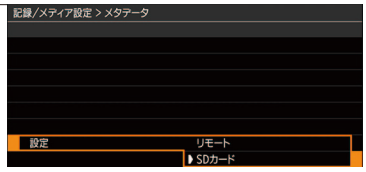
参考 ▸▸XF Utilityの使用説明書



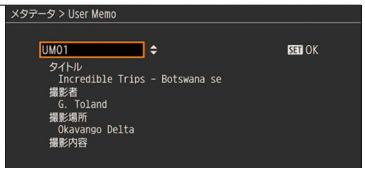
2 ユーザーメモが保存されているカードを本機のSD CARD Bに入れる

3 メタデータの設定方法を選ぶ

① 2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「SDカード」を選ぶ ➤ SETを押す。



4 ユーザーメモファイルを選ぶ



① 2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「User Memo」を順に選ぶ。

② ジョイスティックを上下に押して、カードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- 画面にMEMOが表示される。
- 「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。

MEMO

- ユーザーメモを設定して撮影するときは、カードを抜かないでください。カードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。
- XF Utilityを使ってユーザーメモを設定するとき、設定は撮影前に行ってください。カードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。

* XF Utilityを使用して変更することができます。

- GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着してGPSを有効にしているときは、SDカードからユーザーメモを指定しても、ユーザーメモは付加されません。

■ 撮影情報（シーン、テイク）を設定する

1 「シーン」または「テイク」を選ぶ

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「シーン」または「テイク」を順に選ぶ。

2 任意の文字列を入力する

① 「変更」を選ぶ ➤ SETを押す。

② 文字列を入力する。

参考 ▶▶「文字入力のしかた」(📖 30)。

- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
- 「リセット」を選びSETを押すと、初期値にリセットされる。

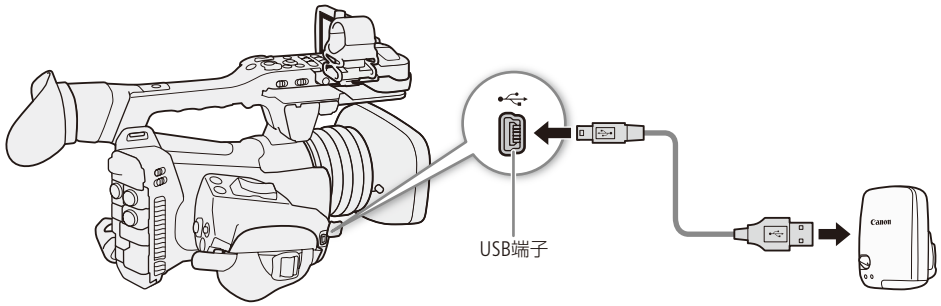
GPS情報を記録する CAMERA MEDIA

本機のUSB端子（📖 13）にGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して撮影すると、クリップや静止画のメタデータにGPSから取得した位置情報（経度、緯度、標高。以下「GPS情報」）を記録できます。静止画には協定世界時（UTC）も記録されます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます（📖 157）。また、Canon XF Utility（📖 173）では、GPS情報を使ってクリップを検索することができます。GP-E2の取り付け方や詳細についてはGP-E2の説明書をご覧ください。

GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、接続ケーブル*を使って本機のUSB端子に接続します。撮影時は、携帯用ケース*に入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをお勧めします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

* いずれもGP-E2に付属しています。



日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。

① 1 システム設定メニュー ➤「GPS自動時刻設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 以降、GP-E2を接続後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- GPS自動時刻設定が有効のときは1 システム設定メニュー ➤「タイムゾーン」や「日付／時刻」を変更できません。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 動画や静止画に記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます（📖 240）。
- 5 モニタリング設定メニュー ➤「表示単位系」で、長さの単位を選べます（📖 229）。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
  - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
  - 「位置情報の更新間隔」
  - 「電子コンパス」（方位情報）

レックレビューで確認する CAMERA MEDIA

カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

1 レックレビューの再生範囲を設定する

① 5 システム設定メニュー ➤「レックレビュー」を順に選ぶ。

②「クリップ先頭から」または「最終4 sec」を選ぶ ➤ SETを押す。

クリップ先頭から： クリップの先頭からすべて再生する。

最終4 sec： クリップの最後の4秒間のみを再生する。

2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

① ボタンを押す。

- 画面に「▶REVIEW」が表示される。
- 操作1で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。
- 音声は、(ヘッドホン)端子、HDMI OUT端子、またはSDI端子から出力されます。
- ジャンプ再生（154）で操作することもできます。

レックレビューを中止するとき

CANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態（STBY）に戻る。

MEMO

- 撮影中に記録先のカードが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったカード内のクリップが再生されます。

特殊記録を行う CAMERA MEDIA

次の2種類の特殊記録を行うことができます。

スローモーション記録： 再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションの効果を得る。記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ使用可能。

プレ記録： 撮影開始時点の一定時間前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。

■ スローモーション記録を行う

再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で、プログレッシブ方式で記録できます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果（最低1/5倍速）が得られます。音声は記録されません（ミュート）。ひとつのクリップに、再生時間で約6時間分以上の記録はできません。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定可能な撮影フレームレートと撮影可能な時間（目安）

記録信号形式		撮影フレームレート	ひとつのクリップに撮影可能な時間（再生約6時間分）
フレームレート*	解像度／カラーサンプリング		
59.94P	1920x1080 YCC422 10bit	119.88P	約3時間
29.97P			約1時間30分
23.98P*			約1時間12分
50.00P		100P	約3時間
25.00P			約1時間30分

* フレームレートが23.98Pのとき、再生ビットレートは35 Mbps、それ以外は45 Mbpsとなります。

設定する

1 スローモーション記録を有効にする

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「スローモーション記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「SLOW STBY」が表示され、スローモーション記録モードになる。
- 画面に、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。
- 撮影フレームレートが119.88Pのときも、画面には「120」と表示される。

③ 「以下の設定が更新されました」が表示されるので「OK」を選んでSETを押す。

スローモーション記録モードで撮影する

1 RECボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●SLOW REC」が表示され、タリーランプが点灯する。

2 撮影を停止するとき もう一度RECボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「SLOW STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。
- 1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶとスローモーション記録モードが終了する。

MEMO

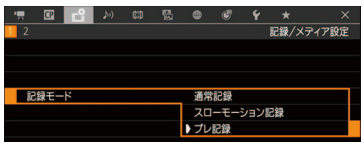
- プレ記録と同時に使用することはできません。
- スローモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- タイムコードはSDI端子、HDMI OUT端子、TIME CODE端子のいずれからも出力されません。
- 記録形式またはシステム周波数を変更すると、スローモーション記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

スローモーション記録中のタイムコード

- Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）で記録される。
- Free Run（フリーラン）に設定しているときにスローモーション記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- スローモーション記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

プレ記録を行う

プレ記録モードでは、REC（記録開始／停止）ボタンを押して撮影を開始する一定時間（3秒）前からの映像と音声を記録することができます。



① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「プレ記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。

③ REC（記録開始／停止）ボタンを押す。
- 撮影が開始される。
- 画面に「●PRE REC」が表示されて、タリーランプが点灯する。

④ 撮影を停止するとき もう一度REC（記録開始／停止）ボタンを押す。
- 撮影開始から、プレ記録時間分さかのぼった時点からの映像が記録される。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。

MEMO

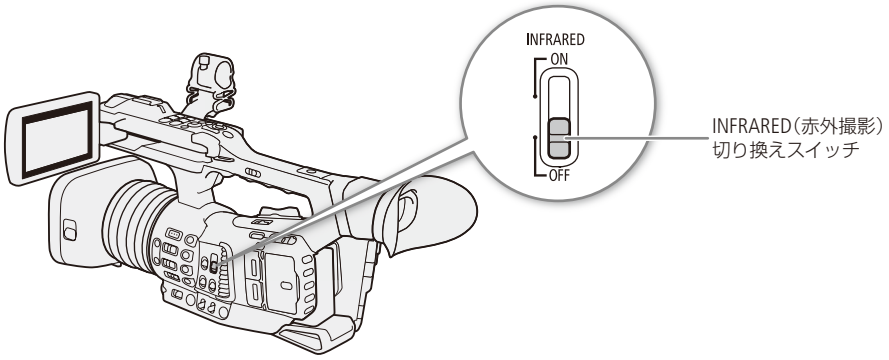
- スローモーション記録と同時に使用することはできません。
- 記録形式またはシステム周波数を変更すると、プレ記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

赤外撮影（INFRARED）を行う CAMERA MEDIA

Infrared（赤外撮影）モードを使うと、通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも明るく撮影できます。また、赤外ライトを使えば、より明るく撮影できます。なお、撮影する映像の高輝度部分の色は、白または緑から選択できます。



1 INFRARED（赤外撮影）切り換えスイッチをONにする

● Infraredモードになり、画面に「IR」と OFF が表示される。

2 高輝度部分の色を選択する

① 8 カメラ設定メニュー ➤「赤外撮影色」を順に選ぶ。
② 「ホワイト」または「グリーン」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 必要に応じて 赤外ライトを点灯する

① 8 カメラ設定メニュー ➤「赤外ライト」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

トグル：「赤外ライト」を割り当てたアサインボタンを押して、赤外ライトの入／切を切り換える。
常時 入：赤外ライトを常に点灯させる。
常時 切：赤外ライトは点灯しない。

「トグル」を選んだとき

アサインボタン（📖 136）に「赤外ライト」を割り当てたあと、アサインボタンを押す。
● 赤外ライトが点灯し、画面に ON が表示される（消灯時は OFF）。

MEMO

InfraredモードをONにしたとき

- ゲイン、シャッタースピードはオートに固定、アイリスは開放固定となり、NDフィルターは使用できない。
- AGCリミット、測光方式、AEシフト、ホワイトバランスは使用できない。
- フォーカスがマニュアルのときにInfraredモードをONにすると、Infraredモードへの移行時に、いったんオートフォーカスが動作するため、合焦状態が変わる。このときは、ピントを確認してください。

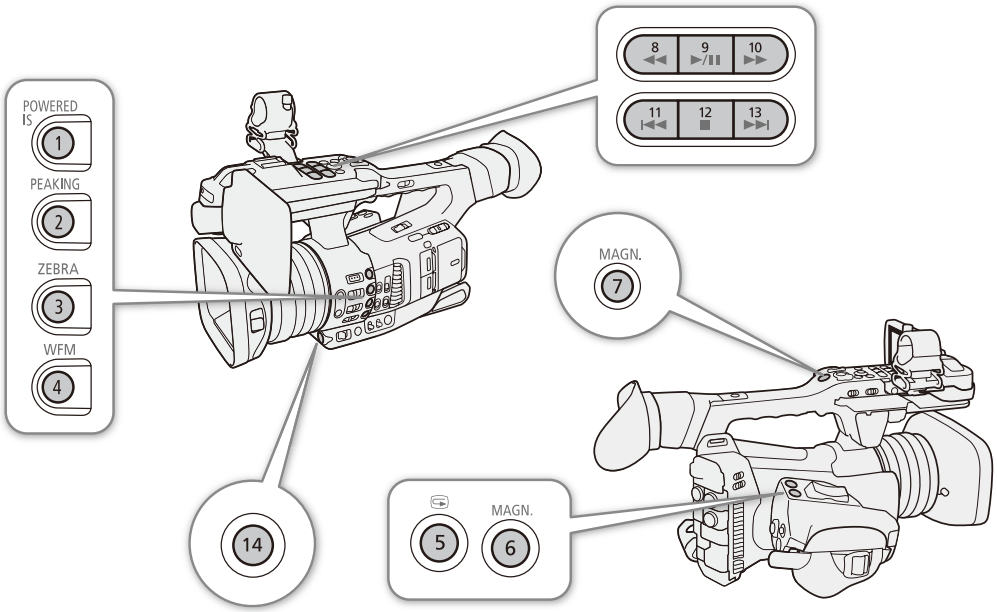
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
- 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換える際には強い光、熱源をレンズに向けないでください。強い光、熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換える際には、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。
- アサインボタンに「赤外撮影色」を割り当てると、アサインボタンを押して高輝度部分の色を切り換えられます（🕮 136）。

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する ... 136
カスタムピクチャーを使用する 140
設定データの保存と読み出し 148

アサインボタンの機能を変更する CAMERA MEDIA

本機には14個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



NO.1 ～ No.7のアサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。
アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。No.8 ～ No.13のアサインボタンはカメラモード時のみ使用可能です。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
手ブレ補正	手ブレ補正の入／切を切り換える。	●	
パワードIS	パワードISの入／切を切り換える。	●	
顔検出AF	顔検出AFの顔優先／顔限定を切り換える。	●	
顔検出＆追尾	顔検出＆追尾の入／切を切り換える。	●	
追尾	追尾の入／切を切り換える。	●	
フォーカスリミット	フォーカスリミットの入／切を切り換える。	●	
フォーカスガイド	デュアルピクセルフォーカスガイドの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：すべて	ピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：LCD	液晶モニターのピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：VF	ファインダーのピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：SDI	SDI端子のピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：HDMI	HDMI OUT端子のピーキングの入／切を切り換える。	●	
Magnification: すべて	拡大表示の入／切を切り換える。	●	
Magnification: VF+LCD	ファインダーと液晶モニターの拡大表示の入／切を切り換える。	●	
Magnification ：SDI/HDMI	SDI端子またはHDMI OUT端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
デジタルズーム	デジタルズームの300 x ／切を切り換える。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
デジタルテレコン	デジタルテレコンの6.0 x ／ 3.0 x ／ 1.5 x ／切を切り換える。	●	
プッシュオートアイリス	プッシュオートアイリスを実行する。	●	
ND +	NDフィルターを正順（濃くなる方向）に切り換える。	●	
ND −	NDフィルターを逆順（薄くなる方向）に切り換える。	●	
AEシフト +	自動露出の目標を明るめに調整する。	●	
AEシフト −	自動露出の目標を暗めに調整する。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入／切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入／切を切り換える。	●	
赤外撮影色	赤外撮影時のモノクロ表示のホワイト／グリーンを切り換える。	●	
赤外ライト	赤外撮影時の赤外ライトの入／切を切り換える。 （8 カメラ設定メニュー ➤「赤外ライト」が「トグル」のときのみ）	●	
ゼブラ：すべて	ゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：LCD	液晶モニターのゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：VF	ファインダーのゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：SDI	SDI端子のゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：HDMI	HDMI OUT端子のゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
WFM：すべて	波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
WFM：LCD	液晶モニターの波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
WFM：VF	ファインダーの波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
WFM：SDI	SDI端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
WFM：HDMI	HDMI OUT端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
LUT：すべて	適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：LCD	液晶モニターに適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：VF	ファインダーに適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：SDI	SDI端子に適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：HDMI	HDMI OUT端子に適用するLUTを切り換える。	●	
ホワイトバランスセット	ホワイトバランスセットの白取り込みを実行する。	●	
AWBホールド	オートホワイトバランスのホールドの入／切を切り換える。	●	
太陽光	ホワイトバランスの調整方法を太陽光に変更する。	●	
電球	ホワイトバランスの調整方法を電球に変更する。	●	
K Kelvin	ホワイトバランスの調整方法を色温度に変更する。	●	
LCD設定	1 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●
VF設定	2 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●
オンスクリーン表示：SDI/HDMI	画面表示を重畳する／しないを切り換える。	●	●
オンスクリーン表示：SDI	SDI端子に画面表示を重畳する／しないを切り換える。	●	●

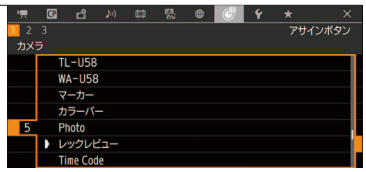
機能名	内容	CAMERA	MEDIA
オンスクリーン表示：HDMI	HDMI OUT端子に画面表示を重畳する／しないを切り換える。	●	●
Display	画面の表示レベルを切り換える。	●	●
TL-U58	テレコンバーターのTL-U58 ／切を切り換える。	●	
WA-U58	ワイドアタッチメントのWA-U58 ／切を切り換える。	●	
マーカー	マーカーの入／切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。	●	
Photo *	静止画を記録する。	●	
レックレビュー	カメラモードのままで、最後に撮影したクリップを再生する。	●	
Time Code	3 システム設定メニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。	●	●
Shot Mark追加	ショットマークを付加する。	●	●
OK Mark追加	OKマークを付加する。	●	●
☑ Mark追加	チェックマークを付加する。	●	●
ヘッドホン+	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
ヘッドホン−	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
モニターチャンネル	(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
オーディオレベル	オーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。	●	●
FUNC	FUNCボタンの機能を割り当てる。	●	
スローモーション記録	スローモーション記録モードに切り換える。	●	
出力：60⇔60(24)fps	フレームレートが59.94Pまたは59.94iのときに、出力端子／画面の映像を24 fps(または30 fps)相当にする／しないを切り換える。	●	
出力：60⇔60(30)fps		●	
シャッター	カメラダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換える。	●	
ゲイン	カメラダイレクト設定のゲイン設定に切り換える。	●	
ホワイトバランス	カメラダイレクト設定のホワイトバランス設定に切り換える。	●	
ステータス	ステータス画面を表示する。	●	●
オーディオステータス	オーディオ専用のステータス画面を表示する	●	●
Custom Picture	CP 1 Custom Pictureメニューを表示する	●	
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	
メディア初期化	メディア初期化メニューを表示する。	●	●
ユーザー設定*	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

* アサインボタンのみの機能

■ 機能を変更する

例：ビデオカメラアサイン5ボタンに「マーカー」を割り当てる場合

1 機能を割り当てる



① MENUボタンを押しながらビデオカメラアサイン5ボタンを押す。
- ビデオカメラアサイン5ボタンに割り当てる機能選択画面が表示される。
- 1 アサインボタンメニュー ➤「5」を選んでも表示できる。

② 「マーカー」を選ぶ ➤ SETを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- 割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。

ジョイスティックで任意のメニュー項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称（先頭にMENUが付く）に変わる。

■ アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、SETを押します。

MEMO
- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます（📖 244）。
- 1 システム設定メニュー ➤「リセット」➤「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます（📖 235）。

カスタムピクチャーを使用する CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やカードに保存し、必要に応じて再利用できます。カスタムピクチャーファイルは本機とカードに20セット保存でき、本機とカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーファイルの保存やコピーは、カードB(SD CARD B)のみ行えます。

機能分類	機能	設定項目	🕮
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	144
	ブラックガンマ	Black Gamma	145
	マスターペデスタル	Black – Master Pedestal	144
	マスターブラック	Black – Master Black	144
	ニー	Knee	145
	100%オーバー	Other Functions – Over 100%	147
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness – Level	145
	シャープネス帯域	Sharpness – Detail Frequency	145
	シャープネスHVバランス	Sharpness – HV Detail Bal.	145
	シャープネスリミット	Sharpness – Limit	146
	コアリングレベル	Sharpness – Coring Level	145
	ノイズリダクション	Noise Reduction	146
	スキンディテール	Skin Detail	146
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	色空間	Color Space	144
	カラーマトリクス	Color Matrix	144
	HLG Color	HLG Color	144
	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	145
	ニーサチュレーション	Knee – Saturation	145
	カラーゲイン	Color Matrix Tuning–Gain	146
	色相	Color Matrix Tuning– Phase	146
	色調	Color Matrix Tuning – R-G / R-B / G-R / G-B / B-R / B-G	146
	ホワイトバランス	White Balance	146
	カラーコレクション	Color Correction	146

MEMO

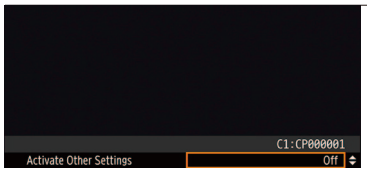
● カードに保存したカスタムピクチャーファイルは、XF705のみで使用可能です。

■ 画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

1 カスタムピクチャーを選ぶ (🕮 75)

2 プリセットを選ぶか、ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選ぶ（📖 75）



3 画質調整の設定を行う

参考 ▸▸ CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「Other Settings」（📖 144）

例： Master Pedestal（マスターペデスタル）を調整する場合

① CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「Activate Other Settings」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「Other Settings」➤「Black」➤「Master Pedestal」を順に選ぶ。
④ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ➤ SETを押す。

設定を初期設定に戻すとき

❶ CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「ファイル」➤「リセット」を順に選ぶ。
❷ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

4 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

① CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「ファイル」➤「名称変更」を順に選ぶ。
② 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 8文字の英数字・記号で名前を入力し「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 30）

● カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。

RC-V100リモートコントローラー（別売）を使うとき

- リモートコントローラー RC-V100（別売）のCUSTOM PICT.ボタンを押して、CP Custom Pictureメニューを表示することもできます。
- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません（📖 141）。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。

① プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 75）。
② CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「ファイル」➤「プロテクト」を順に選ぶ。
③ 「プロテクト」を選ぶ ➤ SETを押す。

● カスタムピクチャー選択画面で表示されるカスタムピクチャーファイル名に🔑が表示されるようになる。

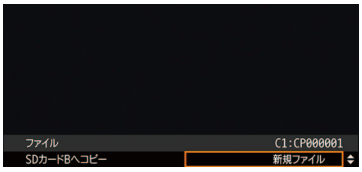
■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とカードBとの間で相互にコピーすることができます。

SDカードBへコピー：　選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をカードBにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

SDカードBから読み出し：選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をカードBのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をカードにコピーする



① カードを本機のSD CARD Bに入れる。
② カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 75）。
③「SDカードBへコピー」を選ぶ。
④ カードB内のコピー先となるカスタムピクチャーファイル、または「新規ファイル」*を選ぶ ➤ SETを押す。
* カードB内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「新規ファイル」が表示される。
⑤「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）がカードBにコピーされる。
● 「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
⑥ SETを押す。

選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える

① カスタムピクチャーが保存されているカードを本機のSD CARD Bに入れる。
② プロテクトしていないカスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 75）。
③「SDカードBから読み出し」を選ぶ。
④ カードB内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ SETを押す。
⑤「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
⑥ SETを押す。

■ カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する

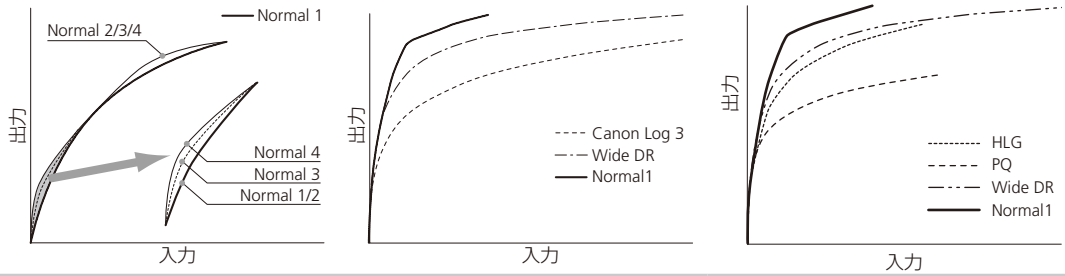
調整を行った画質設定でXF-HEVC動画／ XF-AVC動画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルがクリップと一緒に保存されます。クリップと一緒に保存したカスタムピクチャーファイルの情報は、「クリップ情報表示」で確認できます（🕮 158）

① 2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「CPファイル付加」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「切」にすると、カスタムピクチャーファイルはクリップと一緒に保存されない。

■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

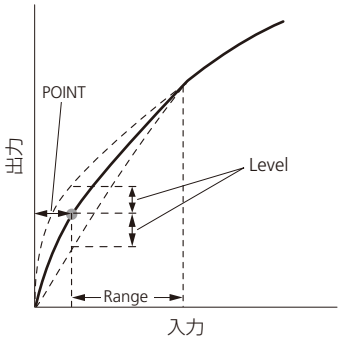
設定項目／内容・設定値
Preset
あらかじめ用意された標準的な設定。Canon Log3 を使用する設定は、ポストプロダクション処理が前提となる。ガンマ、色空間、カラーマトリクスの組み合わせは次のとおり。 「記録形式」が「XF-HEVC」のとき **Normal 1 : BT.709** ：Normal 1 (Standard) ／ BT.709 ／ Video Normal 1 : BT.2020 ：Normal 1 (Standard) ／ BT.2020 ／ Video Wide DR : BT.709 ：Wide DR ／ BT.709 ／ Video Wide DR : BT.2020 ：Wide DR ／ BT.2020 ／ Video PQ : BT.2020 ：PQ ／ BT.2020 ／ Video HLG : BT:2020 ：HLG ／ BT.2020 ／ Video Canon Log 3：BT.2020 ：Canon Log 3 ／ BT.2020 ／ Neutral Canon Log 3：BT.709 ：Canon Log 3 ／ BT.709 ／ Neutral Off 「記録形式」が「XF-HEVC」以外のとき **Normal 1 : BT.709** ：Normal 1 (Standard) ／ BT.709 ／ Video Wide DR : BT.709 ：Wide DR ／ BT.709 ／ Video Canon Log 3 : BT.709 ：Canon Log 3 ／ BT.709 ／ Neutral Off

設定項目／内容・設定値
Gamma
Presetが「Off」のときに、映像全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。 **Normal 1 (Standard)**： TVモニターで見るとき。 Normal 2 (x4.0)： TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。 Normal 3 (BT.709)： TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 Normal 4 (x5.0)： TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 Wide DR： 広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。 PQ*： ITU-R BT.2100-PQ規格に準拠したガンマ。 HLG*： ITU-R BT.2100-HLG規格に準拠したガンマ。 Canon Log 3： ポストプロダクション処理を前提としたガンマ。 * 「記録形式」に「XF-HEVC」を選択時のみ。

Color Space
BT.2020 Gamut： UHDTV（4K/8K）用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠した色空間。記録形式がXF-HEVCのときのみ。 **BT.709 Gamut**： sRGB規格に準拠した標準的な色空間。
Color Matrix
Presetが「Off」のときに、映像の色調を選択する。 **Video**： EOS C300 / C500でカスタムピクチャーをOFFにしたときと同等の色再現。 Neutral： 忠実な色再現。
HLG Color
HLGの色味を設定する。Presetで「HLG:BT.2020」または「Gamma」で「HLG」を選択時、有効。 BT.2100 : ITU-R BT.2100相当 **Vivid** : ITU-R BT.2390記載の「Traditional Colour」相当。
Activate Other Settings
設定値： On、**Off** ／ 内容：Other Settings（その他の設定）の調整の有効／無効を設定する。
Other Settings ➤ Black ➤ Master Pedestal*
設定値： ±50（**±0**） 黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。 *「Gamma」に「Canon Log 3」を選択時、赤外撮影を設定しているときは、無効。
Other Settings ➤ Black ➤ Master Black Red*、Master Black Blue*
設定値： ±50（**±0**） 黒の色かぶりをR、B個別に補正する。 *「Gamma」に「Canon Log 3」を選択時、赤外撮影を設定しているときは、無効。

設定項目／内容・設定値

Other Settings ➤ Black Gamma ➤ Level、Range、Point

低輝度部のガンマを補正する。各値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。「Gamma」に「Wide DR」、「PQ」、「HLG」、「Canon Log 3」選択時や赤外撮影を設定しているときは、無効。
Level [±50（**±0**）]：　基準ガンマからの高さ
Range [−20 ～ 50（**±0**）]：Pointからの幅
Point [−20 ～ 50（**±0**）]：　頂点の位置

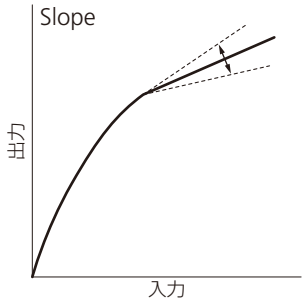


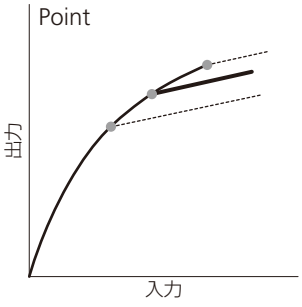
Other Settings ➤ Low Key Satur. ➤ Activate、Level

低輝度領域の色の濃い／薄いを調整する。赤外撮影を設定しているときは、無効。
Activate [On、**Off**]：　Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効する。
Level [±50（**±0**）]：　低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。

Other Settings ➤ Knee ➤ Activate、Automatic、Slope、Point、Saturation

高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。「Gamma」に「Wide DR」、「PQ」、「HLG」、「Canon Log 3」選択時や赤外撮影を設定しているときは、無効。
Activate [**On**、Off]：　Onにすると、ニーの調整を有効にする。
Automatic [**On**, Off]：　Onにすると、ニーの自動調整を有効にする。
Slope [−35 ～ 50（**±0**）]：　ニーの傾き。
Point [50 ～ 109（**95**）]：　ニーポイント。
Saturation [±10（**±0**）]：　高輝度部における色の濃さ・薄さ。





Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level

設定値：　−10 ～ 50（**±0**）／ 内容：輪郭強調のレベルを調整する。赤外撮影を設定しているときは、無効。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ Detail Frequency

設定値：　±8（**±0**）
輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。赤外撮影を設定しているときは、無効。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ Coring Level

輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。赤外撮影を設定しているときは、無効。
Coring Level [−30 ～ 50（**±0**）]：コアリングのレベル。大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ HV Detail Bal.

設定値：　±8（**±0**）
輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。赤外撮影を設定しているときは、無効。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Limit
設定値： ±50（**±0**）／ 内容：輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。赤外撮影を設定しているときは、無効。
Other Settings ➤ Noise Reduction ➤ Level
設定値： Off、**Automatic**、1 ～ 12 ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。赤外撮影を設定しているときは、無効。
Other Settings ➤ Skin Detail ➤ Effect level、Hue、Chroma、Area、Y Level
肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う。調整中、設定した肌色部分を検出すると、液晶モニターやファインダー、出力端子（SDI端子、HDMI OUT端子）の出力映像上にゼブラパターンで表示する。赤外撮影を設定しているときは、無効。 Effect Level [High、Middle、Low、**Off**]： 肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整は3段階のレベルで設定でき、Highがもっとも強く調整される。 Hue [±16（**±0**）]： 検出する肌色の色相。 Chroma [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の彩度。 Area [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の色相の幅。 Y Level [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の輝度レベル。
Other Settings ➤ White Balance ➤ R Gain、B Gain
ホワイトバランスのシフト量を調整する。赤外撮影を設定しているときは、無効。 R Gain [±50（**±0**）]： 赤色の濃淡を調整する。 B Gain [±50（**±0**）]： 青色の濃淡を調整する。
Other Settings ➤ Color Matrix Tuning ➤ Gain、Phase、R-G、R-B、G-R、G-B、B-R、B-G
映像の色調を微調整する。赤外撮影を設定しているときは、無効。 Gain [±50（**±0**）]： 色の濃さを調整する。 Phase [±18（**±0**）]： 色相を調整する。 R-G [±50（**±0**）]： シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 R-B [±50（**±0**）]： シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 G-R [±50（**±0**）]： マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 G-B [±50（**±0**）]： マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 B-R [±50（**±0**）]： イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。 B-G [±50（**±0**）]： イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
Other Settings ➤ Color Correction ➤ Select Area、Area A (B) Setting Phase、Area A (B) Setting Chroma、Area A (B) Setting Area、Area A (B) Setting Y Level、Area A (B) Revision Level、Area A (B) Revision Phase
特定の範囲の色調を補正する。調整中、設定した範囲の色調部分を検出すると、液晶モニターやファインダー、出力端子（SDI端子、HDMI OUT端子）の出力映像上にゼブラパターンで表示する（Area A(B) Revision LevelまたはArea A(B) Revision Phaseの調整中を除く）。赤外撮影を設定しているときは、無効。 Select Area [**Off**、Area A、Area B、Area A&B]：補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定でき、補正はいずれかまたは両方を選択できる。 Area A（B）Setting Phase [**0** ～ 31]： AエリアまたはBエリアの色相を設定する。 Area A（B）Setting Chroma [0 ～ 31（**16**）]： AエリアまたはBエリアの彩度を設定する。 Area A（B）Setting Area [0 ～ 31（**16**）]： AエリアまたはBエリアの色相の幅を設定する。 Area A（B）Setting Y Level [0 ～ 31（**16**）]： AエリアまたはBエリアの輝度レベルを設定する。 Area A（B）Revision Level [±50（**±0**）]： AエリアまたはBエリアにおける、色の濃さの補正量を設定する。 Area A（B）Revision Phase [±18（**±0**）]： AエリアまたはBエリアにおける、色相の補正量を設定する。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Other Functions ➤ Over 100%
100%を超える信号の出力のしかたを設定する。「Gamma」に「PQ」、「HLG」、「Canon Log 3」選択時や赤外撮影を設定しているときは、無効。 **Through**： 信号をそのまま出力する。 Clip： 白レベルを100%でクリップする。 Press： 108%までの信号全体を100%に圧縮する。
ファイル ➤ 選択
設定値： **C1** ～ C20 ／ 内容：カスタムピクチャーファイルを選択する。
ファイル ➤ 名称変更
設定値： 8文字の英数字・記号（**CP000001**）／ 内容：カスタムピクチャーファイルの名前を変更する。
ファイル ➤ プロテクト
設定値： **プロテクト解除**、プロテクト ／ 内容：カスタムピクチャーファイルをプロテクトする。
ファイル ➤ リセット
設定値：OK、**キャンセル** ／ 内容：選択しているカスタムピクチャーファイルの設定を初期状態に戻す。
ファイル ➤ SDカードBへコピー、SDカードBから読み出し
現在選択しているカスタムピクチャーファイルをSDカード、または本機にコピーする。 SDカードBへコピー： 選択している本機内のカスタムピクチャーファイルをSDカードBにコピーする。 SDカードBから読み出し： SDカードB内のカスタムピクチャーファイルを本機にコピーし、選択しているカスタムピクチャーファイル（本機）を置き換える。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続して、CP 1 Custom Pictureメニュー ➤「Activate Other Settings」を「On」にすると、次の項目をRC-V100から調整できます。
  - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
  - Black GammaのLevel
  - KneeのAutomatic*、Slope*、Point*
  - SharpnessのLevel
  - White BalanceのR Gain / B Gain

  * KneeのActivateがOnのときのみ。

設定データの保存と読み出し CAMERA MEDIA

メニューで行った各種の設定情報（設定データ）をビデオカメラ本体、またはカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み出して再利用できます。複数のビデオカメラXF705を同じ設定にするときに便利です。設定データの保存や読み出しは、カードB（SD CARD B）のみ行えます。

設定データを保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてビデオカメラ本体、またはカードに保存します。

① 設定データをカードに保存するとき カードを本機のSD CARD Bに入れる。
② 1 システム設定メニュー ➤「メニュー/CP設定保存」➤「保存」を順に選ぶ。
③「カメラ本体へ」または「SDカードBへ」を選ぶ ➤ SETを押す。
④「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
- 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、③で選んだ保存先に保存される。保存されている設定データは、現在の設定で上書きされる。

⑤ SETを押す。

設定データを読み込む

ビデオカメラ本体、またはカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

① 設定データをカードから読み込むとき 設定データが保存されているカードを本機のSD CARD Bに入れる。
② 1 システム設定メニュー ➤「メニュー/CP設定保存」➤「読み出し」を順に選ぶ。
③「カメラ本体から」または「SDカードBから」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「OK」を選び、SETを押す。
- メニュー設定やカスタムピクチャーが、③で選んだ読み込み先から読み込んだ設定データの内容に設定される。
- 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

MEMO

保存されない設定

- 7 カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」
- 2 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」→「User Memo」
- 1 アシスト設定メニュー ➤「Magnificcation: VF+LCD」、「Magnification: SDI/HDMI」
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」の「暗号化キー」
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ブラウザーリモート設定」➤「Full：パスワード」、「Camera：パスワード」、「Meta：パスワード」
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送設定」➤「FTP：パスワード」

- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- XF705の設定データのみ使用可能です。

5 再　生

クリップを再生する.....150
クリップを操作する.....155

クリップを再生する CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（📖 163）をご覧ください。

インデックス画面

メディアモード（📖 24）にすると、カードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。なお、クリップ撮影時のシステム周波数の設定が、本機の設定と異なると再生できません。本機のシステム周波数を再生するクリップと同じ設定にしてください（📖 58）。

6 ～ 7、11 ～ 16には、選択しているクリップの情報が表示されます。

1 キーロック
- KEY LOCK（キーロック）スイッチを🔒（キーロック）にしているときに表示される。

2 ショットマーク*1
- ショットマークが付加されているときに表示される。

3 OKマーク*1 ／チェックマーク*1
- OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。

4 カーソル（オレンジ色の枠）

5 カスタムピクチャー *1
- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているときのみ表示される。

6 カメラインデックス、リール番号、クリップ番号、MP4クリップ番号

7 収録日（年月日）と記録開始時間

8 クリップのサムネイル

9 記録メディア
- 現在選択しているカードをハイライト表示する。

10 表示中の記録形式

11 ネットワーク接続状態／ FTPファイル転送

12 クリップ番号／クリップ総数

13 収録日（月日）と記録開始時間

14 代表画のタイムコード

15 記録時間

16 特殊撮影情報*1
- スローモーション記録で記録されたクリップのときに、表示される。

17 カラーサンプリングと解像度

18 撮影フレームレート*1*2 ／フレームレート

*1 記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ。
*2 スローモーション記録で記録したクリップのみ。

カードを切り換える

両方のカードスロットにカードを入れているときは、SLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押して、再生するカードを切り換えることができます (🕮 41)。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

XF-HEVC Index(XF-HEVCインデックス画面)
　　カードに記録されているXF-HEVCクリップのみを表示する。

XF-AVC Index(XF-AVCインデックス画面)
　　カードに記録されているXF-AVCクリップのみを表示する。

MP4 Index(MP4インデックス画面)
　　カードに記録されているMP4クリップのみを表示する。

Photo Index(静止画インデックス画面):
　　カードに記録されている静止画のみを表示する。

1 INDEX(インデックス)ボタンを押す

● インデックスメニューが表示される。

2 ジョイスティックを上下に押して、切り換えたいインデックス画面を選ぶ ➤ SETを押す

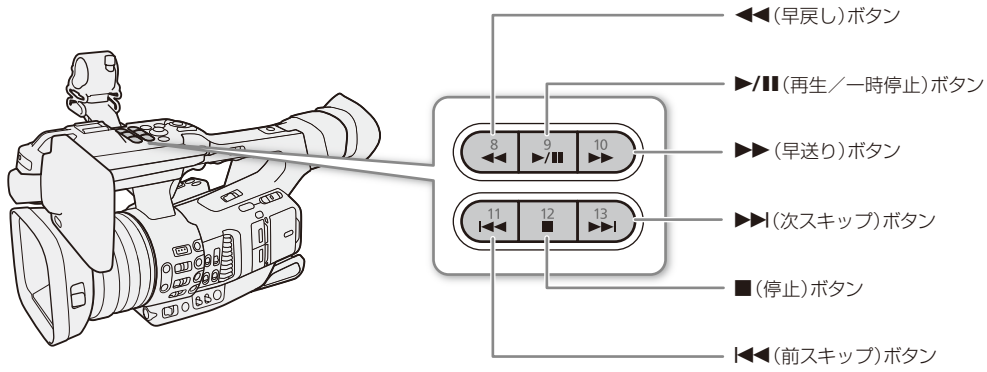
● 選んだインデックス画面に切り換わる。

切り換えを中止するとき

CANCELを押す。

■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップを、各種再生操作ボタンを使って再生します。ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。

2 ▶/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、▶/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき　■(停止)ボタンを押す。

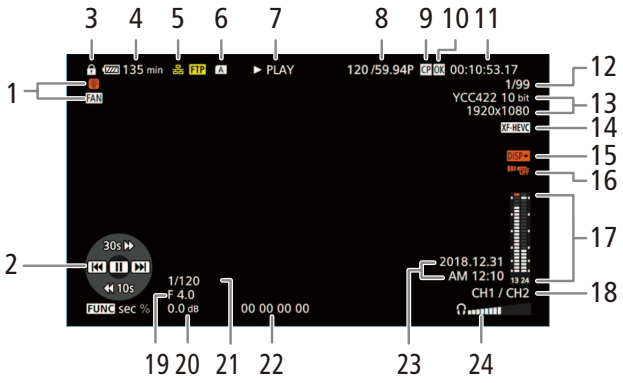
ご注意

- アクセスランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

- クリップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。
- 液晶モニターやファインダーの映像が適切になるように、クリップに応じてビデオカメラ内部で制御を行っています。
  - カスタムピクチャーの「Gamma」の設定が「Normal 1 ～ Normal 4」、「Wide DR」、「PQ」、「HLG」のときは、適切な設定のモニターで表示した場合とほぼ同等の表示になるように制御しています。
  - カスタムピクチャーの「Gamma」の設定が「Canon Log 3」のときは、記録時の色域設定によらず、BT.709色域を設定したときとほぼ同等の色味で表示されるように制御しています。

再生時の画面表示



1 内部温度、ファン ▶▶ 📖 57

2 ジョイスティックガイド ▶▶ 📖 154

3 キーロック ▶▶ 📖 50

4 バッテリー残量の目安 ▶▶ 📖 51

5 ネットワーク接続状態／ネットワーク機能 ▶▶ 📖 176、186

6 記録メディア ▶▶ 📖 38

7 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚▶	コマ送り
◀❚	コマ戻し
F FWD x5 ▶▶	早送り（5倍速）
◀◀ F REV x5	早戻し（5倍速）
30s ▶▶	順方向に30秒ジャンプ
10% ▶▶	順方向に10%ジャンプ
◀◀ 10s	逆方向に10秒ジャンプ
◀◀ 10%	逆方向に10%ジャンプ

8 撮影フレームレート* ／フレームレート ▶▶ 📖 130、58

* スローモーション記録で記録されたクリップのみ。

9 カスタムピクチャー *4 ▶▶ 📖 140

- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているときのみ表示される。

10 OKマーク*4 ／チェックマーク*4 ▶▶ 📖 158

11 タイムコード ▶▶ 📖 104

12 クリップ番号／クリップ総数

13 カラーサンプリング、解像度 ▶▶ 📖 58

14 記録形式 ▶▶ 📖 58

15 画面表示出力 ▶▶ 📖 168

16 ワイヤレスコントローラー ▶▶ 📖 44

17 オーディオレベルメーター *2

18 音声出力チャンネル ▶▶ 📖 172

19 F値*1 *4 ▶▶ 📖 69

20 ゲイン*1 *4 ▶▶ 📖 65

21 シャッタースピード*1 *4 ▶▶ 📖 61

22 ユーザービット *4 ▶▶ 📖 106

23 収録日と記録開始時間*3 *5

24 ヘッドホン音量 ▶▶ 📖 154

*1 4 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display」➤「カメラデータ」が「入」のときに表示される。
*2 4 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display」➤「オーディオレベル」が「入」のときに表示される。
*3 4 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display」➤「日付/時刻」が「入」のときに表示される。
*4 記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ。
*5 記録形式がMP4のときは日付のみ。

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP（ディスプレイ）ボタンを押して表示を入／切できます。また、リモコン（付属）を使って、ジョイスティックと同様に操作することもできます。

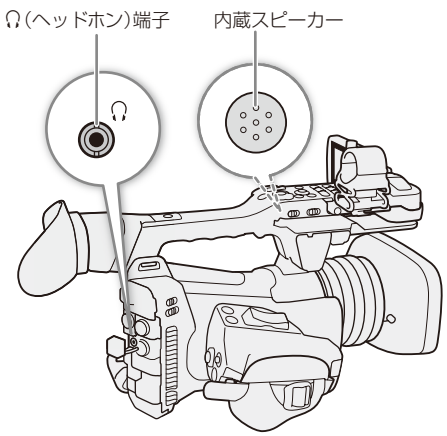
機　能	操　作	ボタン		ジョイスティック	説　明
		本体	リモコン		
早送り*1	再生中に 一時停止中に	▶▶		—	押すと再生速度が約5倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に 一時停止中に	◀◀		—	
コマ送り	一時停止中に	—		II▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	—		◀II	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
ジャンプ再生	再生中または一時停止中にジョイスティックを押す	—	—	30s ▶▶ ◀◀ 10s 10% ▶▶ ◀◀ 10%	30秒または10%の間隔で、順方向にジャンプする。 10秒または10%の間隔で逆方向にジャンプする。 FUNCボタンを押すとS（秒）と%が切り換わる。
スキップ再生	再生中に	▶▶I		▶▶I	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	I◀◀		I◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	I◀◀		I◀◀	前のクリップの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。　*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、XF-AVCクリップ／ MP4クリップのときは約0.5秒、XF-HEVCクリップのときは約1秒です。

MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/IIボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー（モノラル）で聞くことができます。∩（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーはOFFになります。音声は、SDI端子、HDMI OUT端子にも出力されます（🕮 166）。

音量を調整する

♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「ヘッドホン音量」または「スピーカー音量」で調整できます。

MEMO

- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力チャンネルを選ぶ」（🕮 172）をご覧ください。

クリップを操作する CAMERA MEDIA

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画の各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

クリップメニュー一覧

メニュー項目	内容	記録形式		🕮
		XF-HEVC / XF-AVC	MP4	
キャンセル	クリップメニューを消す。	●	●	—
クリップ情報表示	クリップの情報画面を表示する。	●	●	157
OK Mark追加*1	OKマークを付加する。	●	–	158
OK Mark消去	OKマークを消去する。	●	–	159
☑ Mark追加*1	チェックマークを付加する。	●	–	158
☑ Mark消去	チェックマークを消去する。	●	–	159
Shot Mark全消去	ショットマークを全消去する。	●	–	162
クリップ修復*2	クリップを修復する。	●	●	42
クリップコピー	クリップを別のカードにコピーする。	●	●	159
クリップ消去	クリップを消去する。	●	●	160
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する。	●	–	161
FTP転送	クリップをFTPで転送する。	●	●	204

*1 クリップにOKマーク／チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。
*2 修復が必要なときのみ表示される。修復が必要なとき、クリップメニューは「キャンセル」と「クリップ修復」、「クリップ消去」のみ表示される。

クリップメニューで操作する

例：クリップにOKマークを付加する場合

1 操作するクリップを選ぶ

2 SETを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。

3 OKマークを付加する

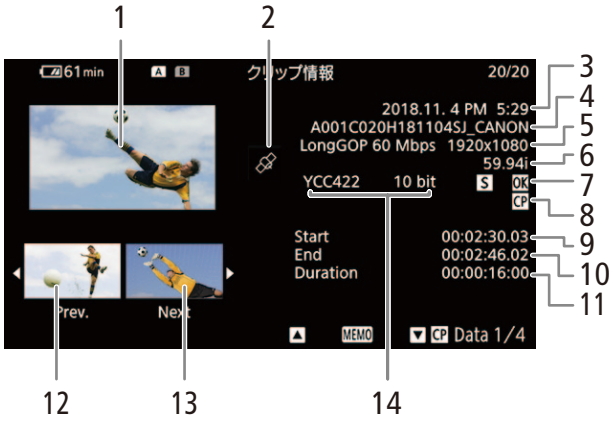
① 「OK Mark追加」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。
  - クリップを操作するときは、カードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

■ クリップの詳細情報を表示する

クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、クリップの詳細情報が表示されます。クリップ情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前／次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



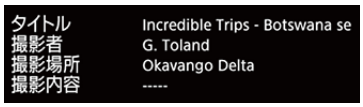
1 選択しているクリップのサムネイル（縮小画）
2 GPS情報マーク（🕮 127）
3 撮影開始日時
4 クリップファイル名、MP4クリップ番号
5 ビットレートと解像度
6 特殊記録情報／フレームレート
- スローモーション記録で記録したクリップには、「SLOW REC」が表示され、「撮影フレームレート／再生フレームレート」が表示される。

7 OKマーク*／チェックマーク*／ショットマーク*
8 カスタムピクチャー *
9 記録開始フレームのタイムコード
10 記録終了フレームのタイムコード
11 収録時間
12 前のクリップのサムネイル
13 次のクリップのサムネイル
14 カラーサンプリング

* 記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ。

XF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップに付加されているユーザーメモを表示する

クリップ情報画面でジョイスティックを上に押すと、クリップに付加されているユーザーメモを表示することができます。ジョイスティックを下に押すと、クリップ情報画面に戻ります。



クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを表示する

カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップのときは、クリップ情報画面でジョイスティックを下に押すと、カスタムピクチャーの設定内容を表示することができます。設定内容は4つの画面に分かれており、下に押すたびに「CP Data 1/4」→「CP Data 2/4」→「CP Data 3/4」→「CP Data 4/4」→「MEMO」→「クリップ情報」のように切り換わります。

■ OKマーク／チェックマークを付加する

メディアモードでXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップを再生中にOKマークまたはチェックマークを付加することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。

XF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップを再生中にOKマーク／チェックマークを付加する

例：アサイン1ボタンに「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当てて、OKマーク／チェックマークを付加する場合

1 **アサイン1ボタンに「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当てる**

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（🕮 136）。

2 **再生中 または 再生一時停止中**
アサイン1ボタンを押す

- 「OK Mark」が表示され、OKマークが付加される。
- チェックマークのときは、「☑ Mark」が表示される。
- 再生中にOKマーク／チェックマークを付加すると再生一時停止になる。
- OKマークを付加したクリップには、画面にOKが、チェックマークを付加したクリップには、画面に☑が表示される。

インデックス画面でXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップにOKマーク／チェックマークを付ける

インデックス画面で選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。

① マークを付けるクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。
- 「☑ Mark追加」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイルの左に☑が表示される。

MEMO

- 「OK Mark追加」または「☑ Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押して、OKマーク／チェックマークを付加することもできます。
- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

OKマーク／チェックマークを消去する

1つのXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップのOKマーク／チェックマークを消去する

すでにOKマークまたはチェックマークが付加されたクリップから、OKマークまたはチェックマークを消去することができます。

① マークを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark消去」または「☑ Mark消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

クリップをコピーする

カードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのカードにコピーすることができます。

1つのクリップをコピーする

① コピーするクリップを選ぶ
② クリップメニュー ➤「クリップコピー」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップがもう一方のカードスロットのカードにコピーされる。

中止するとき CANCELを押す。

④ SETを押す。

クリップをまとめてコピーする

すべてのクリップをまとめてコピーすることができます。

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「クリップ」
②「全クリップコピー」➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
　中止するとき　CANCELを押す。
④ SETを押す。

MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- コピー対象がMP4クリップで、カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき（224）。

- 4GB以上の映像ファイル（ストリーム）はSDHCメモリーカードにはコピーできません。
- コピー先のカードに同じクリップ番号のXF-HEVC / XF-AVCクリップがあるときは、コピー先の最終クリップ番号の次に大きなクリップ番号となります。

クリップを消去する

クリップを消去することができます。OKマークが付加されたクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

1つのクリップを消去する

① 消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「クリップ消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。
- クリップの消去は中止できない。

④ SETを押す。

クリップをまとめて消去する

すべてのクリップをまとめて消去することができます。

① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「クリップ」
②「全クリップ消去」➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- インデックス画面内の消去対象のクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。

中止するとき CANCELを押す。

④ SETを押す。

クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する

選択したXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去することができます。

① ユーザーメモ／ GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「User Memo消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報が消去される。

■ ショットマークを付加／消去する

メディアモードで、XF-HEVCクリップ／XF-AVCクリップの重要なフレームにショットマークを付けることができます。ショットマークは、再生中や再生一時停止中に、「Shot Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押すと付加できます。

再生中にショットマークを付加する

例：アサイン3ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン3ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（136）。

2 再生中 または 再生一時停止中
ショットマークを付加したいフレームでアサイン3ボタンを押す

- 「Shot Mark」が表示され、ショットマークが付加される。
- 再生中にショットマークを付加すると再生一時停止になる。
- ショットマークを付加したクリップには、インデックス画面で S が表示される。

インデックス画面でショットマークを消去する

例：ショットマークを消去する場合

① ショットマークを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Shot Mark全消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだクリップに付加されているショットマークがすべて消去される。

6

接　続

出力信号形式 164
外部モニターを接続する 166
出力映像にLUTを適用する..... 169
音声出力を選択する 172
クリップをパソコンに保存する..... 173

出力信号形式 CAMERA MEDIA

SDI端子やHDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります。

記録信号形式と出力信号形式

記録信号形式			SDI/HDMIスキャンモード*2	SDI/HDMI最大解像度*3	出力信号形式	
記録形式*1	解像度／カラーサンプリング	フレームレート			SDI端子	HDMI OUT端子
XF-HEVC	3840x2160 YCC422 10bit	59.94P 50.00P	P	3840x2160	3840x2160（59.94P/50.00P）	
				1920x1080	1920x1080（59.94P/50.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i/50.00i）	
		29.97P 25.00P	P	3840x2160	3840x2160（29.97P/25.00P）	
				1920x1080	1920x1080（29.97P/25.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（29.97PsF/25.00PsF）	1920x1080（59.94i/50.00i）
		23.98P	P	3840x2160	3840x2160（23.98P）	
				1920x1080	1920x1080（23.98P）	
				1280x720	1280x720（59.94P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i）	
	1920x1080 YCC422 10bit	59.94P 50.00P	P	1920x1080	1920x1080（59.94P/50.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i/50.00i）	
		59.94i 50.00i	—	1920x1080	1920x1080（59.94i/50.00i）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
		29.97P 25.00P	P	1920x1080	1920x1080（29.97P/25.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（29.97PsF/25.00PsF）	1920x1080（59.94i/50.00i）
		23.98P	P	1920x1080	1920x1080（23.98P）	
				1280x720	1280x720（59.94P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i）	
XF-AVC	3840x2160 YCC420 8bit	29.97P 25.00P	P	3840x2160	3840x2160（29.97P/25.00P）	
				1920x1080	1920x1080（29.97P/25.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（29.97PsF/25.00PsF）	1920x1080（59.94i/50.00i）
		23.98P	P	3840x2160	3840x2160（23.98P）	
				1920x1080	1920x1080（23.98P）	
				1280x720	1280x720（59.94P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i）	

記録信号形式			SDI/HDMI スキャンモード*2	SDI/HDMI最大解像度*3	出力信号形式	
記録形式*1	解像度／カラーサンプリング	フレームレート			SDI端子	HDMI OUT端子
XF-AVC	1920x1080 YCC420 8bit	59.94P 50.00P	P	1920x1080	1920x1080 (59.94P/50.00P)	1920x1080 (59.94P/50.00P) 720x480 (59.94P) *4 720x576 (50.00P) *4
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i/50.00i）	
		59.94i 50.00i	P	1920x1080	1920x1080（59.94i/50.00i）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i/50.00i）	
		29.97P 25.00P	P	1920x1080	1920x1080（29.97P/25.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080 (29.97PsF/25.00PsF)	1920x1080 (59.94i/50.00i)
		23.98P	P	1920x1080	1920x1080（23.98P）	
				1280x720	1280x720（59.94P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i）	
MP4	1920x1080 YCC420 8bit	59.94P 50.00P	P	1920x1080	1920x1080 (59.94P/50.00P)	1920x1080 (59.94P/50.00P) 720x480 (59.94P) *4 720x576 (50.00P) *4
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080（54.94i/50.00i）	
		29.97P 25.00P	P	1920x1080	1920x1080（29.97P/25.00P）	
				1280x720	1280x720（59.94P/50.00P）	
			PsF	—	1920x1080 (29.97PsF/25.00PsF)	1920x1080 (59.94i/50.00i)
		23.98P	P	1920x1080	1920x1080（23.98P）	
				1280x720	1280x720（59.94P）	
			PsF	—	1920x1080（59.94i）	
	1280x720 YCC420 8bit	59.94P	—	—	1280x720（59.94P）	

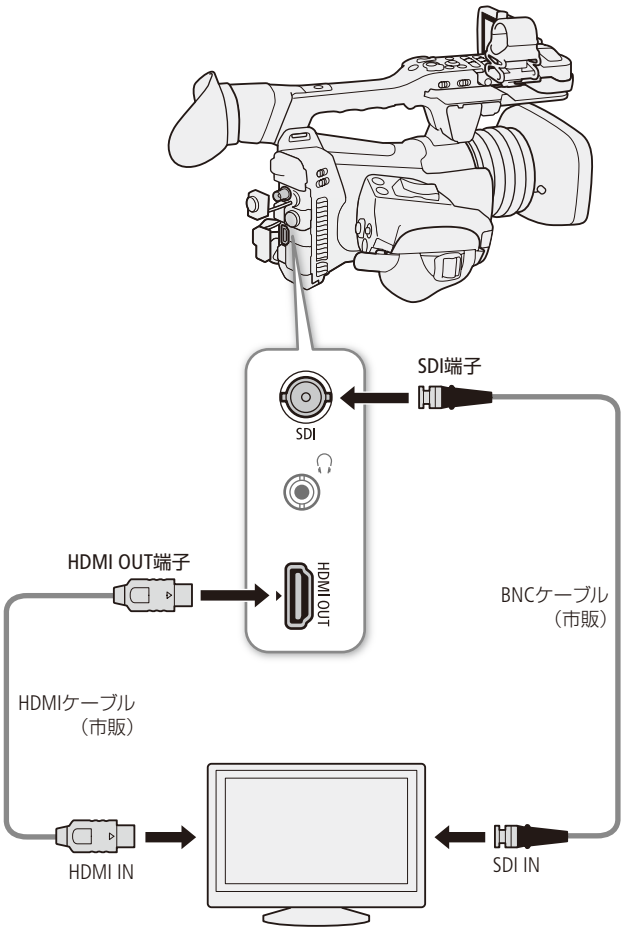
*1 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録形式」の設定（📖 58）
*2 2 システム設定メニュー ➤「SDI/HDMIスキャンモード」の設定
*3 2 システム設定メニュー ➤「SDI/HDMI最大解像度」の設定
*4 SDI出力が「切」のとき、モニターの能力に応じて出力される。

外部モニターを接続する CAMERA MEDIA

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 ▸▸「出力信号形式」（📖 164））。

■ 接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。

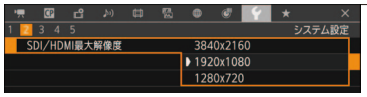


MEMO

● コンパクトパワーアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

SDI端子を使用する

SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（最大4チャンネル）とタイムコード信号、記録コマンドが重畳されます。SDI端子の映像信号には、マーカー、画面表示が重畳できるほか、拡大表示（91）などを行うこともできます。



1 SDI端子を有効にする

① 2 システム設定メニュー ➤「SDI/HDMI最大解像度」を順に選ぶ。
② いずれかの解像度を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 2 システム設定メニュー ➤「SDI出力」を順に選ぶ。
④「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

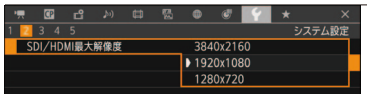
SDI出力を使用しないとき
「切」を選ぶ。

2 SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ

① 2 システム設定メニュー ➤「3G-SDIマッピング」を順に選ぶ。
②「Level A」または「Level B」を選ぶ ➤ SETを押す。
- SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力にタイムコード（104）や画面表示（168）、マーカー（101）を重畳できるほか、拡大表示（91）などを行うこともできます。音声は2チャンネル、リニアPCM（16ビット、48kHz）で出力されます。
出力チャンネルはメニューで選択できます（172）。



1 HDMI OUT端子の出力モードを選ぶ

① 2 システム設定メニュー ➤「SDI/HDMI最大解像度」を順に選ぶ。
② いずれかの解像度を選ぶ ➤ SETを押す。

2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

① 2 記録／メディア設定メニュー ➤「HDMI Time Code」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。
- 2 記録／メディア設定メニュー ➤「記録コマンド」と「HDMI Time Code」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。スローモーション記録時は、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。

出力映像に画面表示を重畳する CAMERA MEDIA

SDI端子、HDMI OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。この設定は、カードに記録される映像には影響しません。

① 5 モニタリング設定メニュー ➤「オンスクリーン表示：SDI」または「オンスクリーン表示：HDMI」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面にDISPが表示される*。

* カメラモードでは、5 モニタリング設定 ➤「Custom Display2」➤「オンスクリーン表示」が「入」のときのみ表示される。

MEMO

- 「オンスクリーン表示」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（136）。
- HDMI OUT端子の出力解像度が720x480または720x576の場合、画面表示はHDMI OUT端子の出力映像には重畳されません。

出力映像にLUTを適用する CAMERA MEDIA

カスタムピクチャーで特定のガンマを選択している場合、液晶モニター、ファインダー、出力端子（SDI端子またはHDMI OUT端子）の出力映像にLUTを適用して、標準的なガンマ／色空間に変換できます。映像出力端子に接続した外部モニターや本機の画面で映像を確認する際に使用します。端子からの出力映像の確認には、各色空間に準拠した表示装置が必要です。

選択できるLUT

LUT	ガンマ	色空間	内容
Normal1 : BT.709 Normal2 : BT.709 Normal3 : BT.709 Normal4 : BT.709	Normal 1 (Standard) Normal 2 (x4.0) Normal 3 (BT.709) Normal 4 (x5.0)	BT.709	BT.709規格に準拠した外部モニターや本機の画面で確認するためのLUT。カスタムピクチャーのガンマの設定によって、選択できるLUTが決まる。
Wide DR : BT.709	Wide DR	BT.709	
Wide DR : BT.2020*1	Wide DR	BT. 2020	UHDTV（4K/8K）用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。
PQ : BT.2020*1	PQ	BT. 2020	HDR（High Dynamic Range）映像をITU-R BT.2100で定義されたPQ規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。ナローレンジ（ビデオレンジ）で出力する。
HLG : BT.2020*1	Hybrid Log-Gamma	BT. 2020	HDR（High Dynamic Range）映像をITU-R BT.2100で定義されたHLG規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。ナローレンジ（ビデオレンジ）で出力する。
HDRアシスト(800%)*2	独自ガンマ	BT.709	BT.2100規格のHDR映像を液晶モニターやファインダーで確認するためのLUT。800%、400%のいずれかの輝度領域を、HDR対応ディスプレイに表示したときと同等に見えるように変換する。
HDRアシスト(400%)*2	独自ガンマ	BT.709	

*1 SDI端子、HDMI OUT端子のみ。
*2 液晶モニター、ファインダーのみ。

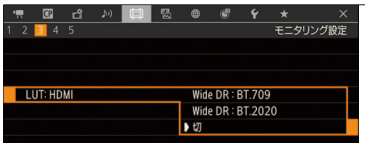
LUTを適用できるガンマの組み合わせ

「基本的なガンマ／カラーを設定する」（🕮 74）で選択したガンマと色空間の組み合わせによって、LUTの適用可否と選択できるLUTが決まります。

カスタムピクチャー		選択できるLUT								
ガンマ	色空間	Normal1 : BT.709	Normal2 : BT.709	Normal3 : BT.709	Normal4 : BT.709	Wide DR : BT.709	Wide DR : BT.2020	PQ : BT.2020	HLG : BT.2020*1	HDR アシスト (800%/ 400%)*2
Normal1 (Standard)	BT.2020 Gamut	●	–	–	–	–	–	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Normal2 (x4.0)	BT.2020 Gamut	–	●	–	–	–	–	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Normal3 (BT.709)	BT.2020 Gamut	–	–	●	–	–	–	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	–	–	–	–	–

カスタムピクチャー		選択できるLUT								
ガンマ	色空間	Normal1 : BT.709	Normal2 : BT.709	Normal3 : BT.709	Normal4 : BT.709	Wide DR : BT.709	Wide DR : BT.2020	PQ : BT.2020	HLG : BT.2020*1	HDR アシスト (800%/ 400%)*2
Normal4 (x5.0)	BT.2020 Gamut	–	–	–	●	–	–	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Wide DR	BT.2020 Gamut	–	–	–	–	●*3	–	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	–	–	–	–	–
PQ	BT.2020 Gamut	–	–	–	–	●*4	●*4	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	●*4	–	–	–	–
HLG	BT.2020 Gamut	–	–	–	–	●*4	●*4	–	–	–
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	●*4	–	–	–	–
Canon Log 3	BT.2020 Gamut	–	–	–	–	●	●	●	●	●
	BT.709 Gamut	–	–	–	–	●	–	–	–	–

*1 3 モニタリング設定メニュー ➤「HLG Color」で「BT.2100」または「Vivid」を選択可能。
*2 液晶モニター、ファインダーのみ。
*3 SDI端子、HDMI OUT端子のみ。
*4 3 モニタリング設定メニュー ➤「HDR → SDRゲイン」でゲインの設定が可能。



① 3 モニタリング設定メニュー ➤「LUT:LCD」、「LUT:VF」、「LUT:SDI」、「LUT:HDMI」から、LUTを適用する端子または出力先を順に選ぶ。
② いずれかのLUTを選ぶ ➤ SETを押す。
- 出力映像のガンマと色空間が変更される。
- LUTを適用しないときは「切」を選ぶ。

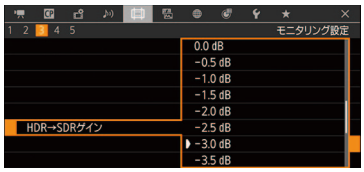
HLGの色味を設定する

LUTに「HLG: BT.2020」を設定しているとき、HLGの色味を設定できます。

① 3 モニタリング設定メニュー ➤「HLG Color」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
BT.2100：ITU-R BT.2100相当
Vivid：ITU-R BT.2390記載の「Traditional Colour」相当

HDRに対するSDRのゲインの差を調整する

ゲインの設定が可能なLUTを選択したとき、HDRに対するSDRのゲインの差を調整することができます。



① 3 モニタリング設定メニュー ➤「HDR → SDRゲイン」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

出力レンジを選択する

SDI端子、HDMI OUT端子から出力する映像の出力レンジを選択することができます。

SDI端子のとき

① 3 モニタリング設定メニュー ➤「Range: SDI」を順に選ぶ。
②「Canon Log 3出力時」または「HDR出力時」を選ぶ。
③ いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
Full Range：フルレンジで出力する。
Narrow Range：ナローレンジで出力する。

HDMI OUT端子のとき

① 3 モニタリング設定メニュー ➤「Range: HDMI」を順に選ぶ。
②「Canon Log 3出力時」または「HDR出力時」を選ぶ。
③ いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
Full Range優先：フルレンジで出力することを優先する。
Narrow Range：ナローレンジで出力する。

MEMO

- 「LUT」を割り当てたアサインボタンで、適用するLUTを切り換えることもできます（📖 136）。
- カスタムピクチャーのプリセットやガンマを変更すると、LUTの「設定」および各出力はすべて「切」になります。

音声出力を選択する

SDI端子やHDMI OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子、スピーカーから音声を出力できます。記録メディアに記録した4 チャンネルの音声のうち、🎧(ヘッドホン)端子やスピーカー、HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

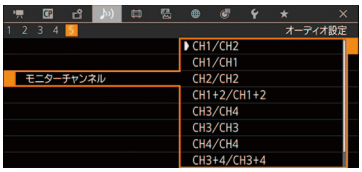
音声の出力信号形式

記録信号形式		撮影／再生時	
記録方式	量子化ビット数	SDI端子	HDMI OUT端子*
4ch リニアPCM	16 bit / 24 bit	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM 16 bit
2ch AAC	16 bit		

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能 (📖 172)。

音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

🎧(ヘッドホン)端子の出力チャンネルを選ぶ



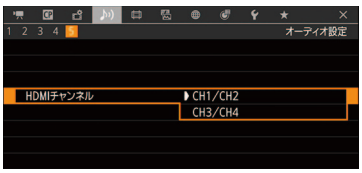
① ♪))5 オーディオ設定メニュー ➤「モニターチャンネル」を順に選ぶ。
② 出力音声 (L / R)の組み合わせを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。
- 5 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display 2」➤「モニターチャンネル」が「入」のときは、画面のオーディオレベルメーターの下に、選択した出力チャンネルが表示される。

MEMO

- 「モニターチャンネル」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます (📖 136)。

HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

カメラモードでHDMI OUT端子は、2チャンネルの音声を出力できます。4チャンネルで記録／再生する音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルをメニューで選択できます。



① ♪))5 オーディオ設定メニュー ➤「HDMIチャンネル」
② 「CH1/CH2」または「CH3/CH4」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

クリップをパソコンに保存する CAMERA MEDIA

撮影したクリップをパソコンに保存できます。

■ XF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップをパソコンに保存する

記録したXF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップをパソコンに保存するときはCanon XF Utilityを、ノンリニア編集ソフトウェアに読み込むときはCanon XF Plugin*1を使用します。Canon XF UtilityやCanon XF PluginでXF-HEVC形式のクリップを使用する場合はCanon XF-HEVC Decoderのインストールが必要です。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）*2をご覧ください。

*1 Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

*2 ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Canon XF Utility（Windows用／ macOS用）

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理、静止画の切り出しを行うソフトウェア

Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ macOS用）

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / macOS）から、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

Canon XF-HEVC Decoder（Windows用／ macOS用）

Canon XF UtilityやCanon XF PluginでXF-HEVC形式クリップの再生を行うデコーダー。XF-HEVC形式のクリップを使用する場合に必要。

MP4クリップをパソコンに保存する

本機でカードに記録したMP4クリップは、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターのスロットを使って、パソコンに取り込みます。カード内のファイルの取り込み方については、パソコンまたはOSの説明書をご覧ください。
また、本機で分割して記録されたMP4クリップは、ソフトウェアMP4 Join Toolを使って結合することができます。

クリップをパソコンに取り込む

1 MP4クリップが記録されたカードを、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターに入れる

2 パソコンのOSの案内に従って操作する

3 カード内の撮影データをパソコンにコピーする

● 「DCIM¥100_mmdd」*という名称のフォルダーに撮影データ（MP4クリップ、静止画）が保存されている。
* 「100」は100 ～ 999の番号、「mmdd」は撮影した月日を表わす。

分割されたMP4クリップを結合する

クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が約4GBに達したり、リレー記録が発生したりすると、クリップが分割して記録されます。分割して記録されたMP4クリップは、ソフトウェアMP4 Join Tool（Windows / macOS）を使って結合することができます。
MP4 Join Toolは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）* をご覧ください。
* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 176

ネットワーク機器で
リモート撮影する 187

映像をストリーミング送信する
（IPストリーミング）..... 201

クリップをFTPで転送する 204

ネットワークの接続設定をする

Wi-Fi を使うか、品品（イーサネット）端子を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、それぞれ、「Wi-Fiで接続する」（🕮 177）、「イーサネットで接続する」（🕮 184）で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	イーサネット	Wi-Fi		🕮
			インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	●	–	●	187
IPストリーミング	映像と音声をネットワーク経由で、映像伝送装置（デコーダー）にストリーミング送信する。	●	–	–	201
FTP転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP*3で転送する。	●	●	–	204

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。
*2 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。
*3 ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

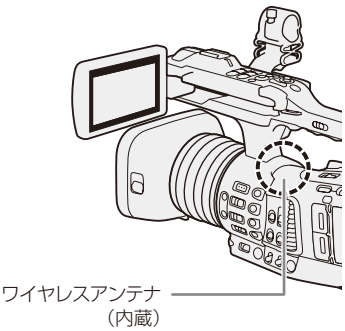
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク（EthernetおよびWi-Fi）の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 送信するデータは暗号化されません。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。ネットワーク機能をすぐにお試しいただけるように、あらかじめパスワードなどが設定されていますが、パスワードを変更してからご使用ください（🕮 178）。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ネットワーク機能を使用中は、カードカバーを開けないでください。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルを、ワイヤレスアンテナの近くに配置しないでください。通信に影響することがあります。



Wi-Fiで接続する

Wi-Fi接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1や携帯端末などと接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。

Wi-Fiに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに4つの設定方法を選択できます。

カメラアクセスポイント

屋外などアクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。ビデオカメラがアクセスポイントの働き*1をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

インフラストラクチャー

WPS（プッシュボタン方式）*2：

パスワードなどの入力が不要な最も簡単な設定方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS（PINコード方式）*2：

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って設定できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：

WPSに対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して設定できます。

マニュアル：

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うとき。Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

*1 ビデオカメラとWi-Fi対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

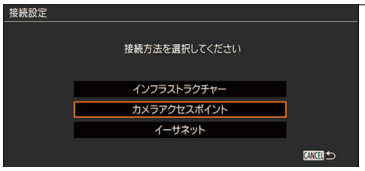
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

ご注意

- IEEE802.11a/nの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外、またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。使用可能地域をご確認ください。使用可能地域については、基本ガイドの取り扱い上のご注意「使用可能な地域について」の記載をご覧ください。

カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの設定（SSID、パスワードなど）は、初期状態であらかじめ設定されています。設定を変更するときは、以下の手順で操作します。



1 カメラアクセスポイントを選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ SETを押す。
- 4つの接続設定を登録できる。ジョイスティックを上下に押して画面を切り換える。

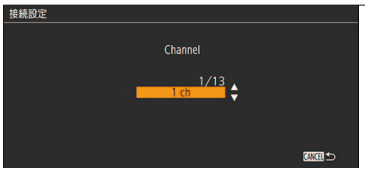
③「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
④「カメラアクセスポイント」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 SSIDを入力する

①「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
② SSIDを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」（📖 30）
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

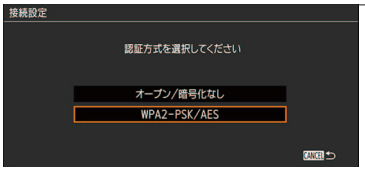
3 通信モードを選ぶ

①「5 GHz」または[2.4 GHz」を選ぶ ➤ SETを押す。



4 チャンネルを選ぶ

① チャンネルを選ぶ ➤ SETを押す。
- 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

①「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 暗号化キーを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(🕮 30)
● 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

7 TCP/IP設定を行う (🕮 179)

TCP/IPを設定する

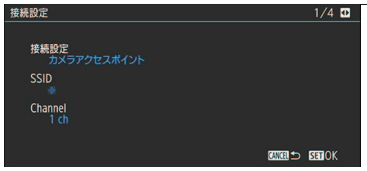
ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。

1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
オート： 自動で設定する。
マニュアル：IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを手動で設定する。
● 「オート」を選んだときは操作3に進む。

2 マニュアルを選んだとき IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する

① ジョイスティックを上下に押して1番目の数字を選び、SETを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
② ①の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。
● IPアドレスが設定される。
④ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する。
● カメラアクセスポイント(🕮 178)で接続するときは、IPアドレスとサブネットマスクを入力して操作3に進む。



3 設定内容を確認する

① ジョイスティックを左右に押して確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
② SETを押す。

4 ネットワーク設定名を入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
- キーボード画面が表示される。

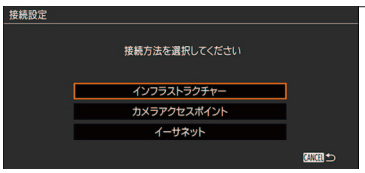
② ネットワーク設定名を入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(🕮 30)

③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。

⑤ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

インフラストラクチャーで接続する

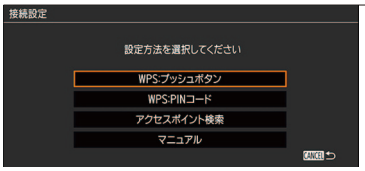
インフラストラクチャー方式で接続するにはアクセスポイントが必要です。



1 インフラストラクチャーを選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤ 「接続設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ SETを押す。
- 4つの接続設定を登録できる。ジョイスティックを上下に押して画面を切り換える。

③ 「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 Wi-Fi設定方法を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
「WPS：プッシュボタン」(🕮 181)
「WPS：PIN コード」(🕮 181)
「アクセスポイント検索」(🕮 182)
「マニュアル」(🕮 182)

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式、またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、ビデオカメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、ビデオカメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合

1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ➤ SETを押す

2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合

1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ ➤ SETを押す

- 7 ～ 8秒すると画面にPINコードが表示される。

2 アクセスポイント WPS（PINコード方式）の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内にSETを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにCancelを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

4 本機 TCP/IP設定を行う（179）

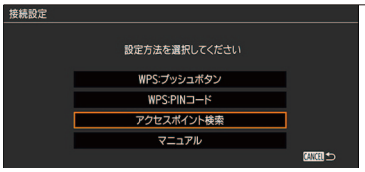
MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS（プッシュボタン方式）でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS（PINコード方式）、またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

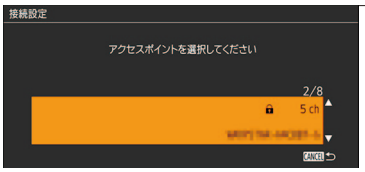
ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、パスワードを入力して接続します。設定されているパスワードについては、アクセスポイントの説明書をご覧いただくか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

アクセスポイントを選ぶ



1 「アクセスポイント検索」を選ぶ ➤ SETを押す

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。



2 アクセスポイントを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ➤ SETを押す。

- アクセスポイントのSSIDは、ASCII文字のみ表示される。それ以外の文字はスペースに置き換わって表示される。

3 暗号化キーを入力する

- アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、この操作は不要。
- アクセスポイントの認証方式に従って、以降の操作を行う。

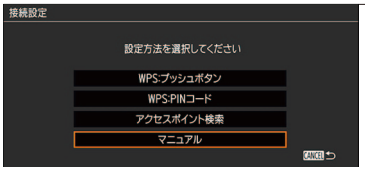
「オープン／ WEP」、「共有キー」または「WPS-PSK,WPA2-PSK」の場合

「マニュアルで接続する」(🕮 182)の操作5～6と同じ要領で設定する。

4 TCP/IP設定を行う (🕮 179)

マニュアルで接続する

マニュアルでアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 「マニュアル」を選ぶ ➤ SETを押す

2 SSIDを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
② SSIDを入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖 30)
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 認証方式を選ぶ

① 「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

4 暗号化方式を選ぶ

「オープン」を選んだとき

① 「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

① 「TKIP」または「AES」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 操作6に進む。

5 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選んでジョイスティックを押す

6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
● キーボード画面が表示される。
② 暗号化キーを入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖 30)
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
● IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う (📖 179)

MEMO

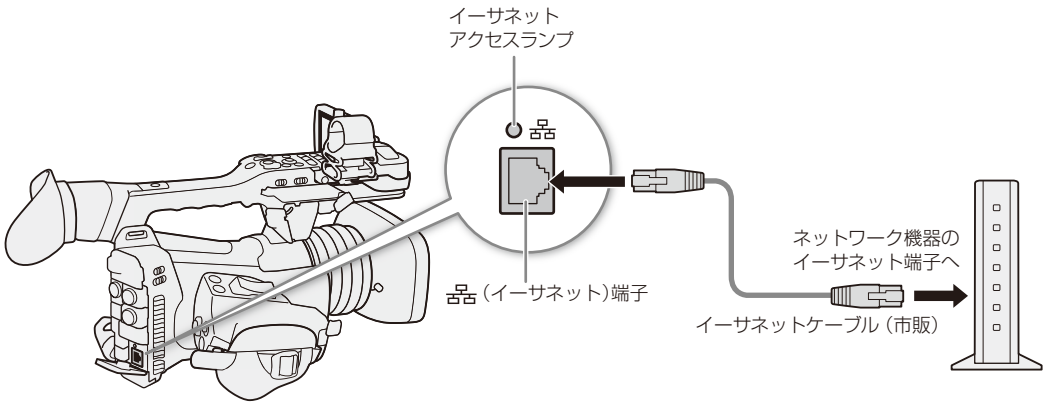
パスワードに使用可能な文字と文字数

パスワード	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

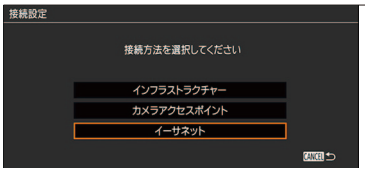
*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

■ イーサネットで接続する

本機の 品 (イーサネット) とネットワーク機器をイーサネットケーブル (市販) で接続し、本機をネットワークに接続する方法です。イーサネットケーブルには、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリー 5e以上のSTP (Shielded Twisted Pair)ケーブルを使用してください。



1 本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する



2 イーサネットを選ぶ

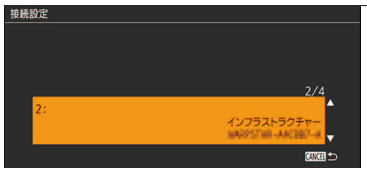
① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ SETを押す。
- 4つの接続設定を登録できる。ジョイスティックを上下に押して画面を切り換える。

③「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
④「イーサネット」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 TCP/IP設定を行う (179)

ネットワーク接続設定を選ぶ

保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。

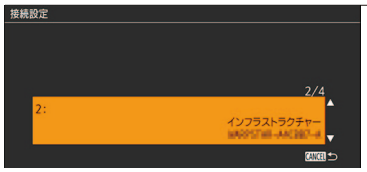


1 接続設定を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 接続設定を選ぶ ➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

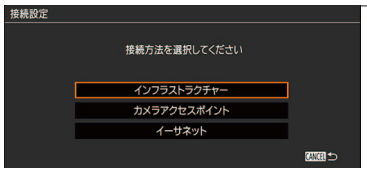
ネットワーク接続設定を変更する

現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を必要に応じて変更できます。設定変更には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。



1 接続設定先を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 接続設定1 ～ 4を選ぶ ➤ SETを押す。



2 接続設定を変更する

①「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
②「インフラストラクチャー」、「カメラアクセスポイント」または「イーサネット」を選ぶ ➤ SETを押す。

「インフラストラクチャー」を選んだとき

「インフラストラクチャーで接続する」(🕮 180)の操作2と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき

「カメラアクセスポイントで接続する」(🕮 178)の操作2～7と同じ要領で設定する。

「イーサネット」を選んだとき

「イーサネットで接続する」(🕮 184)の操作1、3と同じ要領で設定する。

ネットワークの接続状態

ネットワーク機能を有効にすると、ネットワークへの接続を開始します。接続状態は、接続方式に応じて画面に表示されるネットワーク接続アイコンで確認できます。ネットワーク機能を無効にすると、ネットワーク接続アイコンは消えます。

インフラストラクチャーのとき

ネットワークへの接続処理中は、画面に (黄色)が表示され、接続が完了すると (白色)に変わる。

カメラアクセスポイントのとき

接続準備中は画面に (黄色)が表示され、Wi-Fi対応機器から接続可能な状態になると (白色)に変わる。

イーサネットのとき

ネットワークへの接続処理中は、画面に (黄色) が表示され、接続が完了すると、画面の が白色に変わる。イーサネットアクセスランプ*は、FTP転送のときは、接続処理中に点滅 (緑)、動作中 (データ転送中)に点灯 (緑)する。IPストリーミングのときは、接続処理中／動作中ともに点滅 (緑)する。エラー発生時は点滅 (赤)になる。

* 点灯しないようにすることもできます (237)。

ネットワーク機器でリモート撮影する

Wi-Fiで本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます（ブラウザーリモート）。
撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、カードやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカス、ズームなどが調整可能。

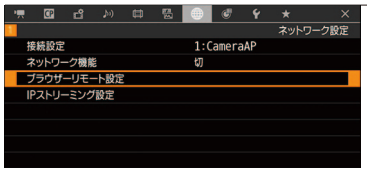
設定する CAMERA MEDIA

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するカメラ設定や、ブラウザーリモートにログインするときの認証に使用するユーザー設定は、初期設定が保存されています。設定の内容（カメラID、ポート番号、ユーザー設定、ユーザー名、パスワードなど）は、ステータス画面（248）で確認できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。

カメラ設定を変更する

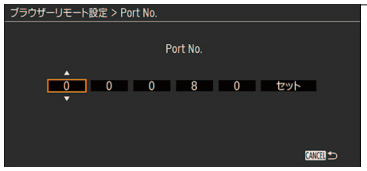
ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。
カメラID：　ビデオカメラ固有の文字列を設定しておくと、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



1 「ブラウザーリモート設定」を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ブラウザーリモート設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。



2 ポート番号を選ぶ

① 「Port No.」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ポート番号の設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
③ ジョイスティックを上下に押してPort No.の1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
④ ③の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
⑤ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。

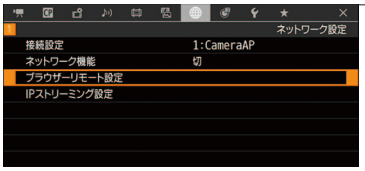
3 カメラIDを入力する

① 「カメラID」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 8文字以内のカメラIDを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（30）
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

ユーザー設定を変更する

ユーザーには次の3種類があり、用途に応じて1名（Fullのみ）か2名（CameraとMeta）かを選択できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。なお、初期設定では、ユーザー設定は「1名(Full)」に設定されていますので、必要に応じて、ここで変更します。

Full：　詳細操作画面、メタデータ入力画面、簡易操作画面のすべてにアクセス可能。
Camera：　詳細操作画面のみにアクセスできる。カメラの制御を行うユーザー用。
Meta：　メタデータ入力画面のみにアクセスできる。メタデータの入力を行うユーザー用。



1 「ブラウザーリモート設定」を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ブラウザーリモート設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

2 「ユーザー設定」を選ぶ

① 「ユーザー設定」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「1名(Full)」または「2名(Camera/Meta)」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

3 ユーザー名とパスワードを変更する

① 操作2で「1名（Full）」を選んだとき
「Full：ユーザー名」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ユーザー名を入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」（🕮 30）
③ 「Full：パスワード」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ユーザー名と同様に、パスワードを入力する。
⑤ 操作2で「2名(Camera/Meta)」を選んだとき
① ～ ④と同じ要領で、「Camera:ユーザー名」、「Camera:パスワード」、「Meta：ユーザー名」、「Meta：パスワード」を入力する。

ブラウザーリモートを起動する CAMERA MEDIA

携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー *2からブラウザーリモートを起動します。現在のリモート設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（248）。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。

1 ブラウザーリモートを選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」➤「ブラウザーリモート」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

- ネットワーク接続方式のアイコンとRemoteアイコンが黄色で表示される。
- ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、先のアイコンが白色に変わる。

2 本機 必要に応じて、ブラウザーリモートのネットワーク設定を確認する

① STATUSボタンを押す（17）。

② ジョイスティックを左右に押して、ネットワーク設定ステータス画面に切り換える。

- Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用するときは「ネットワーク 1/6」画面でビデオカメラのSSIDを、ブラウザーリモートを使うときは「ネットワーク 4/6」画面でカメラのURLと「ネットワーク 5/6」画面でユーザー名／パスワード*を、それぞれ確認する。

* 初期設定のパスワードのみ画面に表示される。

③ 再度STATUSボタンを押して、ステータス画面を閉じる。

3 携帯端末など ビデオカメラに接続する

① Wi-Fiのネットワーク設定を行い、ビデオカメラに接続する。

- 操作2で確認したブラウザーリモートのSSIDを使用して接続する。

4 携帯端末など Webブラウザーを起動する

5 携帯端末など 操作2で確認したURLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

6 携帯端末など　操作2で確認したユーザー名とパスワードを入力する

① 名前（またはユーザー名）入力欄に、ユーザー名を入力する。
② パスワード入力欄にパスワードを入力する。
③「ログイン」を選ぶ。
- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯→消灯を繰り返す。
- ユーザー名とパスワードが不明のときは、カメラの管理者にお問い合わせください。

7 携帯端末など　カメラIDを確認し、言語を変更する

- ログインしたユーザーに応じたブラウザーリモート画面が起動し、画面中央にカメラIDが表示される。

① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するビデオカメラのIDであることを確認する。
② を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。

8 本機　撮影後、ブラウザーリモートを終了する

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」➤「切」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面のネットワーク接続方式のアイコンとRemoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ブラウザーリモートで選んだ言語と異なる言語をパソコンなどで設定している場合は、正しく表示されないことがあります。

リモート撮影する

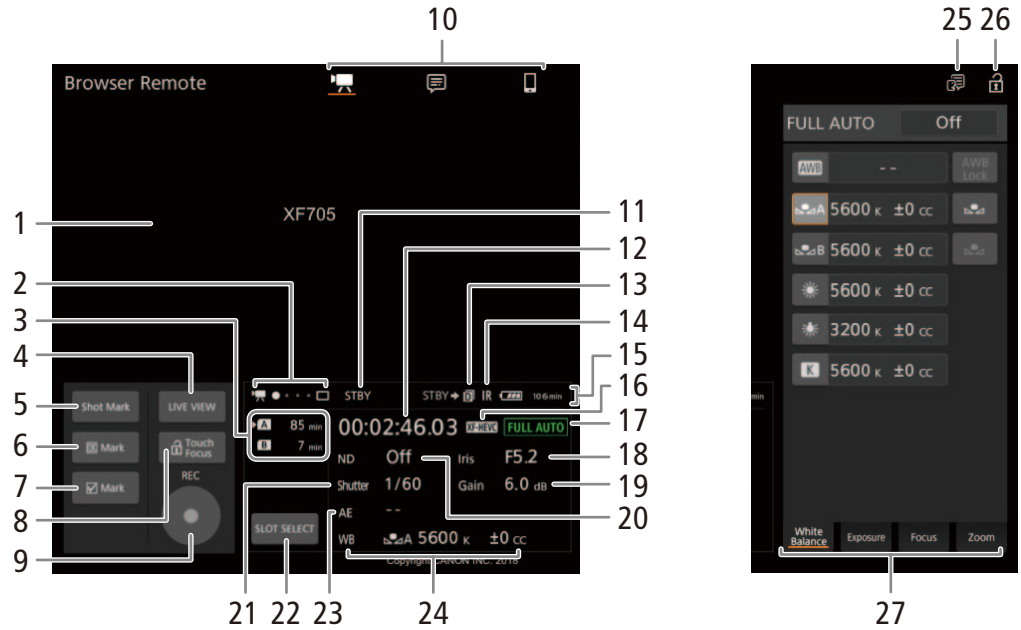
ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」、「メタデータ入力画面」があり、ログインしたユーザーによって操作できる画面が異なります。

MEMO

- ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

詳細操作画面

タブレットなど画面が比較的大きい携帯端末を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像表示エリア
- ビデオカメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID(179)が表示される。
- カラーバー表示中や「解像度／カラーサンプリング」を「3840x2160 YCC422 10 bit」、「フレームレート」を「59.94P」または「50.00P」、「SDI/HDMI最大解像度」を「3840x2160」に設定しているときは、ライブビュー表示できない。

2 ブラウザーリモート接続状態表示*

3 カードの状態／撮影可能時間

4 LIVE VIEW(ライブビュー)ボタン
- 押すとライブビュー映像が表示される。

5 Shot Mark追加

6 OK Mark追加

7 ☑ Mark追加

8 🔒(🔓)Touch Focus(タッチフォーカスロック)ボタン
9 REC(記録開始／停止)ボタン
10 画面切り換えボタン(Fullユーザーのみ)
- (詳細操作画面)、(メタデータ入力画面)、(簡易操作画面)のいずれかに切り換える。

11 撮影状態(📖 51)／記録コマンド状態
12 タイムコード*(📖 104)
13 ダブルスロット記録*(📖 41)
14 赤外撮影
15 バッテリー残量とバッテリー残時間*(📖 51)
16 記録形式
17 フルオートモード状態
18 F値
19 ゲイン
20 NDフィルター
21 シャッタースピード
22 SLOT SELECT(スロット選択)ボタン(📖 41)
23 AEシフト
24 ホワイトバランス
25 言語選択
- 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。

26 🔒(キーロック)ボタン
- ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。🔒を押すとロックは解除される。本体側の操作はロックされない。

27 カメラ設定変更エリア／切り換えタブ
- White Balance(ホワイトバランス)、Exposure(露出)、Focus(フォーカス)、Zoom(ズーム)の各調整を切り換える。

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

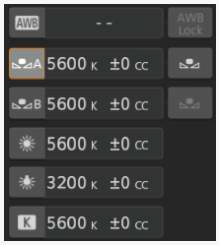
撮影する

1 REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わる。RECボタン中央の●が赤色に変わる。
- 撮影中は、タイムコードが歩進する。
- 再度、RECボタンを押すと撮影を終了し、撮影状態表示が「STBY」に変わる。

ホワイトバランスを調整する

1 White Balanceタブに切り換える



2 いずれかの設定方法を選ぶ

- 「AWB」を選んだときは、以降の操作は不要。

3 A、またはBを選んだとき　基準白色を取り込んで、登録する

① グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し、「」を押す。
- 「A」または「B」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

4 AWB ／ A ／ B以外を選んだとき　微調整する

① 設定方法の右の色温度／色補正値を選ぶ。
② 「K」タブ、または「CC」タブを選ぶ。
③ 色温度、または色補正値を選ぶ。
④ を押す。

MEMO

- 設定方法がAWBの場合、「AWB Lock」を押すと一時的にAWB動作を停止します。もう一度押すと再開します。

露出を調整する

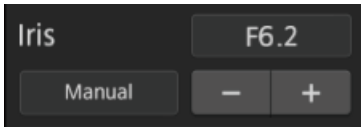
Exposureタブに切り換える

1 Exposureタブに切り換える

NDフィルターを切り換える

① 「−」または「+」を押してNDフィルターを選ぶ。
- NDフィルターが変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- ND設定値をタッチしてリストから選ぶか、「−」または「+」で調整することもできる。

アイリスを調整する



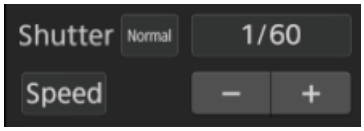
① 「Manual」を選んでアイリスモードをマニュアルにする
- 「Automatic」を選ぶと自動調整になる。以降の操作は不要。

② 「−」または「+」を押してF値を調整する。
- F値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- F値をタッチしてリストから選ぶか、「−」または「+」で調整することもできる。

MEMO

- 「PUSH AUTO IRIS」を押すと、一時的にオートでアイリスを調整することができます。調整中はマニュアルでの調整はできません。

シャッタースピードを調整する

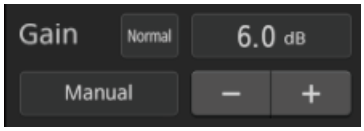


① シャッタースピードのモードを、「Speed」、「Angle」、「Clear Scan」、「Slow」、「Auto」、「Off」から選ぶ ➤ ⊠を押す。

② 「Speed」を選んだときはシャッタースピードの刻み幅を「Normal」または「Fine」から選ぶ ➤ ⊠を押す。

③ 「−」または「+」をタッチして値を調整する。
- シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- シャッタースピードの値を押してリストから選ぶか、「−」または「+」で調整することもできる。

ゲインを調整する



① 「Manual」を選んでゲインをマニュアルにする
- 「Automatic」を選ぶと自動調整になる。以降の操作は不要。

② 調整時の刻み幅を選ぶ。

③ 「−」または「+」を押して値を調整する。
- ゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- ゲインの設定値を押してリストから選ぶか、「−」または「+」で調整することもできる。

露出を調整する（AEシフト）

① 「−」または「+」を押して値を調整する。
- AEシフトの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- AEシフトの値を押してリストから選ぶか、「−」または「+」で調整することもできる。

フルオートモードにする

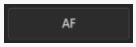
① フルオートモードにするときは「On」にする。

フォーカスを調整する

準備する

1 Focusタブに切り換える

マニュアルで調整する



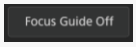
1 **AF**を押す

2 **MF** → ☒を押す

3 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる

- Nearのボタン（⌄、⌄⌄、⌄⌄⌄）を押すと至近方向に調整し、Farのボタン（⌃、⌃⌃、⌃⌃⌃）を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、⌄／⌃は小、⌄⌄／⌃⌃は中、⌄⌄⌄／⌃⌃⌃は大です。

デュアルピクセルフォーカスガイドを使う



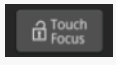
1 「Focus Guide Off」を「On」にして、フォーカスガイド表示を「On」にする

- 画面にフォーカスガイド枠が表示される。

2 ☒を押す。

AF枠の位置を変更する

ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。



1 「Touch Focus」ボタンがロック解除状態であることを確認する

2 ライブビュー表示上で被写体をタッチする

- タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

顔を検出してフォーカスを合わせる

Face Det. & Tracking On

1 「Face Det. & Tracking Off」を「On」にして、顔検出&追尾を「On」にする

2 ☒を押す。

3 ビデオカメラの画角に人物が入ると顔を検出する

- 検出したすべての顔に枠が表示され、メインの被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。
- メインの被写体以外の枠をタッチすると、タッチした枠がメインの被写体になる。

4 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

選んだ被写体を追尾する

Tracking

1 「Tracking」を選び、追尾を有効にする

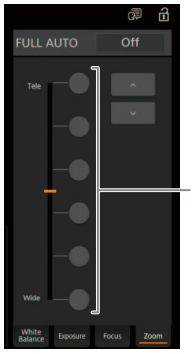
- AF枠が「オート」のときは不要。

2 ライブビュー画面上で被写体をタッチする

- タッチした被写体に追尾する。「Cancel Tracking」を選ぶと解除する。

3 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

ズームを調整する



ズーム位置選択ボタン

① ZOOMタブに切り換える。
② ズーム位置選択ボタンを押して、ズームを調整する。または、∧をタッチするとT側（望遠）に、∨をタッチするとW側（広角）に調整します。

MEMO

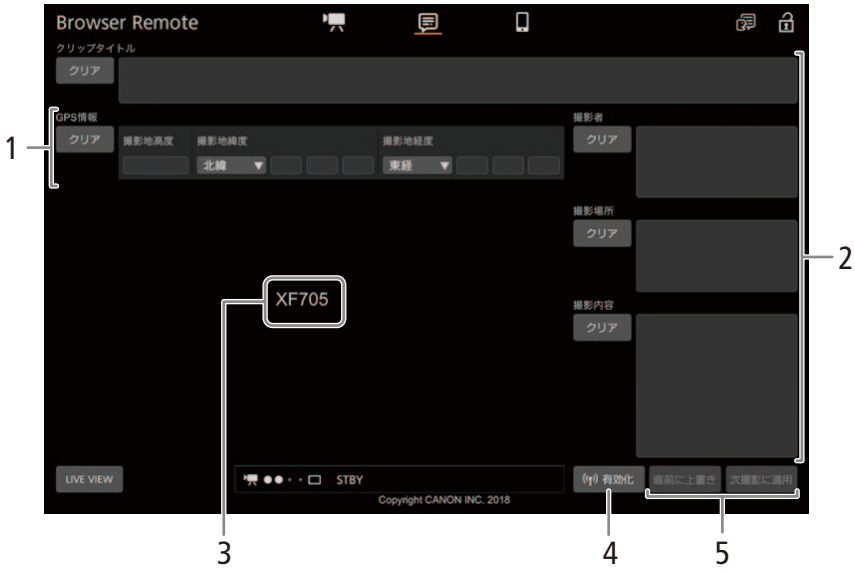
- 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

簡易操作画面

画面切り換えタブで「」を選ぶと表示されます。スマートホンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときに使用します。簡易操作画面では、REC(記録開始／停止)、ズーム、LIVE VIEW(ライブビュー)の入／切、画面切り換え、(キーロック)のみ行うことができます。

メタデータ入力画面（Full ／ Meta）

ネットワーク機器のブラウザーリモート画面から、XF-HEVCクリップ／ XF-AVCクリップに付加するメタデータを設定することができます。設定可能なメタデータには、ユーザーメモ（クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容）とGPS情報（撮影地の高度／経度／緯度）があります。



1 GPS情報入力エリア

2 ユーザーメモ入力エリア

3 ライブビュー映像表示エリア／カメラID

4 有効化ボタン

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする。

5 メタデータ設定操作ボタン

メタデータを入力する

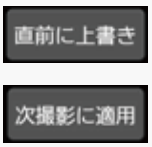
XF-HEVCクリップ／XF-AVCクリップに付加するメタデータを入力します。直前に記録したクリップや記録中のクリップ、これから記録するクリップにユーザーメモ／ GPS情報を付加できます。

1 ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする

① 「有効化」を押す。
- 本体で次の操作を行って有効にすることもできる。
  2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」➤「リモート」

2 ユーザーメモ／ GPS情報を入力する

① 「クリップタイトル」、「撮影者」、「撮影場所」、「撮影内容」、「GPS情報」をそれぞれ設定する。
- 各項目の左側の「クリア」を押すと、入力した内容を消去できる。



3 ユーザーメモ／ GPS情報を本体に転送する

① 「直前に上書き」、「次撮影に適用」または「上書き」を押す。
直前に上書き*1： 直前に記録したクリップに設定する。
次撮影に適用： これから記録するクリップに設定する。
上書き*2： 撮影中のクリップに設定する。
*1 直前にクリップを記録したときのみ。
*2 撮影中のみ。
- ユーザーメモ／ GPS情報の内容がカメラ本体に転送され、押したボタンに応じて設定される。
- 転送完了のメッセージが表示される。

② 「✕」を押す。

MEMO

ブラウザーリモートから入力したメタデータ設定が解除される場合
- 本機の電源をOFF/ONしたとき。
- 2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」で設定方法を切り換えたとき。

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を一旦有効にすると、ブラウザーリモート画面で無効にすることはできません。カードから設定するときは、本機の2 記録／メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」を「SDカード」にしてください。
- ブラウザーリモートを使って、リレー記録されたクリップにメタデータを設定する場合、リレー前のクリップにはメタデータは付加されません。

映像をストリーミング送信する（IPストリーミング） CAMERA MEDIA

本機をネットワークに接続して、ネットワーク経由で映像伝送装置のデコーダー（以下「デコーダー」と記載）*1またはパソコン*2に、本機の映像と音声（2ch）*3をストリーミング送信します。ライブ中継に利用できるほか、ネットワーク環境が低速な取材現場からでも速報映像を送信することができます。なお、IPストリーミング中は、カードへ記録を行うことはできません。外部機器への記録は可能です。

*1 対応するデコーダーについてはキヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ストリーミング映像の受信に対応したパソコン用ソフトウェアが必要です。
*3 音声が4チャンネルの場合、送信するチャンネルはメニューで選択可能。

送信できる映像と音声の信号形式

記録形式*	ストリーミングの信号形式				
	映像				音声
	圧縮方法	ビットレート	解像度	フレームレート	
XF-HEVC	H.265 / HEVC	16 Mbps、9 Mbps	3840×2160	59.94P、29.97P、50.00P、25.00P	形式：MPEG-2 AAC 2ch ビットレート：256 Kbps
		9 Mbps、4 Mbps	1920×1080	59.94P、29.97P、50.00P、25.00P	
XF-AVC、MP4	MPEG-4 AVC / H.264	9 Mbps、4 Mbps	1920×1080	59.94i、50.00i	

* 記録/メディア設定メニュー ➤「記録形式」の設定（🕮 58）。記録形式の設定によって、選択できるストリーミング信号形式が異なります。

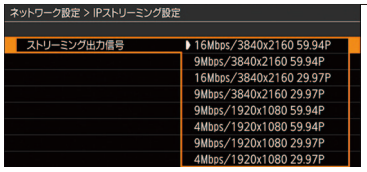
■ ストリーミング送信の準備をする

送信する映像のビットレートや解像度、プロトコルなど、ストリーミング送信に必要な設定を行います。

基本的な送信設定を行う

1 ネットワークの設定をする

● イーサネット（🕮 184）で設定する。

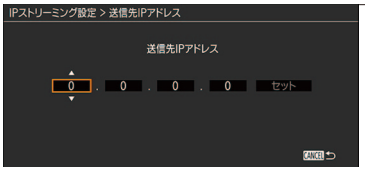


2 出力信号を選ぶ

① 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「ストリーミング出力信号」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

3 音声の出力チャンネルを選ぶ

① 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「オーディオ出力チャンネル」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



4 ストリーミング送信先のIPアドレスとポート番号を入力する

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「送信先IPアドレス」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、数字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ 必要に応じて、同じ要領で「送信先Port No.」を入力する。
- ポート番号は、通常は初期設定のまま使用する。

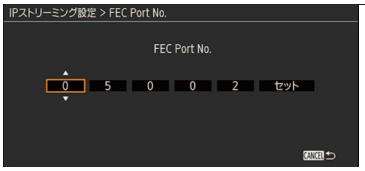
5 プロトコルを選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「プロトコル」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

UDP： 高速な伝送を重視し、信頼性／順序性を保証しない。喪失／遅延パケットは無視する。
RTP： 動画／音声のインターネット配信の標準的な方式。喪失／遅延パケットは無視する。
RTP+FEC： RTPによる伝送に、エラー訂正（FEC）*の制御を行うことにより、受信側で喪失／破損パケットをリカバリーする。

* FECによるエラー訂正制御に対応するデコーダーまたはパソコン用ソフトウェアが必要。

エラー訂正制御の設定を行う（プロトコルに「RTP+FEC」を選んだとき）



1 必要に応じて、FECのパケット用のポート番号を変更する

- ポート番号は、通常は初期設定のままの使用をおすすめします。

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「FEC Port No.」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、数字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 必要に応じて、FECインターバルを変更する

- FECインターバルは、通常は初期設定のまま使用する。

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「IPストリーミング設定」➤「FECインターバル」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

受信側のデコーダーまたはパソコンの設定をする

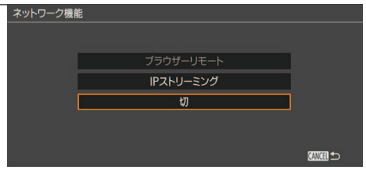
受信側のデコーダーまたはパソコンをネットワークに接続し、必要な設定を行ってください。デコーダーまたはパソコンの受信用ソフトウェアの詳細については、それぞれの説明書などをご覧ください。

■ ストリーミング送信を行う

1 受信側のデコーダーまたはパソコン ストリーミング受信の待機状態にする

2 ネットワークの接続設定を選ぶ（🕮 185）

3 IPストリーミングを有効にする



① 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」➤「IPストリーミング」を順に選ぶ。
② 「OK」を選び、SETを押す。
- ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される（🕮 185）。
- 画面に📹IP（黄色）が表示され、送信準備が完了すると白色に変わって、映像／音声のストリーミング送信が始まる。
- 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」を「切」にすると、送信が終了して画面の📹IPが消える。

MEMO

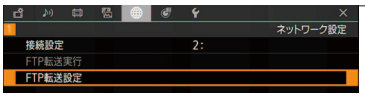
- IPストリーミングは、受信側の状態にかかわらず、映像・音声データを送信します。また、送信するデータは暗号化されません。IPアドレスを正しく設定し、受信側のデコーダーが正しく受信できることをあらかじめ確認してください。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、パケットの喪失や遅延が発生することがあります。
- IPストリーミング送信を連続して24時間行うと、一旦停止したあと自動的に再開します。

クリップをFTPで転送する

本機に記録したクリップを、FTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

FTP転送の準備をする CAMERA MEDIA

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

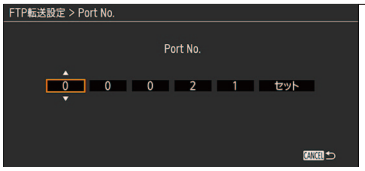


1 「FTP転送設定」を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

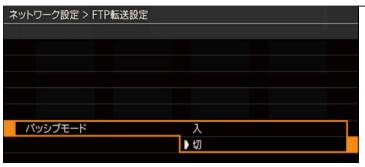
2 FTPサーバー名、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する

① 「FTPサーバー」を選ぶ ➤ SETを押す。
② FTPサーバー名を入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(📖 30)
③ 同様に、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する。



3 ポートNo.を入力する

① 「Port No.」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 187ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
③ 「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。



4 「パッシブモード」を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。

5 「日付フォルダー生成」を選ぶ

① 「日付フォルダー生成」を選ぶ。
② 「入」または「切」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー(「YYYYMMDD ￥HHMMSS」)を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。

6 「同名ファイル」を選ぶ

① 「同名ファイル」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。

MEMO

● 現在のFTPサーバー設定とFTP転送設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（📖 250）。

クリップをFTPで転送する CAMERA MEDIA

1つのクリップを転送する

① ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 185）。
- Wi-Fiのインフラストラクチャーまたはイーサネットを使用する。
- イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。

② 転送するクリップを選ぶ。

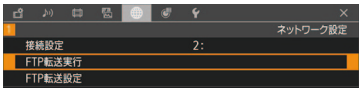
③ クリップメニュー ➤「FTP転送」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- FTPサーバーとの接続が完了すると、選択したクリップのファイルが転送される。イーサネットで接続した場合、転送中はイーサネットアクセスランプが速く点滅する。

転送を中止するとき　CANCELを押す。
- FTP転送が中止される。

⑤ SETを押す。

クリップをまとめて転送する



① 転送するクリップがあるインデックス画面を出す（📖 151）。
② ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 185）。
- Wi-Fiのインフラストラクチャーまたはイーサネットを使用する。
- イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。

③ 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送実行」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- FTPサーバーとの接続が完了するとインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。イーサネットで接続した場合、転送中はイーサネットアクセスランプが速く点滅する。

転送を中止するとき　CANCELを押す。
- FTP転送が中止される。

⑤ SETを押す。

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

8 静止画

静止画を記録する 208
静止画を再生する 209
静止画を操作する 211

静止画を記録する

カメラモードで撮影一時停止中に、静止画をカードに記録することができます。静止画はカードB（SD CARD🅱）のみ記録できます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

動画の解像度	静止画サイズ	1枚あたりのファイルサイズ（目安）
3840×2160 1920×1080	1920×1080	約880 KB

■ カメラモードで静止画を記録する CAMERA MEDIA

静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコン（付属）のPHOTOボタンを使用します。

例：アサイン3ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1 アサイン3ボタンに「Photo」を割り当てる（🕮 136）

2 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

① アサイン3ボタンを押す。

- 「🅱」と記録可能枚数*が表示され、静止画がカードに記録される。
  * 記録可能枚数は最大4桁表示。
- 記録中はカードBのカードアクセスランプが赤色に点灯する。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す（🕮 18）

ご注意

- カードBのカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードを取り出さない。

MEMO

- プレ記録モードやスローモーション記録のときは静止画を記録できません。
- ブラウザーリモートの動作中は、静止画を記録できません。
- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画を再生する CAMERA MEDIA

カードに記録した静止画を再生することができます。静止画はカードB(SD CARD B)のみ再生できます。

■ 静止画インデックス画面を表示する

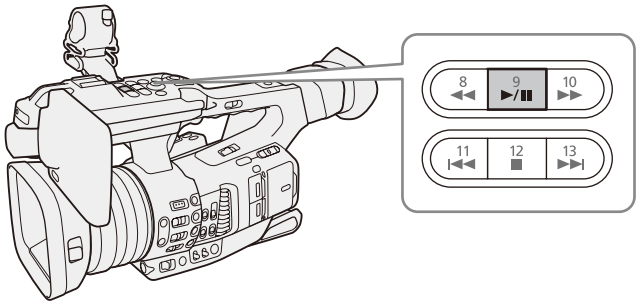
静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

1 メディアモードにする (📖 24)

2 静止画インデックス画面に切り換える (📖 151)

■ 静止画を再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には各種再生操作ボタンを使用します。ジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル (オレンジ色の枠) が移動するので、再生したい静止画に合わせる。

2 ►/II（再生／一時停止）ボタンを押す

● 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画／次の静止画に移動するとき

I◄◄を押すと前の静止画に、►►Iを押すと次の静止画に移動する。

● ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。

撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP（ディスプレイ）ボタンを押す。または、「Display」を割り当てたアサインボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

■（停止）ボタンを押す。

ご注意

● カードアクセスランプが点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  ■ カードを取り出さない。

MEMO

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  ■ 本機以外の製品で記録したとき。
  ■ パソコンで作成や加工をしたとき。
  ■ パソコンでファイル名を変更したとき。

静止画を操作する CAMERA MEDIA

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。静止画メニューの操作は、クリップメニューと同様です（155）。

静止画を消去する

不要な静止画を1枚ずつ、またはまとめて消去できます。

静止画再生中に消去する

① 静止画再生中 静止画メニュー ➤「消去」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 再生中の静止画が消去される。

③ SETを押す。

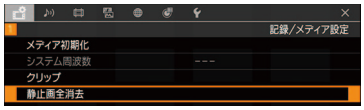
静止画インデックス画面で静止画を消去する

① 消去する静止画を選ぶ。
② 静止画メニュー ➤「消去」を順に選ぶ。
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した静止画が消去される。

④ SETを押す。

静止画をまとめて消去する

すべての静止画をまとめて消去することができます。



① 1 記録／メディア設定メニュー ➤「静止画全消去」
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- インデックス画面内の消去対象の静止画が消去される。

中止するとき CANCELを押す。
③ SETを押す。

ご注意

- 一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

MEMO

9 メニュー

メニュー一覧..... 214

メニュー一覧 CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(🕮 26)をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面上側に次のメニューのアイコンが表示されます。

カメラモードのとき

MENU

- カメラ設定メニュー (🕮 218)
  (撮影時のカメラ設定)
  - 1ページ
    - 測光方式
    - AEシフト
    - AEレスポンス
    - アイリスリミット
    - アイリスリング方向
    - シャッターステップ
  - 2ページ
    - AGCリミット
    - ゲインL
    - ゲインM
    - ゲインH
    - ショックレスゲイン
    - ホワイトバランス：PRESET
    - ショックレスWB
    - AWBレスポンス
  - 3ページ
    - AFモード
    - AF枠
    - AF枠位置
    - AFスピード
    - AFレスポンス
  - 4ページ
    - 顔検出＆追尾
    - 顔検出AF
    - フォーカスリミット
    - フォーカスリング方向
    - フォーカスリング敏感度
  - 5ページ
    - ズームスピードレベル
    - ハイスピードズーム
    - デジタルズーム
    - ハンドルズームスピードH
    - ハンドルズームスピードL
    - WL-D6000ズームスピード
  - 6ページ
    - グリップズームスピード
    - 固定スピード
    - ユーザー設定
  - 7ページ
    - 手ブレ補正モード
    - 手ブレ補正
    - パワードIS
    - カラーバー
    - カラーバータイプ
    - フリッカー低減
    - コンバージョンレンズ
  - 8ページ
    - 赤外撮影色
    - 赤外ライト
    - 赤外撮影時スローシャッター
- CP Custom Pictureメニュー (🕮 221)
  (画質のカスタマイズ)
  - 1ページ
    - Preset
    - Gamma
    - Color Space
    - Color Matrix
    - HLG Color
    - Activate Other Settings
    - Other Settings
    - ファイル
- 記録/メディア設定メニュー (🕮 222)
  (記録設定、記録メディア操作)
  - 1ページ
    - メディア初期化
    - 記録形式
    - システム周波数
    - 記録モード
    - フレームレート
    - 解像度／カラーサンプリング
    - ビットレート
    - MP4オーディオ形式
  - 2ページ
    - リレー記録
    - ダブルスロット記録
    - メタデータ
    - 記録コマンド
    - HDMI Time Code
    - MP4クリップ／静止画番号方式
    - 垂直フィルター

♪)) オーディオ設定メニュー（📖 225）
（音声の入出力設定）
- 1ページ
  - CH1/CH2 Input選択
  - CH2 Input
  - CH3/CH4 Input選択
  - CH1/CH2 ALCリンク
  - CH3/CH4 ALCリンク
- 2ページ
  - 録音レベルCH2
  - CH2レベル
  - 録音レベル CH3
  - CH3レベル
  - 録音レベル CH4
  - CH4レベル
  - 録音レベル CH3/CH4
  - CH3/CH4レベル
- 3ページ
  - 内蔵マイクローカット
  - 内蔵マイク感度
  - 内蔵マイクアッテネーター
- 4ページ
  - INPUT 1 マイクトリミング
  - INPUT 1 マイクアッテネーター
  - INPUT 2 マイクトリミング
  - INPUT 2 マイクアッテネーター
  - INPUT 1/2 リミッター
  - MICアッテネーター
  - MICローカット
- 5ページ
  - 1 kHzトーン
  - ヘッドホン音量
  - モニターチャンネル
  - HDMIチャンネル
  - CH2スイッチ&ダイヤル アサイン

モニタリング設定メニュー（📖 226）
（画面／端子出力設定）
- 1ページ
  - LCD明るさ
  - LCDコントラスト
  - LCDカラー
  - LCDシャープネス
  - LCD輝度
- 2ページ
  - VF明るさ
  - VFコントラスト
  - VFカラー
  - VFシャープネス
  - VF輝度
  - VFアイセンサー
- 3ページ
  - LUT: LCD
  - LUT: VF
  - LUT: SDI
  - LUT: HDMI
  - HLG Color
  - HDR→SDRゲイン
  - Range: SDI
  - Range: HDMI
- 4ページ
  - 白黒：LCD
  - 白黒：VF
  - 白黒：SDI
  - 白黒：HDMI
- 5ページ
  - オンスクリーン表示：SDI
  - オンスクリーン表示：HDMI
  - Custom Display 1
  - Custom Display 2
  - 表示単位系

アシスト設定メニュー（📖 230）
（アシスト表示設定）
- 1ページ
  - フォーカスガイド
  - Magnification: VF+LCD
  - Magnification: SDI/HDMI
  - Magnification有効時白黒
- 2ページ
  - ピーキング：LCD
  - ピーキング：VF
  - ピーキング：SDI
  - ピーキング：HDMI
  - ピーキング選択
  - ピーキング1
  - ピーキング2
  - ピーキング有効時白黒
- 3ページ
  - ゼブラ：LCD
  - ゼブラ：VF
  - ゼブラ：SDI
  - ゼブラ：HDMI
  - ゼブラ選択
  - ゼブラ1レベル
  - ゼブラ2レベル
- 4ページ
  - WFM: LCD
  - WFM: VF
  - WFM: SDI
  - WFM: HDMI
  - 波形モニター設定
- 5ページ
  - マーカー
  - センターマーカー
  - 水平マーカー
  - グリッドマーカー
  - アスペクトマーカー
  - マーカーアスペクト比
  - マーカーカスタムアスペクト比
- 6ページ
  - セーフティーゾーンマーカー
  - マーカー セーフティーゾーン基準
  - マーカー セーフティーゾーン面積

- ネットワーク設定メニュー（📖 232）
  （ネットワーク設定）
  - 1ページ
    - 接続設定
    - ネットワーク機能
    - ブラウザーリモート設定
    - IPストリーミング設定
- アサインボタンメニュー（📖 234）
  - 1ページ
    - カメラ1
    - カメラ2
    - カメラ3
    - カメラ4
    - カメラ5
    - カメラ6
    - カメラ7
  - 2ページ
    - カメラ8
    - カメラ9
    - カメラ10
    - カメラ11
    - カメラ12
    - カメラ13
    - カメラ14
  - 3ページ
    - RC-V100 1
    - RC-V100 2
    - RC-V100 3
    - RC-V100 4
- システム設定メニュー（📖 235）
  （リセット、日時、言語など）
  - 1ページ
    - リセット
    - メニュー／ CP 設定保存
    - タイムゾーン
    - 日付／時刻
    - 日時スタイル
    - GPS自動時刻設定
    - 言語
  - 2ページ
    - SDI/HDMI最大解像度
    - SDI出力
    - 3G-SDIマッピング
    - SDI/HDMIスキャンモード
    - G-LOCK/SYNC端子
    - Genlock調整
    - SYNCスキャンモード
  - 3ページ
    - Time Codeモード
    - Time Code Run
    - Time Code DF/NDF
    - Time Code設定
    - User Bit記録モード
    - User Bitタイプ
    - TC In/Out
  - 4ページ
    - キーロック
    - RECボタン（本体グリップ）
    - タッチ操作レスポンス
    - REMOTE端子
    - WL-D6000
    - LED
  - 5ページ
    - レックレビュー
    - アワーメーターリセット
    - ファン
    - 認証マーク表示
    - Firmware
- ★マイメニュー（📖 238）
  - 1ページ
    - 編集
  - 2ページ
    - 編集
  - 3ページ
    - 編集
  - 4ページ
    - 編集
  - 5ページ
    - 編集

メディアモードのとき

MENU

- 記録/メディア設定メニュー（🕮 222）
  （記録設定、記録メディア操作）
  - 1ページ
    - メディア初期化
    - システム周波数
    - クリップ
    - 静止画全消去
- オーディオ設定メニュー（🕮 225）
  （音声の出力設定）
  - 1ページ
    - ヘッドホン音量
    - スピーカー音量
    - モニターチャンネル
    - HDMIチャンネル
- モニタリング設定メニュー（🕮 226）
  （画面／端子出力設定）
  - 1ページ
    - LCD明るさ
    - LCDコントラスト
    - LCDカラー
    - LCDシャープネス
    - LCD輝度
  - 2ページ
    - VF明るさ
    - VFコントラスト
    - VFカラー
    - VFシャープネス
    - VF輝度
    - VFアイセンサー
  - 3ページ
    - Range: SDI
    - Range: HDMI
  - 4ページ
    - オンスクリーン表示：SDI
    - オンスクリーン表示：HDMI
    - Custom Display
- アシスト設定メニュー（🕮 230）
  （アシスト表示設定）
  - 1ページ
    - WFM: LCD
    - WFM: VF
    - WFM: SDI
    - WFN: HDMI
    - 波形モニター設定
- ネットワーク設定メニュー（🕮 232）
  （ネットワーク設定）
  - 1ページ
    - 接続設定
    - FTP転送実行
    - FTP転送設定
- アサインボタンメニュー（🕮 234）
  - 1ページ
    - カメラ1
    - カメラ2
    - カメラ3
    - カメラ4
    - カメラ5
    - カメラ6
    - カメラ7
  - 2ページ
    - カメラ14
  - 3ページ
    - RC-V100 1
    - RC-V100 2
    - RC-V100 3
    - RC-V100 4
- システム設定メニュー（🕮 235）
  （リセット、日時、言語など）
  - 1ページ
    - リセット
    - メニュー／ CP 設定保存
    - タイムゾーン
    - 日付／時刻
    - 日時スタイル
    - 言語
  - 2ページ
    - SDI/HDMI最大解像度
    - SDI出力
    - 3G-SDIマッピング
    - SDI/HDMIスキャンモード
  - 3ページ
    - REMOTE端子
    - WL-D6000
    - LED
  - 4ページ
    - 認証マーク表示

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。ページ数は、カメラモードのときです。メディアモードのときのページ数は、「メニューの階層」のメディアモードのとき（🕮 217）または設定項目の右側をご覧ください。

カメラ設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	測光方式	73
	絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト：　逆光時の暗部をより明るく制御する。 **スタンダード**：　画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：　スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	
	AEシフト	72
	設定値：＋2.0、＋1.75、＋1.5、＋1.25、＋1.0、＋0.75、＋0.5、＋0.25、**±0**、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.25、−1.5、−1.75、−2.0 絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	
	AEレスポンス	70
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー 絞り、シャッター、ゲインを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ。	
	アイリスリミット	72
	設定値：**入**、切　／内容：切にするとCLOSEまで絞れる。F値が小絞り回折F値（F11）を超えると、画面のF値が灰色になる。	
	アイリスリング方向	71
	設定値：リバース、**ノーマル**　／内容：アイリスリングの操作方向を設定する。	
	シャッターステップ	62
	設定値：ファイン、**ノーマル**　／内容：シャッタースピードの刻み幅を選ぶ。ファインにすると、最大1/256段刻みで調整できる。	
2	AGCリミット	66
	設定値：**切/33 dB**　-6.0 dB ～ 33.0 dB（1 dB刻み）　／内容：AGCがONの場合、ゲインの最大値を制限するときの最大値を設定する。	
	ゲイン L	66
	GAIN（ゲイン）スイッチをLにしたときのゲインを設定する。 モード：ファイン、**ノーマル** ファイン：−6.0 dB ～ 33.0 dB（**0.0 dB**） ノーマル：−6.0 dB ～ 33.0 dB（**0.0 dB**）	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	ゲイン M	66
	GAIN(ゲイン)スイッチをMにしたときのゲインを設定する。 モード：ファイン、**ノーマル** ファイン：−6.0 dB ～ 33.0 dB(**6.0 dB**) ノーマル：−6.0 dB ～ 33.0 dB(**6.0 dB**)	
	ゲイン H	66
	GAIN(ゲイン)スイッチをHにしたときのゲインを設定する。 モード：ファイン、**ノーマル** ファイン：−6.0 dB ～ 33.0 dB(**12.0 dB**) ノーマル：−6.0 dB ～ 33.0 dB(**12.0 dB**)	
	ショックレスゲイン	—
	設定値：ハイ、ノーマル、ロー、**切**　／内容：ゲインの値をなめらかに変化させる。	
	ホワイトバランス：PRESET	76
	☀太陽光 ☀電球 K Kelvin	
	ショックレスWB	77
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	
	AWBレスポンス	—
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：オートホワイトバランスのときの応答性を選ぶ。	
3	AFモード	92、93
	オートフォーカスのモードを設定する。 AFブーストMF：　手動で大まかに調整すると、合焦付近は自動的に調整される。 **連続**：　継続したAF動作による自動調整が可能となる。	
	AF枠	95
	設定値：**オート**、大、小　／内容：AF枠のサイズを選ぶ。	
	AF枠位置	95
	設定値：**可動**、中央固定　／内容：AF枠の移動可否を選ぶ。「可動」にするとAF枠の位置を移動可能。	
	AFスピード	—
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	
	AFレスポンス	—
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：オートフォーカスの応答性を選ぶ。	
4	顔検出&追尾	—
	設定値：**入**、切　／内容：入にすると、顔検出&追尾が有効になる。	
	顔検出AF	96
	顔検出AFで顔が検出されないときの動作を選ぶ。 **顔優先**：　AFモードの設定に応じた調整方法で調整する。 顔限定：　ピントが固定される（マニュアルフォーカス）。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
4	フォーカスリミット	99
	フォーカスリミットを入／切する。 入：60 cm ～ ∞ (テレ～ワイド全域)の範囲でフォーカス調整できる。 **切**：1 cm(ワイド側）～∞の範囲でフォーカス調整できる。	
	フォーカスリング方向	89
	設定値：リバース、**ノーマル**　／内容：フォーカスリングの操作方向を設定する。	
	フォーカスリング敏感度	89
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：フォーカスリングの敏感度を設定する。	
5	ズームスピードレベル	—
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：ハンドル／グリップまたはリモコンでズームを操作するときのスピードレベルを設定する。	
	ハイスピードズーム	84
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、グリップズームが可変速の場合、撮影一時停止中に、グリップズームの「ズームスピードレベル」を強制的に「ハイ」にする。	
	デジタルズーム	81
	ズームのモードを選ぶ。 デジタルテレコン 6.0x、デジタルテレコン 3.0x、デジタルテレコン 1.5x：焦点距離が約6倍、3倍、1.5倍になる（デジタルズーム）。 デジタル 300x：　光学ズームの領域（15倍）を超えると自動的にデジタルズームに切り換わり、最高300倍までのズームが可能。 アドバンスト 30x：光学込みで30倍までのズームが可能。 **切**：　光学ズーム（15倍）のみ。	
	ハンドルズームスピード H	85
	設定値：1 ～ 16(**16**)　／内容：ZOOM SPEED(ハンドルズームスピード)切り換えスイッチをHにしたときのズームスピード（固定）を16段階から選ぶ。	
	ハンドルズームスピード L	85
	設定値：1 ～ 16(**8**)　／内容：ZOOM SPEED(ハンドルズームスピード)切り換えスイッチをLにしたときのズームスピード（固定）を16段階から選ぶ。	
	WL-D6000ズームスピード	86
	設定値：1 ～ 16(**8**)　／内容：ワイヤレスコントローラー WL-D6000(付属)のズームスピード（固定）を16段階から選ぶ。	
6	グリップズームスピード	84
	グリップズームのズーム操作を選ぶ。 設定値：固定、**可変速**、ユーザー設定	
	固定スピード	84
	設定値:1～16(**8**)　／内容:「グリップズームスピード」が「固定」のときに、固定速のズームスピードを16段階から選ぶ。	
	ユーザー設定	84
	「グリップズームスピード」が「ユーザー設定」のとき、任意のズームスピードを設定する。 設定値：ユーザー 1 ～ユーザー 3 ／ 1 ～ 16	

	設定項目／内容・設定値	🕮
7	手ブレ補正モード	100
	手ブレ補正の方式を選ぶ。 ダイナミック：歩きながらの撮影など。 **スタンダード**：静止して手持ちで撮影するときなど。	
	手ブレ補正	100
	設定値：**入**、切　／内容：入にすると、手ブレ補正が有効になる。	
	パワードIS	100
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、パワードISが有効になる。	
	カラーバー	120
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、カラーバーを表示する。	
	カラーバータイプ	120
	設定値：**SMPTE**、EBU、ARIB　／内容：カラーバーのタイプを選ぶ。	
	フリッカー低減	64
	設定値：オート、**切**　／内容：オートにすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正する。	
	コンバージョンレンズ	87
	設定値：TL-U58、WA-U58、**切**　／内容：テレコンバーター TL-U58（別売）またはワイドアタッチメントWA-U58（別売）を取り付けるときに設定すると、それぞれに適した手ブレ補正／距離表示が行われる。	
8	赤外撮影色	133
	設定値：**ホワイト**、グリーン　／内容：高輝度部の色を白と緑から選ぶ。	
	赤外ライト	133
	赤外ライトの点灯のしかたを選ぶ。 **トグル**：　Infrared切り換えスイッチを押すたびに入／切する。 常時　入：Infraredモードにすると自動的に点灯する。 常時　切：常に消灯する。	
	赤外撮影時スローシャッター	133
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、Infraredモードのスローシャッターが有効になる。	

CP Custom Pictureメニュー

CAMERA MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	Preset	143
	あらかじめ用意された、プリセット（ガンマ、色空間、カラーマトリクスの組み合わせ）を選ぶ。	
	Gamma	144
	プリセットを使用しないときに、ガンマを個別に選ぶ。	
	Color Space	144
	プリセットを使用しないときに、色空間を個別に選ぶ。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	Color Matrix	144
	プリセットを使用しないときに、カラーマトリクスを個別に選ぶ。	
	HLG Color	144
	設定値：BT.2100、**Vivid**　／内容：HLGの色味を設定する。	
	Activate Other Settings	144
	設定値：On、**Off**　／内容：Onにすると、Other Settingsで詳細な調整が可能になる。	
	Other Settings	144
	Presetで選んだ設定に対して、さらに詳細な調整を行う。	
	ファイル	147
	カスタムピクチャーファイルの操作を行う。	

記録/メディア設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	メディア初期化 ➤ SDカードA、SDカードB	40
	設定値：**キャンセル**、OK SDカードA、またはSDカードBの各スロットに入っているカードを初期化する。	
	記録形式*1	58
	設定値：**XF-HEVC**、XF-AVC、MP4　／内容：動画の記録形式を選ぶ。	
	システム周波数	58
	設定値：**59.94 Hz**、50.00 Hz　／内容：システム周波数を選ぶ。	
	記録モード*1	58、130
	設定値：**通常記録**、スローモーション記録*、プレ記録 * 記録形式がXF-HEVCまたはXF-AVCのときのみ。 特殊記録を行うときは、使用する特殊記録を選ぶ。通常の記録に戻すときは「通常記録」を選ぶ。	
	フレームレート*1	58
	設定値：[59.94 Hz時] 59.94i、**59.94P**、29.97P、23.98P [50.00 Hz時] 50.00i、**50.00P**、25.00P フレームレートを選ぶ。記録形式とシステム周波数の設定によって選択できる値が異なる。	
	解像度／カラーサンプリング*1	58
	設定値：[XF-HEVC] **3840x2160 YCC422 10bit**、1920x1080 YCC422 10bit [XF-AVC] **3840x2160 YCC420 8bit**、1920x1080 YCC420 8bit [MP4] **1920x1080 YCC420 8bit**、1280x720 YCC420 8bit 解像度とカラーサンプリング、ビット数の組み合わせを選ぶ。記録形式とフレームレートの設定によって選択できる値が異なる。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	ビットレート*1	58
	設定値：[XF-HEVC] **160 Mbps**、110 Mbps、60 Mbps、45 Mbps、35 Mbps* [XF-AVC] **160 Mbps**、45 Mbps、35 Mbps* [MP4] **35 Mbps**、8 Mbps ビットレートを選ぶ。記録形式と解像度の設定によって選択できる値が異なる。 * スローモーション記録で、フレームレートが23.98Pのときのみ。	
	MP4オーディオ形式*1	114
	設定値：**AAC 16 bit 2CH**、LPCM 16 bit 4CH 動画をMP4形式で記録するときの音声記録形式を選ぶ。	
	クリップ*2 ➤ 全クリップコピー、全クリップ消去	160、161
	現在選択しているカードのすべてのクリップをまとめて消去またはもう一方のカードにまとめてコピーする。 設定値：**キャンセル**、OK	
	静止画全消去*2	211
	カードBに記録したすべての静止画をまとめて消去する。 設定値：**キャンセル**、OK	
2	リレー記録*1	41
	設定値：入、**切** ／内容：リレー記録の入／切を切り換える。	
	ダブルスロット記録*1	41
	設定値：入、**切** ／内容：ダブルスロット記録の入／切を切り換える。	
	メタデータ*1 ➤ カメラインデックス	125
	設定値：**A** ～ Z XF-HEVC / XF-AVCクリップのクリップファイル名を構成する「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。	
	メタデータ*1 ➤ リール番号	125
	設定値：**001** ～ 999 ／**変更**、リセット、キャンセル XF-HEVC / XF-AVCクリップのクリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。記録メディアごとに異なる番号を設定する。	
	メタデータ*1 ➤ クリップ番号	125
	設定値：**001** ～ 999 ／**変更**、リセット、キャンセル ／内容：クリップ番号方式が「通し番号」のときに、XF-HEVC / XF-AVCクリップのクリップファイル名を構成する「クリップ番号」の初期値を設定する。	
	メタデータ*1 ➤ ユーザー定義	125
	設定値：A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字の文字列（**CANON**）／**変更**、リセット、キャンセル XF-HEVC / XF-AVCクリップのクリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。	
	メタデータ*1 ➤ シーン	125
	設定値：16文字以内の文字列（**未設定**）／**変更**、リセット、キャンセル シーンを識別する任意の文字列を設定する。	
	メタデータ*1 ➤ テイク	125
	設定値：8文字以内の文字列（**未設定**）／**変更**、リセット、キャンセル 同一シーンにおけるテイクを識別する任意の文字列を設定する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	メタデータ*1 ➤ 設定	125
	メタデータの設定方法を選ぶ。 リモート：ブラウザーリモートから設定する。 **SDカード**：Canon XF Utilityを使って設定し、カードに保存したメタデータ（ユーザーメモ）を使用する。	
	メタデータ*1 ➤ User Memo	125
	設定値：**切**、ファイル選択　／内容：カードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。切にすると、ユーザーメモは記録されない。	
	メタデータ*1 ➤ 国コード	125
	設定値：4文字の文字列／**変更**、リセット、キャンセル　／内容：UMID所有権情報の国コード。ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。	
	メタデータ*1 ➤ 組織	125
	設定値：4文字の文字列（**00**）／**変更**、リセット、キャンセル　／内容：UMID所有権情報の組織コード。各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できる。取得していないときは「0000」を入力する。	
	メタデータ*1 ➤ ユーザーコード	125
	設定値：4文字の文字列／**変更**、リセット、キャンセル　／内容：UMID所有権情報のユーザーコード。ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されているが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しない。	
	メタデータ*1 ➤ CP ファイル付加	125
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、XF-HEVC / XF-AVCクリップと一緒にカスタムピクチャーが保存される。	
	メタデータ*1 ➤ クリップ番号方式	54
	設定値：オートリセット、通し番号　／内容：XF-HEVCクリップまたはXF-AVCクリップのクリップ番号の付けかたを選ぶ。 **オートリセット**：　記録メディアの交換後、初回の記録時に自動的に「001」にリセットする。 通し番号：　記録メディアを交換しても連番を振る。	
	記録コマンド*1	168
	設定値：入、**切** 入にして、本機と他機をSDI端子、またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。HDMI OUT端子のときは、同時に 2 記録／メディア設定メニュー ➤「HDMI Time Code」を「入」にする。	
	HDMI Time Code*1	110
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳する。	
	MP4クリップ／静止画番号方式*1	56
	MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット：　MP4クリップ／静止画番号は100-0001。またはカード内に記録されているMP4クリップ／静止画ファイルの続きの番号になる。 **通し番号**：　MP4クリップ／静止画番号は最後に記録したMP4クリップ／静止画ファイルの続きの番号になる。	
	垂直フィルター *1	—
	「切」以外にすると、映像に垂直帯域フィルターをかける。 入 (1080i/1080p)：すべてのFHD映像に垂直フィルターを適用する。 **入 (1080i)**：　走査方式がインターレースのときのみ、垂直フィルターを適用する。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。

♪))オーディオ設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	CH1/CH2 Input選択*1、CH3/CH4 Input選択*1	115
	設定値：INPUT端子、MIC端子、**内蔵マイク**　／内容：CH1 ／ CH2、またはCH3 ／ CH4に録音する入力音声を選ぶ。	
	CH2 Input*1	115
	チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 **INPUT 2**：　INPUT1入力をCH1にINPUT2入力をCH2に録音する。 INPUT 1：　INPUT1入力をCH1 ／ CH2の両方に録音する。	
	CH1/CH2 ALCリンク*1、CH3/CH4 ALCリンク*1	117
	設定値：連動、**独立** INPUT端子、またはMIC（マイク）端子が同じ音声入力に設定されている場合、連動にするとINPUT端子のCH1とCH2、またはCH3とCH4の録音レベル調整を連動させることができる。	
2	録音レベルCH2*1、録音レベル CH3*1、録音レベル CH4*1、録音レベル CH3/CH4*1	116
	設定値：**オート**、マニュアル　／内容：CH2、CH3、CH4、またはCH3 ／ CH4の録音レベルの調整方法を選ぶ。	
	CH2レベル*1、CH3レベル*1、CH4レベル*1、CH3/CH4 レベル*1	116
	設定値：0 ～ 100（**50**）　／内容：CH2、CH3、CH4、またはCH3 ／ CH4の録音レベルを手動で設定する。	
3	内蔵マイクローカット*1	117
	内蔵マイクの特性を選ぶ。 **切**：一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	
	内蔵マイク感度*1	118
	内蔵マイクの感度を選ぶ。 **ノーマル**：通常のレベルの音を録音するとき。 ハイ：より大きな音量で録音するとき。	
	内蔵マイクアッテネーター *1	118
	設定値：入、**切**　／内容：入にするとマイク信号にアッテネーター（12 dB）がかかる。	
4	INPUT 1 マイクトリミング*1、INPUT 2 マイクトリミング*1	118
	設定値：+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB 外部マイク（INPUT1端子、またはINPUT2端子）の入力感度を調整する。	
	INPUT 1 マイクアッテネーター *1、INPUT 2 マイクアッテネーター *1	118
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、外部マイク（INPUT1端子、またはINPUT2端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
	INPUT 1/2 リミッター *1	117
	設定値：入、**切**　／内容：録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	
	MIC アッテネーター *1	118
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、外部マイク（MIC端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
	MICローカット*1	119
	設定値：入、**切** 外部マイク（MIC端子）の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
5	1 kHzトーン*1	120
	設定値：−12 dB、−18 dB、−20 dB、**切**　／内容：カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	
	ヘッドホン音量　（メディアモード時　1ページ）	154
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：ヘッドホンの音量を調整する。	
	スピーカー音量*2	154
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：スピーカーの音量を調整する。	
	モニターチャンネル　（メディアモード時　1ページ）	172
	設定値：**CH1/CH2**、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2、CH3/CH4、CH3/CH3、CH4/CH4、CH3+4/CH3+4、CH1/CH3、CH2/CH4、CH1+3/CH2+4 ヘッドホンの出力チャンネル（L / R）を選ぶ。「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。	
	HDMIチャンネル　（メディアモード時　1ページ）	172
	設定値：**CH1/CH2**、CH3/CH4　／内容：4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選ぶ。	
	CH2スイッチ&ダイヤル アサイン*1	111
	設定値：**CH2**、CH3 内容：録音レベル切り換えスイッチCH2と録音レベル調整つまみCH2を割り当てるチャンネルを選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。

モニタリング設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	LCD明るさ	34
	設定値：−99 ～+99（**±0**）　／内容：液晶モニターの明るさを調整する。	
	LCDコントラスト	34
	設定値：−99 ～+99（**±0**）　／内容：液晶モニターのコントラストを調整する。	
	LCDカラー	34
	設定値：−20 ～+20（**±0**）　／内容：液晶モニターのカラーを調整する。	
	LCDシャープネス	34
	設定値：1 ～ 4（**2**）　／内容：液晶モニターのシャープネスを調整する。	
	LCD輝度	34
	設定値：**ノーマル**、+1、+2　／内容：液晶モニターのバックライトの明るさを選ぶ。	
2	VF明るさ	34
	設定値：−99 ～+99（**±0**）　／内容：ファインダーの明るさを調整する。	
	VFコントラスト	34
	設定値：−99 ～+99（**±0**）　／内容：ファインダーのコントラストを調整する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	VFカラー	34
	設定値：−20 〜＋20(**±0**) ／内容：ファインダーのカラーを調整する。	
	VFシャープネス	34
	設定値：1 〜 4(**2**) ／内容：ファインダーのシャープネスを調整する。	
	VF輝度	34
	設定値：ハイ、**ノーマル** ／内容：ファインダーの輝度を選ぶ。	
	VFアイセンサー	34
	設定値：**入**、切 ／内容：ファインダーの自動点灯・消灯機能を入／切する。	
3	LUT：LCD、VF、SDI、HDMI*1	169
	設定値：Normal1 〜 Norml4 : BT.709、Wide DR : BT.709、Wide DR : BT.2020、PQ : BT.2020、HLG : BT.2020、HDRアシスト(800%)、HDRアシスト(400%)、**切** ／内容：各出力先に適用するLUTを選ぶ。カスタムピクチャーのプリセット、ガンマの設定によって、選択できる項目が異なる。	
	HLG Color*1	171
	設定値：BT.2100、**Vivid** ／ LUTに「HLG: BT.2020」を設定しているとき、HLGの色味を設定できる。	
	HDR → SDRゲイン*1	169
	HDRに対するSDRのゲインの差を調整する。 設定値：+7.5 dB 〜 -7.5 dB(**-3.0dB**)	
	Range：SDI	169
	SDI端子の出力レンジを設定する。 設定値：Cano Log 3出力時 **Full Range**、Narrow Range HDR出力時 Full Range、**Narrow Range**	
	Range: HDMI	169
	HDMI OUT端子の出力レンジを設定する。 設定値：Cano Log 3出力時 **Full Range優先**、Narrow Range HDR出力時 Full Range優先、**Narrow Range**	
4	白黒：LCD、VF、SDI、HDMI*1	34
	設定値：入、**切** 液晶モニター、ファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子の出力映像を白黒にする。	
	Custom Display*2 ➤ オーディオレベル	153
	設定値：**入**、切 ／内容：クリップの再生画面にオーディオレベルメーターを表示する。	
	Custom Display*2 ➤ 日付/時刻	153
	設定値：入、**切** ／内容：クリップ／静止画の再生画面に日時(MP4クリップは日付のみ)を表示する。	
	Custom Display*2 ➤ カメラデータ	153
	設定値：入、**切** 入にすると、XF-HEVC / XF-AVCクリップの再生画面にカメラデータ(シャッタースピード、F値、ゲイン)を表示する。	
5	オンスクリーン表示：SDI、HDMI (メディアモード時 4ページ*4)	51
	設定値：**入**、切 ／内容：映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP (画面表示出力)アイコンを表示する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
5	Custom Display1*1 ➤ 測光方式、Custom Picture、ズーム表示、ズーム位置、グリップズームスピード： ユーザー、被写体距離、ND Filter、フォーカスモード、キーロック、フルオート、赤外撮影、ホワイトバランス、AEシフト、露出バー、アイリス、ゲイン、シャッター、ピーキング、デジタルテレコン、コンバージョンレンズ、Magnification、LUT、手ブレ補正	51
	設定値：**入**、切 [測光方式]：　測光方式がバックライト、またはスポットライトのときに、それぞれ▨または▲アイコンを表示する。 [Custom Picture]：　カスタムピクチャーのプリセットやCP▨アイコンを表示する。 設定値：**バー**、ナンバー [ズーム表示]：　ズームの表示のしかたを、バー表示、または数値表示、から選ぶ。 設定値：常時　入、**ノーマル**、切 [ズーム位置]：　ズーム位置の表示のしかたを、常に表示する、操作時のみ表示する、から選ぶ。 [グリップズームスピード：ユーザー]：　グリップズームスピードのユーザー設定の表示のしかたを、常に表示する、操作時のみ表示する、常に、表示しないから選ぶ。 [被写体距離]：　被写体距離の表示のしかたを、常に表示する、操作時のみ表示する、常に、表示しないから選ぶ。 設定値：警告、**ノーマル**、切 [ND Filter]：　NDフィルターの設定を表示する。 設定値：**入**、切 [フォーカスモード]：　AFブーストMF枠、コンティニュアスAF枠、顔検出枠を表示する。レンズのフォーカスモードスイッチの設定に応じてAFまたはMFアイコンを表示する。 [キーロック]：　🔒（キーロック）アイコンを表示する。 [フルオート]：　Full Auto（フルオート）アイコンを表示する。 [赤外撮影]：　IR ON または IR OFF を表示する。 [ホワイトバランス]：　ホワイトバランスの設定を表示する。 [AEシフト]：　AEシフトの設定（シフト値）を表示する。 [露出バー]：　露出バーを表示する。 [アイリス]：　アイリスの設定（F値）を表示する。 [ゲイン]：　ゲインの設定を表示する。 [シャッター]：　シャッタースピードの設定を表示する。 [ピーキング]：　PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。 [デジタルテレコン]：　1.5x 3.0x 6.0x（倍率）アイコンを表示する。 [コンバージョンレンズ]：　TL-U58またはWA-U58を表示する。 [Magnification]：　MAGN.（拡大表示）アイコンを表示する。 [LUT]：　LUTが有効のときにLUTアイコンを表示する。 [手ブレ補正]：　／ ／ （手ブレ補正）アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ バッテリー残量、記録可能時間	51
	設定値：警告、**ノーマル**、切 バッテリー残量、または記録可能時間の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
	Custom Display2*1 ➤ 記録モード、Time Code、リール番号/クリップ番号	51
	設定値：**入**、切 [記録モード]：　撮影状態（記録モード）を表示する。 [Time Code]：　タイムコードを表示する。 [リール番号/クリップ番号]：　リール番号とクリップ番号を表示する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
5	Custom Display2*1 ➤ 静止画記録可能枚数	51
	設定値：警告、**ノーマル**、切　／内容：静止画記録可能枚数の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
	Custom Display2*1 ➤ 温度/ファン、解像度/カラーサンプリング、フレームレート、映像出力	51
	設定値：**入**、切 [温度/ファン]：　内部温度が高温時に 🌡 アイコンを、ファンが回転中に FAN アイコンを表示する。 [解像度/カラーサンプリング]：　解像度とカラーサンプリングを表示する。 [フレームレート]：　フレームレートを表示する。 [映像出力]：　出力映像を24 fps（または30 fps）相当に切り換えているときに「60(24)fps」（または「60(30)fps」）を表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ オンスクリーン表示、記録コマンド、User Bit、モニターチャンネル	51
	設定値：入、**切**（「記録コマンド」の初期値は「入」） [オンスクリーン表示]：　映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP（画面表示出力）アイコンを表示する。 [記録コマンド]：　記録コマンド状態を表示する。 [User Bit]：　ユーザービットを表示する。 [モニターチャンネル]：　音声出力チャンネルを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ オーディオレベル、ネットワーク機能、GPS、WL-D6000、Genlock、User Memo、記録形式	51
	設定値：**入**、切 [オーディオレベル]：　オーディオレベルメーターと LIM（オーディオリミッター）アイコンを表示する。 [ネットワーク機能]：　（無線LAN）アイコンを表示する。 [GPS]：　（GPS）アイコンを表示する。 [WL-D6000]：　を表示する。 [Genlock]：　Gen.（ゲンロック）アイコンを表示する。 [User Memo]：　MEMO（ユーザーメモ）アイコンを表示する。 [記録形式]：　XF-HEVC（XF-HEVC）またはXF-AVC（XF-AVC）、MP4（MP4）アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ 日付/時刻	51
	設定値：日付/時刻、時刻、日付、**切**　／内容：日時の表示のしかたを選ぶ。	
	表示単位系*1	—
	設定値：**Meters**、Feet　／内容：マニュアルフォーカス時の被写体距離やGPSの高度の表示単位を選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。

アシスト設定メニュー

CAMERA | MEDIA *1

*1 メディアモード時はWFMのみ。

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	フォーカスガイド	89
	設定値：入、**切**　／内容：デュアルピクセルフォーカスガイドを表示する。	
	Magnification：VF+LCD、SDI/HDMI	91
	設定値：入、**切** ファインダー／液晶モニターまたはSDI端子／ HDMI OUT端子に拡大表示を出力する。	
	Magnification有効時白黒	91
	設定値：入、**切** 入にすると、拡大表示時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像には影響しない。	
2	ピーキング：LCD、VF、SDI、HDMI	91
	設定値：入、**切**　／内容：液晶モニター、ファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子にピーキングを出力する。	
	ピーキング選択	91
	設定値：**ピーキング1**、ピーキング2　／内容：表示するピーキングの種類を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ カラー	91
	設定値：**ホワイト**、レッド、イエロー、ブルー　／内容：ピーキング1の色を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ ゲイン	91
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ 周波数	91
	設定値：1 ～ 4（**2**）　／内容：ピーキング1の周波数を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ カラー	91
	設定値：ホワイト、**レッド**、イエロー、ブルー　／内容：ピーキング2の色を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ ゲイン	91
	設定値：切、1 ～ 15（**15**）　／内容：ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ 周波数	91
	設定値：1 ～ 4（**1**）　／内容：ピーキング2の周波数を選ぶ。	
	ピーキング有効時白黒	91
	設定値：入、**切** 入にすると、ピーキング使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像には影響しない。	
3	ゼブラ：LCD、VF、SDI、HDMI	103
	設定値：入、**切**　／内容：液晶モニター、ファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子にゼブラを出力する。	
	ゼブラ選択	103
	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 **ゼブラ1**：　設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ2：　設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ1+2：　ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
3	ゼブラ1レベル	103
	設定値：5±5% ～ 95±5%（**70±5%**） ゼブラパターン1の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
	ゼブラ2レベル	122
	設定値：0% ～ **100%**　／内容：ゼブラパターン2の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
4	WFM：LCD、VF、SDI、HDMI　（メディアモード時　1ページ）	
	設定値：入、**切**　／内容：液晶モニター、ファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子に波形モニター（WFM）を出力する。	
	波形モニター設定 ➤ 位置　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**右**、左　／内容：波形モニターの位置を選ぶ。	
	波形モニター設定 ➤ タイプ　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**ライン**、ライン+スポット、ラインセレクト、フィールド、RGB、YPbPr　／内容：波形モニターのタイプを選ぶ。	
	波形モニター設定 ➤ ゲイン　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**1x**、2x　／内容：波形モニターの波形の倍率を選ぶ。	
	波形モニター設定 ➤ Yポジション　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**0%**、15%、30%、45%、50% 波形モニターの倍率が2xのときに、縦軸（輝度）の表示開始輝度（%）を選択する。	
	波形モニター設定 ➤ ラインセレクト　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：[垂直解像度720時] 0 ～ 719（1ライン刻み） [垂直解像度1080時] 0 ～ **540** ～ 1079（1ライン刻み） [垂直解像度2160時] 0 ～ **1080** ～ 2158（2ライン刻み） 波形を表示するライン（赤い横線）の位置を選ぶ。	
5	マーカー	101
	設定値：**入**、切　／内容：液晶モニター、ファインダー、SDI端子、HDMI OUT端子にマーカーを表示する。	
	センターマーカー、水平マーカー、グリッドマーカー、アスペクトマーカー	101
	設定値：イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切** 各マーカーの色を選ぶ。切にすると、そのマーカーは表示されない。	
	マーカーアスペクト比	101
	設定値：　4:3、13:9、14:9、16:9、1.375:1、1.66:1、1.75:1、1.85:1、1.90:1、2.35:1、**2.39:1**、カスタム アスペクトマーカーの縦横比を選ぶ。「カスタム」を選ぶと「カスタムアスペクト比」で選んだ縦横比になる。	
	マーカー カスタムアスペクト比	101
	設定値：**1.00:1** ～ 9.99:1　／内容：アスペクトマーカーの任意の縦横比を設定する。	
6	セーフティーゾーンマーカー	101
	設定値:イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切**　／内容:セーフティーゾーンを表示する。	
	マーカー セーフティーゾーン基準	101
	設定値：**映像全体**、アスペクトマーカー領域　／内容：セーフティーゾーンの基準領域を選ぶ。	
	マーカー セーフティーゾーン面積	101
	設定値：80%、90%、92.5%、**95%**　／内容：セーフティーゾーンの面積（基準領域に対する割合）を選ぶ。	

ネットワーク設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	接続設定	176
	設定値：1 ～ 4（**1**） インフラストラクチャー方式、カメラアクセスポイント方式、またはイーサネット方式の設定・変更を行う。 設定は4つまで保存できる。 カメラアクセスポイントの設定（SSID、パスワードなど）は、初期状態であらかじめ設定されている。 ネットワーク設定名：　cameraAP SSID：　XF705-xxxx_Canon0C パスワード：　12345678	
	ネットワーク機能	189
	設定値：ブラウザーリモート、IPストリーミング、**切**　／内容：ネットワーク機器からのリモート撮影やIPストリーミングを有効にする。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Port No.	187
	設定値：1 ～ 65535の数字（**80**） ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するときに使用するポート番号を設定する。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ カメラID	187
	設定値：8文字の英数字、記号（**XF705**）　／内容：カメラ固有の文字列を設定する。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ ユーザー設定	187
	ログインできるユーザーの数と権限を選ぶ。各ユーザーのユーザー名とパスワードの初期値は、必要に応じて変更できる。 **1名(Full)**：全画面を操作できるFullユーザーのみログイン可能。 2名(Camera/Meta)：詳細操作画面のみ操作できるCameraユーザーとメタデータ入力画面のみ操作できるMetaユーザーがログイン可能。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Full：ユーザー名、Camera:ユーザー名、Meta:ユーザー名	187
	ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのユーザー名を設定する。 設定値：8文字以内の文字列（**Full**）、（**Camera**）、（**Meta**）	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Full：パスワード、Camera:パスワード、Meta:パスワード	187
	ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのパスワードを設定する。 設定値：8文字以内の文字列（**12345678**）	
	IPストリーミング設定*1 ➤ ストリーミング出力信号	201
	ストリーミング映像のビットレートと解像度、フレームレートを選ぶ。 [XF-HEVC 59.94 Hz時]　**16Mbps/3840x2160 59.94P**、9Mbps/3840x2160 59.94P、16Mbps/3840x2160 29.97P、9Mbps/3840x2160 29.97P、9Mbps/1920x1080 59.94P、4Mbps/1920x1080 59.94P、9Mbps/1920x1080 29.97P、4Mbps/1920x1080 29.97P [XF-HEVC 50.00 Hz時]　**16Mbps/3840x2160/50.00P**、9Mbps/3840x2160 50.00P、16Mbps/3840x2160 25.00P、9Mbps/3840x2160 25.00P、9Mbps/1920x1080 50.00P、4Mbps/1920x1080 50.00P、9Mbps/1920x1080 25.00P、4Mbps/1920x1080 25.00P [XF-AVC / MP4 59.94 Hz時]　**9Mbps/1920x1080 59.94i**、4Mbps/1920x1080 59.94i [XF-AVC / MP4 50.00 Hz時]　**9Mbps/1920x1080 50.00i**、4Mbps/1920x1080 50.00i	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	IPストリーミング設定*1 ➤ オーディオ出力チャンネル	201
	4チャンネルの入力音声のうち、ストリーミングする2チャンネルを選ぶ。 設定値：**CH1/CH2**、CH3/CH4	
	IPストリーミング設定*1 ➤ 送信先IPアドレス	201
	ストリーミング左記のデコーダのIPアドレスを設定する。 設定値：0 ～ 255の数字4つ（**0.0.0.0**）	
	IPストリーミング設定*1 ➤ 送信先Port No.	201
	ストリーミング先のデコーダーのポート番号を設定する。 設定値：1024 ～ 65530の数字（**5000**）	
	IPストリーミング設定*1 ➤ プロトコル	201
	トランスポートプロトコルを選ぶ。 設定値：**UDP**、RTP、RTP+FEC	
	IPストリーミング設定*1 ➤ FEC Port No.	201
	エラー訂正制御（FEC）ありのプロトコルを選んだ場合、FECパケットのポート番号を設定する。 設定値：1026 ～ 65532の数字（**5002**）	
	IPストリーミング設定*1 ➤ FECインターバル	201
	エラー訂正制御（FEC）の値を5刻みで設定する。 設定値：10 ～ 100の数字（**100**）	
	FTP転送実行*2	206
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：FTP転送を実行する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTPサーバー	204
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバー名を設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTP：ユーザー名	204
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバーのユーザー名を設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTP：パスワード	204
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバーのパスワードを設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ 転送先フォルダー	204
	設定値：152文字以内の文字列（**/**）　／内容：FTPサーバー側の転送先となるフォルダーパスを設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ Port No.	204
	設定値：1 ～ 65535の数字（**21**）　／内容：FTPのポート番号を設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ パッシブモード	204
	設定値：入、**切**　／内容：FTPの通信モードを選ぶ。	
	FTP転送設定*2 ➤ 日付フォルダー生成	204
	設定値：**入**、切　／内容：「入」を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	FTP転送設定*2 ➤ 同名ファイル	204
	設定値：**スキップ**、上書き 転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を、スキップ（そのファイルを転送しない）と上書き（同名ファイルを上書きする）から選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。

アサインボタンメニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	アサインボタン ➤ カメラ1 ～ 7 アサインボタン ➤ カメラ8 ～ 13*1 アサインボタン ➤ カメラ14 アサインボタン ➤ RC-V100 1 ～ 4	136
	本体のアサインボタンに機能を割り当てる。 初期値：[カメラ]　1：**パワードIS**、2：**ピーキング：すべて**、3：**ゼブラ：すべて**、4：**WFM：すべて**、 5：**レックレビュー**、6：**Magnification: VF+LCD**、7：**Magnification: VF+LCD** [RC-V100]　1：**パワードIS**、2：**ピーキング：すべて**、3：**ゼブラ：すべて**、4：**WFM：すべて** 設定値：各アサインボタンに機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について（🕮 136）。 （未設定）、手ブレ補正、パワードIS、顔検出AF、顔検出&追尾、追尾、フォーカスリミット、フォーカスガイド、ピーキング：すべて、ピーキング：LCD、ピーキング：VF、ピーキング：SDI 、ピーキング：HDMI、Magnification：すべて、Magnification: VF+LCD、Magnification: SDI/HDMI、デジタルズーム、デジタルテレコン、プッシュオートアイリス、ND+、ND-、AEシフト+、AEシフト-、バックライト、スポットライト、赤外撮影色、赤外ライト、ゼブラ：すべて、ゼブラ：LCD、ゼブラ：VF、ゼブラ：SDI、ゼブラ：HDMI、WFM：すべて、WFM: LCD、WFM: VF、WFM: SDI、WFM: HDMI、LUT：すべて、LUT: LCD、LUT: VF、LUT: SDI、LUT: HDMI、ホワイトバランスセット、AWB ホールド、☀太陽光、☀電球、K Kelvin、LCD設定、VF設定、オンスクリーン表示：SDI/HDMI、オンスクリーン表示: SDI、オンスクリーン表示: HDMI、Display、TL-U58、WA-U58、マーカー、カラーバー、Photo、レックレビュー、Time Code、Time Codeホールド、Shot Mark追加、OK Mark追加、☑ Mark追加、ヘッドホン +、ヘッドホン -、モニターチャンネル、オーディオレベル、FUNC、スローモーション記録、出力：60⇔60(24)fps、出力：60⇔60(30)fps、シャッター、ゲイン、ホワイトバランス、ステータス、オーディオステータス、Custom Picture、マイメニュー、メディア初期化、ユーザー設定	

*1 カメラモードのみ。

システム設定メニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	📖
1	リセット ➤ 全設定、カメラ設定*1、アサインボタン	254、139
	設定値：**キャンセル**、OK [全設定]：　アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。 [カメラ設定]：　ホワイトバランス、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。 [アサインボタン]：アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	
	メニュー/CP設定保存 ➤ 保存	148
	設定値：カメラ本体へ、SDカードBへ メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）を、カメラ本体、またはカードに保存する。	
	メニュー/CP設定保存 ➤ 読み出し	148
	設定値：カメラ本体から、SDカードBから メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、カメラ本体またはカードから読み出す。	
	タイムゾーン	—
	設定値：UTC −12:00 ～＋14:00（**UTC＋09:00 トウキョウ**）　／内容：タイムゾーンを設定する。	
	日付/時刻	25
	設定値：日付・時間　／内容：日付と時間を設定する。	
	日時スタイル	25
	設定値：**YMD**、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H　／内容：日時の表示のしかたを選ぶ。	
	GPS自動時刻設定*1*3	127
	設定値：入、**切**　／内容：GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	
	言語	—
	設定値：**日本語**、English　／内容：表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	
2	SDI/HDMI最大解像度	164
	HDMI OUT端子またはSDI端子に出力する信号の最大解像度を選ぶ。 設定値：3840x2160、**1920x1080**、1280x720	
	SDI出力	167
	設定値：**入**、切　／内容：SDI端子に出力する信号を選ぶ。	
	3G-SDIマッピング	167
	設定値：Level A、**Level B** SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。	
	SDI/HDMIスキャンモード	109
	PsFに設定すると、強制的に1920x1080のインターレースで出力する。 設定値：**P**、PsF（強制1080i）	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	G-LOCK/SYNC端子*1	107
	設定値：HD Sync出力、**Genlock入力**　／内容：G-LOCK/SYNC端子の機能を選ぶ。「Genlock入力」にするとGENLOCK端子として、「HD Sync出力」にするとSYNC OUT端子として動作する。	
	Genlock調整*1	107
	設定値：－1023 ～ 1023（**000**）　／変更、リセット、キャンセル／内容：ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4Hの範囲で調整する	
	SYNCスキャンモード*1	107
	設定値：**P**、PsF　／内容：SYNC OUT端子から出力する同期信号の走査方式を選ぶ。	
3	Time Code モード*1	104
	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 **Preset**：　「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：　メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	
	Time Code Run*1	104
	モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 **Rec Run**：　記録時に歩進する。 Free Run：　記録に関係なく常に歩進する。	
	Time Code DF/NDF*1	105
	設定値：**DF**、NDF ドロップフレーム（DF）、またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換える。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定される。	
	Time Code 設定*1	104
	設定値：**00:00:00:00** ～ 23:59:59:29（59.94 Hz時）、23:59:59:24（50.00 Hz時）[**変更**、リセット、キャンセル]　／内容：タイムコードの初期値を設定する。	
	User Bit記録モード*1	
	記録するユーザービットを選ぶ。 **Internal**：　本機で設定したユーザービット。 External：　外部入力したユーザービット。	
	User Bit タイプ*1	106
	設定値：**設定**、時刻、日付　／内容：ユーザービットを、8桁の任意の16進数（設定）、時刻、日付のいずれかで設定する。	
	TC In/Out*1	
	設定値：**In**、Out　／内容：TIME CODE端子の入力（In）と出力（Out）を切り換える。	
4	キーロック*1	50
	設定値：すべてのボタン、**RECボタン以外** KEY LOCK（キーロック）を🔒（キーロック）にしたときにRECボタンを有効にするかどうかを設定する。	
	RECボタン（本体グリップ）*1	—
	設定値：無効、**有効**　／内容：RECボタンの有効／無効を選ぶ。	
	タッチ操作レスポンス*1	
	液晶モニターをタッチしたときの応答性を選ぶ。 設定値：**ノーマル**、ロー	

	設定項目／内容・設定値	🕮
4	REMOTE端子	
	設定値：RC-V100（REMOTE B）、RC-V100（REMOTE A）、**スタンダード**　／内容：REMOTE A端子またはREMOTE B端子に接続するリモコンのタイプを選ぶ。リモートコントローラー RC-V100（別売）を使用するときはRC-V100を接続したREMOTE A端子またはREMOTE B端子を、市販のリモコンをREMOTE A端子に接続するときは「スタンダード」を選ぶ。	
	WL-D6000	
	設定値：**入**、切　／内容：入にすると、リモコン（付属）が有効になる。	
	LED ➤ タリーランプ（前面）*1、タリーランプ（背面）*1、メディアアクセス（SDカード）、品（イーサネット）（メディアモード時　3ページ）	48
	設定値：**入**、切 [タリーランプ（前面）、タリーランプ（背面）]：「入」にすると、撮影中にタリーランプが点灯する。 [メディアアクセス（SDカード）]：「入」にすると、カードにアクセスしたときに、それぞれのアクセスランプが点灯する。 [品（イーサネット）]：「入」にすると、イーサネットによるネットワーク処理中に点灯／点滅する。	
5	レックレビュー *1	129
	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 **クリップ先頭から**：　クリップの先頭からすべて。 最終4 sec：　クリップの最後の4秒間のみ。	
	アワーメーターリセット*1	248
	設定値：**キャンセル**、OK カメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	
	ファン*1	57
	設定値：オート、**常時**　／内容：カメラモードにおける冷却ファンの動作方法を選ぶ。	
	認証マーク表示（メディアモード時　4ページ）	—
	本機が対応している認証マークの一部を表示する。	
	Firmware*1	—
	設定値：バージョン番号　／内容：ファームウェアのバージョン。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 GPSレシーバー GP-E2（別売）装着時のみ。

★マイメニュー

CAMERA | MEDIA

	設定項目／内容・設定値	📖
1～5	編集 ➤ 登録	28
	マイメニューに任意のメニュー項目を登録する。	
	編集 ➤ 並べ換え	29
	マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	
	編集 ➤ 消去	29
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	
	編集 ➤ 設定初期化	29
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	
	編集 ➤ メニュー名変更	30
	設定値：8文字の英数字・記号（**CAMERA-1～5**）　／内容：選択しているマイメニューの名前を設定する。	

10 その他

ステータス画面を表示する.....240

トラブルシューティング.....251

エラーメッセージ.....259

安全上のご注意.....264

取り扱い上のご注意／
日常のお手入れ.....266

アクセサリー紹介.....270

主な仕様.....271

索引.....278

ステータス画面を表示する

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（🕮 166）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示できます。なお、一部のステータス画面は英語で表示されます。

操作のしかた CAMERA MEDIA

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

1 STATUSボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。
- AUDIO STATUSボタン（🕮 12）を押すと、オーディオ専用のステータス画面が表示される。

2 ジョイスティックを左右に押す

- 右に押すと次の画面に、左に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。

3 STATUSボタンを押す

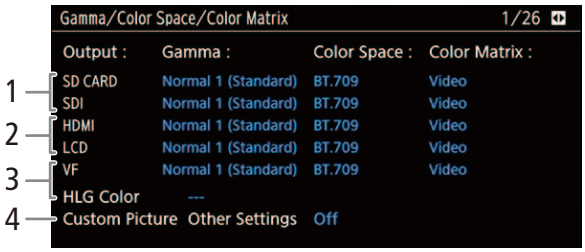
- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、メニューが表示される。

ステータス画面の詳細については、各画面のページをご覧ください。

ガンマ／色空間／カラーマトリクスステータス画面	🕮 241
SDRゲイン／ Rangeステータス画面	🕮 241
カスタムピクチャーステータス画面	🕮 242
カメラステータス画面	🕮 243
アサインボタンステータス画面	🕮 244
オーディオステータス画面	🕮 245
メディアステータス画面	🕮 246
端子出力ステータス画面	🕮 246
記録ステータス画面	🕮 247
メタデータステータス画面	🕮 246
バッテリー／アワーメーターステータス画面	🕮 248
ネットワークステータス画面	🕮 248
GPS情報表示ステータス画面*1	🕮 250

*1 本機にGPSレシーバー GP-E2（別売）を取り付けたときのみ表示されます。

ガンマ／色空間／カラーマトリクスステータス画面 CAMERA MEDIA



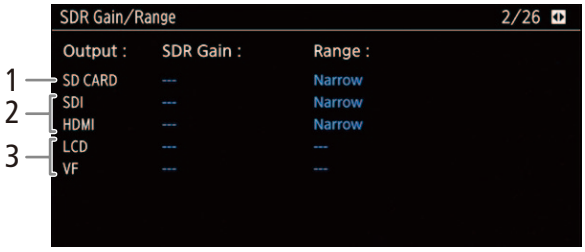
1 カードのガンマ／色空間／カラーマトリクス

2 SDI端子／ HDMI OUT端子のガンマ／色空間／カラーマトリクス

3 液晶モニター、ファインダーのガンマ／色空間／カラーマトリクス
HLG Color

4 カスタムピクチャーのActivate Other Settingsの状態（有効／無効）

SDR ゲイン／ Rangeステータス画面



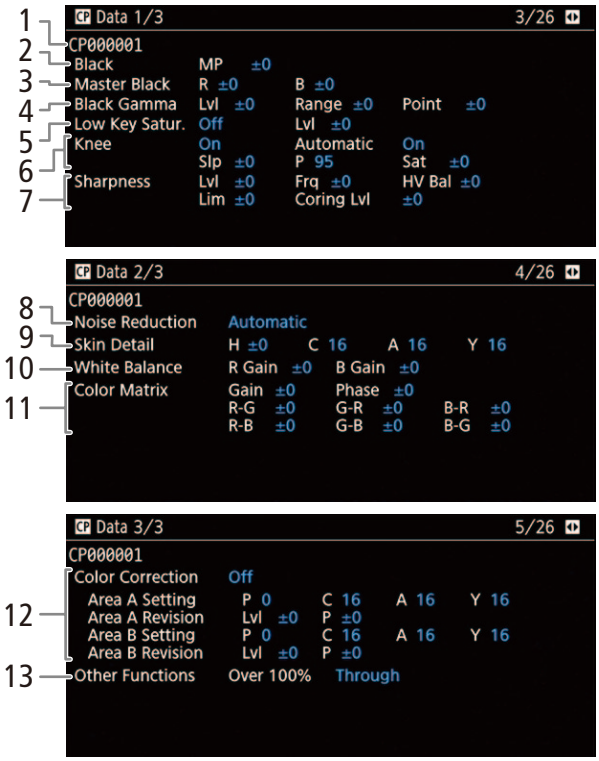
1 カードのSDR Gain ／ Range

2 SDI端子／ HDMI OUT端子のSDR Gain ／ Range

3 液晶モニター／ファインダーのSDR Gain ／ Range

カスタムピクチャーステータス画面 CAMERA MEDIA

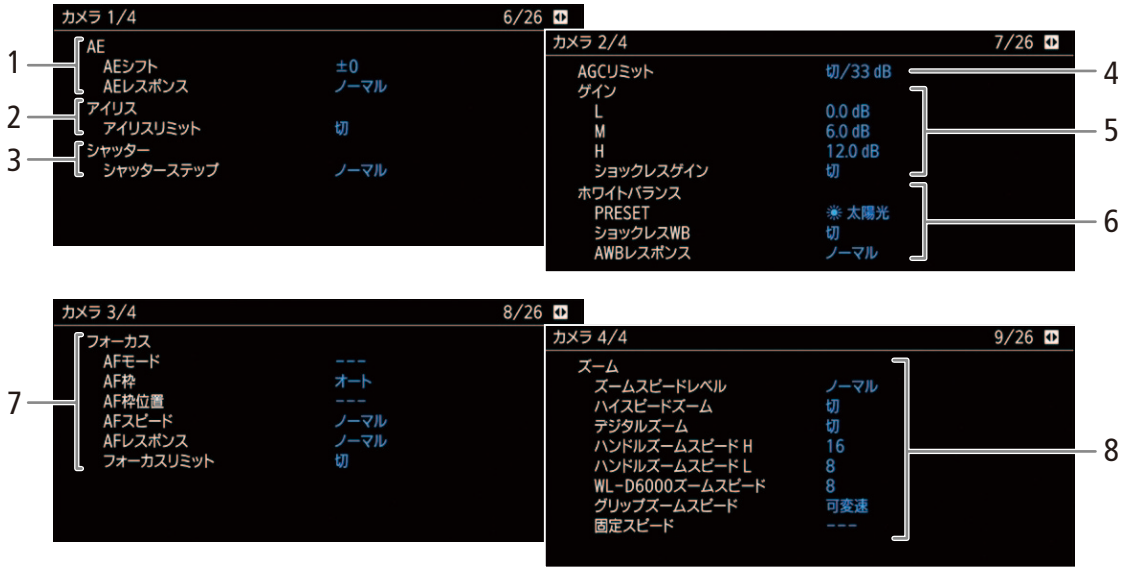
現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。



1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 📖 147
2 ブラック ▶▶ 📖 144
3 マスターブラック ▶▶ 📖 144
4 ブラックガンマ ▶▶ 📖 145
5 ローキーサチュレーション ▶▶ 📖 145
6 ニー ▶▶ 📖 145
7 シャープネス ▶▶ 📖 145
8 ノイズリダクション ▶▶ 📖 146
9 スキンディテール ▶▶ 📖 146
10 ホワイトバランス ▶▶ 📖 146
11 カラーマトリクスチューニング ▶▶ 📖 146
12 カラーコレクション ▶▶ 📖 146
13 オーバー 100% ▶▶ 📖 147

カメラステータス画面 CAMERA MEDIA

ゲイン、ホワイトバランス、フォーカス、ズームなどの撮影設定を表示します。



1 AE(自動露出) ▶▶ 📖 69
AEシフト、AEレスポンス

2 アイリスリミット ▶▶ 📖 72

3 シャッター ▶▶ 📖 62
シャッターステップ

4 AGCリミット ▶▶ 📖 66

5 ゲイン ▶▶ 📖 65

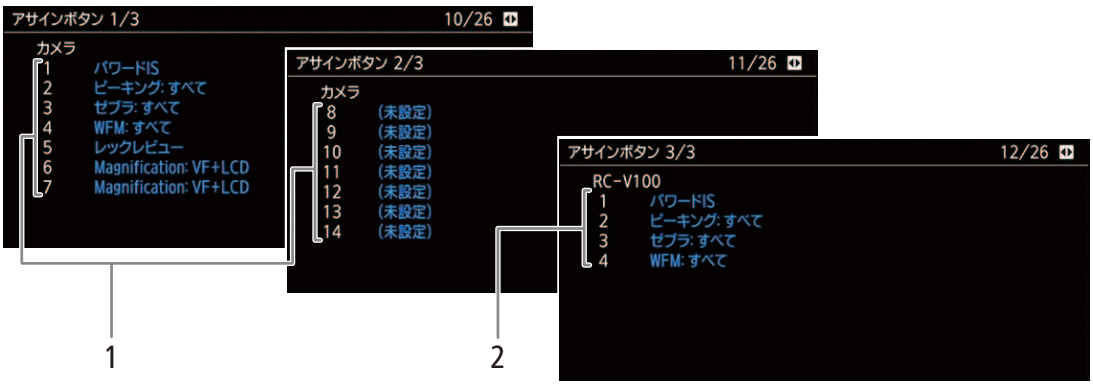
6 ホワイトバランス ▶▶ 📖 76
PRESET、ショックレスホワイトバランス、AWBレスポンス

7 フォーカス ▶▶ 📖 88
AFモード、AF枠、AF枠位置、AFスピード、AFレスポンス、フォーカスリミット

8 ズーム ▶▶ 📖 81
ズームスピードレベル、ハイスピードズーム、デジタルズーム、ハンドルズームスピードH／L、WL-D6000ズームスピード、グリップズームスピード、固定スピード

■ アサインボタンステータス画面 CAMERA MEDIA

アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。（🕮 136）

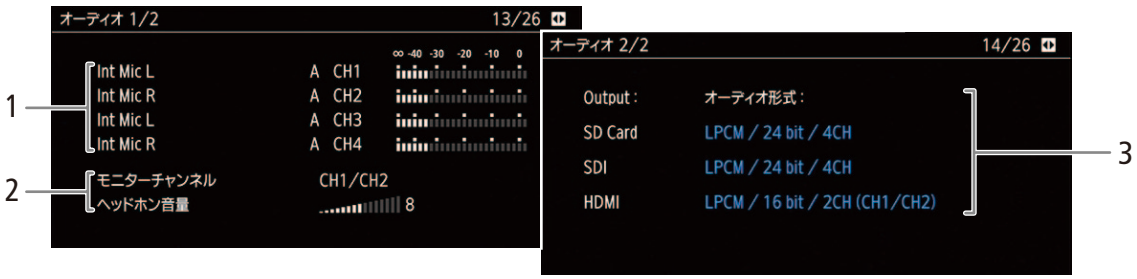


1 カメラアサインボタン1 ～ 14

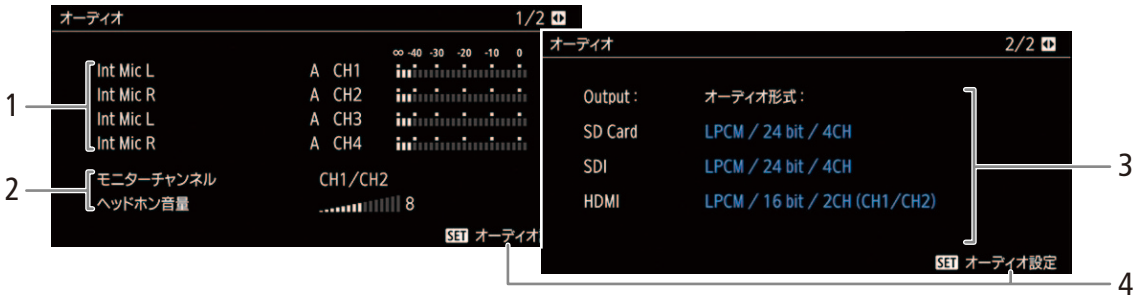
2 RC-V100アサインボタン1 ～ 4

オーディオステータス画面 CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。



オーディオステータスボタンで表示したとき



メディアモードのとき

1 入力音声と録音レベルモード（CH1 ～ CH4）
▶▶ 111

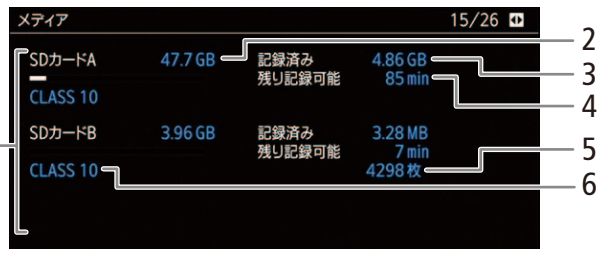
2 モニターチャンネルとヘッドフォン音量

3 カードに記録、または端子に出力する音声の量子化ビット数とチャンネル数（111、172）
カード、SDI端子、HDMI OUT端子

4 ♪)) 1 オーディオ設定メニュー *（225）
* AUDIO STATUSボタンで表示したときのみ。

メディアステータス画面 CAMERA MEDIA

2つのカードスロットの記録メディアの状態を表示します（🕮 38）。



1 SDカードA ／ B
2 カードの総容量
3 カードの使用量
4 カードの記録可能時間
5 SDカードBの静止画記録可能枚数
6 SDカードのスピードクラス

MEMO

● カードによっては、カードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

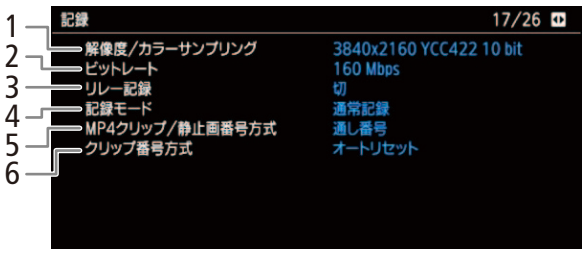
端子出力ステータス画面 CAMERA MEDIA

映像出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。
メディアモードでは、HDMI OUT端子／ SDI端子の出力状態、オンスクリーン表示について表示します。

1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 🕮 167
2 SDI端子出力 ▶▶ 🕮 167
出力状態*、3G-SDIマッピング
* 表示されるビット数は映像信号のビット数。
3 オンスクリーン表示 ▶▶ 🕮 168
4 HDMI Time Code ▶▶ 🕮 167
5 ユーザービット ▶▶ 🕮 106
タイプ

記録ステータス画面 CAMERA MEDIA

映像記録の設定内容を表示します。



1 解像度／カラーサンプリング ▶▶ 📖 58
2 ビットレート ▶▶ 📖 58
3 リレー記録 ▶▶ 📖 41
4 記録モード ▶▶ 📖 130
5 MP4クリップ／静止画番号方式 ▶▶ 📖 224
6 クリップ番号方式 ▶▶ 📖 224

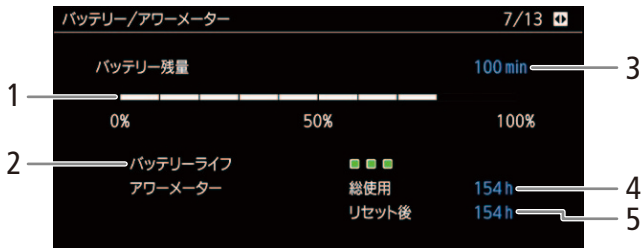
メタデータステータス画面 CAMERA MEDIA

XF-HEVC / XF-AVCクリップに付加するユーザーメモ（クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容）や国コード、組織コードなどを表示します（📖 54）。

1 ユーザーメモ
ユーザーメモファイルのファイル名、クリップのタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容
2 カメラインデックス
3 リール番号
4 クリップ番号
5 ユーザー定義
6 シーン
7 テイク
8 国コード
9 組織
10 ユーザーコード
11 CPファイル付加

■ バッテリー／アワーメーターステータス画面 CAMERA MEDIA

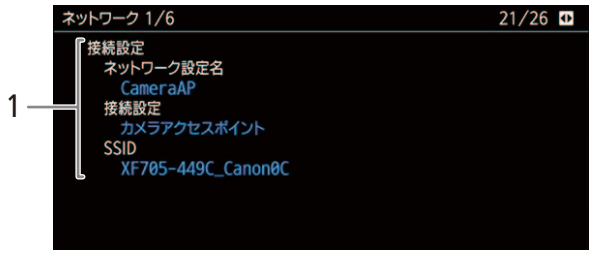
バッテリーの残量やバッテリーライフを表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。



1 バッテリーの残量 ▶▶ 22
2 バッテリーライフ
3 撮影可能時間 ▶▶ 275
4 購入時からの使用時間 ▶▶ 237
5 リセット後の使用時間 ▶▶ 237

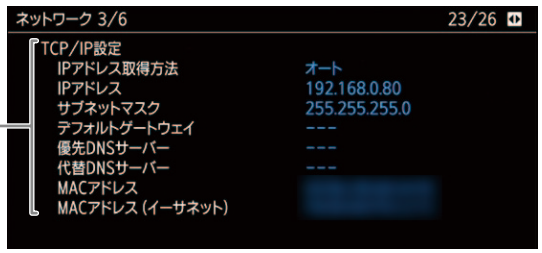
■ ネットワーク設定ステータス画面 CAMERA MEDIA

ネットワーク関係の設定内容を表示します。接続設定やTCP/IP設定を表示するほか、カメラモードのときはブラウザーリモート設定、メディアモードのときはFTP転送設定を表示します。



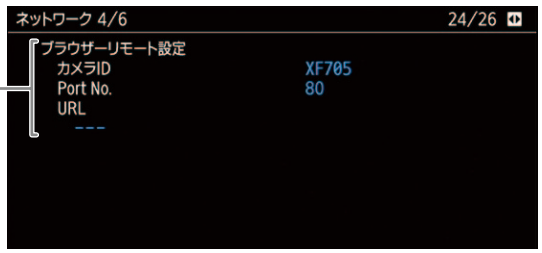
1 接続設定 ▶▶ 176
ネットワーク設定名、接続設定、SSID

2 接続設定 ▶▶ 176
認証／暗号化方式、WEPインデックスキー、通信モード、カメラアクセスポイントのチャンネル



3 TCP/IP設定 ▶▶ 🕮 179

IPアドレスの取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、MACアドレス、MACアドレス (イーサネット)



4 ブラウザーリモート設定 ▶▶ 🕮 187

カメラID、Port No.、URL

5 ブラウザーリモート設定 ▶▶ 🕮 187

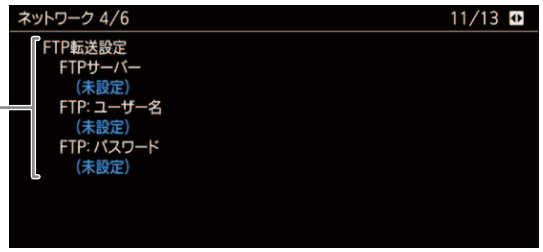
ユーザー設定、Full Controlのユーザー名とパスワード*、Camera Controlのユーザー名とパスワード*、Meta Controlのユーザー名とパスワード*

* 初期設定のみ内容が表示される。

6 IPストリーミング設定 ▶▶ 🕮 201

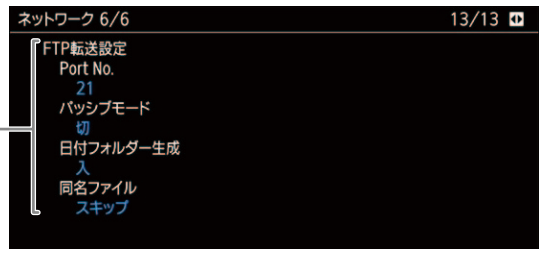
ストリーミング出力信号
オーディオ出力チャンネル
送信先設定 (IPアドレス、ポート番号)
プロトコル
FEC Port No.
FECインターバル

メディアモードのとき



7 FTP転送設定 ▶▶ 🕮 204
FTPサーバー、FTP：ユーザー名、FTP：パスワード設定の有無

8 FTP転送設定 ▶▶ 🕮 204
転送先フォルダー



9 FTP転送設定 ▶▶ 🕮 204
Port No.、パッシブモード、日付フォルダー生成、同名ファイル

GPS情報表示ステータス画面 CAMERA MEDIA

GPSレシーバー GP-E2（別売）を装着しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます。

1 緯度
2 経度
3 標高
4 UTC（協定世界時）
5 衛星捕捉状態、信号強度

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください（🕮 282）。

電源

こんなときは	どうするの？	🕮
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
起動直後に電源が自動的に切れる	● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。	270
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0 ℃未満になったか、または40 ℃を超えている。0 ℃未満のときはバッテリーを温めてから、40 ℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	248

撮影中

こんなときは	どうするの？	🕮
カメラ本体の操作が利かない。	● KEY LOCKスイッチを🔒（キーロック）にしていると、すべての操作、またはRECボタン以外の操作が無効になる*。KEY LOCKスイッチを🔓にする。 * 4 システム設定メニュー ➤「キーロック」で変更可能。	50
RECボタンを押しても録画しない。	● 4 システム設定メニュー ➤「RECボタン（本体グリップ）」で、カメラグリップのRECボタンが無効になっている。有効にする。 ● 特殊記録が有効になっている。特殊記録を行わないときは、1 記録／メディア設定メニュー ➤「記録モード」を「通常記録」に設定する。 ● リモートコントローラー RC-V100（別売）を操作中は、記録を開始／停止できないことがある。RC-V100の操作を中断してから、RECボタンを押す。	— 222 —
RECボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近（AFブーストMF枠が白色に変わる）まで手動で調整する。 ● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	88 92 32 269
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
画面に通常出ない映像が出て、動画を正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、コンパクトパワーアダプターをつないで動画記録中に、ACアダプターが抜かれた。または、停電した。コンパクトパワーアダプターを再度つないで本機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	21 22
動画の「● REC」／「STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてカードを初期化する。	38 173 40
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。カードに記録されているクリップ／静止画をバックアップしたあと、カードを初期化する。	173 40
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	282

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	🕮
クリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたXF-HEVC / XF-AVCクリップは、本機では消去できない。OKマークを消去してからクリップを消去する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	158 39
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップ／静止画をバックアップしてカードを初期化する。	173 40
クリップをコピーできない。	● コピー先となるカードの空き容量が足りない。または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。 ● カードの不要なクリップを消すか、別のカードと入れ換える。	39 173 38
静止画を消せない。	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	39

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面に（赤色）が出る。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● 4 システム設定メニュー ➤「LED」➤「タリーランプ（前面）」、「タリーランプ（背面）」を「入」にする。	237
タリーランプが速く点滅する。	（1秒に4回の点滅） ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● カードA、カードBに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	20 39 157 282
タリーランプがゆっくり点滅する。	（1秒に1回の点滅） ● カードの空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのカードを別のカードと入れ換える。	39
画面に（赤色）が出る。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップ／静止画をバックアップしてカードを初期化する。	39
画面に（赤色）が出て、記録可能時間に「END」が表示される。	● カードに空き容量がない、別のカードと入れ換えるか、クリップと静止画を消す。	160 211
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをカードに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に 温 （黄色）が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に 温 （赤色）が出る。	● 画面に 温 （黄色）が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。 ● カメラモードで5 システム設定メニュー ➤「ファン」が「常時」のときは、本機の電源を切り、温度が下がるまで使用を中止する。 ● カメラモードで5 システム設定メニュー ➤「ファン」が「オート」の場合、撮影中に冷却ファンが停止しているときは自動的に冷却ファンが起動する（画面に FAN が出る）。	57
画面に FAN （赤色）が出る。	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。カメラ修理受付センターにご相談ください。	282

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	🕮
画面に、ピーキング／ゼブラ／WFMの表示、拡大表示、白黒表示が行われない。	● ピーキング、ゼブラ、WFM、拡大表示、白黒の各出力設定を行う。	230
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	39
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、1 システム設定メニュー ➤「リセット」➤「全設定」を行う。アワーメーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	39
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒、または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	61
音声が記録されない。	● INPUT端子をAES/EBUにしてアナログ信号を入力したか、またはINPUT端子をANALOGにしてデジタル信号を入力した。INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチを正しく設定する。 ● INPUT 1端子やINPUT 2端子を使用するときはXLRコネクターで、MIC（マイク）端子を使用するときはφ3.5mmステレオミニプラグで正しく接続する。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT1 ／ 2端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	114 113 114
音声が極端に小さい。	● INPUT 1端子やINPUT 2端子、MIC（マイク）端子を使用時、録音レベル切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしていて、録音レベルをしぼっている。画面のオーディオレベルメーターで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	115 118
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルをマニュアルで調整する。	115
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ヘッドホンをはずす。	154

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	🕮
メモリーカードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	39
カードに動画、静止画を記録できない。	● 対応しているカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、カードを本機で初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 静止画を記録するとき、カードがSD CARD Ⓐに入っている。カードをSD CARD Ⓑに入れる。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画と静止画を消す。 ● MP4クリップ／静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、2 記録／メディア設定メニュー ➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」にする。	38 40 39 39 160 211
カードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。カードに記録されているクリップと静止画をバックアップしたあと、カードを初期化する。	173 40
リモートコントローラーRC-V100（別売）または市販のリモコンが動作しない。	● 4 システム設定メニュー ➤「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100（REMOTE B）」または「RC-V100（REMOTE A）」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。 ● CP1 Custom Pictureメニュー ➤「Activate Other Settings」が「Off」、または選択しているカスタムピクチャーファイルがプロテクトされていると、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「Activate Other Settings」を「On」にしてプロテクトを解除する。	45 — 140

他機

こんなときは	どうするの？	🕮
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	166
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● MP4クリップ／静止画のインデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	—
MP4クリップ／静止画をパソコンに取り込めない。	● カードリーダーなどを使って取り込む。 ● カードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。	—
SDI端子に映像と音が出ない。	● 接続している外部機器が12G-SDI対応しているか、または出力フレームレートに対応しているかを確認する。 ● 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。	167
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 出力信号に対応するモニターを接続する。	—
ファインダーにピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーが表示されない。	● ピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	230
SDI端子に拡大表示、WFM、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	230 231
HDMI OUT端子に拡大表示、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、マーカーの各出力設定を行う。	230 231

■ ネットワーク接続

お使いのネットワーク機器の説明書も併せてご覧ください。

はじめに確認してください

□ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
□ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
□ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
□ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	🕮
アクセスポイントに接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	176 258 176 —
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。	176 258 178
イーサネットに接続できない。	● イーサネットケーブルには、カテゴリー 5e以上のSTPケーブルを使用する。 ● 別のイーサネットケーブルで接続する。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度設定を行う。 ● 本機と接続しているネットワーク機器が正しく動作しているか確認する。1000BASE-Tで通信するときはギガビットに対応したネットワーク機器を使用する。	— — 184 —
ブラウザーリモートが起動できない。	● 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「ネットワーク機能」で「ブラウザーリモート」を選ぶ。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のネットワーク設定ステータス画面4/6でブラウザーリモートを起動するためのURLを確認する。	189 248
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。 ● Webブラウザーの設定で、ブラウザーリモートに関係するキャッシュやCookieなどを消去してから、ブラウザーリモートを再起動する。	— — —

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

ネットワーク機器（アクセスポイント／携帯端末）の設置のしかたについて

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機とネットワーク機器を同じ部屋に設置してください。
- 本機とネットワーク機器の間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機とネットワーク機器をできるだけ近付けて設置してください。必要に応じて、設置する高さや向きを変えてください。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにXF 705を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LAN のチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に「SDカードA」、「SDカードB」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	🕮
空き容量がありません	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	39 157
空き容量がわずかです	● カードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● カードAとカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中ではないスロットのカードを別のカードと入れ換える。	39
以下の設定が更新されました	● 記録/メディア設定メニューの変更に伴い、画面に表示されたメニュー設定が自動的に変更された。設定を確認する。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	39
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、カードカバーが開いていた。カードを入れたらカードカバーを閉じる。	39
管理ファイルエラー	● XF-HEVC / XF-AVCクリップの管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器でカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。カードの記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	40
記録を中止しました	● XF-HEVC / XF-AVCクリップの管理情報が壊れたか、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付にご相談ください。	39 282
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のカードがXF-HEVC / XF-AVCクリップ数の上限（999個）に達した。別のカードと入れ換える。	39
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラス10未満のSDカードがスロットに入っている。使用可能なSDカードを入れる。	38
この設定を変更するには、CPファイルのプロテクトを解除する必要があります	● 記録形式がXF-HEVCでかつ選択中のカスタムピクチャーファイルをプロテクトしていると、記録形式を変更できない。カスタムピクチャーファイルのプロテクトを解除するか、プロテクトしていないカスタムピクチャーファイルを選んでから、記録形式を変更する。	140
現在の動画記録設定に対応していないカードです	● UHSスピードクラス3未満のカードをスロットに入れて、解像度3840x2160の記録や、スローモーション記録は行えない。UHSスピードクラス3対応のカードに入れ換えるか、解像度または記録モードを変更する。	38 58 130
再生できません	● カード内のクリップが異なるシステム周波数で記録されている。本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。 ● XF-HEVC / XF-AVCクリップの管理情報が壊れたか、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	39 282
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したり、記録中にカードを取り外したりしたことにより、XF-HEVC / XF-AVCクリップに異常が発生した。クリップを修復する。	42
ズーム駆動音が記録されることがあります	● カメラ設定メニュー ➤「ズームスピードレベル」を「ハイ」にしてズーム操作を行うと、レンズの動作音が記録されることがある。レンズの動作音を記録したくないときは、ズーム速度を遅くする。	81

メッセージ	原因と対処	🕮
静止画とMP4クリップの総数が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● カードに記録されている静止画とMP4クリップの総数が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。	173
赤外撮影　入／切が切り換わりました フォーカスを確認してください	● INFRARED（赤外撮影）切り換えスイッチを切り換えると、ピントがずれることがある。フォーカスを確認する。	—
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 ・ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 ・OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 ・カードが入っていないときに、RECボタン操作を行った。	—
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、修復に失敗したクリップを消去する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	173 157
データの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりカードを使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 ・カードに異常があるため、記録・再生できない。 ・カードの情報が取得できない。 ・パソコンなど他の機器で初期化されている。 ・カード内にパーティションが設定されている。 ● 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。	173 40
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、カメラ本体またはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	270 282
バッテリーパックを取り換えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。	38
非対応メディアです	● 容量が512MB以下のSDカードを使用できない。別のカードと入れ換える。	39
ファイル名が作成できません	● クリップ番号が最大になったときに、RECボタンを押した。クリップをバックアップしてカードを初期化するか、クリップをすべて消す。 ● MP4クリップ／静止画番号が最大になったときに、RECボタンまたは「Photo」を割り当てたアサインボタンを押した。 2 記録／メディア設定メニュー ➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、MP4クリップ／静止画をすべて消す。	173 157 54 40 211
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。カメラ修理受付センターにご相談ください。	282
50.00Hz（59.94 Hz）で記録されています SDカードA（SDカードB）データの確認と初期化をお勧めします	● カードA（カードB）内のクリップが50.00Hz（59.94 Hz）で記録されている。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	40

メッセージ	原因と対処	🕮
SDカードA（SDカードB）にアクセス中です 取り出さないでください	● カードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。	39
SDカードA（SDカードB）を確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて Ⓐ または Ⓑ が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。Ⓐ またはⒷが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	39 — 38 173 40
SDカードA(B)→SDカードB(A) 切り換えました	● リレー記録、またはスロット切り換え操作（SLOT SELECTボタンを押す）により、記録先がカードAからカードB（カードBからカードA）に切り換わった。	—
SDカードA(B)→SDカードB(A) まもなく切り換えます	● カードA（カードB）の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
SDスロット 切り換えできません	● 撮影中など、カードスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押した。撮影終了後にカードスロットを切り換える。	41
Shot Mark数オーバー	● ショットマーク数が最大（100個）になったため、付加できない。	

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も併せてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	🕮
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。 ● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。 ● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機のステータス画面「ネットワーク設定 3/6」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	— — 248
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	—
転送できなかったファイルがあります	● ファイルシステムが壊れている、または本機以外の製品で記録したクリップを転送した。それらのファイルやクリップをカードから消去して、再度FTP転送を行う。 ● 転送先のフォルダーに同じファイル名のファイルがある。ファイルを移動する、またはファイル名を変更するか、🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤ 「FTP転送設定」 ➤ 「同名ファイル」を「上書き」にする。	157 204 205

メッセージ	原因と対処	🕮
ネットワーク機能が正しく動作していません	● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	282
Wi-Fiの接続が切れました	● Wi-Fi接続中に、接続先のアクセスポイント、またはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。 ● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つか、周囲にある電子機器を停止する。またはそれらから離れて、もう一度接続する。	176 176
複数のアクセスポイントが検出されました　もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	180
FTPサーバーに接続できません	● FTPサーバーに接続できなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。	204
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機の「FTP転送設定」の「FTP：ユーザー名」と「FTP：パスワード」を確認する。	204
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。	179
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「マニュアル」で行い、IP アドレスを「マニュアル」で設定する。 ● DHCP サーバーを確認する。 ・DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 ● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」以外に設定する。 ● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。 ● DNS サーバーを確認する。 ・DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。 ● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	182 — 179 185 — 179
LANケーブルが接続されていません	● イーサネットで接続時に、イーサネットケーブルが接続されていなかった。本機またはネットワーク機器のイーサネット端子にケーブルが接続されていることを確認する。	184
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証方式に「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、または「共有キー」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（AESやTKIP、またはWEPキー）の文字数／桁数が正しくない。AESやTKIPを英数字で入力するときは、8 ～ 63文字で、16進数で入力するときは、64文字で入力する。WEPキーを英数字で入力するときは、5文字（64bit時）、または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）、または26桁（128bit時）で入力する。	184
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	183

メッセージ	原因と対処	🕮
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	183
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。 ● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。 ● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	180

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	🕮
A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—
これ以上調整できません	● ブラウザーリモートでフォーカスを調整するとき、レンズが無限端、または至近端に達しても、さらに操作を行った。	—

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターを使うときは、次のことに注意する。

禁止

- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターに触れない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 電源に長時間つないだままにしない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 0℃～ 40℃の範囲外で充電しない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 液漏れしたものは使わない。
  液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

レンズキャップを外した状態で放置しない。
光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。

ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意　傷害を負う可能性がある内容です。

ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

けがやカメラの故障の原因となります。

製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、ビデオカメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにカメラ修理受付センターにご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

ビデオカメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体、またはファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズフードをはずしてレンズキャップを取り付けてください。ファインダーを使用しないときは、ファインダーキャップを取り付けてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない → 液晶モニターの接合部が破損することがあります。
無理に収納しない → 正しい位置に戻してから収納しないと破損することがあります。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

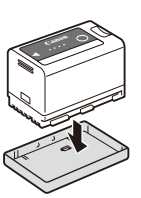
■ バッテリー

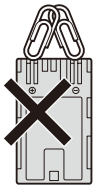
端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。バッテリーの端子は、乾いた布、または綿棒などで定期的に清掃してください。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。


（図A）


（図B）

正しく残量表示されないときは

バッテリーを使い切ってからフル充電してください。ただし、バッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～ 30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り換えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには▭の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって▭の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

海外でも付属のバッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ カード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／カードの故障や静電気などによるデータの損傷·消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② コンパクトパワーアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡·廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの初期化（🕮 40）を行った後、本機にレンズキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶モニターについて

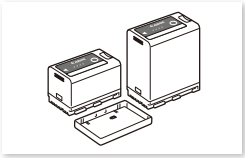
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

コイン型リチウム電池（CR2025）

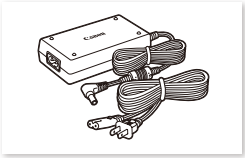
コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

アクセサリー紹介

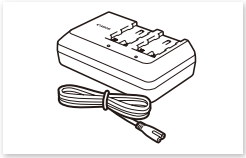
本機に対応する別売アクセサリーは次のとおりです。



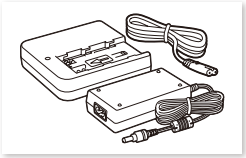
バッテリーパック
BP-A30*、BP-A60*



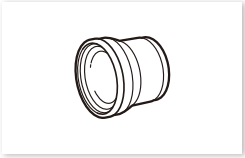
コンパクトパワーアダプター
CA-CP200 L



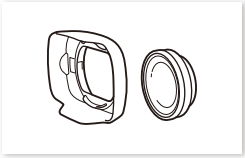
バッテリーチャージャー
CG-A10



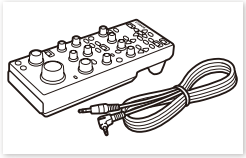
バッテリーチャージャー
CG-A20とコンパクトパワーアダプター CA-CP200B（CG-A20用）



テレコンバーター
TL-U58

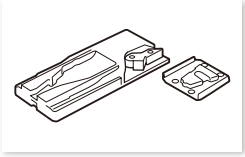


ワイドアタッチメント
WA-U58

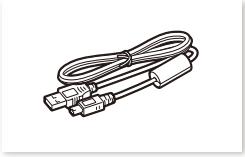


リモートコントローラー
RC-V100

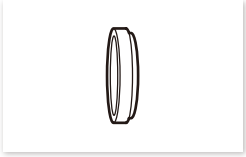
GPSレシーバー
GP-E2



三脚アダプター
TA-100



USBケーブル
（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU



PROTECTフィルター 58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8Lフィルター 58mm

* このバッテリーパックは、カメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。

ご注意

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XF 705本体

システム		
記録方式	動画：	XF-HEVC形式： 映像圧縮方法： H.265 / HEVC 音声記録方式： リニアPCM、24bit、48kHz、4ch ファイルフォーマット： MXF XF-AVC形式： 映像圧縮方法： MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式： リニアPCM、24bit、48kHz、4ch ファイルフォーマット： MXF MP4形式： 映像圧縮方法： MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式： MPEG-2 AAC-LC、16bit、48kHz、2ch リニアPCM、16bit、48kHz、4ch ファイルフォーマット： MP4
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	動画：	XF-HEVC形式： ビットレート： 160 Mbps、110 Mbps、60 Mbps、45 Mbps 解像度： 3840×2160、1920×1080 カラーサンプリング： 4:2:2 10 bit フレームレート： 59.94i、59.94P、50.00i、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P XF-AVC形式： ビットレート： 160 Mbps、45 Mbps 解像度： 3840×2160、1920×1080 カラーサンプリング： 4:2:0 8 bit フレームレート： 59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P MP4形式： ビットレート： 35 Mbps、8 Mbps 解像度： 1920×1080、1280×720 カラーサンプリング： 4:2:0 8 bit フレームレート： 59.94P、50.00P、29.97P、25.00P、23.98P
記録メディア	動画／静止画：	SD / SDHC / SDXCメモリーカード*（動画：2スロット／静止画：スロットBのみ） * カスタムピクチャーファイル、設定データ、ユーザーメモの保存／読み込みにも使用。
撮像素子	1.0型 CMOS（単板） 有効画素： 約829万画素（3840×2160）	
液晶モニター	カラーワイド液晶（4.0型、約123万ドット、視野率100%）、静電容量方式タッチパネル	
ファインダー	ワイドカラー有機ELファインダー（0.46型、約177万ドット、視野率100%）	
レンズ	f=8.3 - 124.5 mm F=2.8 - 4.5 光学15倍ズーム 9枚羽根虹彩絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離： 約25.5 - 382.5mm（ダイナミックIS 設定時以外） 約28.3 - 424.6mm（ダイナミックIS 設定時）	
レンズ構成	14群18枚（非球面2枚）	

システム	
フィルター径	58mm
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域60cm
シャッタースピード	オート、スピード（ノーマル、ファイン）、アングル、クリアスキャン、スロー、切
アイリス	マニュアル、プッシュオートアイリス、オートアイリス
ゲイン	-6.0 dB ～ 33.0 dB(ノーマル：3 dBステップ、ファイン：0.5 dBステップ)
NDフィルター	内蔵（OFF、1/4、1/16、1/64）、電動式
露出	AEシフト、測光方式（スタンダード、スポットライト、バックライト）
ホワイトバランス	オート（AWB）、セットA、セットB、プリセット設定（太陽光 約5600K、電球 約3200K）*、色温度設定（2000K ～ 15000K）、AWB　* 色温度は目安です。 色温度（K）／色補正値（CC）による微調整（ホワイトバランスセット、AWB以外）
フォーカス	調整方法：　マニュアル、プッシュ AF、AFブーストMF、コンティニュアスAF、顔検出AF、追尾 AF方式：　デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
手ブレ補正	光学式+電子補正（スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS）
被写体照度	59.94 Hz 3ルクス（シャッタースピード1/60秒、フレームレート59.94P） 50.00 Hz 2.5ルクス（シャッタースピード1/50秒、フレームレート50.00P） （フルオートモードOFF、ゲイン33.0 dB時）
赤外撮影	赤外撮影可、赤外ライトあり
Wi-Fi	無線LAN規格：IEEE802.11b /g /n（2.4 GHz帯） IEEE802.11a / n（ 5 GHz帯） 接続方法：　インフラストラクチャー（WPS：プッシュボタン方式、WPS：PINコード方式、アクセスポイント検索、マニュアル）、カメラアクセスポイント 認証方式：　オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式：　WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
静止画サイズ	1920×1080

入・出力端子	
SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 HD-SDI（SMPTE 292、ST 299-1準拠） 3G-SDI（SMPTE 424、425、ST 299-2準拠） 6G-SDI（SMPTE ST 2081準拠） 12G-SDI（SMPTE ST 2082準拠） エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC / LTC） アシスト表示（画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、WFM）
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ、タイムコード アシスト表示（画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、WFM）
INPUT1端子 INPUT2端子	XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 アナログ（MIC時）：−60 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB）／600 Ω／ Att.：20 dB アナログ（LINE時）：＋4 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB）／10 kΩ デジタル（AES/EBU）：AES3規格（48 kHz、24 bit、2 ch）／ 110Ω

入・出力端子	
MIC(マイク)端子	φ3.5mmステレオミニジャック −72 dBV(マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB) ／ 5.6 kΩ Att.：20 dB
∩(ヘッドホン)端子	φ3.5 mmステレオミニジャック −∞〜−8 dBV(16 Ω負荷、ボリュームMin 〜 Max) ／ 50 Ω以下
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB、出力のみ
G-LOCK/SYNC端子	BNCジャック、1.0 Vp-p ／ 75 Ω GENLOCK時：入力のみ ／ SYNC OUT時：出力のみ、HD三値信号
TIME CODE端子	BNCジャック (入出力兼用)、入力時：0.5 -18 Vp-p ／ 100 kΩ、出力時：1.3 Vp-p ／ 50 Ω以下
REMOTE A端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
REMOTE B端子	丸型8ピンジャック。RC-V100(別売)接続用 (RS-422通信用)
品 (イーサネット)端子	Ethernet(イーサネット)、1000BASE-T対応

電源その他	
電源電圧	DC 14.4 V(バッテリーパック)、DC 24 V(DC IN)
消費電力	21.5 W (59.94P記録時、XF-HEVC：3840×2160 160 Mbps) 20.8 W (50.00P記録時、XF-HEVC：3840×2160 160 Mbps) 20.6 W (59.94P記録時、XF-HEVC：1920×1080 60 Mbps) 19.9 W (50.00P記録時、XF-HEVC：1920×1080 60 Mbps) 18.3 W (29.97P記録時、XF-AVC：3840×2160 160 Mbps) 17.7 W (25.00P記録時、XF-AVC：3840×2160 160 Mbps) 19.1 W (59.94P記録時、XF-AVC：1920×1080 45 Mbps) 18.8 W (50.00P記録時、XF-AVC：1920×1080 45 Mbps) 19.1 W (59.94P記録時、MP4：1920×1080 35 Mbps) 18.7 W (50.00P記録時、MP4：1920×1080 35 Mbps) いずれもSDI端子、液晶モニター使用時。
動作温度	0 ºC 〜 +40 ºC
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約162 x 210 x 378 mm (レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップ、グリップベルトを含まない) 約191 x 258 x 433 mm (レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップを含み、グリップベルトは含まない)
撮影時総重量	約3160 g ショルダーパッド、グリップベルト、レンズフー ド、マイクホルダーユニット、アイカップ、BP-A30、メモリーカード(1枚)を含む
本体質量	約2710 g ショルダーパッド、グリップベルト含む

付属品

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 L	
定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz 90 VA ～ 120 VA
定格出力	DC24 V、1.8 A
使用温度	0 ℃～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約 67.5×37×134 mm
質量	約 290 g

バッテリーチャージャー CG-A20	
定格入力	DC 24 V 1.8 A
定格出力	DC 16.7 V、1.5 A
使用温度	0 ℃～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約100×24×100 mm
質量	約145 g

バッテリーパック BP-A30	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 14.4 V
公称容量	3100 mAh / 45 Wh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約41.5×45.1×69.7 mm
質量	約225 g

■ 動画の記録可能時間の目安

1回の記録でカードの空き容量がなくなるまで記録したときの記録時間です。

XF-HEVC / XF-AVC

ビットレート / 容量	45 Mbps	60 Mbps	110 Mbps	160 Mbps
32 GB	約90分	約65分	約35分	約25分
64 GB	約185分	約140分	約75分	約50分
128 GB	約375分	約280分	約150分	約105分
256 GB	約755分	約565分	約305分	約210分

MP4

ビットレート / 容量	8 Mbps（AAC）	35 Mbps（AAC）	35 Mbps（LPCM）
32 GB	約505分	約115分	約110分
64 GB	約1015分	約235分	約220分
128 GB	約2045分	約480分	約445分
256 GB	約4100分	約965分	約890分

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-A30（付属）	BP-A60（別売）
充電時間*（バッテリーチャージャー CG-A20を使用時）	約170分	約300分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

■ 使用時間の目安

付属のバッテリー BP-A30と別売のBP-A60をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

解像度	フレームレート	ビットレート	使用時間	BP-A30	BP-A60
XF-HEVC					
3840 x 2160	59.94P	160 Mbps	連続撮影時間	2時間	4時間5分
			実撮影時間	1時間5分	2時間20分
			再生時間	2時間20分	4時間40分
	50.00P		連続撮影時間	2時間5分	4時間15分
			実撮影時間	1時間10分	2時間25分
			再生時間	2時間20分	4時間50分
1920 x 1080	59.94P	60 Mbps	連続撮影時間	2時間5分	4時間15分
			実撮影時間	1時間10分	2時間25分
			再生時間	2時間25分	5時間
	50.00P		連続撮影時間	2時間5分	4時間20分
			実撮影時間	1時間10分	2時間25分
			再生時間	2時間35分	5時間15分
XF-AVC					
3840 x 2160	29.97P	160 Mbps	連続撮影時間	2時間20分	4時間50分
			実撮影時間	1時間25分	2時間50分
			再生時間	2時間40分	5時間30分
	25.00P		連続撮影時間	2時間25分	5時間00分
			実撮影時間	1時間25分	2時間55分
			再生時間	2時間45分	5時間45分
1920 x 1080	59.94P	45 Mbps	連続撮影時間	2時間15分	4時間40分
			実撮影時間	1時間20分	2時間45分
			再生時間	2時間35分	5時間25分
	50.00P		連続撮影時間	2時間15分	4時間45分
			実撮影時間	1時間20分	2時間45分
			再生時間	2時間40分	5時間40分
MP4					
1920 x 1080	59.94P	35 Mbps	連続撮影時間	2時間15分	4時間40分
			実撮影時間	1時間20分	2時間45分
			再生時間	2時間40分	5時間30分
	50.00P		連続撮影時間	2時間15分	4時間45分
			実撮影時間	1時間20分	2時間45分
			再生時間	2時間45分	5時間40分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶モニターを明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

MEMO

バッテリーパックは予定撮影時間の2 ～ 3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2 ～ 3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

索引

ア

アイカップ ・・・

静止画
：記録する……208
：再生する……209
：消去する……211
赤外撮影（Infrared）……133
赤外ライト……133
接続
：音声出力を選択する……172
：外部モニターを接続する……166
：パソコンに保存する……173
：ヘッドホンでモニターする……119
設定データ……148
ゼブラパターン……103
測光方式……73

タ

ダイナミック……100
タイムコード……104
タイムコードホールド……105
タイムコードを外部同期する……107
ダブルスロット記録……41
タリーランプ……48、237
端子カバーを取り付ける／取り外す……36
チェックマーク……124
追尾……98
デジタルテレコン……81
テストトーン……120
手ブレ補正……100
デュアルピクセルフォーカスガイド……89
電源
：コンセントを使う……23
：バッテリーパックを使う……20
電源を入れる／切る……24
トラブルシューティング……251
ドロップフレーム……105

ナ

ノンドロップフレーム……105

ハ

排気口……57
波形モニター……121
バッテリー
：残量を確認する……22、248
：充電時間／使用時間……275
：充電する……20
：本体に取り付ける／取り外す……21
パワードIS……100
ピーキング……91
日付・時刻……25
ビットレート……58
ファインダー
：表示……34
ファン……57
フォーカス……88
フォーカスアシスト……89
ブラウザーリモート……187
フリーラン……104
フリッカーを抑える……64
フルオートモード……50
プレ記録……131
フレームレート……58
ヘッドホン端子……119、154
望遠……83
保存
：パソコンに保存する……173
ホワイトバランス
：色温度設定……78
：オートホワイトバランス……77
：プリセット設定……78
：ホワイトバランスセット……80

マ

マーカー……101
マイク……113
マイクの感度……118
マイクホルダー……31
マイメニュー……28
メタデータ……125
メッセージ……259

メニュー
：基本操作 · · · · · 26
：メニュー一覧 · · · · · 214
モニター接続 · · · · · 166

ヤ

ユーザー設定 · · · · · 187
ユーザービット · · · · · 106
ユーザーメモ · · · · · 125

ラ

リール番号 · · · · · 54
リファレンスビデオ信号 · · · · · 107
リモートコントローラー · · · · · 45
リモート撮影 · · · · · 44
量子化ビット数 · · · · · 111
リレー記録 · · · · · 41
冷却ファン · · · · · 57
レックラン · · · · · 104
レックレビュー · · · · · 129
レンズフード · · · · · 31
録音レベル調整 · · · · · 115
露出補正 · · · · · 72

ワ

ワイヤレスコントローラー · · · · · 44

その他

AEシフト · · · · · 72
AFスピード · · · · · 93
AFブーストMF · · · · · 92
AF枠 · · · · · 95
AGCリミット · · · · · 66
AWB · · · · · 77
Canon Log 3 · · · · · 144
Canon XF Utility · · · · · 173
DC IN端子 · · · · · 23
FEC（エラー訂正） · · · · · 202
FTP転送 · · · · · 204
Gamma · · · · · 144
G-LOCK/SYNC端子 · · · · · 107
GPS · · · · · 127
HDMI OUT端子 · · · · · 166
INPUT端子 · · · · · 111
IPストリーミング · · · · · 201
LUT · · · · · 163、169
MIC（マイク）端子 · · · · · 113
MP4 · · · · · 58
MP4 Join Tool · · · · · 174
MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ · · · · · 56
NDフィルター · · · · · 68
OKマーク · · · · · 124
POWER（電源）スイッチ · · · · · 24
Preset · · · · · 74、143
PUSH AUTO IRIS · · · · · 69
REMOTE（リモート）端子 · · · · · 45
SDI端子 · · · · · 167
Shot Mark · · · · · 123
TIME CODE端子 · · · · · 107
Waveform Monitor · · · · · 121
Wi-Fi · · · · · 176
WPS · · · · · 177
XF-AVC · · · · · 58
XF-HEVC · · · · · 58
品（イーサネット）端子 · · · · · 184
🎧（ヘッドホン）端子 · · · · · 119、154

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Avid、 Media Composerは、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- JavaScriptは、 Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

XF705は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたex FAT技術を搭載しています。

アクセサリーは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2 本製品の修理対応期間は、製造打ち切り後7年です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種と交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを同梱するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

修理のお問い合わせ・お申し込み

- らくらく修理便（引取修理）のお申し込み
  canon.jp/repair
- 修理品持ち込み窓口一覧
  http://cweb.canon.jp/e-support/repair/list.html
- 電話でのお申し込み：050-555-99077

らくらく修理便

■本書の記載内容は2020年3月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon
キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Li-ion
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0479-000C
© CANON INC. 2020